14. 土 製 品

南側、北側遺物包含層、竪穴住居跡等の遺構、堆積層などから出土したものをここで一括して説明する。

異形土器（第319図1）

破片である。口縁部が直立し、胴部は斜めに曲がる。各部の断面形はほぼ円形と思われる。口縁下部に隆線が走るほかは無文である。

筒形土器（第319図2）

円筒形を呈し、口縁部と胴下端部が反る。口縁部は波頂部が2ヶ所の波状口縁である。胴部には4段に平行沈線文が施されている。

蓋（第320図、第321図）

逆鉢形、円盤形、皿形とがある。

a：逆鉢形（第320図）浅鉢や皿を伏せた様な形態である。1～4はつまみがつく。1・3・4は橋状のつまみで、1には磨消縄文（充塡）技法を用いた楕円文が、3には刺突文が施されており、4は無文である。2は台状のつまみで、口縁近くに2個の小孔がみられる。刺突文が施されている。6～8はつまみがなく、6には2個対の小孔が2ヶ所に、8には1個の孔がみられる。5はつまみの有無が不明である。2個対の小孔が2ヶ所にみられる。5～8は無文である。

b：円盤形（第321図1～7）橋状のつまみがつくと思われ、1～5は1個、6は2個つく。7はつまみの有無が不明である。1には渦文と刺突文が、2には渦状の沈線文と縄文（RL）が施されている。3～5はつまみ基部を弧状の隆線で結ぶ。6はつまみ間に円・弧状隆線文がみられる。7は無文である。

c：皿形（第321図8・9）丸底皿形を呈する。橋状のつまみがついて、無文である。

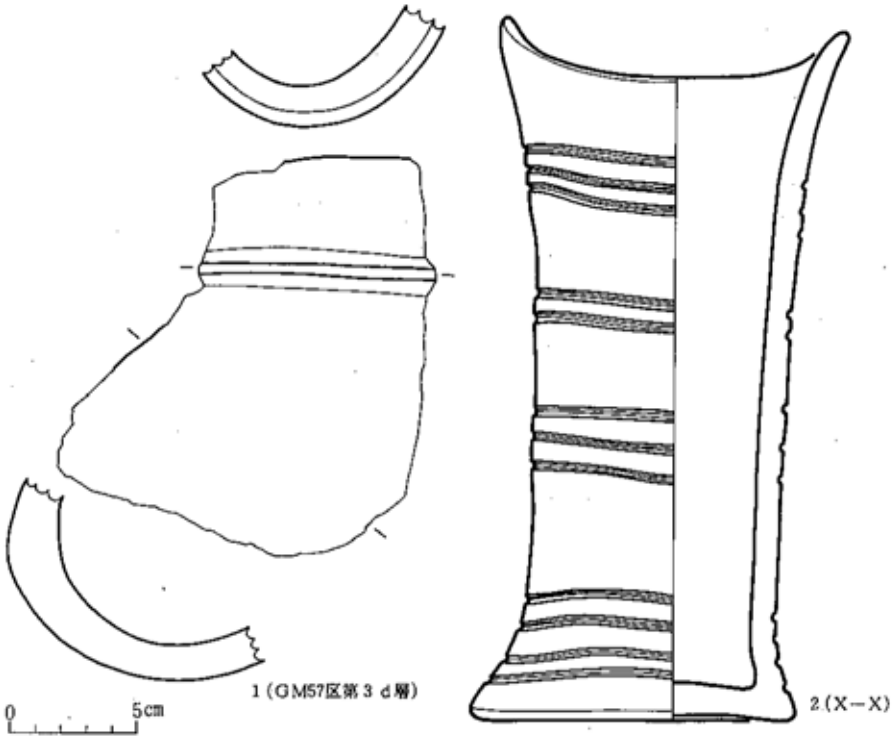
これらの蓋は直径が4.6㎝～14㎝で、そのうち4.6㎝～8.5㎝までの小形が多い。

袖珍土器（第322図～第324図）

深鉢形、(浅)鉢形、台付鉢形、壺形、注口付とがあり、ほかに高い台部と思われるものもみられる。

a：深鉢形（第322図1～15）器形の違いによってa_1・a_2の2つに分かれる。

a_1(1)―頚部がくびれて口縁部が外反する。頚部にボタン状隆線、胴上部に沈線文が施文さ



第319図　異 形 土 器

れている。

a_2（2～13）－屈曲の少い単純な器形である。2・5・6・10 には小さな山形突起がつく。2～6・8 は胴部に文様がみられ、2 は蕨手状の文様、3 は撚糸文（L）を地文とした楕円文、4 は縄文（RL）を地文とした蕨手状の文様、5 は下垂平行線文、6 は下垂線文、8 は格子状文である。7 は口縁部に弧状沈線が、胴部に縄文（LR）が施されている。9 は口縁・胴部が縄文（RL）、10 の胴部に条痕がみられ、12 は頸部に平行沈線が巡って胴部は撚糸文（L）、11・13 は無文である。

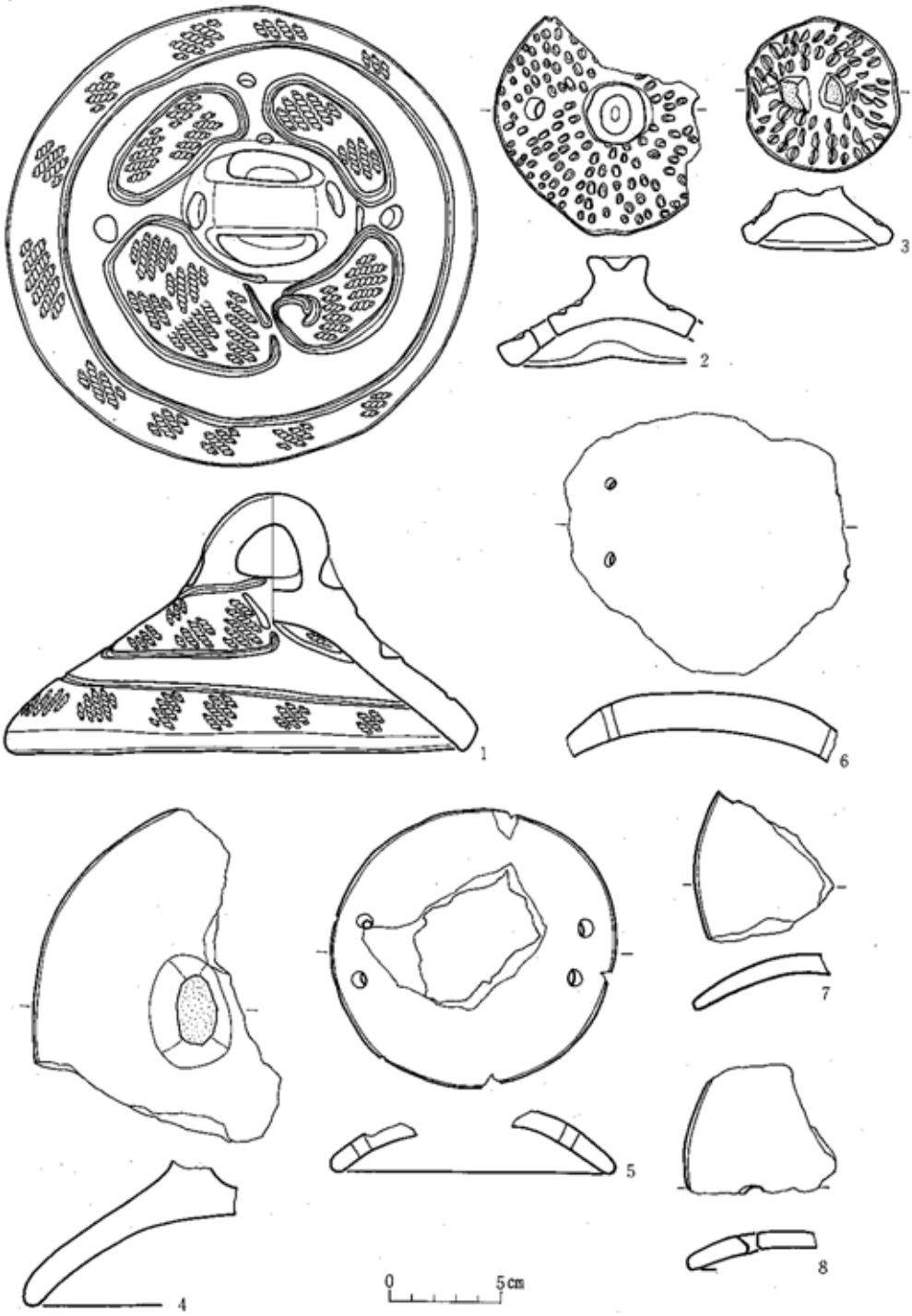
14・15 は胴部資料である。14 には沈線と刺突によって、15 は沈線と縄文（LR）によって文様が描かれている。

b：(浅)鉢形（第 323 図 1～19）器形の違い、文様の有無、によってb_1～b_5の 5 類に分かれる。

b_1(1)－胴部が球形に脹み、頸部でくびれ、口縁部が短く外反する。文様は口縁部から底部まで隆沈線によって「コ」字状文が描かれ、区画内にはＲＬ縄文が充塡されている。

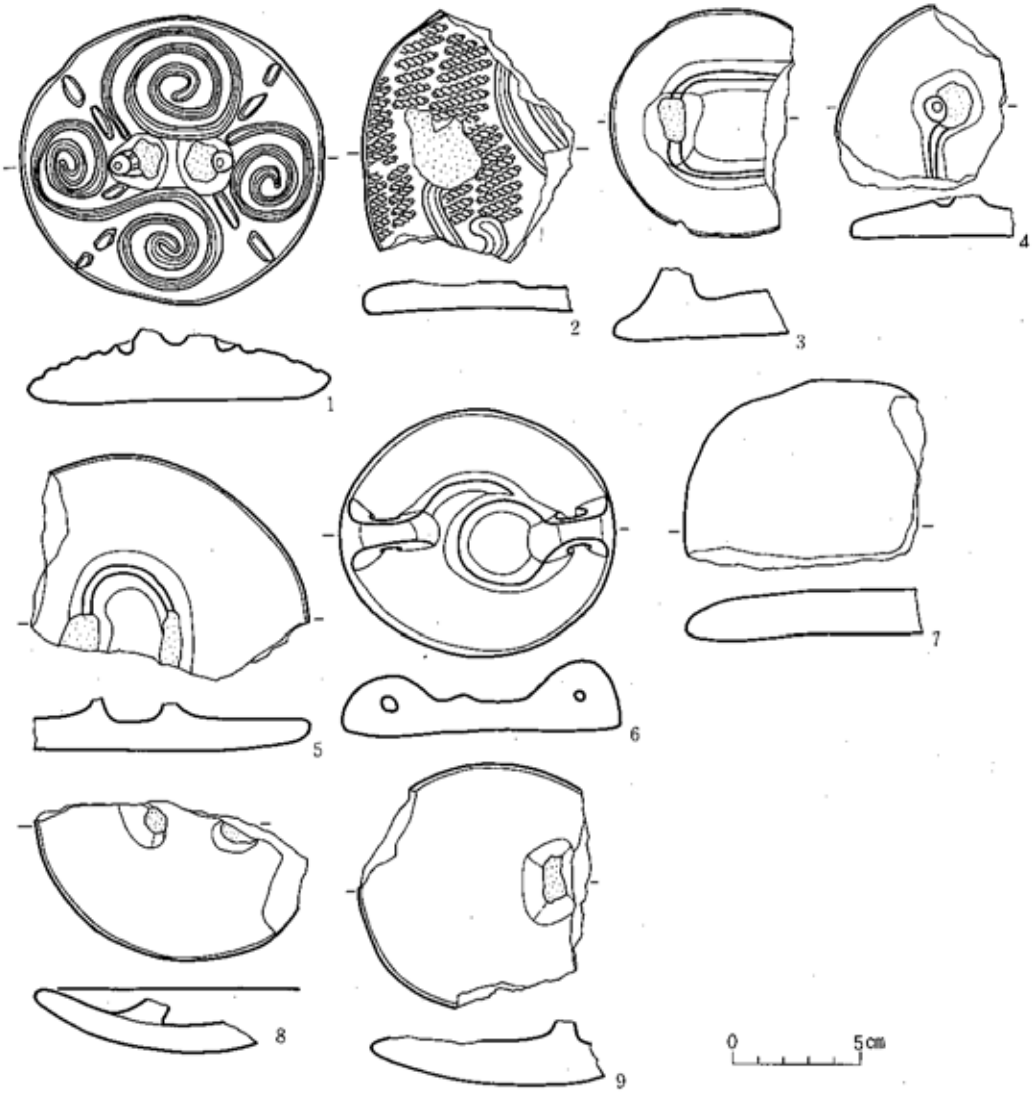
b_2(4)－口縁部が直立、胴部は外傾する。口縁部に隆線文が施文されている。

b_3(2)－口縁部から胴部まで直線的に外傾し、文様がみられる。口縁部に突起がつき、口縁



番号	地区・層位	登録番号	3	GO64区・第3d層	NY166	6	GS54区・第II層	NY2835
1	GJ57区・第3層	NY2830	4	GN56区・第2層	NY2834	7	GO55区・第3c層	NY2836
2	GM52区・第2下層	NY121	5	GO56区・第3c, d層	NY1175	8	GO55区・第3c層	NY2837

第320図　蓋

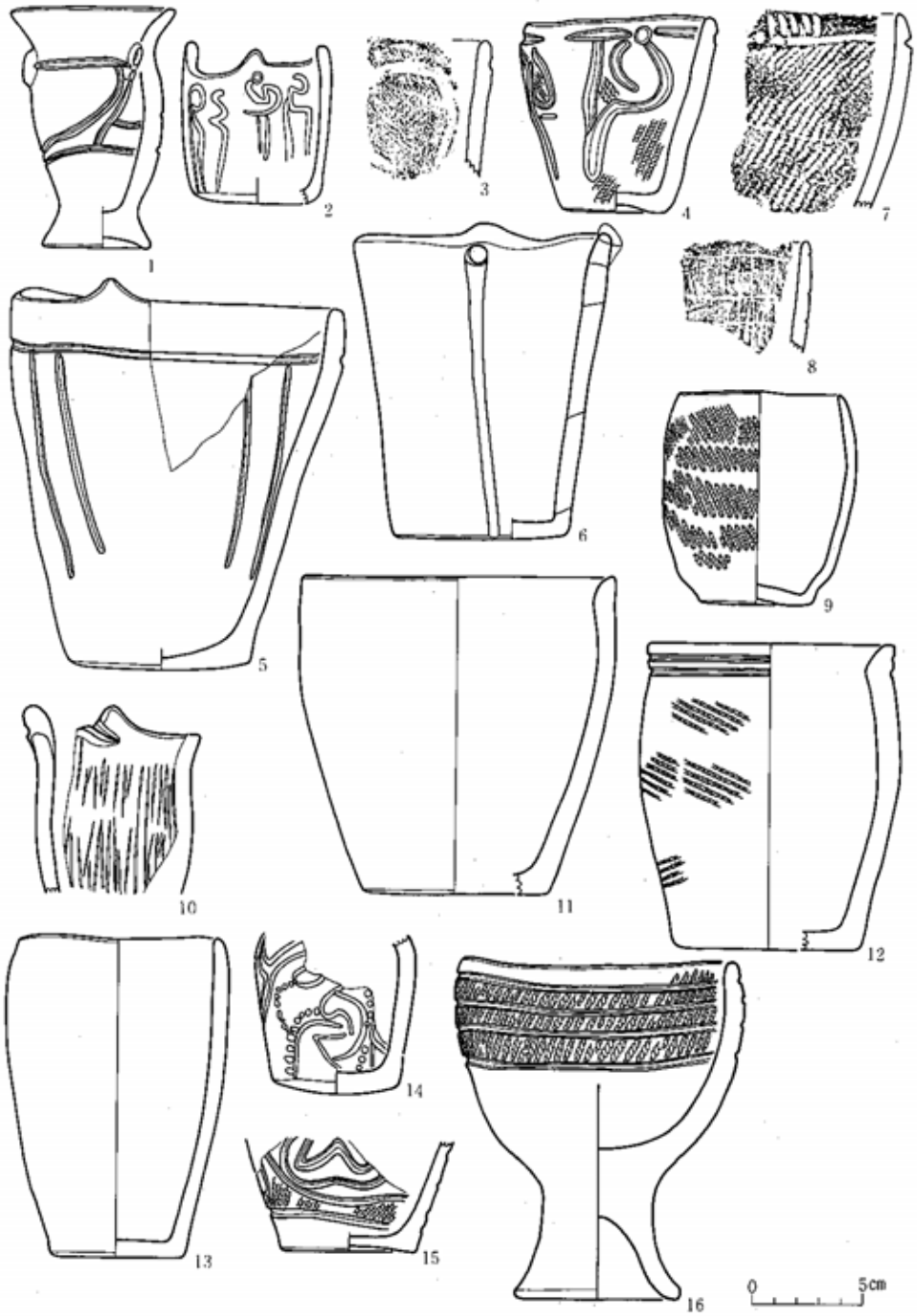


番号	地区・層位	登録番号	3	GL56区・第3c層	NY2839	6	X・X	NY2842	9	IG52区・第2層	NY2850
1	GM51区・第2層	NY188	4	GL57区・第3d層	NY2840	7	第3石組下・第4層	NY2843			
2	GJ57区・第3d層	NY2838	5	GL52区・第3層	NY2841	8	GN54区・第3層	NY2844			

第321図　蓋

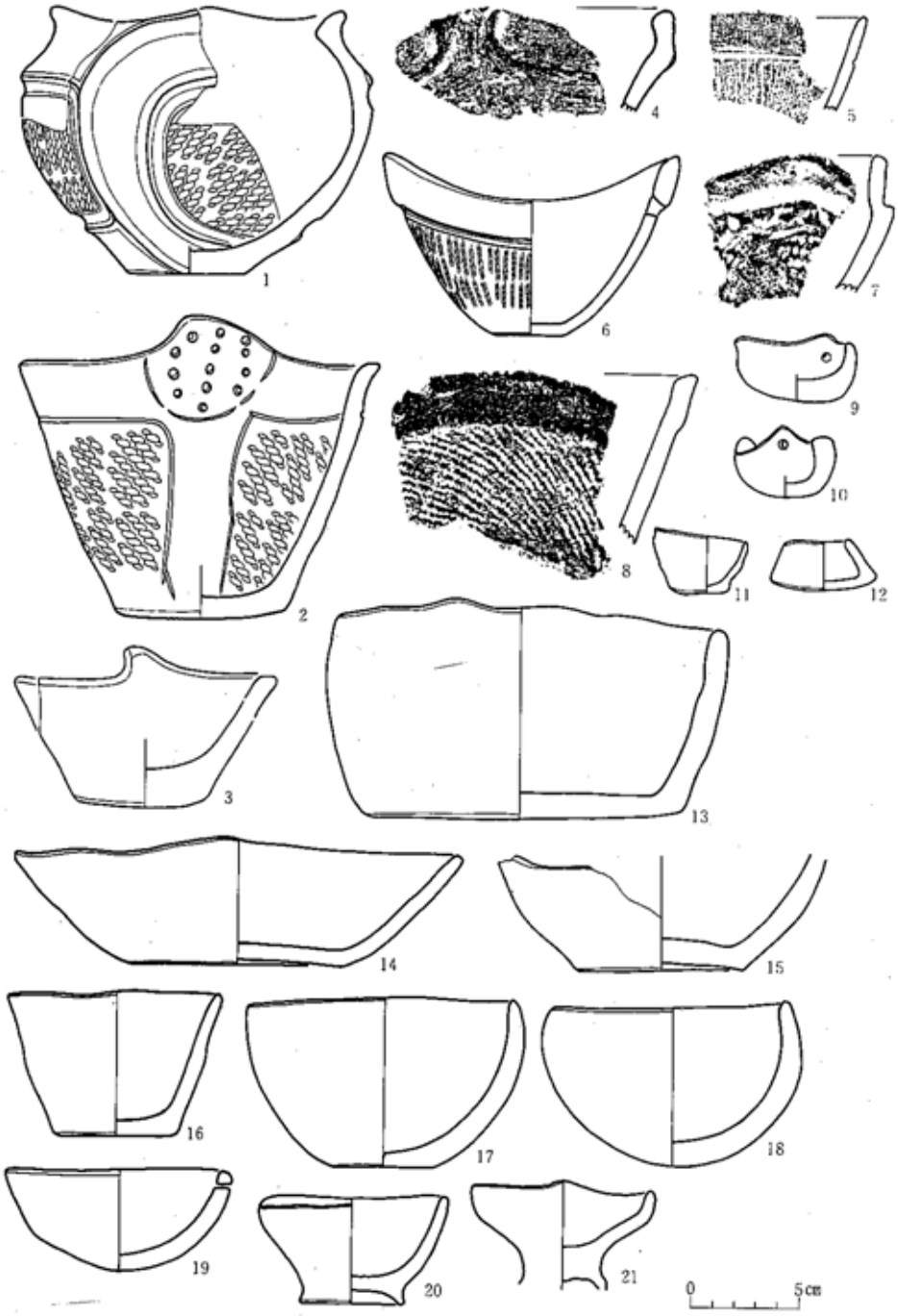
部は外反気味になる。突起から口縁部にかけて刺突の充塡された円文が、胴部にはＬＲ縄文が充塡された方形区画文が沈線で描かれている。

b_4(5～8)―口縁部から胴部まで直線的に外傾し、地文だけがみられる。5 は口縁部が無文、頚部に沈線が巡り、胴部に条線が施されている。6～8 は波状口縁を呈し、頚部に段がつく。口縁部は無文、6・7 は頚部段直下に沈線が巡り、胴部に縄文（6・撚糸文Ｌ、7・8・斜行



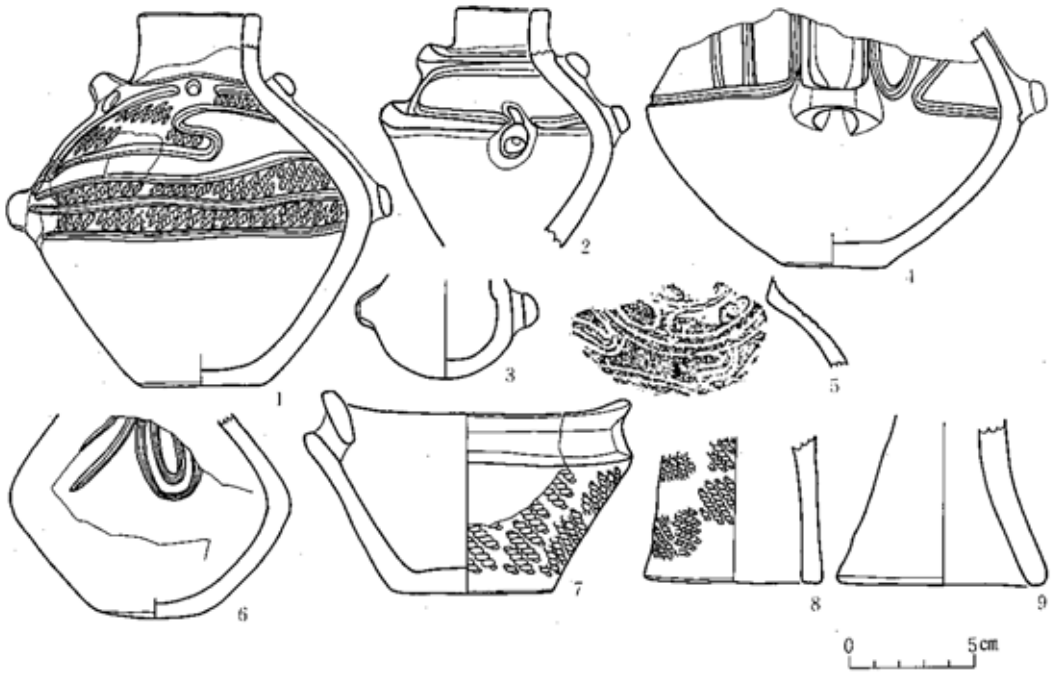
番号	地区・層位	登録番号	4	GN56区・第3層	NY189	8	GN56区・第3層	NY261	12	GH56区・第2，3層	NY2854
1	GQ46，47区・第II層	NY2845	5	GH57区・第3 d層	NY2848	9	HS55区・第II層	NY256	13	GL57区・第3層	NY2855
2	X・X	NY2846	6	GK56区・第3層	NY2849	10	GL57区・第3層	NY2852	14	GL51区・第2層	NY2856
3	GP56区・第3 c層	NY2847	7	GR50区・第II下層	NY2850	11	GM55区・第3 c層	NY2853	15	X・X	NY2857
									16	GS51区・第III層	NY289

第322図　袖珍土器



番号	地区・層位	登録番号	6	GR~GT50, 51区・pit12	NY2893	12	IG54区・第1層	NY2886	18	H153区・pit	NY2861
1	7住1号炉内	NY2876	7	G155, 57区・第3d層	Po 2237	13	GJ57区・第3d層	NY2887	19	HD46区・第B層	NY253
2	6住堆積土	NY2879	8	GM56区・第2層	Po 1202	14	GM53区・第3c層	NY2892	20	GO52区・第2層	NY2892
3	6住堆積土	NY2880	9	GL57区・第2層	NY114	15	HJ47第1層	NY2888	21	GO56区・第2層	NY194
4	6住堆積土	NY2881	10	GL53区・第3層	NY2884	16	X－X	NY2889			
5	GL51区・第3層	NY2882	11	GN52区・第2層	NY2885	17	GL57区・第2層	NY2890			

第323図　袖珍土器



番号	地区・層位	登録番号	3	1H53区・第2層	NY80	6	GL51区・第3層	NY2860	8	GL53区・第3下層	NY2862
1	GL52区・第2層	NY2858	4	GM52区・第2下層	NY122	7	GM56区・第3b層	NY2861	9	GI50区・第3d層	NY2863
2	GM55, 56区・第2, 3層	NY2859	5	GN55区・第3層							

第324図　袖珍土器

縄文ＬＲ）がみられる。6の頸部には孔が1ヶ所開いており、丹塗りが認められる。

b_5(3・9～19)―無文のものである。3・16は口縁部・胴部が直立し、3には波状突起がつく。14・15も口縁・胴部が直線的に外傾するが、浅い皿状を成す。13は口縁・胴部がほぼ直立し底部が大きい。17～19は丸味をもち18・19は丸底である。19の口縁部には孔が1ヶ所にみられる。9～12はごく小形である。9・10は小突起下に孔が開く。

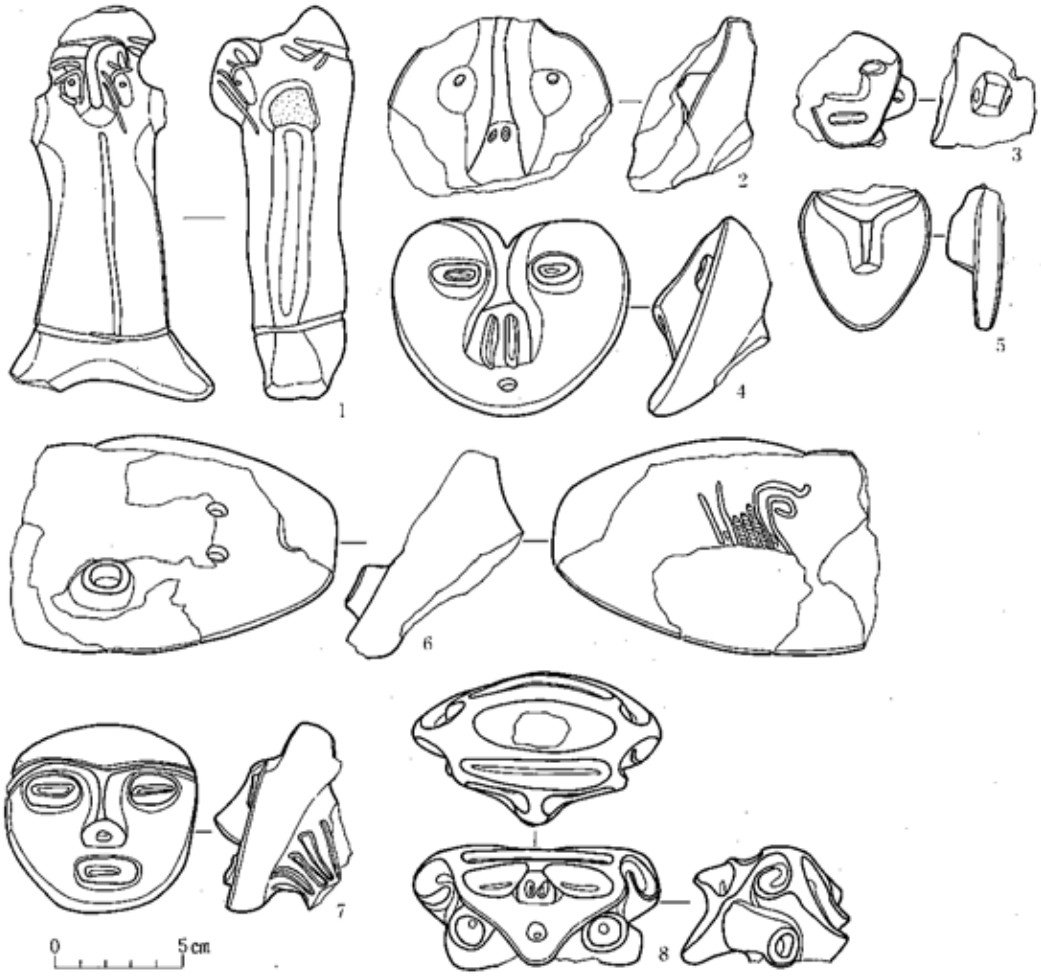
c：台付鉢形（第322図16、第323図20・21）文様をもつもの（c_1）と無文(c_2)とがある。

c_1(第322図16)―ワイングラス状を呈する。口縁部に4条の平行沈線文と、その後に帯状縄文が施されている。

c_2(第323図20・21)―20は口縁・胴部が直線的に外傾し、低い台がつく。21は口縁部が直立して低い山形突起がつく。胴部は外傾し、台下部を欠く。

d：壺形（第324図1～6）把手のつくd_1とつかないd_2とがある。

d_1(1～4)―器形は壺形土器ＣⅡａ類と同様である。1・2は口縁部が直立して胴部が算盤



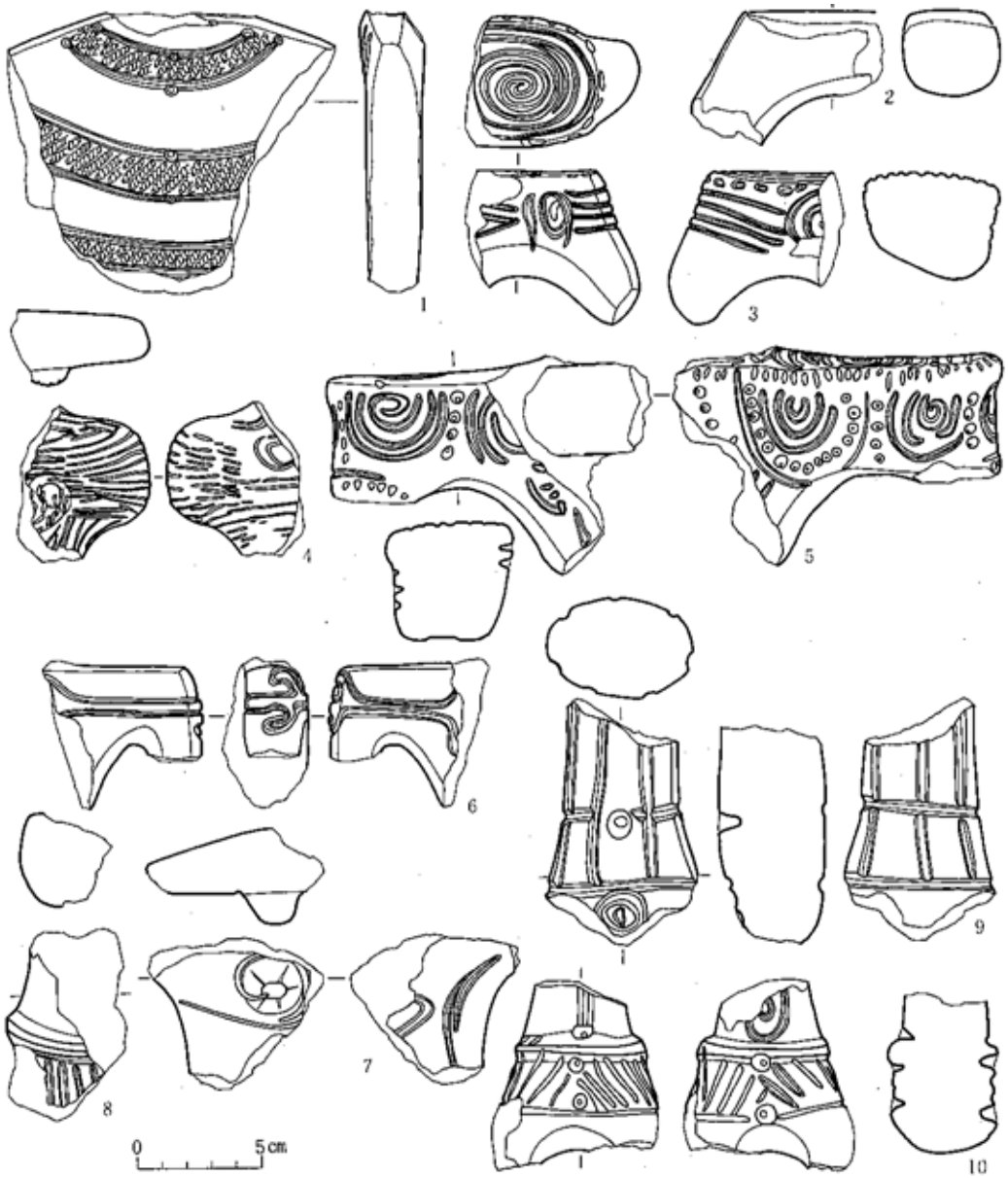
番号	地区・層位	登録番号									
1	X・X	NY284	3	GR51区・第Ⅱ層	NY284	5	GL54区・第3層	NY179	7	GP55区・第3b層	NY290
2	HP46区・第Ⅰ，Ⅱ層	NY292	4	GR47区・第Ⅱ上層	NY291	6	IH54区・第2層	NY62	8	GO54区・第3c層	NY187

第325図　土　　偶

珠形を成し、頚部と胴中位に上下対を成す把手が2ヶ所につく。胴上部に文様がみられ、上下の把手を平行隆線で結び、その間に1は磨消縄文（充塡）技法を用いた渦付三角文が、2には方形区画文が描かれている。4 も同様の器形と思われ、胴上部に沈線文がみられ、丹塗りが認められる。3は球形の胴部中位に2つの把手がつき、口縁部を欠く。

d_2(5・6)―胴部形はb_1に類似するが、文様が異っており、把手はつかないと推定される。5には平行線を「S」字状文で結んだ沈線文が、6は曲線的な沈線文様が描かれている。5に丹塗りが認められる。

e：注口付（第324図7）口縁部が内反気味にくびれて胴部が直線的に外傾する鉢形の器形で、

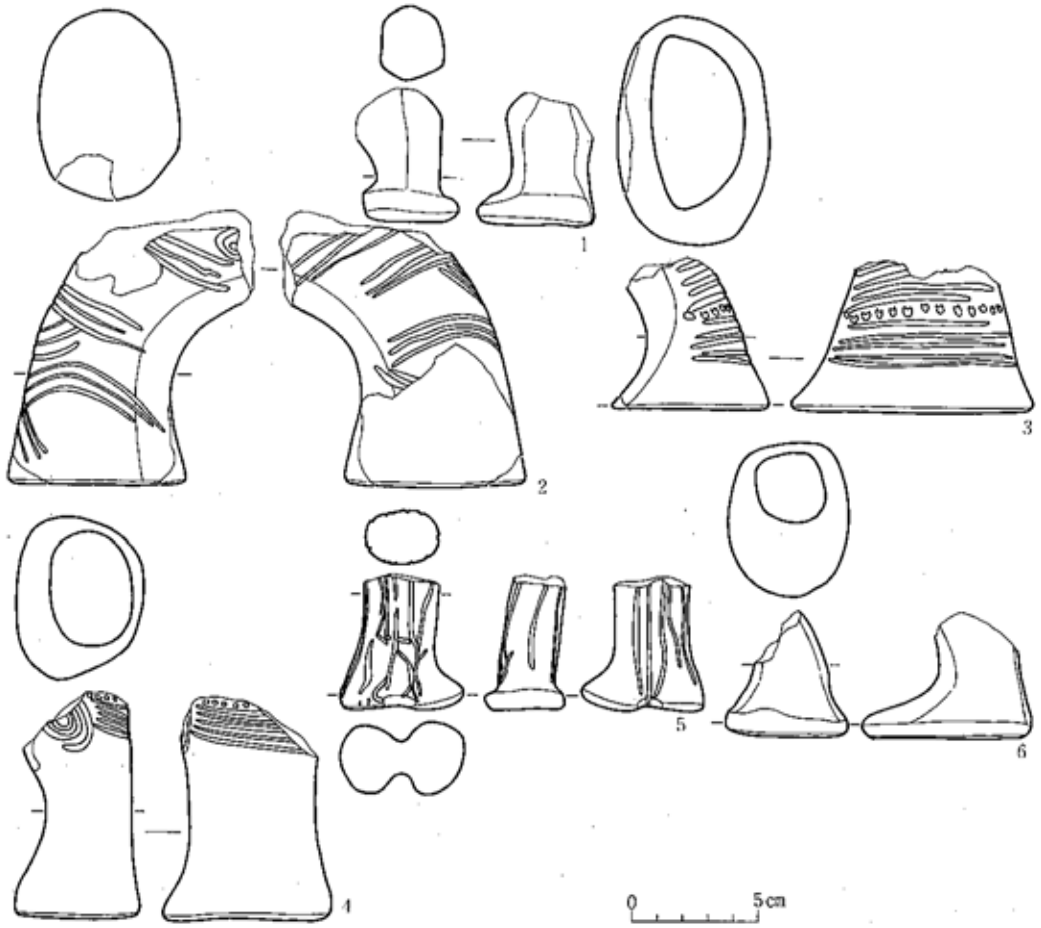


番号	地区・層位	登録番号	3	HG49区・第Ⅰ，Ⅱ層	NY19	6	GM,GN56区・第2a層	NY2867	9	GN56区・第2層	NY195
1	HD47区・第Ⅰ，Ⅱ層	NY2865	4	GL53区・表採	NY2866	7	GM53区・第3c層	NY2868	10	GL52区・第2層	NY2870
2	HI55区・第Ⅰ，Ⅱ層	NY22	5	GP56区・第Ⅰ層	NY1069	8	GR50区・第Ⅱ層	NY2869			

第326図　土　　偶

口縁部に短い注口がつく。胴部に縄文（ＬＲ）がみられる。

台部破片（第324図8・9）8は直立し、縄文が施されている。9は下が開き、無文である。



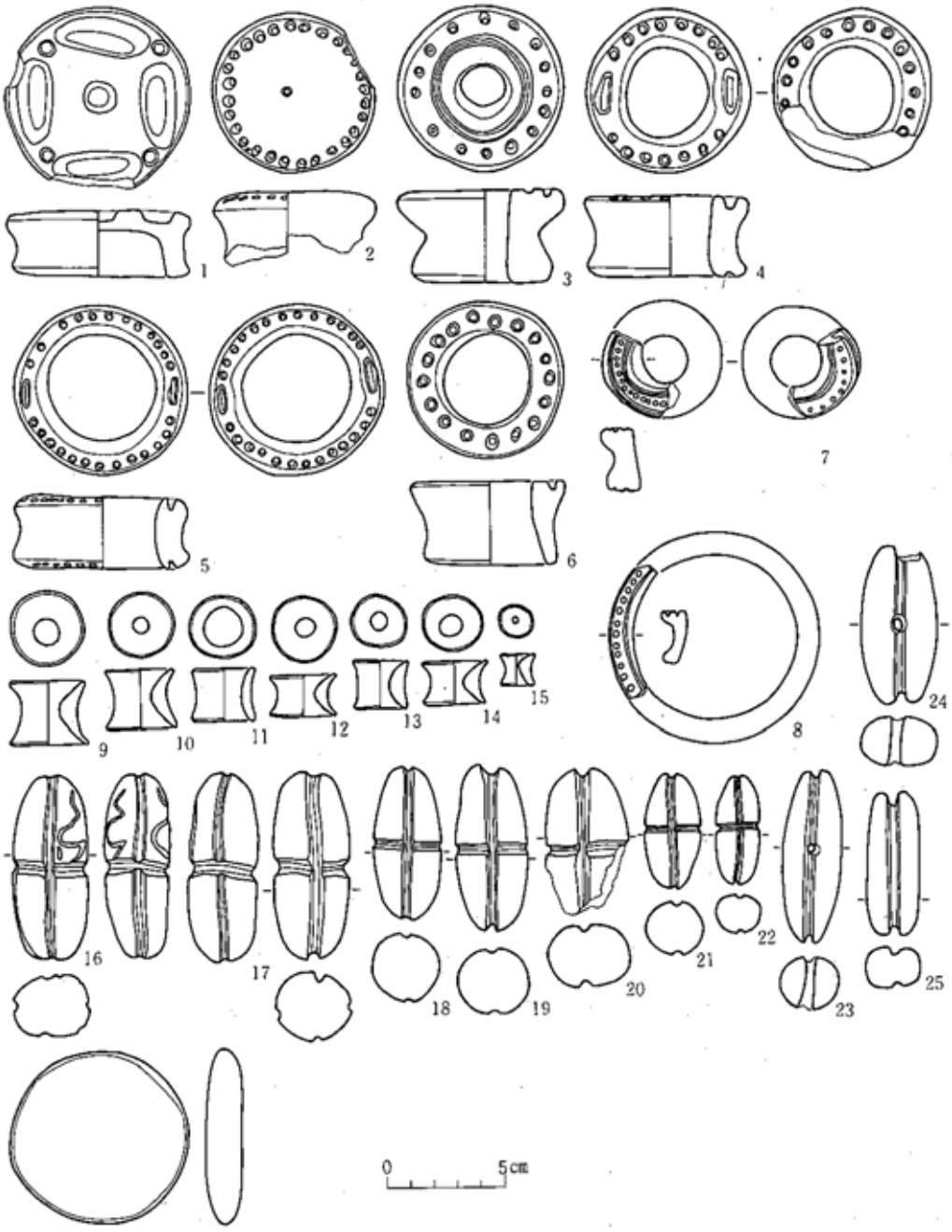
番号	地区・層位	登録番号						
1	GM51区・第3層	NY252	3	GM52区・第2層	NY132	5	GR～GT・7住床付近	NY2562
2	HS49区・3住埋設土	NY319	4	HA, HBX区・第II層		6	GL51区・第3層	NY2503

第327図　土　　偶

土偶（第325図～第327図）

第325図1は腕と頭・脚部の一部を欠く。頭・胴部は柱状につくられており、頭上部がふくらんで、顔は眉と鼻が隆線で大きく、目は粘土の貼り付けと不揃いの沈線で表現されている。胴は正中線と、脇に沈線状のくぼみが施され、腰に沈線が巡る。脚は短く開く。

第325図2～8は頭部片である。頚がいずれも顔面に対し斜めであり、顔がやや上向きで胴部に接合するものと思われる。2～7は平板で顔面は平らあるいはやや凹んでおり、鼻が高く、眉につながる。目と口は隆線や沈線、盲孔で現わされるが、5は目と口が省略されている。6は顔が斜いている。4はいわゆるハート形である。8は彫刻的なつくりで、上から穴が開く。鼻は高く、目は大きく凹み、側頭部は渦をなし、あごが三角になる。あごの両側に耳飾状の円文



番号	地区・層位	登録番号	7	GM51区・第3層	NY144	14	GM53区・第2層	NY133	21	IH51区・第2上層	NY43
1	表採	NY295	8	GL57区・第3層	NY2871	15	GI～GK区	NY2754	22	GH, GL57区・第3層	NY178
2	GO51区・第2層	NY1051	9	GM54区・第3層	NY314	16	GQ54区・第II層	NY303	23	GM, GN53区・第2, 3層	NY329
3	GO55区・第3c層	NY255	10	GM53区・第2層	NY2872	17	GR51区・第I層	NY2750	24	表採	NY126
4	GM51区・第3層	NY162	11	GI57区・第2層	NY113	18	GO55区・第3層	NY185	25	GK53区・第2層	NY193
5	GH, GI56区・第3d層	NY285	12	GK53区・第2, 3層	NY2747	19	GM57区・第2層	NY145	26	GL56区・第2層	NY2873
6	GP55区・第3b層	NY293	13	GN55区・第3a層	NY1262	20	GN54区・第3c層	NY330			

第328図　耳飾・土錘

がつく。

第326図は胴部片である。1は板状で、弧状の平行沈線間に縄文（ＬＲ）が充塡されている。2・3・5・6は肩が張り、上部が平坦になる。3・5には多条沈線による渦文・弧状文・刺突文が施されている。2は無文、6には一部反転する沈線文がみられる。なお5の内部には横に棒状の粘土が認められる。4は板状で腕が半円状に張り出し、多条沈線による文様が施されている。7も板状で乳房の周りに渦文がある。8～10 は柱状の胴に横位の沈線、隆線が巡り、さらに縦位の沈線や渦文、盲孔が施されている。

第327図は脚部片である。2～4は横にふんばり、足下端へ太くなる。横位の多条沈線文様と刺突文がみられる。5 は足が短く太くなり、前後にくびれを入れて表現している。縦の沈線が雑に施されている。1・6は無文である。

耳飾（第328図1～15）

滑車状耳飾である。1・2は貫通孔がなく1は台状、2は板状になる。1の上面には中心に盲孔、周囲に刺突をはさんだくぼみ状況線が配されている。2 は中央と縁に沿って刺突がみられる。3～8は環状で側面がくぼむ。4・5は長い対称の刺突をはさんで円形刺突が、3・7・8は刺突と沈線が、6は円形刺突だけがそれぞれ縁に沿って巡る。

9～15は断面「く」字の臼状で、丹塗りが認められる。

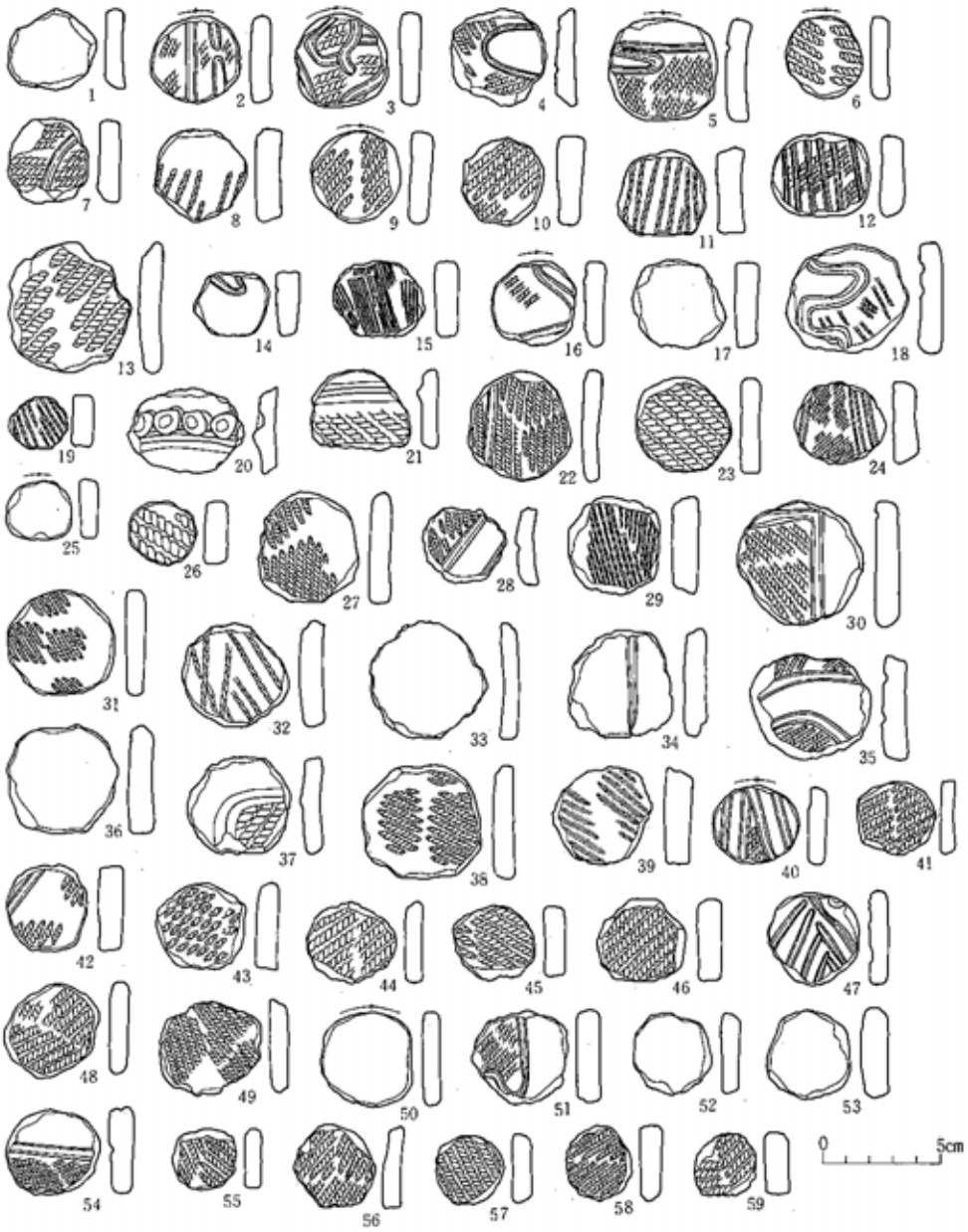
土錘（第328図16～25）

いずれも断面がほぼ円形の紡錘形的である。16・17 は溝が横に1条、縦に2条巡る。16 にはＳ状の沈線文が施されている。18～22は縦横1条づつ溝がみられる。23～25は溝が縦1条だけ巡り、23と24には中央に貫通孔がつく。重さは4ｇから24ｇまでである。

円盤状土製品

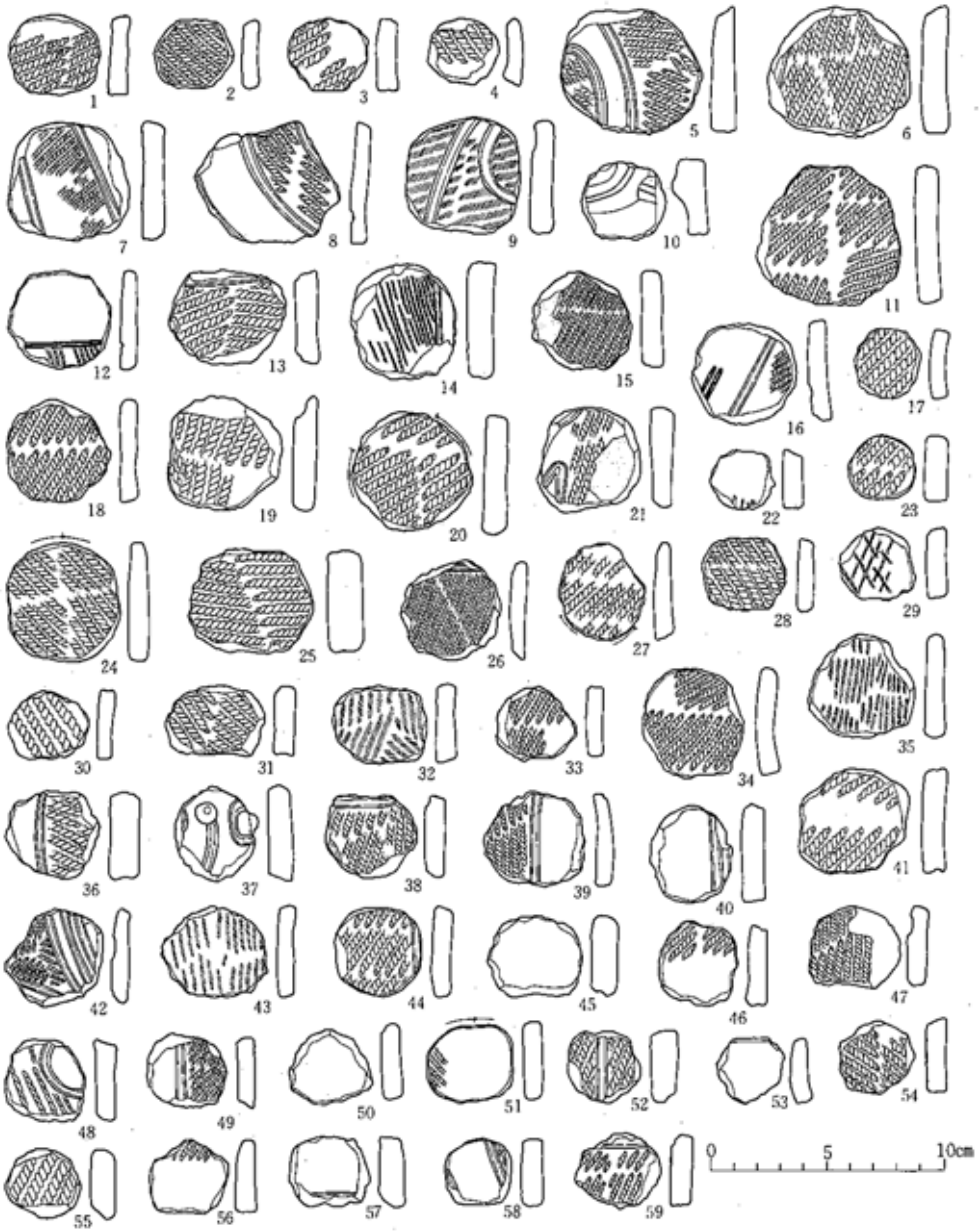
円盤状土製品は計1,603点出土している。その出土状況は南側および北側遺物包含層出土のもの1,071点、住居跡出土のもの6点、各地区・表土および不明のもの526点である。このうち、第328図26～第338図は遺物包含層から出土した中から567点を任意に抽出したものを実測図で示した。以下、遺物包含層から出土した円盤状土製品を中心にその特徴をまとめてみる。

円盤状土製品は形態的にはａ、粘土を円盤状に成形し、焼成したもの、ｂ、土器片の周縁を打ち欠いて、円形・楕円形・隅丸方形・不整形に成形したものがある。このうちａ(第 328 図26)は1点だけで、それ以外の円盤状土製品はｂである。ａ、ｂの形状は基本的には円形ないしは不整な円形を基調としているものが多いが、ｂには一部不整形のものも少量ある。大きさは直



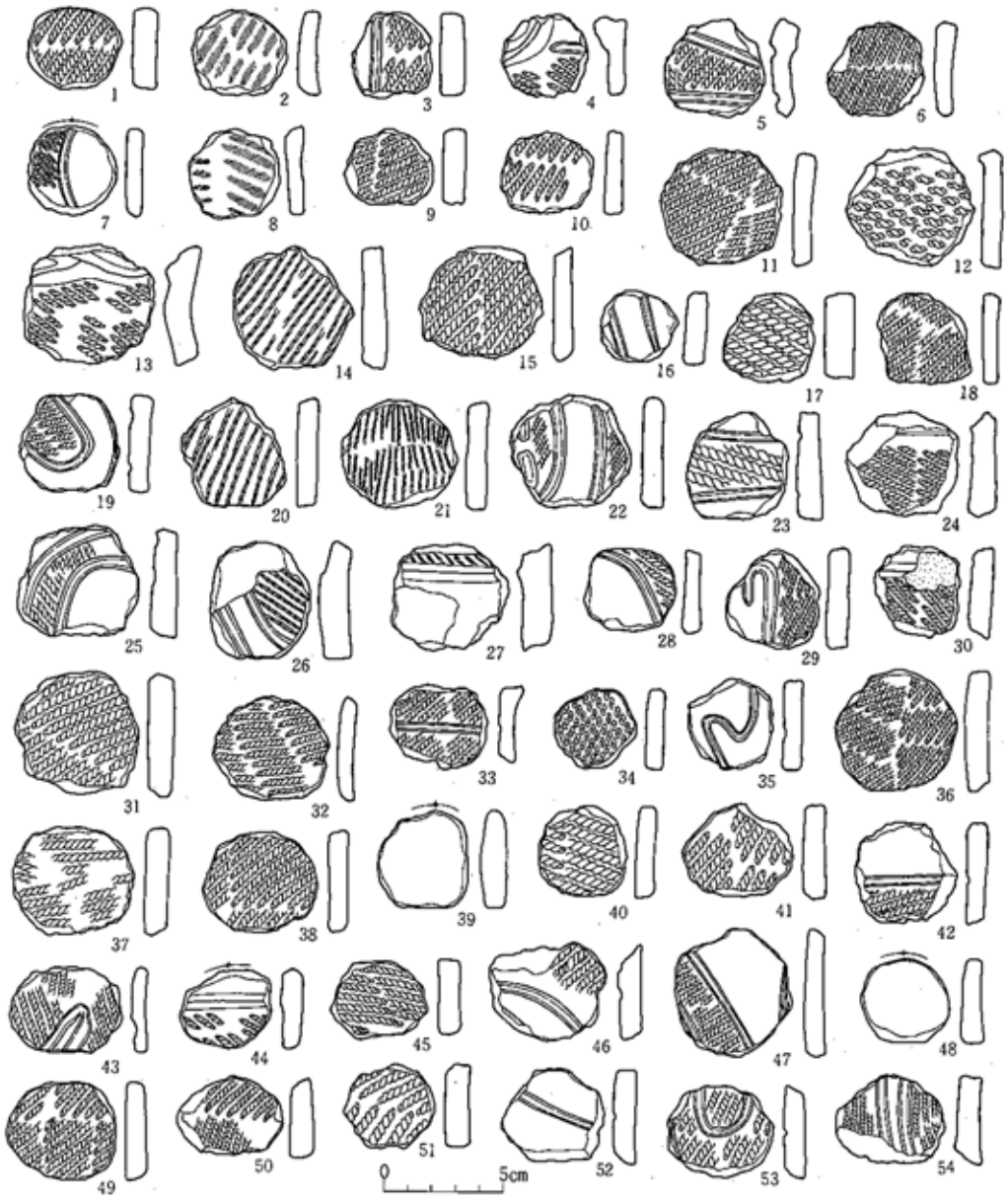
番号	地区・層位	12	G N51区 第2層	24	G L51区 第2層	36	G N54区 第3層	48	G L55区 第3層
1	G M55区 第3層	13	G P54区 第2層	25	G L55区 第2層	37	G L54区 第3 d層	49	G L52区 第3層
2	G K56区 第3層	14	G M56区 第2層	26	G L51区 第3層	38	G P55区 第2層	50	G L53区 第3層
3	G L52区 第2層	15	G L51区 第2層	27	G L55区 第2層	39	G L52区 第3層	51	G L57区 第2層
4	G L56区 第3層	16	G L55区 第3層	28	G N53区 第3層	40	G L54区 第3層	52	G L51区 第2層
5	G L56区 第3層	17	G L57区 第3層	29	G L52区 第2層	41	G L56区 第3 b層	53	G M52区 第2層
6	G L57区 第3層	18	G K55区 第2層	30	G M56区 第2層	42	G N52区 第2層	54	G M57区 第2層
7	G L52区 第2層	19	G O52区 第3層	31	G M56区 第2層	43	G N54区 第3層	55	G J57区 第2層
8	G M51区 第3層	20	G L51区 第2層	32	G L56区 第3層	44	G L53区 第3層	56	G L55区 第3層
9	G L50区 第3層	21	G L55区 第3層	33	G L50区 第3層	45	G N54区 第3層	57	G M57区 第2層
10	G N55区 第3層	22	G N52区 第3層	34	G L51区 第2層	46	G K56区 第2層	58	G L51区 第3層
11	G L55区 第3層	23	G N56区 第3層	35	G M55区 第3 a層	47	G L52区 第3層	59	G L57区 第3層

第329図　円盤状土製品



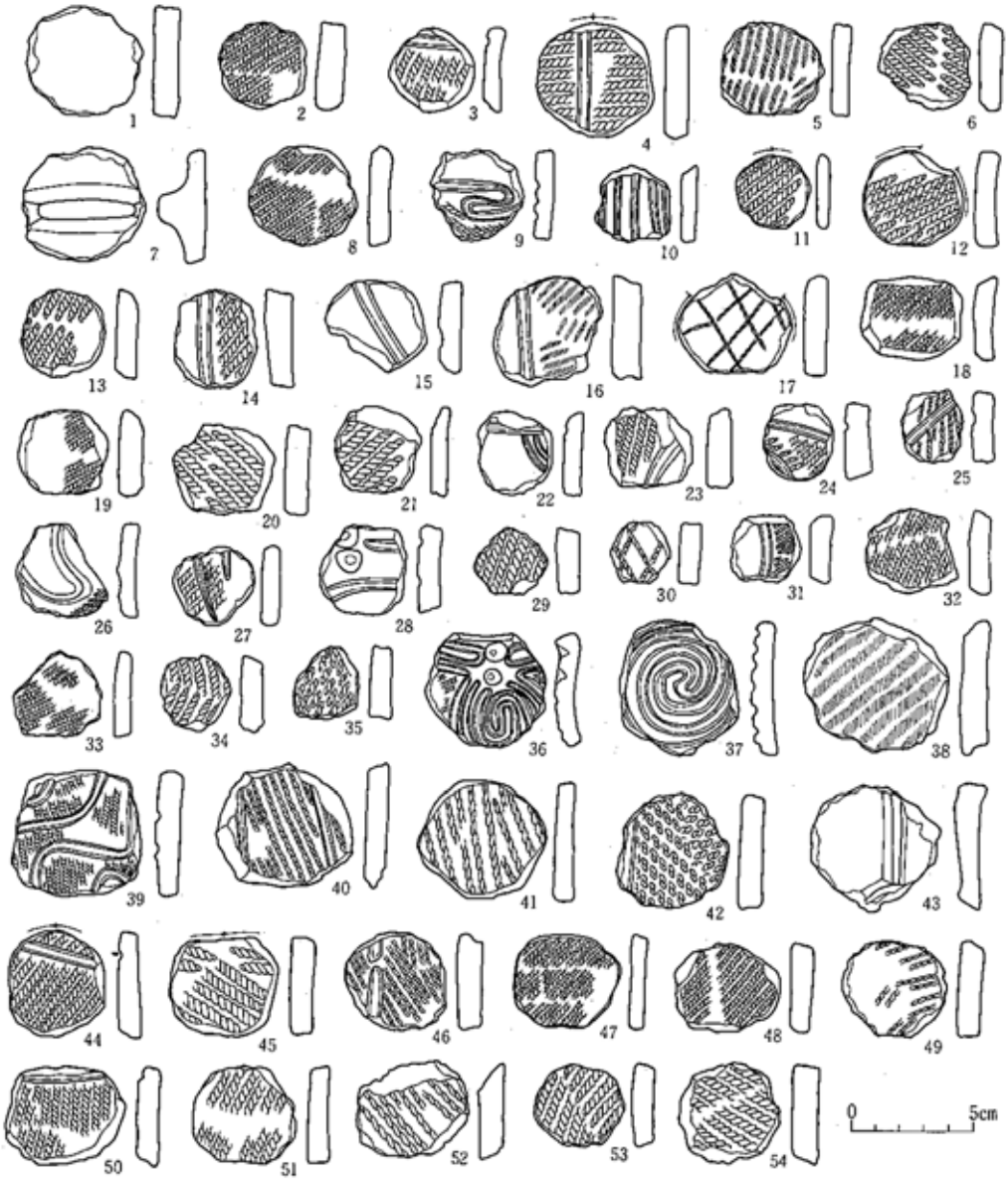
番号	地区・層位	12	GM51区 第3層	24	GM55区 第3c層	36	GJ51区 第3d層	48	GM51区 第3層
1	GN54区 第3層	13	GN55区 第3c層	25	GN55区 第3a・b層	37	GM53区 第3a層	49	GM56区 第3c層
2	GL57区 第2層	14	GL56区 第3c層	26	GK56区 第3c層	38	GM55区 第3層	50	GL56区 第2層
3	GL53区 第3層	15	GL56区 第3層	27	GM55区 第2層	39	GN56区 第3b層	51	GN53区 第2層
4	GL57区 第3層	16	GJ57区 第2層	28	GP52区 第2層	40	GN51区 第3層	52	GN54区 第3b層
5	GN54区 第2層	17	GO52区 第2層	29	GO54区 第2層	41	GM50区 第3層	53	GP55区 第2層
6	GL54区 第3d層	18	GO56区 第2層	30	GH53区 第3a層	42	GM52区 第2層	54	GO50区 第2層
7	GN56区 第3層	19	GL57区 第3層	31	GJ57区 第3d層	43	GM55区 第3c層	55	GM54区 第3a層
8	GM52区 第3層	20	GP53区 第2層	32	GO54区 第2層	44	GM57区 第3d層	56	GP53区 第2層
9	GM52区 第2層	21	GM57区 第2層	33	GM53区 第3c層	45	GN56区 第3b層	57	GM51区 第3層
10	GH56区 第2・3層	22	GL56区 第3c層	34	GO56区 第3層	46	GM54区 第2層	58	IG51区 第2層
11	GL55区 第2層	23	GO52区 第3層	35	GM51区 第3層	47	GJ57区 第3層	59	GN55区 第3c層

第330図　円盤状土製品



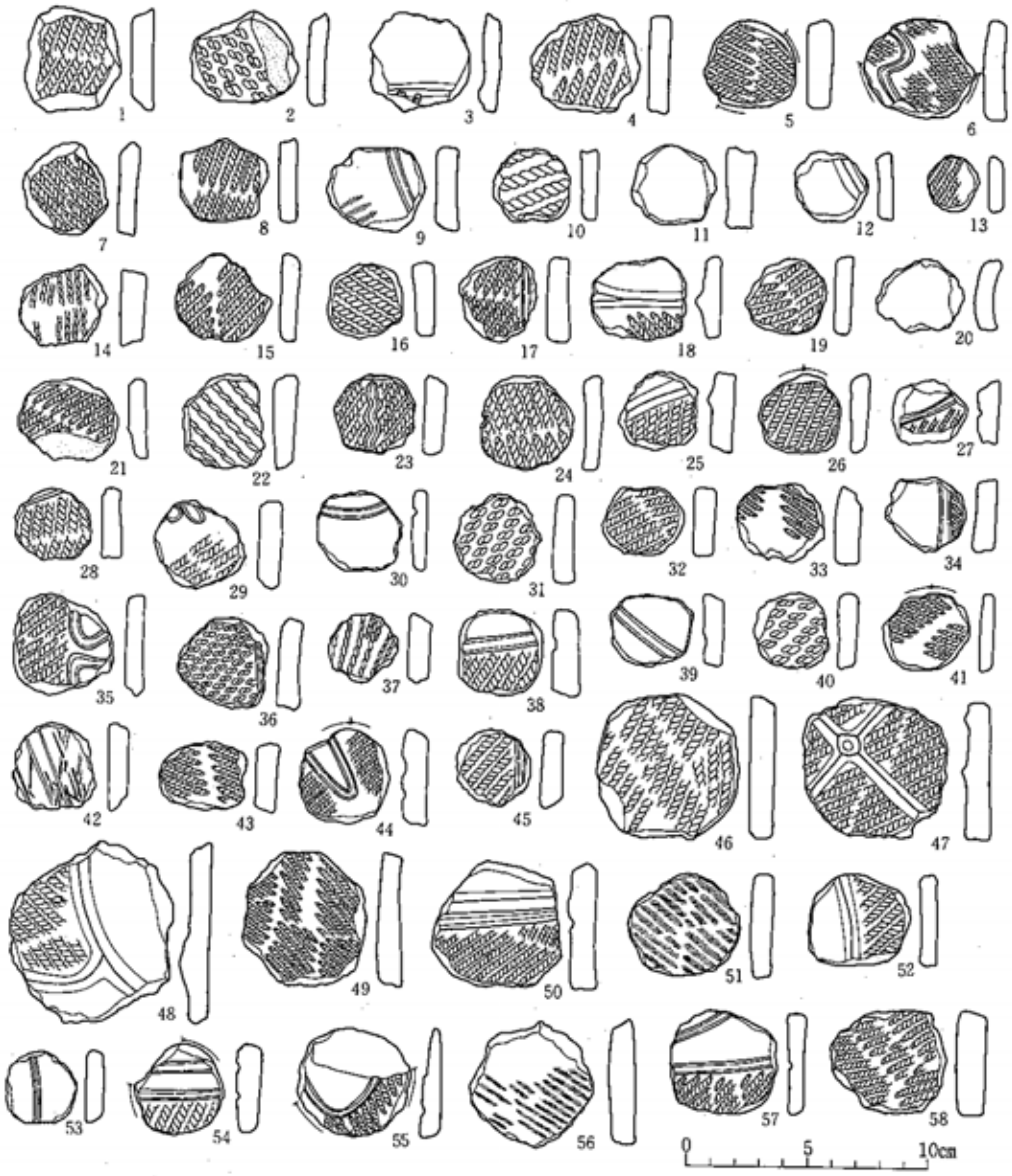
番号	地区・層位	11	GM51区 第3層	22	GN54区 第3a層	33	GO53区 第2層	44	GP55区 第2層
1	GI56区 第3d層	12	GL56区 第3d層	23	GL52区 第3層	34	GM51区 第3層	45	GM54区 第3b層
2	GM53区 第3c層	13	GN56区 第3層	24	GP52区 第2層	35	GH57区 第3層	46	GL53区 第3b層
3	GM52区 第3層	14	GM51区 第3層	25	GO53区 第2層	36	GH56区 第3d層	47	GH56区 第3d層
4	GK56区 第3層	15	GM51区 第3層	26	GO51区 第2層	37	GM53区 第3c層	48	GO51区 第2層
5	GM51区 第2層	16	GJ57区 第3d層	27	GN52区 第3層	38	IG52区 第2層	49	GN54区 第2層
6	GH57区 第3層	17	GM54区 第3d層	28	GM54区 第2層	39	GH57区 第3層	50	GL56区 第3層
7	GI57区 第3d層	18	GO53区 第2層	29	GL57区 第3層	40	GP53区 第3a層	51	GM51区 第3層
8	GL56区 第3c層	19	GO52区 第2層	30	GO51区 第2層	41	GN52区 第2層	52	GH56区 第3d層
9	GM54区 第3b層	20	GL56区 第3c層	31	GK57区 第2層	42	GO53区 第3層	53	GM55区 第3a層
10	GL56区 第3d層	21	GM54区 第3b・c層	32	GM51区 第3層	43	GM54区 第3a・b層	54	GM54区 第3b層

第331図　円盤状土製品



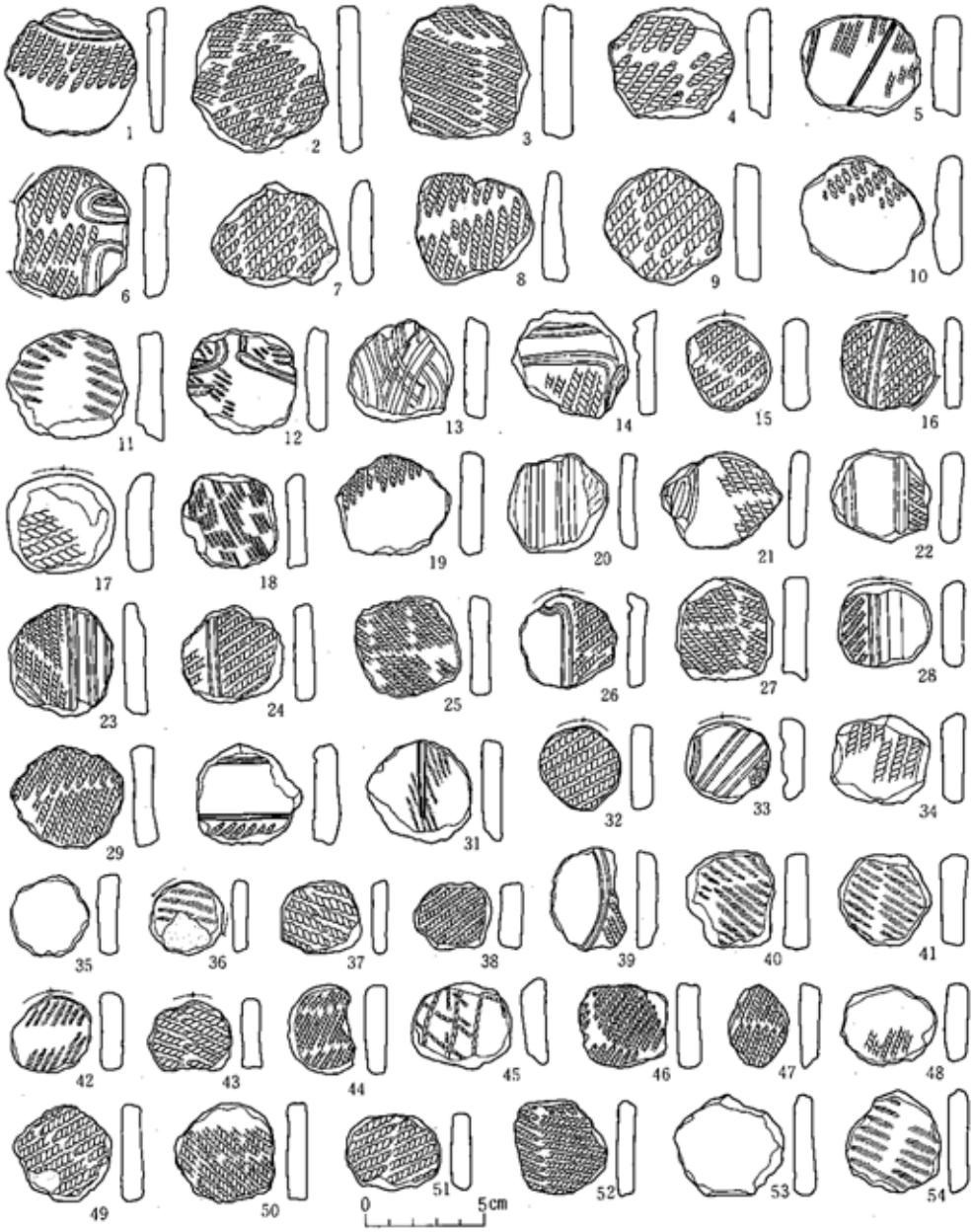
番号	地区・層位	11	GN54区 第3a層	22	GO52区 第2層	33	GO54区 第2層	44	GJ56区 第2層
1	GO53区 第2層	12	GM51区 第3層	23	GP55区 第2層	34	GL50区 第2層	45	GL51区 第3層
2	GM53区 第3c層	13	GK57区 第2層	24	GL54区 第2層	35	GN54区 第3a層	46	GL56区 第3層
3	GP55区 第2層	14	GK56区 第3c層	25	GM54区 第2層	36	GL55区 第3a層	47	GN55区 第3c層
4	GO54区 第2層	15	GH53区 第3c層	26	GN56区 第3d層	37	GN52区 第2層	48	GK56区 第2層
5	GL56区 第3c層	16	GM55区 第3c層	27	GJ57区 第3d層	38	GK57区 第3d層	49	GH56区 第3d層
6	GO55区 第3c層	17	GJ55区 第3d層	28	GN54区 第2層	39	GN55区 第3c層	50	GH55区 第2層
7	GM51区 第3層	18	GO54区 第2層	29	GL56区 第3c層	40	GL55区 第3層	51	GN55区 第3c層
8	GJ57区 第3d層	19	GM54区 第3c層	30	GL56区 第3c層	41	GL54区 第3d層	52	GO54区 第3c層
9	GL53区 第3b層	20	GM56区 第2層	31	GN51区 第3層	42	GN56区 第2層	53	IG53区 第2層
10	GO54区 第2層	21	GM56区 第3層	32	GL53区 第3b・c層	43	GL51区 第3c層	54	GM51区 第3層

第332図　円盤状土製品



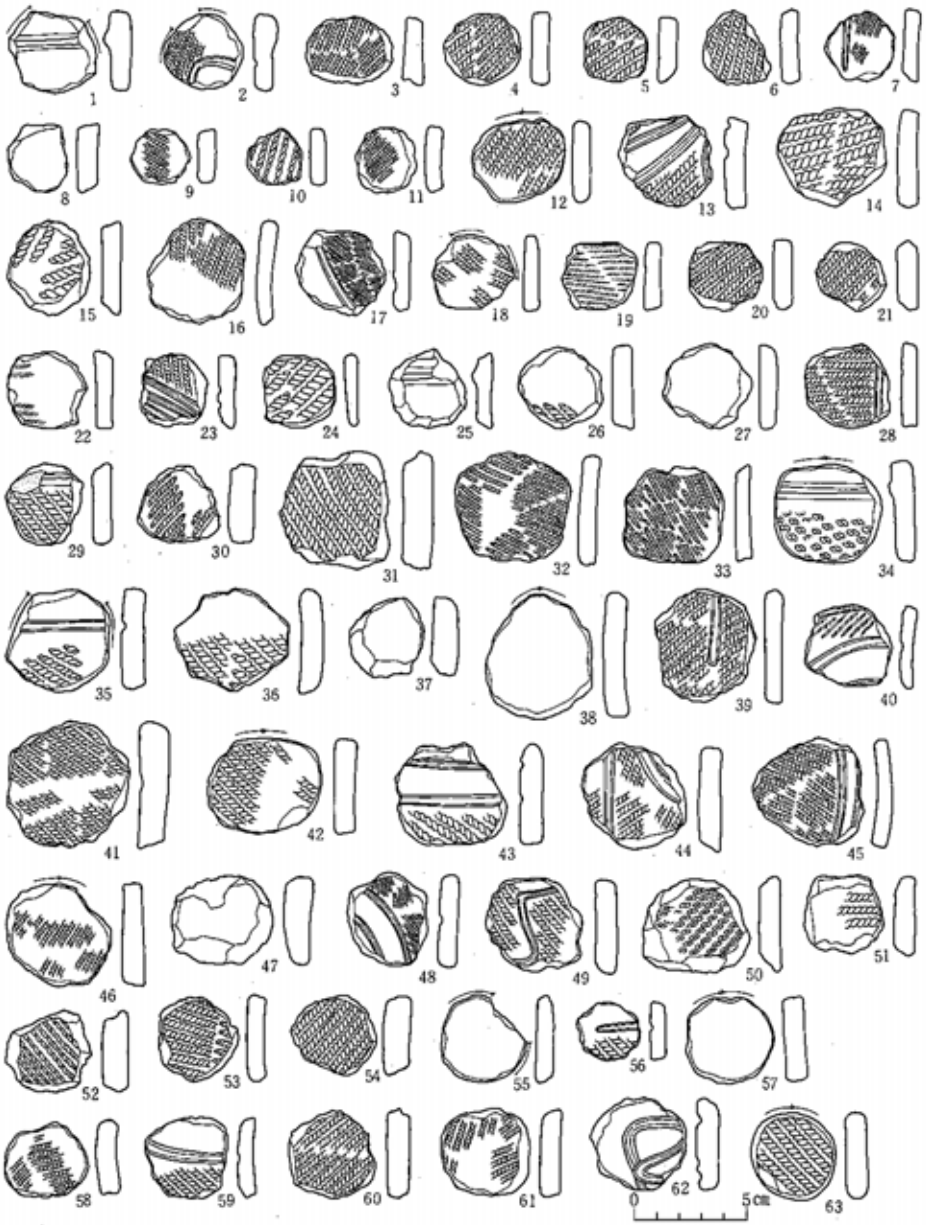
番号	地区・層位	番号	地区・層位	番号	地区・層位	番号	地区・層位	番号	地区・層位	番号	地区・層位
1	GO54区 第3b・c層	12	GN55区 第3c層	24	GN51区 第3層	36	GN53区 第3層	48	GM51区 第3層		
2	GO54区 第3b層	13	GN57区 第3c層	25	GM55区 第3層	37	GN55区 第3a層	49	GM55区 第3c層		
3	GO54区 第3c層	14	GO54区 第3c層	26	GK51区 第2層	38	GL51区 第3層	50	GN55区 第3層		
4	GL54区 第3b層	15	GO53区 第2層	27	GM51区 第3層	39	GN55区 第3c層	51	GN52区 第2層		
5	GN55区 第3層	16	GO53区 第2層	28	GM51区 第3層	40	GJ56区 第2層	52	GM51区 第3d層		
6	GK56区 第2層	17	GN56区 第3層	29	GN55区 第3c層	41	GL54区 第3d層	53	GM57区 第2層		
7	GL55区 第3層	18	GM51区 第3層	30	GL56区 第3b層	42	GM52区 第2層	54	GM56区 第2層		
8	GJ56区 第3層	19	GN56区 第3a・b層	31	GM54区 第3c層	43	GJ56区 第3層	55	GM55区 第3c層		
9	GN56区 第3c層	20	GH55区 第3d層	32	GJ57区 第2層	44	GL56区 第3層	56	GM54区 第3層		
10	GO54区 第3c層	21	GL54区 第2層	33	GN56区 第3b・c層	45	GM53区 第3a層	57	GM55区 第3c層		
11	GM51区 第3層	22	GM51区 第3層	34	GM55区 第3層	46	GO55区 第2層	58	GM55区 第3層		
		23	GN55区 第3a・b層	35	GN53区 第3a層	47	GM52区 第2層				

第333図　円盤状土製品



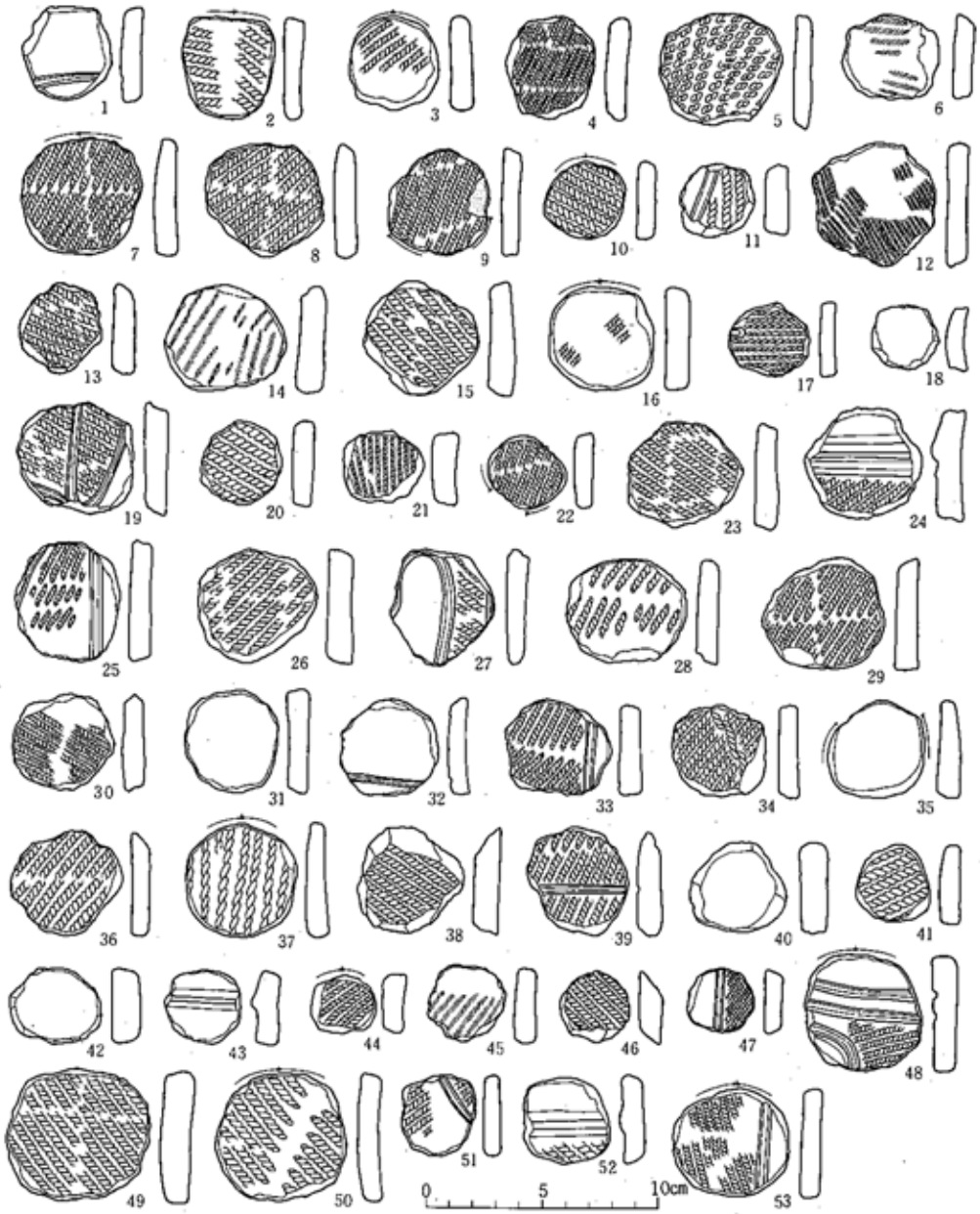
番号	地区・層位	11	GN52区 第3層	22	GM51区 第2層	33	GI56区 第2層	44	GH56区 第3d層
1	IG52区 第2層	12	GM53区 第2層	23	GN55区 第3a・b層	34	GM51区 第3d層	45	GL51区 第3層
2	GM55区 第3c層	13	IG55区 第2層	24	GM51区 第3層	35	GN52区 第2層	46	GL56区 第3c層
3	GN51区 第3層	14	GM51区 第2層	25	GL54区 第3層	36	GN52区 第2層	47	GM56区 第3d層
4	GL51区 第3c層	15	GL54区 第3d層	26	GN56区 第3b・c層	37	GM56区 第3c層	48	GN55区 第3層
5	GN54区 第2層	16	GM54区 第2層	27	GM56区 第3a層	38	GH55区 第3d層	49	IH53区 第2層
6	GN56区 第2層	17	GM52区 第2層	28	GM56区 第3a層	39	GN52区 第3b・c層	50	GN55区 第3b・c層
7	GK57区 第2層	18	GN55区 第3層	29	GM56区 第2層	40	GM51区 第3層	51	GL51区 第3層
8	IG51区 第3層	19	GM51区 第3層	30	GN55区 第2層	41	GN55区 第2層	52	GH56区 第3d層
9	GK51区 第2層	20	GM51区 第3層	31	GN56区 第2層	42	IH51区 第2層	53	GN55区 第3c層
10	GN55区 第3層	21	GN52区 第3層	32	GL55区 第3b層	43	GL56区 第3c層	54	GH55区 第3層

第334図　円盤状土製品



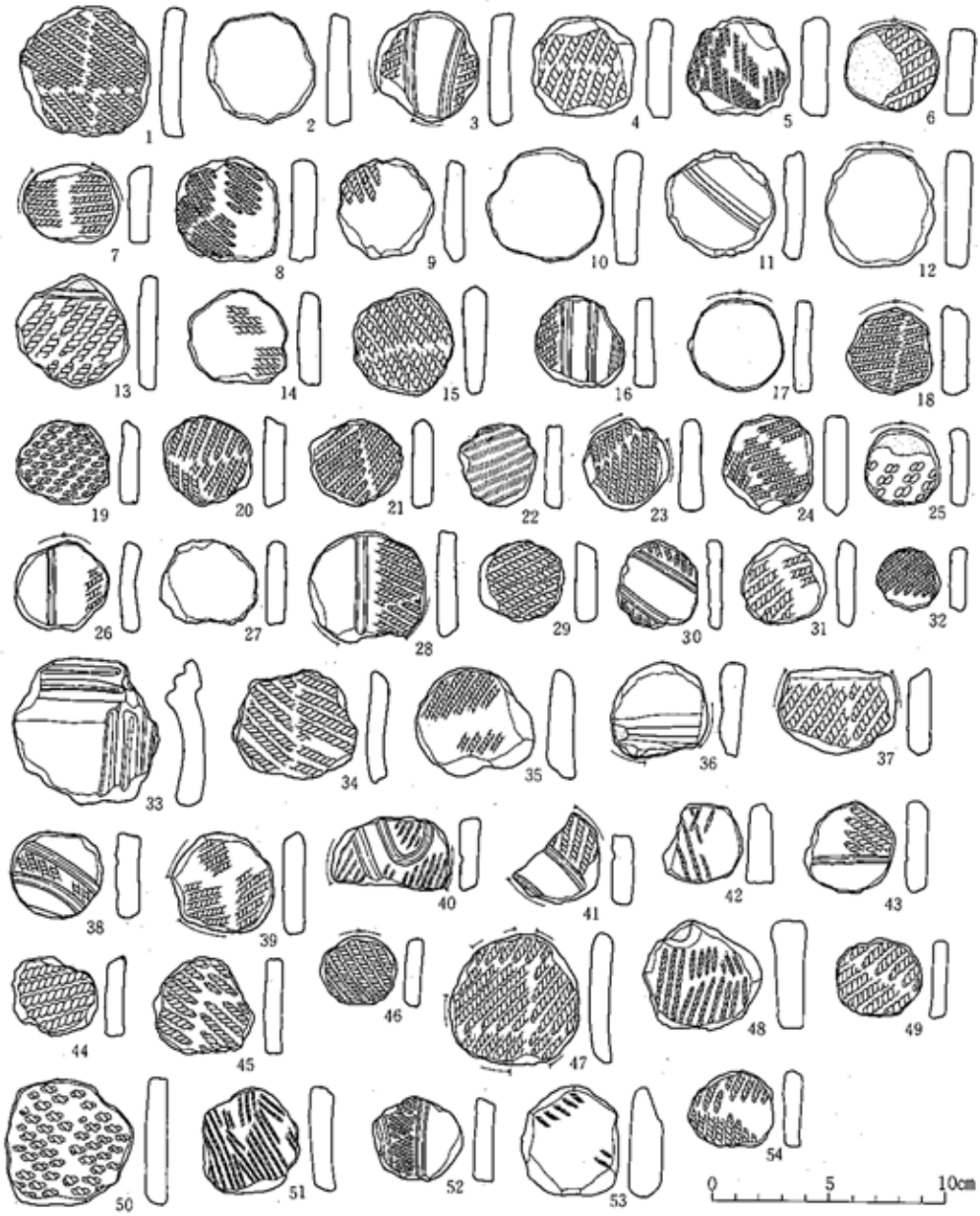
番号	地区・層位	13	G N55区　第3c層	26	I H53区　第2層	39	I G52区　第2層	52	G N55区　第3c層
1	G N56区　第3b・c層	14	I G55区　第2層	27	G H54区　第2層	40	G L57区　第3層	53	G P50区　第3層
2	G M54区　第3層	15	I G51区　第3層	28	G P50区　第2層	41	G L54区　第3層	54	G H57区　第3層
3	G M51区　第3層	16	I G53区　第2層	29	I G52区　第2層	42	G K57区　第3層	55	I H56区　第2層
4	G P55区　第2層	17	G M54区　第3a層	30	G N54区　第3a層	43	G H57区　第2層	56	G L57区　第3層
5	G N55区　第3層	18	I G52区　第2層	31	G P50区　第2層	44	G K57区　第2層	57	G L57区　第3層
6	G M55区　第2層	19	I H53区　第2層	32	G I55区　第3d層	45	G I50区　第3層	58	G I57区　第2層
7	G N55区　第2層	20	G N54区　第3a層	33	G P50区　第3層	46	G I56区　第2層	59	G P52区　第2層
8	G H56区　第3d層	21	G L55区　第3d層	34	I H52区　第2層	47	G L57区　第3層	60	G H57区　第2層
9	G M51区　第3層	22	I G52区　第2層	35	I H54区　第2層	48	G J55区　第3a層	61	G L55区　第3d層
10	G M55区　第2層	23	G P50区　第3層	36	G P50区　第2層	49	G L57区　第3層	62	G H57区　第2層
11	I H53区　第2層	24	I H50区　第2層	37	G I55区　第3d層	50	G H55区　第3d層	63	G I56区　第2層
12	I H54区　第2層	25	G N53区　第3c層	38	I G55区　第2層	51	G L57区　第3層		

第335図　円盤状土製品



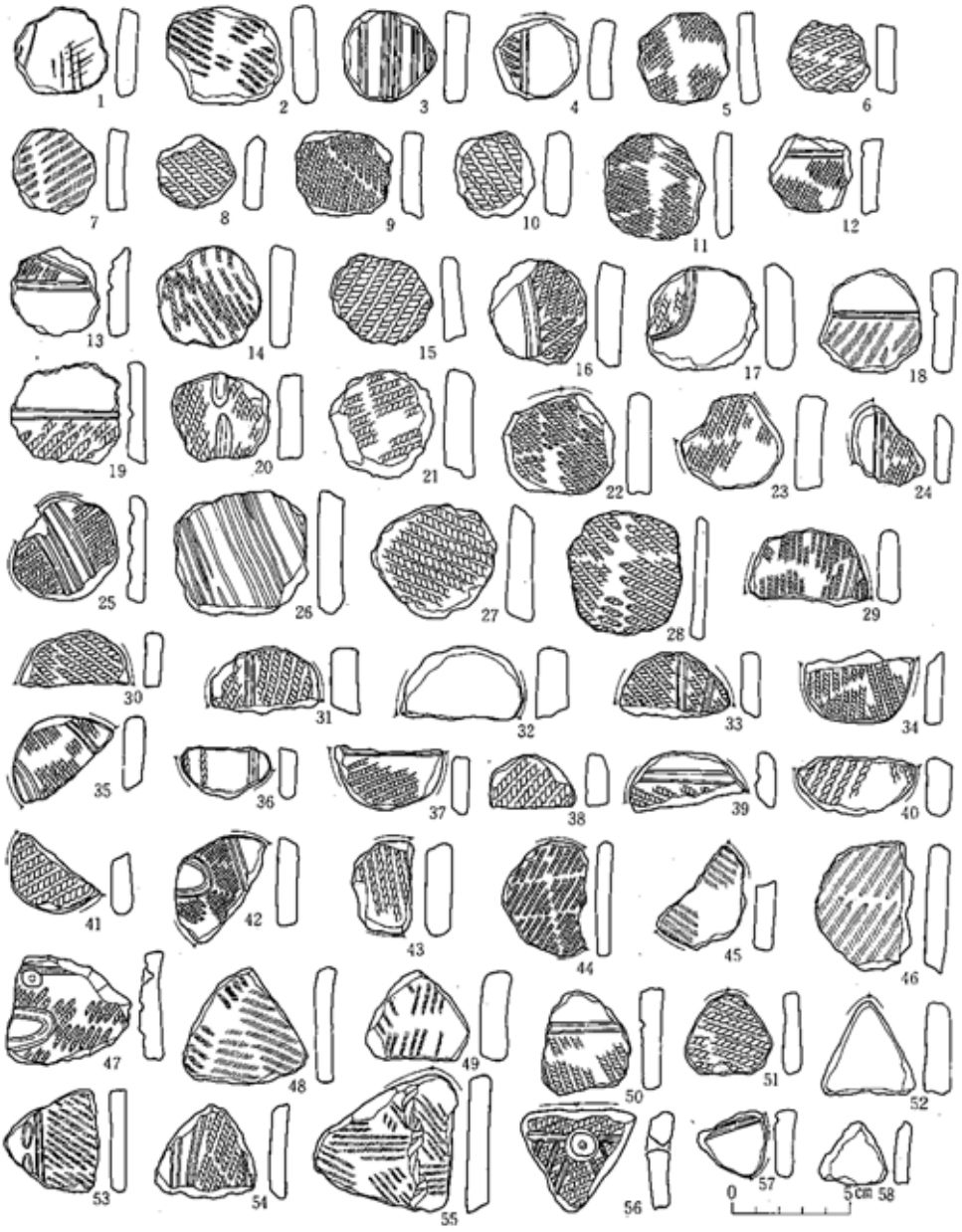
番号	地区・層位										
1	G I 56区 第3層	11	G O 52区 第2層	22	G L 57区 第2層	33	G I 57区 第3層	44	G O 55区 第3層
2	G H 57区 第3 d層	12	G I 57区 第3層	23	G O 52区 第3層	34	G L 57区 第3層	45	G O 54区 第3 c層
3	G K 57区 第3 d層	13	G N 55区 第3 c層	24	G O 55区 第3 b層	35	G O 56区 第3 d層	46	I H 54区 第2層
4	G I 57区 第2層	14	G P 55区 第2層	25	G L 57区 第2層	36	G N 52区 第2層	47	G J 57区 第3 d層
5	G P 50区 第3層	15	G M 56区 第3層	26	G O 52区 第2層	37	G I 57区 第2層	48	I G 51区 第3層
6	G N 54区 第3 b層	16	G K 56区 第3層	27	G I 57区 第3層	38	G I 56区 第3 d層	49	I G 54区 第2層
7	G M 54区 第3層	17	G L 56区 第3 c層	28	G I 56区 第2層	39	G L 56区 第3 b層	50	G I 56区 第2層
8	G I 57区 第3層	18	G O 55区 第3層	29	G K 53区 第2層	40	G I 57区 第2層	51	G I 57区 第2層
9	G K 56区 第2層	19	G I 57区 第3層	30	G L 57区 第2層	41	G H 57区 第2層	52	J G 53区 第2層
10	G O 54区 第3 c層	20	G L 57区 第2層	31	G O 55区 第3層	42	G I 57区 第2層	53	I H 54区 第2層
		21	G J 57区 第3層	32	G O 55区 第2層	43	G I 56区 第2層		

第336図　円盤状土製品



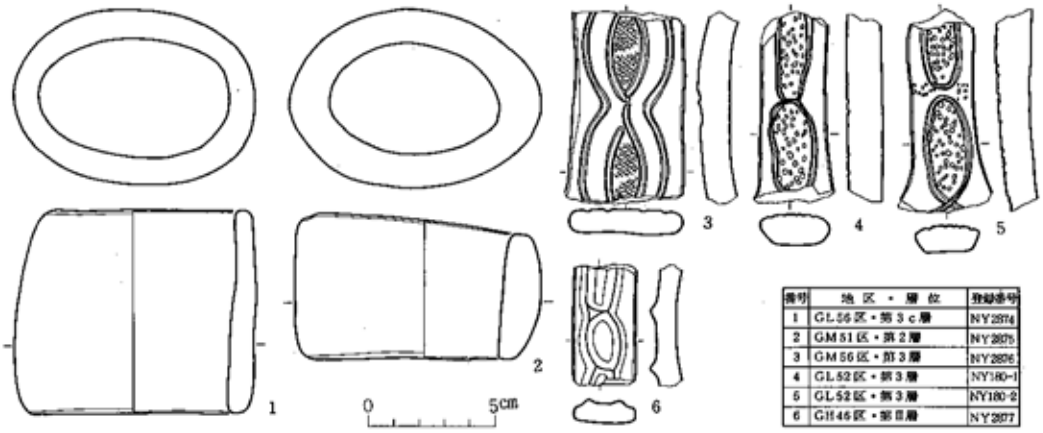
番号	地区・層位	11	G L 57区 第3層	22	G K 53区 第2層	33	G O 52区 第3 b 層	44	G M 51区 第3層
1	G I 56区 第2層	12	G J 56区 第2層	23	G L 51区 第3層	34	G I 55区 第3 d 層	45	G M 55区 第3層
2	G I 57区 第3層	13	G O 52区 第3層	24	G I 55区 第3 d 層	35	G I 55区 第3 d 層	46	G N 52区 第2層
3	G H 56区 第2層	14	G J 57区 第3 d 層	25	I G 54区 第2層	36	I H 55区 第2層	47	G K 56区 第2層
4	G L 57区 第3層	15	I H 54区 第2層	26	I H 54区 第2層	37	G N 55区 第3 c 層	48	G M 55区 第3 b・c 層
5	G I 55区 第3 d 層	16	G K 53区 第2層	27	G I 56区 第2層	38	G J 56区 第3 d 層	49	G O 54区 第3 d 層
6	G N 54区 第3 b 層	17	G K 53区 第2層	28	G J 56区 第3 d 層	39	G J 56区 第3 d 層	50	G O 52区 第3層
7	G J 57区 第3層	18	G K 53区 第2層	29	G L 57区 第3層	40	G N 56区 第3 b 層	51	G M 53区 第2層
8	I G 52区 第2層	19	G I 57区 第3 d 層	30	G I 57区 第3層	41	G N 56区 第3 a 層	52	G M 51区 第2層
9	G I 57区 第2層	20	G K 57区 第3層	31	G M 54区 第3 b 層	42	G O 55区 第3 c 層	53	G L 56区 第3層
10	G L 57区 第3層	21	I G 54区 第2層	32	G J 56区 第3 d 層	43	G L 52区 第2層	54	G N 54区 第3 a 層

第337図　円盤状土製品



番号	地区・層位	12	G L 56区　第3層	24	G N 53区　第2層	36	G M 57区　第3層	48	G N 55区　第3 c 層
1	G H 55区　第3 d 層	13	G N 55区　第3層	25	G N 55区　第3 a 層	37	G M 57区　第2層	49	G L 55区　第3層
2	G O 55区　第3層	14	G M 54区　第3 c 層	26	I G 52区　第2層	38	G O 50区　第3 b 層	50	I H 57区　第2層
3	G M 56区　第3 d 層	15	G M 52区　第2層	27	G K 57区　第2層	39	I H 54区　第2層	51	G L 55区　第3 c 層
4	G M 56区　第2層	16	G N 51区　第3層	28	G M 56区　第2層	40	G M 51区　第3層	52	G H 55区　第2層
5	G J 56区　第2層	17	G L 51区　第3層	29	G M 53区　第3 c 層	41	G O 54区　第2層	53	G N 53区　第2層
6	G L 56区　第3 d 層	18	G M 55区　第2・3層	30	G O 51区　第2層	42	G M 52区　第2層	54	G N 55区　第3 c 層
7	G N 55区　第3 c 層	19	G M 52区　第2層	31	G N 55区　第3 c 層	43	G P 52区　第2層	55	G M 54区　第3 c 層
8	G N 55区　第3 c 層	20	G O 55区　第2層	32	G I 56区　第2層	44	G N 56区　第3 d 層	56	G K 53区　第2層
9	G L 54区　第3 b 層	21	G M 51区　第3層	33	G O 56区　第3層	45	G N 56区　第3層	57	G N 55区　第2層
10	G N 52区　第2層	22	G M 54区　第3層	34	G N 53区　第3層	46	G H 56区　第3 d 層	58	G N 55区　第2層
11	G M 54区　第2層	23	G M 54区　第3 c 層	35	G N 54区　第2層	47	G N 52区　第3層		

第338図　円盤状土製品



番号	地区・層位	登録番号
1	GL56区・第3c層	NY2874
2	GM51区・第2層	NY2875
3	GM56区・第3層	NY2876
4	GL52区・第3層	NY180-1
5	GL52区・第3層	NY180-2
6	GH46区・第Ⅲ層	NY2877

第339図　その他の土製品

径6㎝～2.5㎝幅の中に分布し、4㎝前後のものが圧倒的に多い。次にbの素材となる土器片は多くは胴部破片であるが、その他口縁部・底部破片も少量ある。これらの土器片は周縁部に敲打を加えて円形に成形しているが、中には敲打調整を加えた後さらに周縁部を丁寧に研磨しているものもある。このような、円盤状土製品には文様をもつもの、地文のもの、無文のものがあるがそのいずれかに集中することはない。これらの円盤状土製品の多くは本遺跡から出土した土器（実測図・拓影図を作成した土器）と類似する。しかし、中には小さな節の撚糸文を施した円盤状土製品があるが、この撚糸文施文の土器は本遺跡ではすでに述べているようにほとんど発見されなかった。この点、本遺跡出土の土器とは相違が認められる。

なお、前述した円盤状土製品の周縁部にはアスファルト状のもの、ひもかけ用の痕跡、土器片を利用して補修した土器等は発見されなかった。

次に、遺物包含層における出土状況をみると、一定の単位でまとまって出土する状況ではなく、土器とともに廃棄された状況で出土している。

以上のように、遺物包含層を中心にその特徴を整理してみた。

次に遺物包含層から出土した円盤状土製品の年代について述べてみる。

遺物包含層から出土した円盤状土製品は出土した土器とその共伴関係から縄文時代後期前葉の時期と推定される。この以外のものは土器の出土状況により縄文時代住居跡は中期末・各地区は縄文時代中期末～後期前半と推定される。これらの円盤状土製品は遺物包含層から出土したものといずれの点においても共通しており、時期的な相違は認められなかった。時期的な製作量は既に菅生田遺跡で述べてあるように本遺跡でも同様な結果が得られた。なお、円盤状土製品については用途不明の土製品、土錘などとして報告されているものがあるが、この点、

本遺跡ではそれらの特徴を示す資料は発見されなかった。

その他の土製品（第339図）

1・2は楕円の管状を呈する。3〜6は反った板状で、4と5は同一個体と思われる。連続楕円文が施され、3は2条、4・5は1条の沈線で描かれ、3に縄文、4・5に刺突が充塡されている。6は隆線を用いている。3〜6については香炉形土器の橋梁と思われる。

15. 石 製 品

石製品には、南北二つの遺物包含層から出土したものと、それ以外の箇所（住居跡、土壙、石組遺構等）から出土したものとがある。種類としては、石鏃、石錐、石匙、石篦などの剥片石器、打製石斧、環状石斧、磨製石斧、石皿、敲石、磨石、凹石、石剣、異形石器、玉、石棒、石錘、円盤状石製品等がある。各々の分類は、遺物包含層出土のもの（以下包含層のものと略す）と、それ以外の箇所から出土したもの（以下包含層以外のものと略す）に分けて行ったが、両者は概ね一致した。

石鏃（第 340 図～第 341 図）

包含層のもの（第 340 図）

基部形態から三類に分類した。

第 1 類：無茎で抉りのあるもの（第 340 図 1～11）

1～6 は、尖頭部側縁が外弯する。7・8 は、長い尖頭部を持ち、側縁が基部に近い所で外弯する。9・10 は、尖頭部側縁が直線的である。11 は、尖頭部側縁が内弯する。

第 2 類：無茎で抉りのないもの（第 340 図 12～18）

12～14 は、基部および尖頭部側縁が外弯し、全体として涙滴状の平面形を呈する。15 は、基部が直線的で、尖頭部側縁が基部に近い所で外弯する。16～18 は、基茎部が直線的で、尖頭部側縁が外弯する。

第 3 類：有茎のもの（第 340 図 19・20）

19 は、基茎部が明瞭で、尖頭部側縁が外弯している。20 は、基茎部が不明瞭で、全体として菱形を呈する。

包含層以外のもの（第 341 図）

分類は、包含層のものに準ずる。

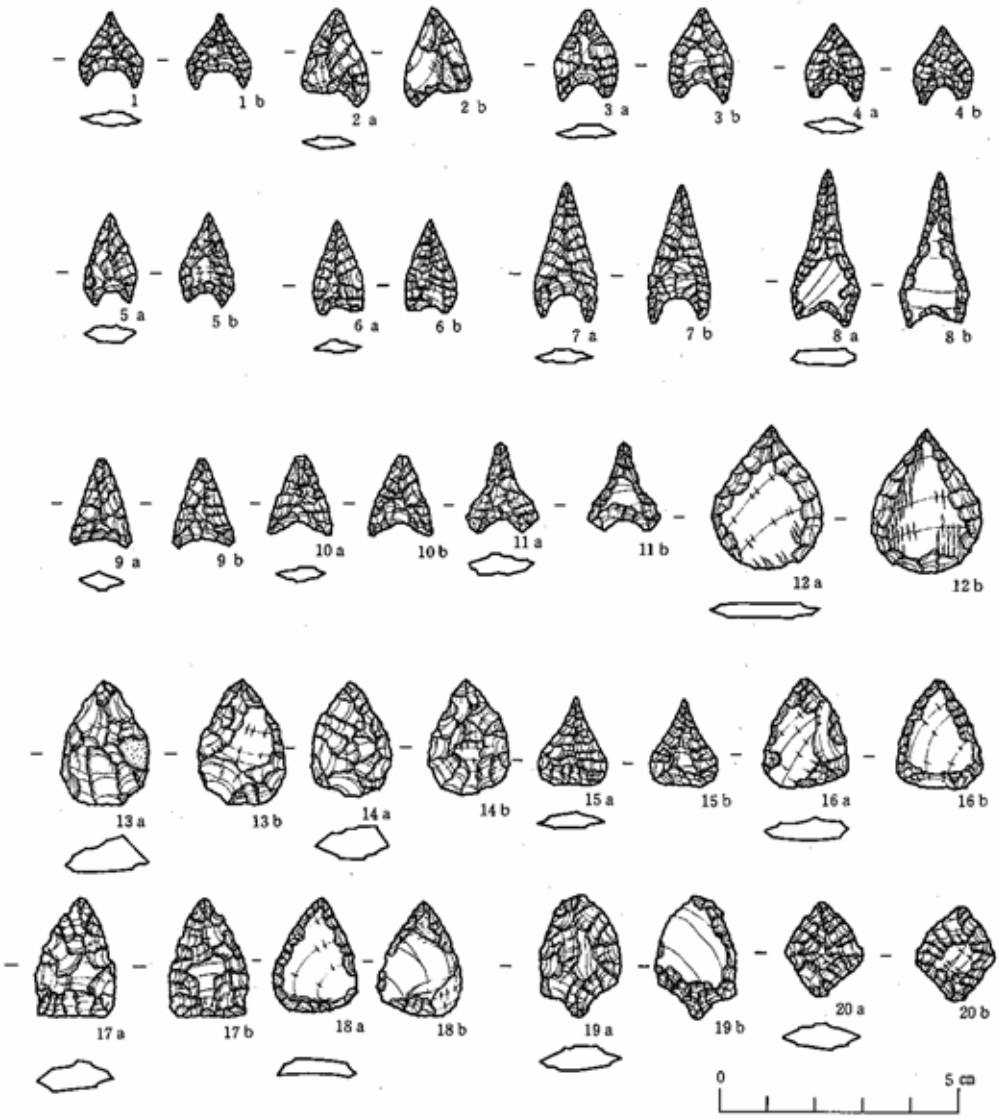
第 1 類：無茎で抉りのあるもの（第 341 図 1～6）

1～2 は、尖頭部側縁が外弯する。3 は、長い尖頭部を持ち、側縁が直線的である。4・5 は、長い尖頭部を持ち、側縁が外弯する。6 は、大形で、尖頭部側縁が直線的である。

第 2 類：無茎で抉りのないもの（第 341 図 7～10）

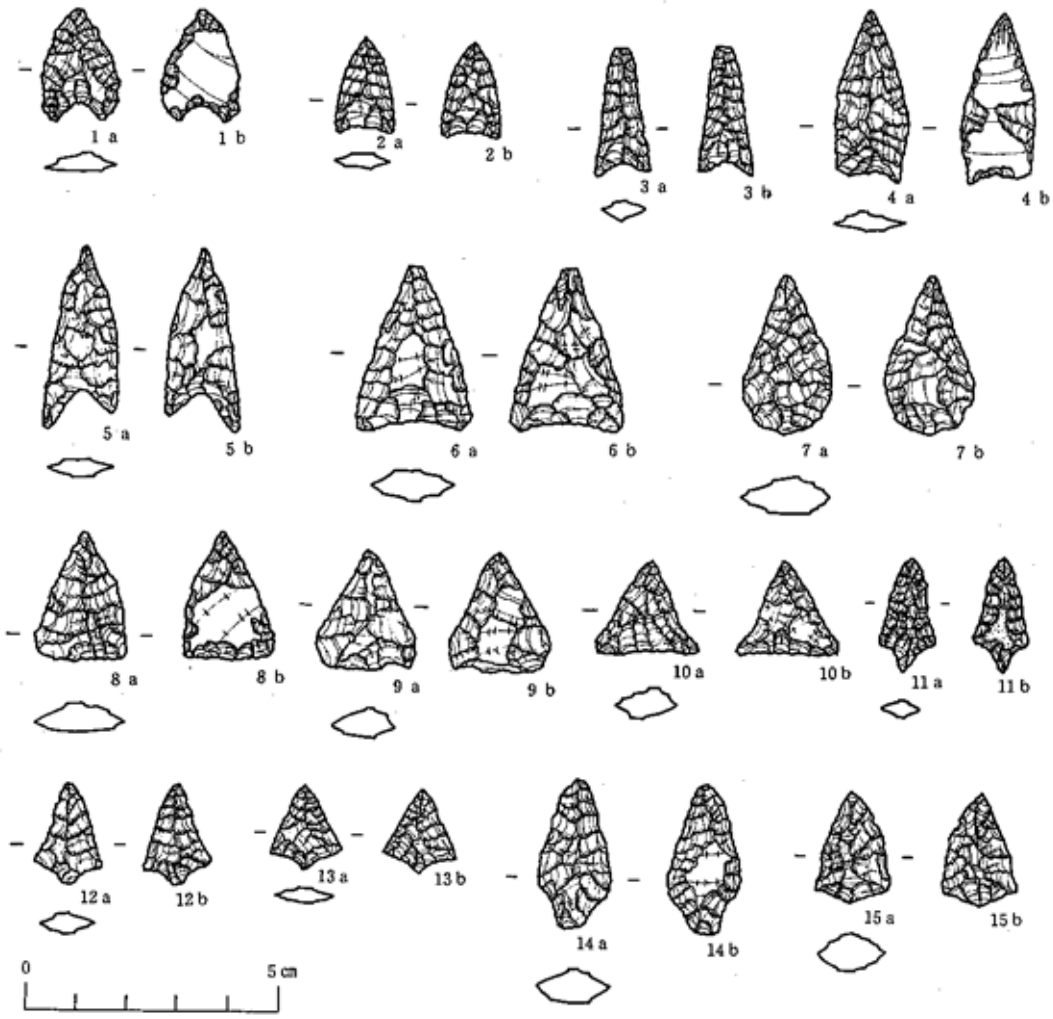
7 は、基部および尖頭部側縁が外弯し、全体として涙滴状の平面形を呈する。8～9 は、基部が直線的で、尖頭部側縁が外弯する。10 は、基部および尖頭部側縁が直線的で、全体として正三角形を呈する。

第 3 類：有茎のもの（第 341 図 11～15）



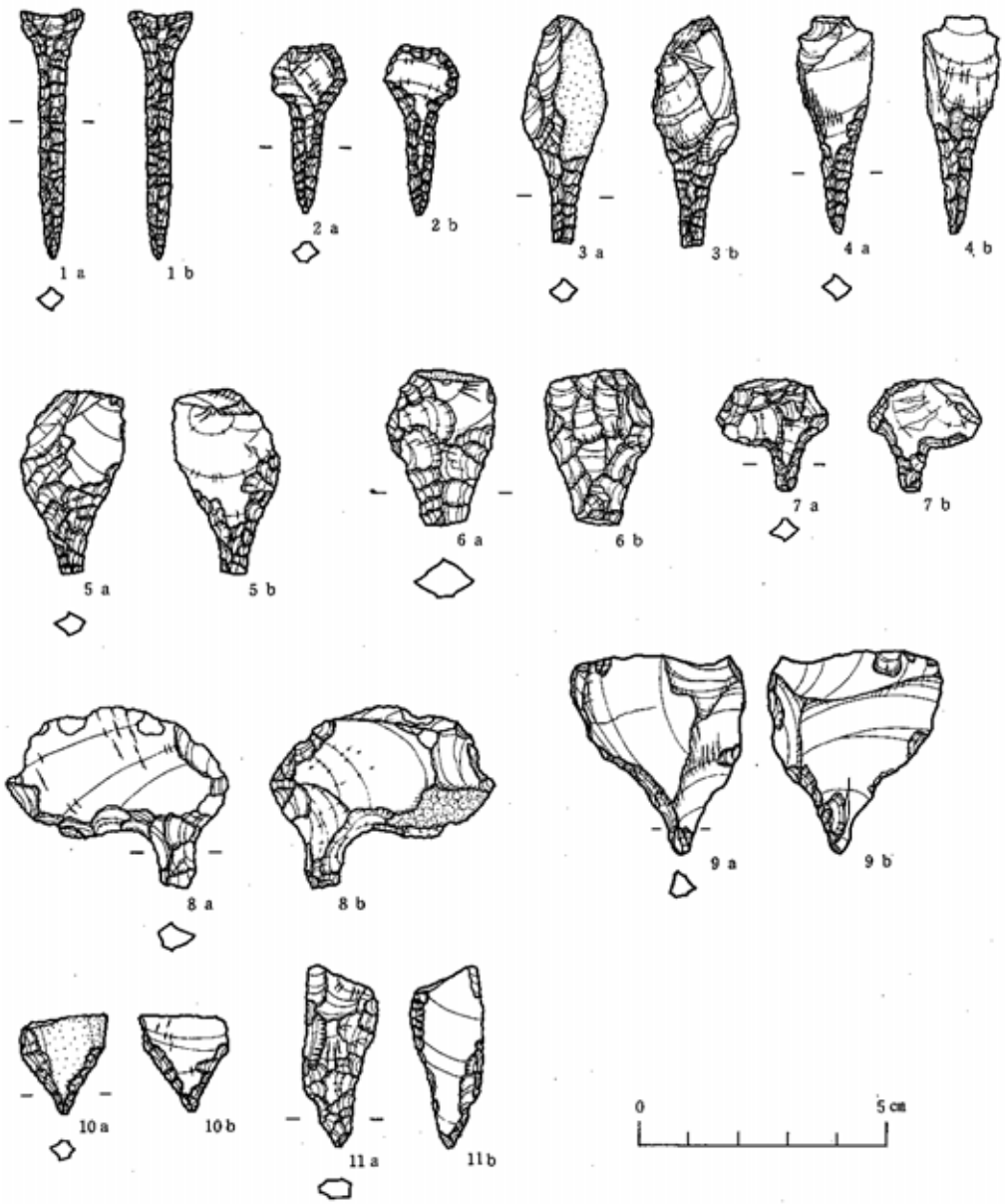
番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No.	図版
1	GN54・2層	11.8	13.2	3.0	0.3	珪質頁岩	148	184-1
2	GN52・2層	17.7	14.2	2.7	(0.7)	玉ずい	320	184-2
3	GN56・2層	15.4	13.2	2.4	0.5	珪質頁岩	2726	184-3
4	IH55・2層	12.4	12.2	2.5	0.4	珪質頁岩	93	184-4
5	IG53・2層	16.4	11.0	3.7	0.5	珪質頁岩	37	184-5
6	GK53・2層	18.2	10.7	2.4	0.5	珪化凝灰岩	2748	184-6
7	IH54・2層	23.2	13.8	2.7	0.9	珪質頁岩	54	184-7
8	IH52・2層	29.3	14.4	4.4	1.2	珪質頁岩	71	184-8
9	GJ57・3d層	16.5	12.7	4.1	0.7	珪化凝灰岩	279	184-9
10	IH54・2層	13.8	13.0	2.6	0.5	珪質頁岩	51	184-10
11	GN52・2層	16.1	15.0	4.2	0.7	珪化凝灰岩	316	184-11
12	GJ57・3d層	30.0	22.7	2.8	2.1	珪化凝灰岩	2359	184-12
13	IG53・2層	26.0	18.0	7.2	3.0	珪化凝灰岩	36	184-13
14	IH54・2層	23.5	11.8	6.7	2.5	珪化凝灰岩	58	184-14
15	GM53・2層	18.0	14.2	3.0	0.6	玉ずい	115	184-15
16	IH53・2層	23.0	18.1	5.7	1.9	珪化凝灰岩	38	184-16
17	GM55・2層	24.7	17.0	6.2	2.6	珪化凝灰岩	253	184-17
18	IH54・2層	24.2	12.3	3.8	1.9	珪化凝灰岩	325	184-18
19	GP52・2層	25.6	17.0	6.2	2.4	玉ずい	3207	184-19
20	GJ57・3層	19.3	16.0	4.4	1.1	玉ずい	278	184-20

第340図　石　　鏃（1）



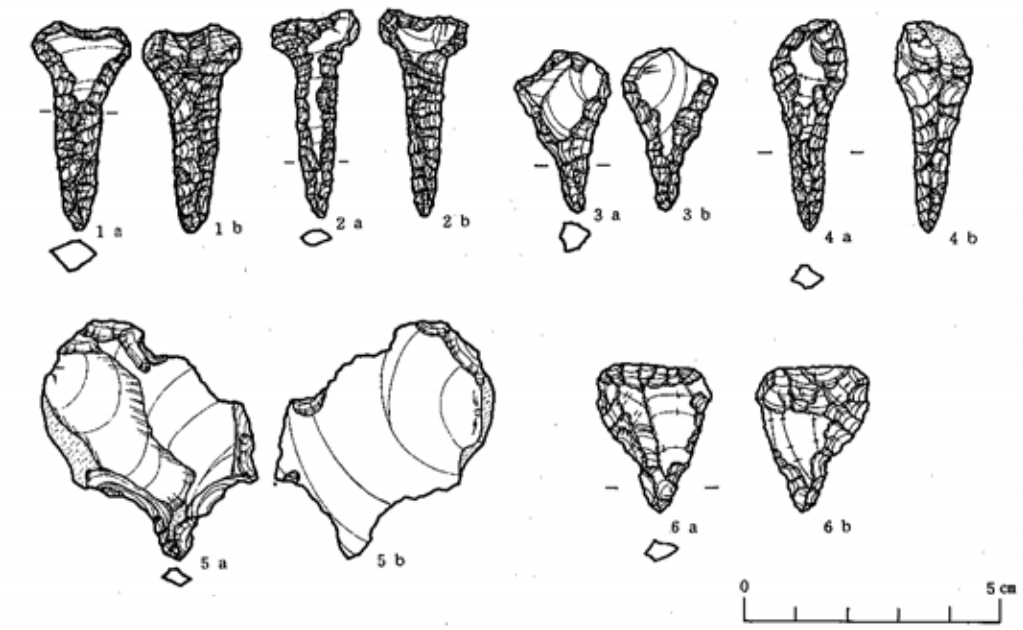
番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	整理No.	図版
1	GN45・Ⅱ層	28.5	15.0	2.8	0.9	珪質頁岩	311	184-21
2	HC46・Ⅲ層	18.0	11.5	2.3	0.4	珪質頁岩	318	184-22
3	HK52・Ⅱ層	(22.6)	11.8	4.0	(0.9)	珪化凝灰岩	27	184-23
4	3号住居跡	32.2	14.4	3.5	1.6	珪質頁岩	31	184-24
5	HE45・Ⅱ層	28.3	14.2	8.0	1.5	珪質頁岩	10	184-25
6	GO45・Ⅲ層	(30.5)	22.4	5.8	(3.5)	珪化凝灰岩	182	184-26
7	3号配石下・3層	31.3	17.4	7.4	2.9	珪化凝灰岩	3206	184-27
8	GR53・Ⅲ層	25.0	8.4	8.9	2.0	珪化凝灰岩	2098	184-28
9	3号配石下・4層	23.8	19.8	6.3	1.9	珪化凝灰岩	3200	184-29
10	HJ54・Ⅲ層	20.2	17.8	5.6	1.3	珪化凝灰岩	26	184-30
11	IH47・Ⅲ層	22.2	10.8	3.1	0.7	玉ずい	3219	184-31
12	HI54・Ⅲ層	19.8	13.2	3.8	0.6	玉ずい	4	184-32
13	HA46・Ⅲ層	16.3	14.2	2.3	0.4	玉ずい	9	184-33
14	HL45・Ⅲ層	29.3	14.5	6.2	2.5	珪化凝灰岩	3201	184-34
15	GS54・Ⅲ層	21.9	14.6	7.1	1.7	玉ずい	2083	184-35

第341図　石　　鏃（2）



番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No	図版
1	GJ56・3d層	50.2	13.0	4.3	1.5	珪質頁岩	3199	184-35
2	GO54・2層	34.5	15.3	4.2	1.4	珪質頁岩	294	184-37
3	GN54・3c層	(47.2)	17.0	9.5	(5.1)	珪質頁岩	331	184-38
4	GI57・2層	44.6	15.2	5.8	2.5	珪質頁岩	157	184-39
5	GKS3・2層	(37.5)	20.8	9.2	(5.7)	珪化凝灰岩	2745	184-40
6	IH52・2層	(31.6)	21.7	9.0	(7.1)	珪質頁岩	3195	184-41
7	GN54・2層	(22.6)	22.8	5.6	(2.6)	玉ずい	149	184-43
8	GM52・2層	(32.8)	45.2	8.5	(14.0)	珪質頁岩	3196	184-42
9	IGS3・2層	(41.5)	35.3	9.8	(10.4)	珪化凝灰岩	2698	184-45
10	GK57・3d層	19.5	18.0	5.8	1.9	珪質頁岩	2800	184-44
11	GN56・3a層	36.3	15.0	9.0	5.2	珪化凝灰岩	1547	184-46

第342図　石　　錐（1）



番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No.	図版
1	GS51・Ⅱ層	41.7	18.9	5.4	3.6	珪質頁岩	2651	184-47
2	HE47・Ⅱ層	41.7	16.7	3.7	1.6	珪質頁岩	272	184-48
3	HK52・Ⅱ層	34.0	18.2	5.2	(2.8)	珪質頁岩	2408	184-49
4	3号配石下・4層	44.5	15.0	8.0	4.2	珪質頁岩	3198	184-50
5	GS54・表土	58.0	39.3	8.3	17.7	珪化凝灰岩	2065	184-51
6	6号住居跡	31.2	22.2	8.5	4.3	珪化凝灰岩	2480	184-52

第343図　石　　錐（2）

11～13 は、基茎部が明瞭で、尖頭部側縁が直線的である。14・15 は、基茎部が不明瞭で、尖頭部側縁が外弯している。

石錐（第 342 図、第 343 図）

包含層のもの（第 342 図）

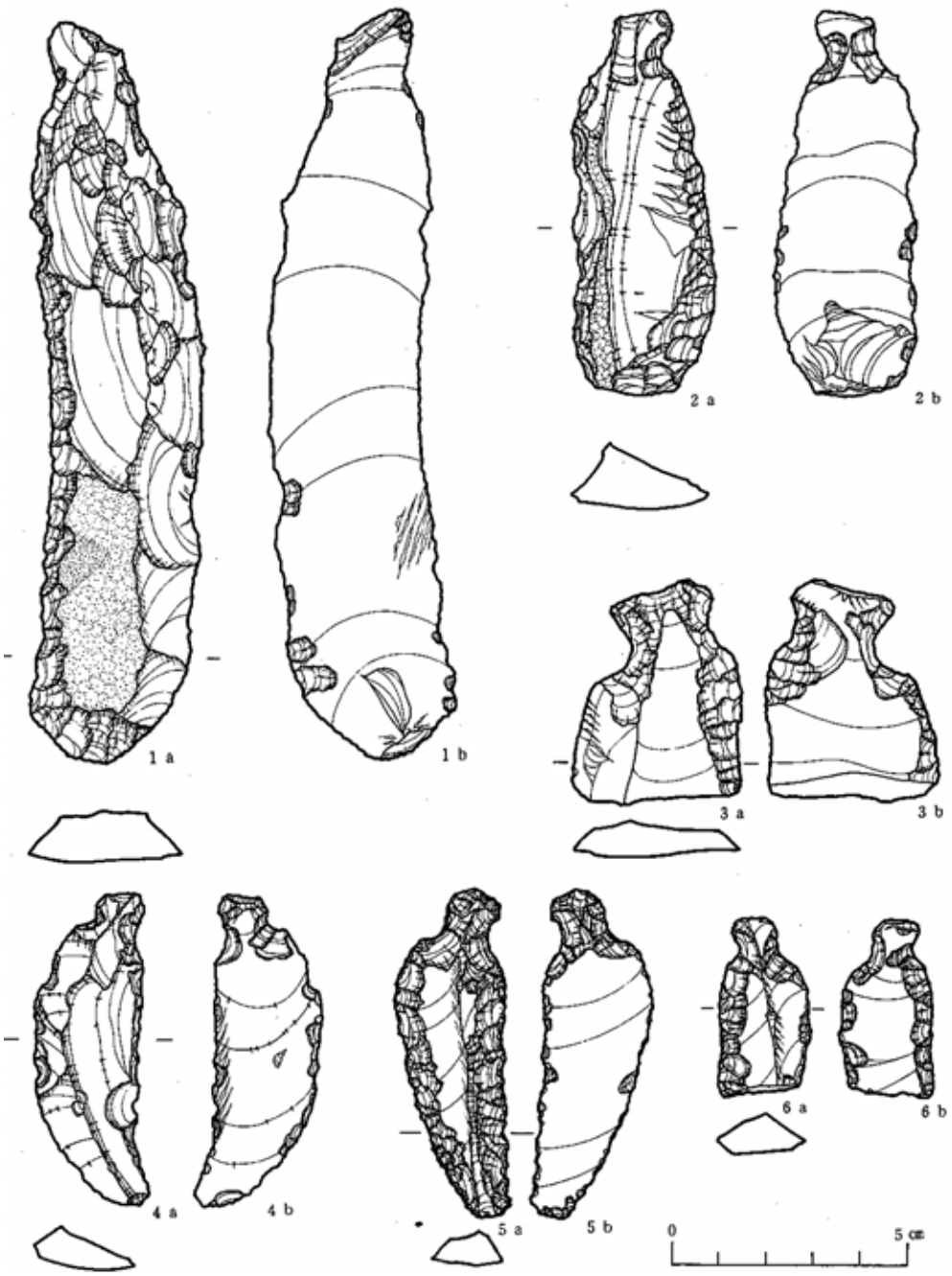
1・2 は、つまみ部と錐部の境界が明瞭で、つまみ部に丁寧な調整剥離が施されている。

3～5 は、つまみ部と錐部の境界が明瞭であるが、つまみ部の調整は粗雑である。

6 は、つまみ部と錐部の境界が不明瞭であるが、つまみ部には丁寧な調整剥離が施されている。

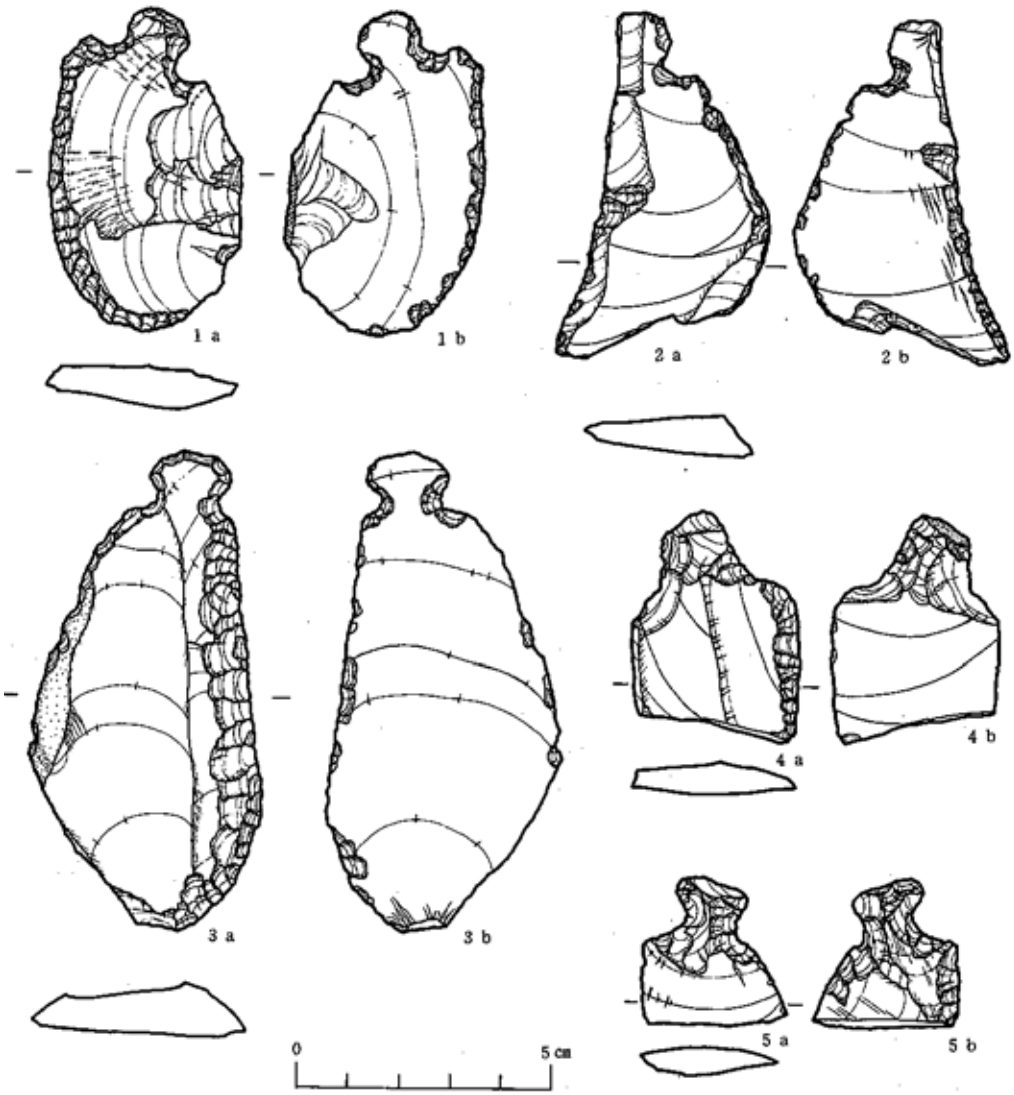
7～9 は、つまみ部と錐部の境界が明瞭であり、横長のつまみ部を持つ。つまみ部の調整は粗雑である。

10・11 は、つまみ部と錐部の境界が不明瞭で、全体的に調整が粗雑である。



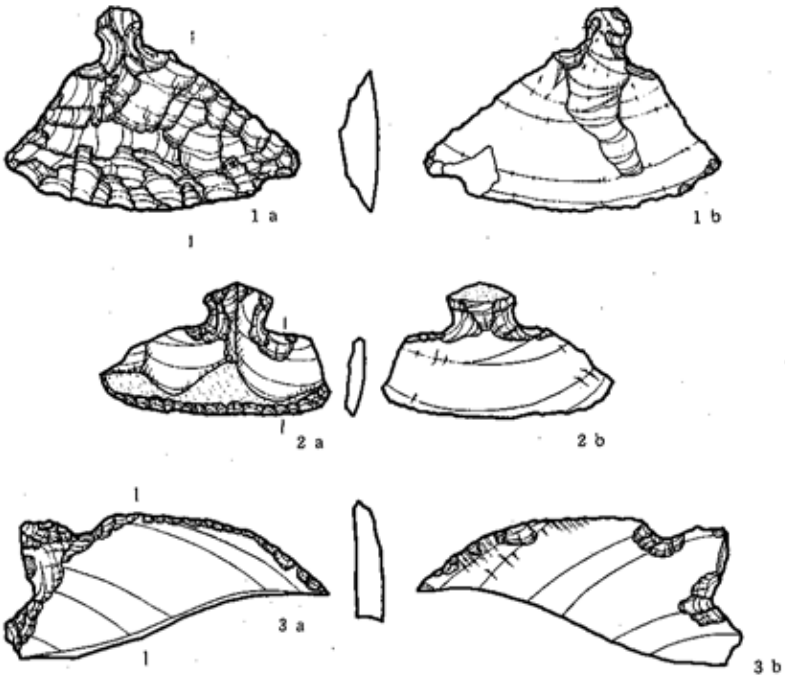
番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No.	図版
1	GO56・3層	159.9	33.0	25.0	128.3	珪質頁岩	192	185-1
2	IH51・2層	82.6	30.5	15.0	36.5	珪質頁岩	1022	185-2
3	GM56・3c 層	(46.3)	35.7	9.5	(18.2)	珪質頁岩	209	184-55
4	IG54・2層	67.4	23.6	8.6	13.5	珪化凝灰岩	3193	184-53
5	GO53・2層	70.3	22.7	8.3	13.6	珪化凝灰岩	181	184-54
6	GN53・2層	(37.4)	19.4	5.8	(6.3)	珪化凝灰岩	3216	185-7

第344図　石　　匙（1）

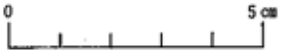


番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No.	図版
1	GK57・2層	65.0	38.8	8.0	19.8	珪質頁岩	184	185-3
2	GM55・2層	69.6	34.4	6.3	15.1	珪質頁岩	1640	185-4
3	GM51・3a層	95.2	45.5	9.8	47.5	珪質頁岩	1261	185-10
4	GM53・2層	(46.0)	32.6	9.3	(13.3)	珪質頁岩	116	185-5
5	GN51・3層	(29.1)	27.7	8.0	(5.6)	珪化凝灰岩	2104	185-6

第345図　石　　匙（2）



番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No.	図版
1	GO56・3c層	41.8	58.0	8.2	14.5	珪質頁岩	260	185-8
2	GM52・3層	24.4	43.3	8.3	6.0	珪化凝灰岩	2155	185-11
3	GK57・2層	(31.5)	(64.2)	5.1	(7.5)	黒色頁岩	3218	185-9



第346図　石　　匙（3）

包含層以外のもの（第 343 図）

1・2 は、つまみ部と錐部の境界が明瞭であり、つまみ部に丁寧な調整剥離が施されている。

3 は、つまみ部と錐部の境界が不明瞭であり、つまみ部の調整が粗雑である。

4 は、つまみ部と錐部の境界が不明瞭であるが、つまみ部には丁寧な調整が施されている。

5 は、つまみ部と錐部の境界が明瞭で、横長のつまみ部を持つ。つまみ部の調整は粗雑である。

6 は、つまみ部と錐部の境界が不明瞭で、全体的に調整が粗雑である。

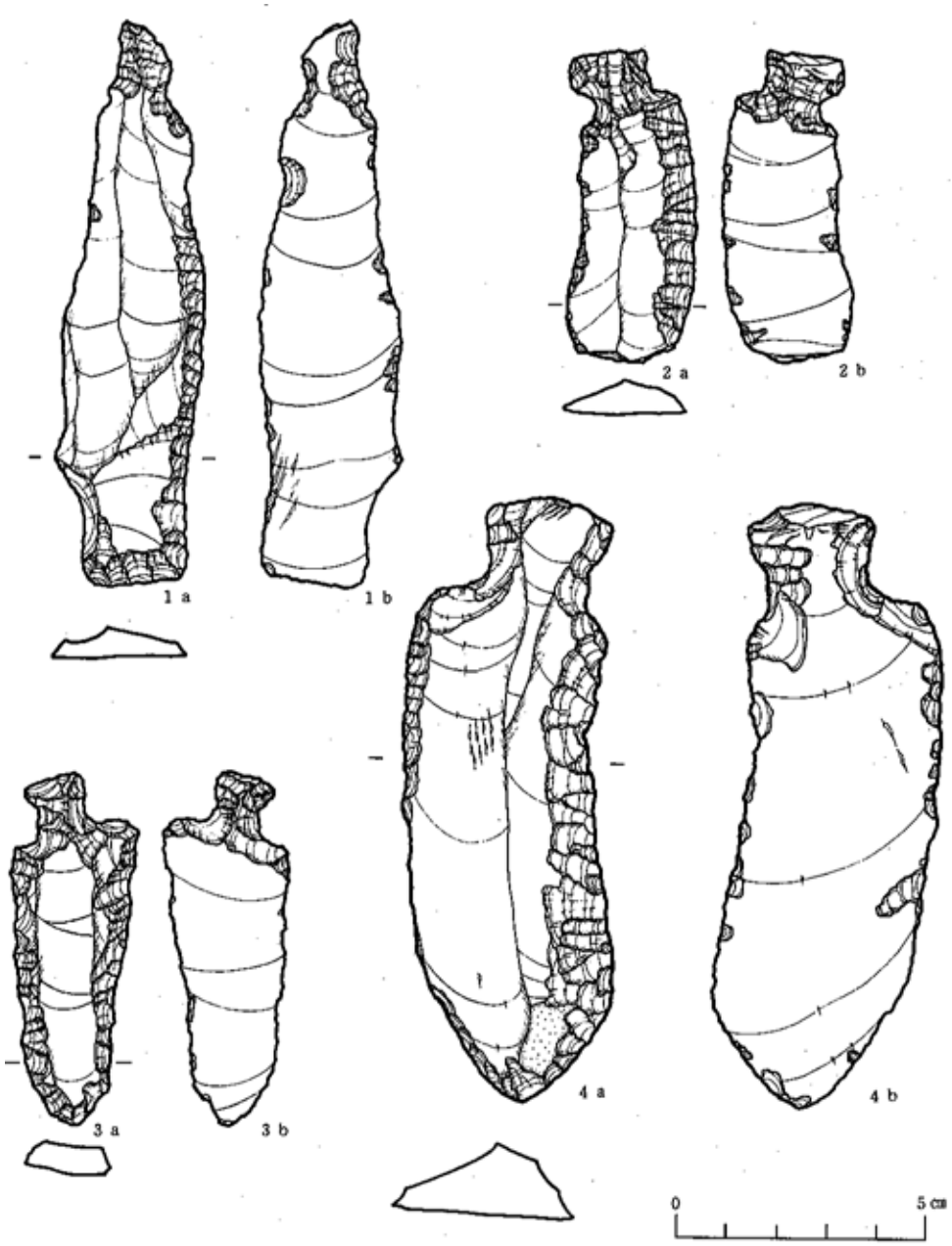
石匙（第 344 図～第 348 図）

包含層のもの（第 344 図～第 346 図）

平面の形態から、縦長のもの（第 1 類）と横長のもの（第 2 類）に分類できる。

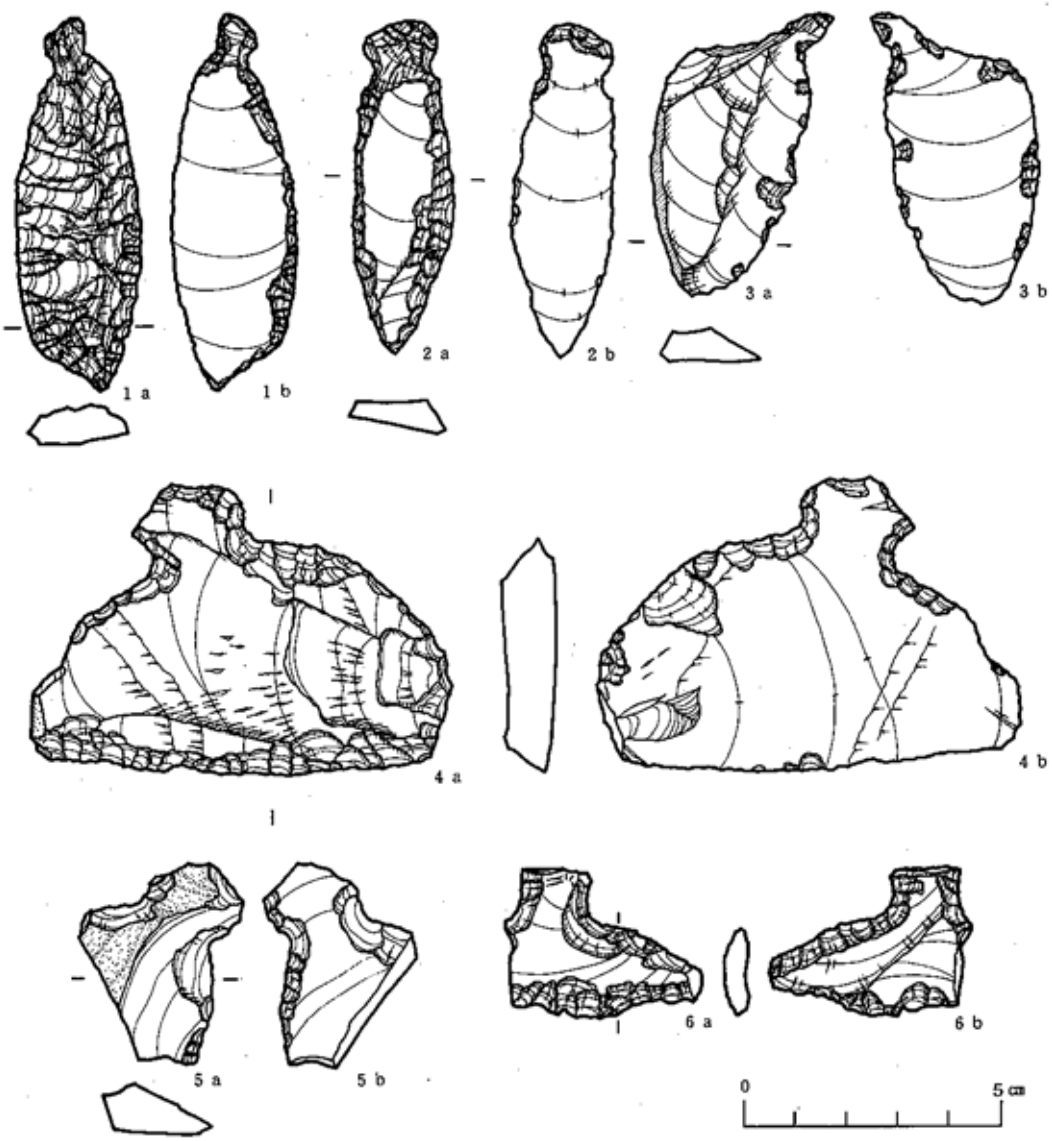
第 1 類：縦長のもの（第 344 図、第 345 図）

第 344 図 1・2 は、先端部が平坦幅広で、左右両側辺に刃部を持つ。4 は、先端部が尖っており、全体的に調整が粗雑である。5 は、先端部が平坦幅狭で、左右両側辺に、丁寧な調整剥離



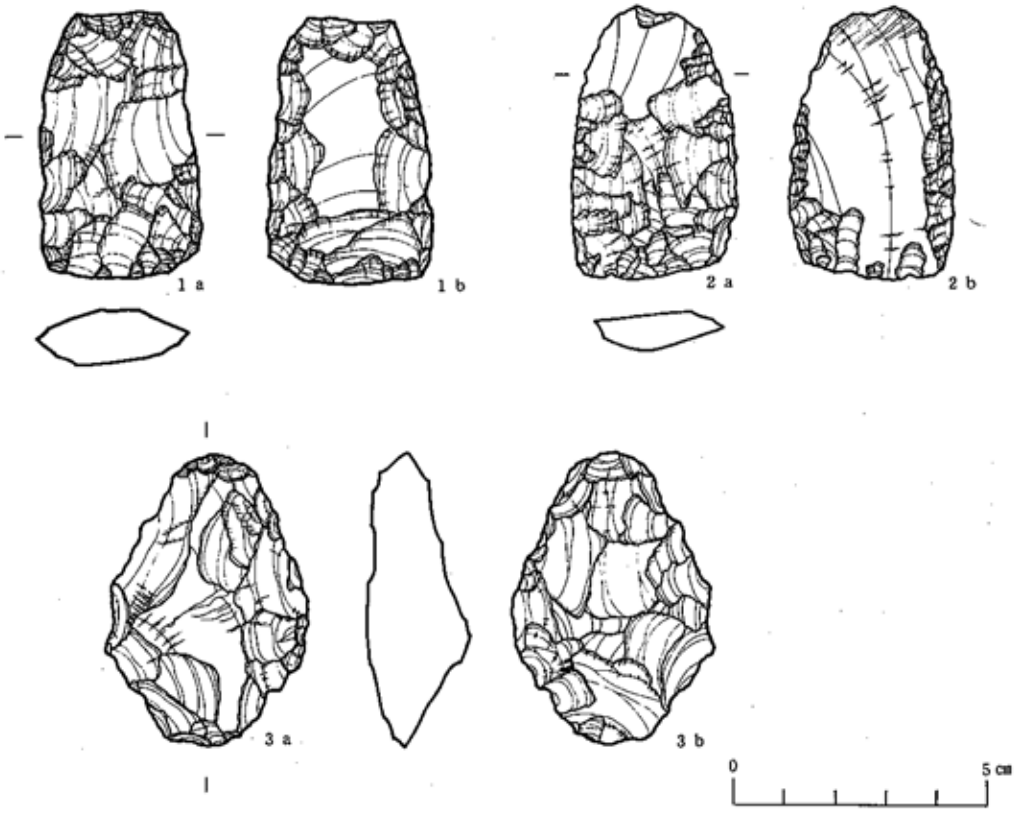
番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No.	図版
1	GM46・Ⅱ層	113.5	27.6	7.4	22.5	珪質頁岩	3215	185-12
2	IH48・Ⅱ層	62.3	24.8	8.1	15.0	珪質頁岩	3217	185-13
3	3号配石下・4層	71.0	24.7	8.0	16.1	珪質頁岩	2493	185-14
4	GQ55・Ⅱ層	123.0	40.0	15.2	84.5	珪質頁岩	270	185-15

第347図　石　　匙（4）



番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No.	図版
1	IE52・Ⅱ層	74.9	23.7	7.4	12.4	珪質頁岩	41	185-16
2	GR50・Ⅱ層	65.6	19.8	6.5	8.5	珪質頁岩	3194	185-17
3	GQ55・Ⅳ層	61.0	27.1	8.1	14.3	珪質頁岩	2203	185-19
4	H147・Ⅱ層	57.2	83.0	11.5	53.5	珪質頁岩	5	185-18
5	GS47・Ⅱ層	(33.0)	(35.9)	10.9	(10.4)	珪化凝灰岩	1905	185-20
6	HK52・Ⅱ層	26.4	(37.3)	6.7	(6.7)	珪化凝灰岩	2406	185-21

第348図　石　　匙（5）



番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No.	図版
1	GM53・2層	55.0	31.9	11.7	28.7	珪質頁岩	2245	186-1
2	GO55・3c層	56.3	31.7	11.5	24.3	珪質頁岩	267	186-2
3	IG54・2層	60.0	38.6	19.8	39.5	珪質頁岩	3188	186-3

第349図　石　　篦（1）

が施された刃部を持つ。3・6は欠損品である。

第345図1～3は、偏平な平面形を呈する。1は、左側辺から先端にかけて刃部を持ち、2・3は、左右両側辺に刃部を持つ。4・5は欠損品である。

第2類：横長のもの（第346図）

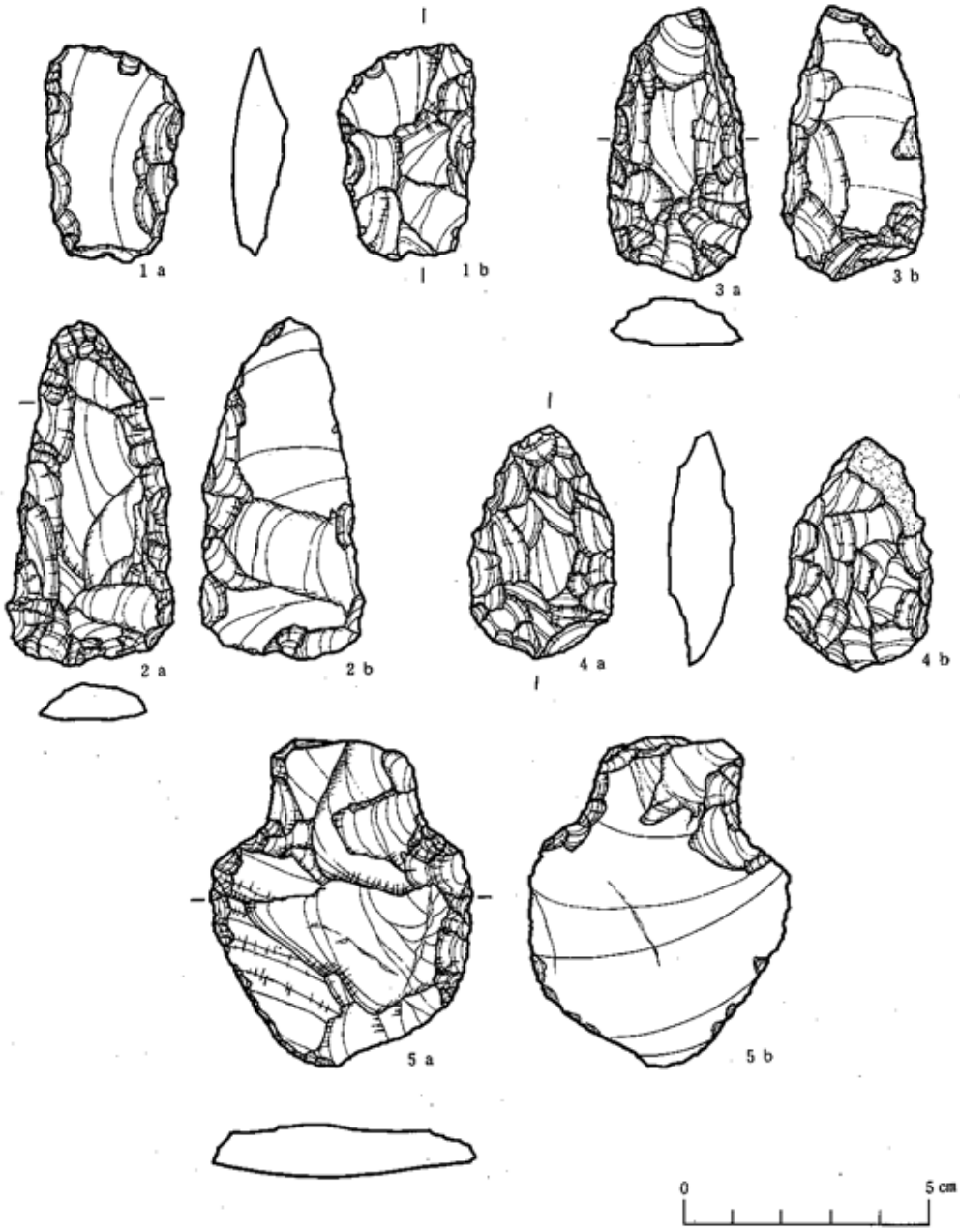
第346図1は、a面全体が丁寧に調整剥離されている。2は、刃縁を除いて調整が粗雑である。3は欠損品である。

包含層以外のもの（第347図、第348図）

分類は、包含層のものに準ずる。

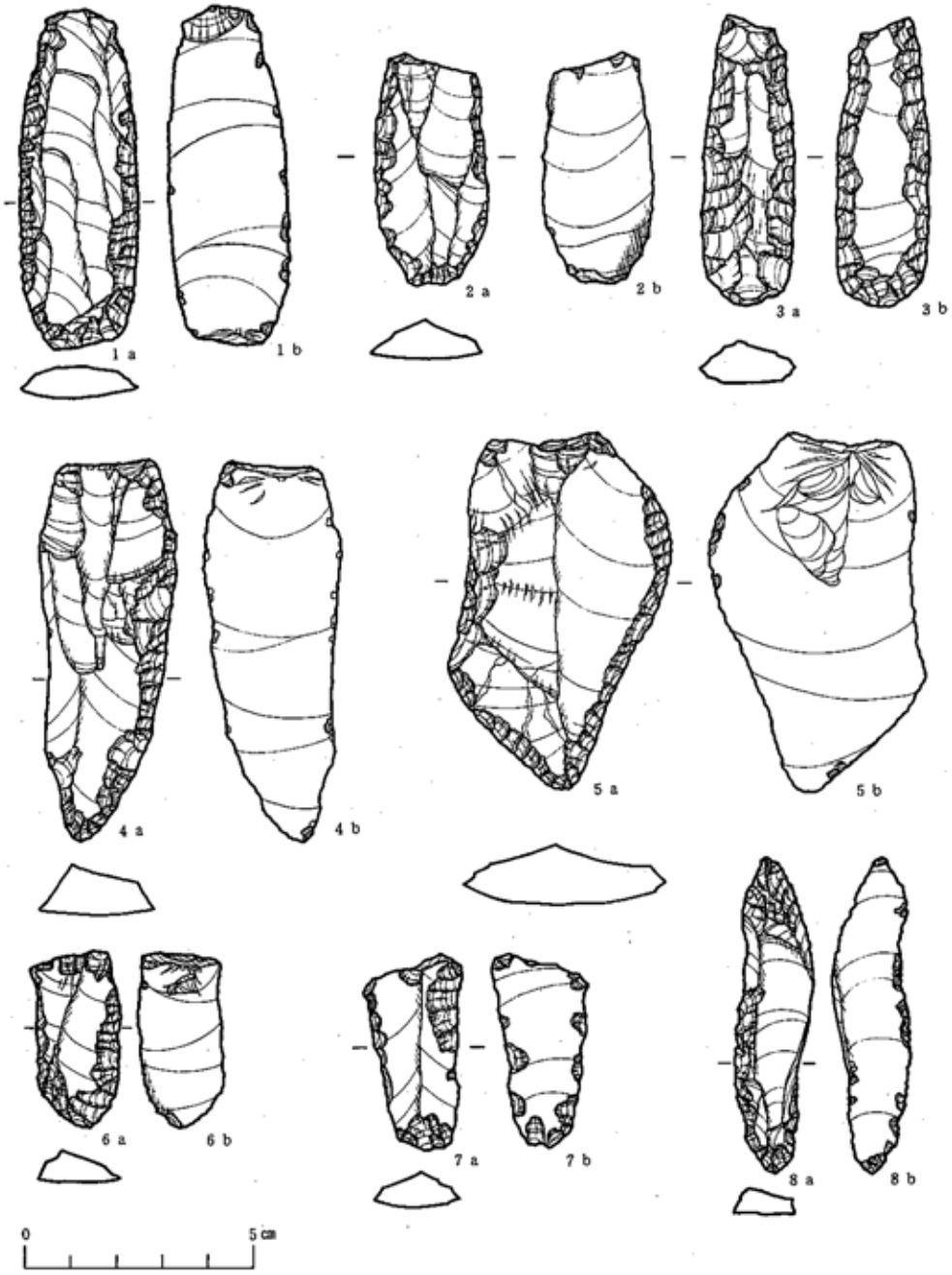
第1類：縦長のもの（第347図、第348図1～3）

第347図1は、先端部が平坦幅広で、右側辺および先端部に調整剥離された刃部を持つ。2は、先端部が平坦幅広で、左右両側辺に刃部を持つ。3・4は、尖った先端部を持ち、左右両側辺



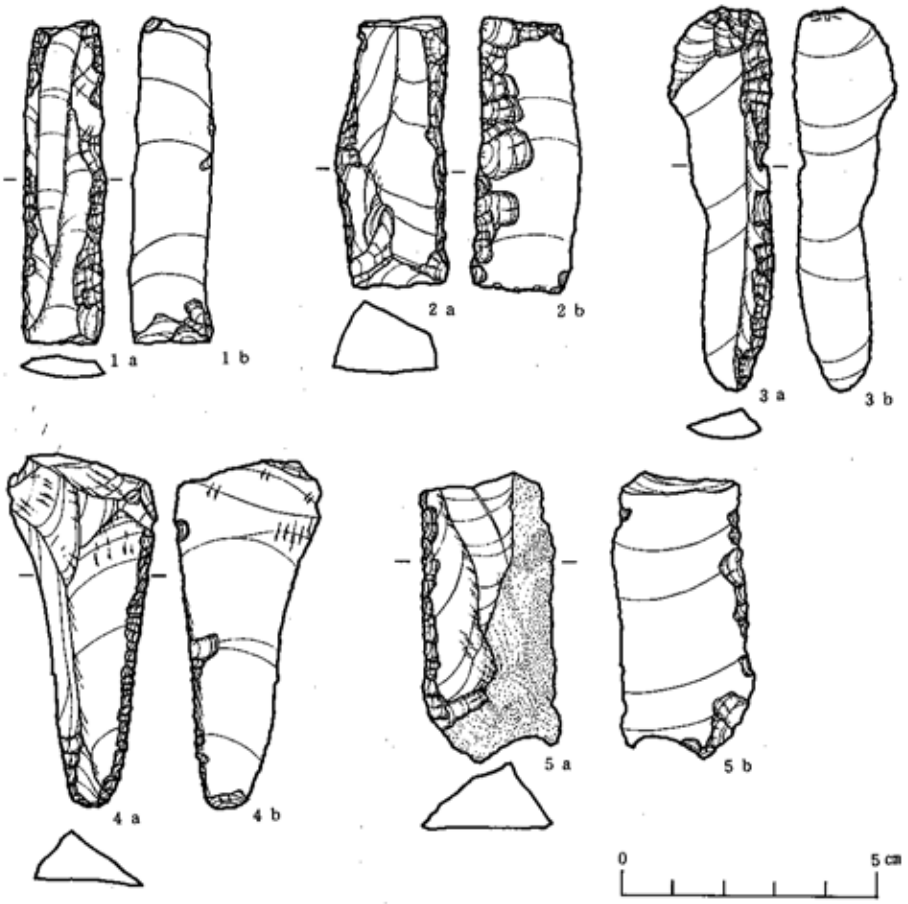
番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No	図版
1	IF52・Ⅱ層	43.0	22.8	10.3	13.0	珪化凝灰岩	3186	186-4
2	IF54・Ⅱ層	69.1	33.2	11.6	25.7	珪質頁岩	33	186-5
3	HF53・Ⅱ層	55.3	28.6	10.8	19.0	珪化凝灰岩	14	186-6
4	GT57・Ⅲ層	48.0	29.0	12.5	17.5	玉ずい	3185	186-7
5	3号石組下・2層	66.6	51.4	11.2	41.8	珪質頁岩	3226	186-8

第350図　石　　篦（2）



番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No	図版
1	GN53・3b層	75.2	25.4	7.3	15.4	珪質頁岩	2568	186-9
2	GM52・2層	51.5	14.7	8.6	11.9	珪質頁岩	1572	186-10
3	GN55・3d層	64.2	19.6	9.9	16.5	珪質頁岩	202	186-11
4	GO53・3c層	83.2	29.5	11.2	28.0	珪化凝灰岩	268	186-12
5	GN55・3c層	77.4	44.0	14.3	50.3	珪質頁岩	1902	186-13
6	HH54・2層	37.7	17.4	7.9	6.2	珪質頁岩	2596	186-14
7	GO51・2層	41.4	19.9	7.0	6.4	珪化凝灰岩	1490	186-15
8	GN56・3d層	69.8	16.0	5.7	8.0	珪質頁岩	201	186-16

第351図　不定形剥片石器（1）



番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No.	図版
1	GO 52・3層	65.1	20.4	5.0	6.4	珪化凝灰岩	1317	186-17
2	GH55・2層	54.5	22.2	13.3	20.9	珪質頁岩	2022	186-18
3	GN54・3a層	77.5	19.8	5.7	6.3	珪質頁岩	172	186-19
4	GN53・2層	69.3	30.0	9.7	16.2	珪質頁岩	1929	186-20
5	GM55・3層	55.9	25.2	14.8	22.5	珪化凝灰岩	2168	186-21

第352図　不定形剝片石器（2）

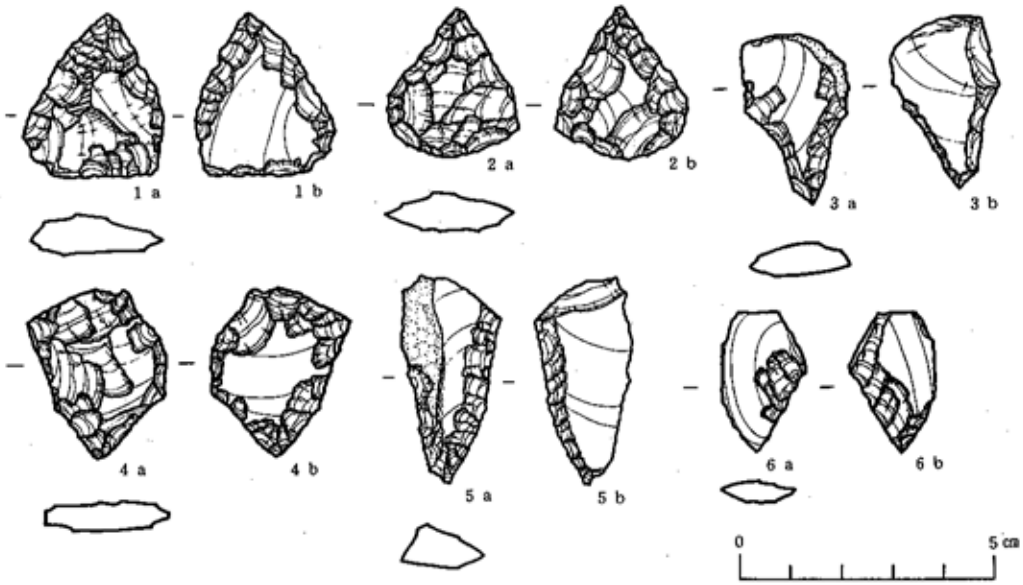
に刃部を有する。

第348図1・2は、先端部が尖っており、左右両側辺に刃部を持つ。3は、偏平な平面形を呈し、右側辺から先端部にかけて刃部を持つ。

第2類（第348図4）

第348図4は、ａ面の刃部およびａ、ｂ両面のつまみ部に調整剥離が施されている。

第348図5は、第1類の欠損品である。6は、第2類の欠損品である。



番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No.	図版
1	GO56・2層	34.3	27.5	18.4	6.9	珪質頁岩	1802	187-1
2	GN56・2層	31.6	25.8	8.0	6.5	玉ずい	197	187-2
3	IH54・2層	36.6	20.4	8.6	5.7	珪質頁岩	2494	187-3
4	GO54・2層	35.2	24.5	8.3	4.7	珪化凝灰岩	2447	187-4
5	GN53・2層	42.5	19.9	9.2	7.4	珪質頁岩	1930	187-5
6	GM57・3層	29.3	17.0	5.3	2.5	へき玉	3205	187-6

第353図　不定形剥片石器（3）

石篦（第 349 図、第 350 図）

包含層のもの（第 349 図）

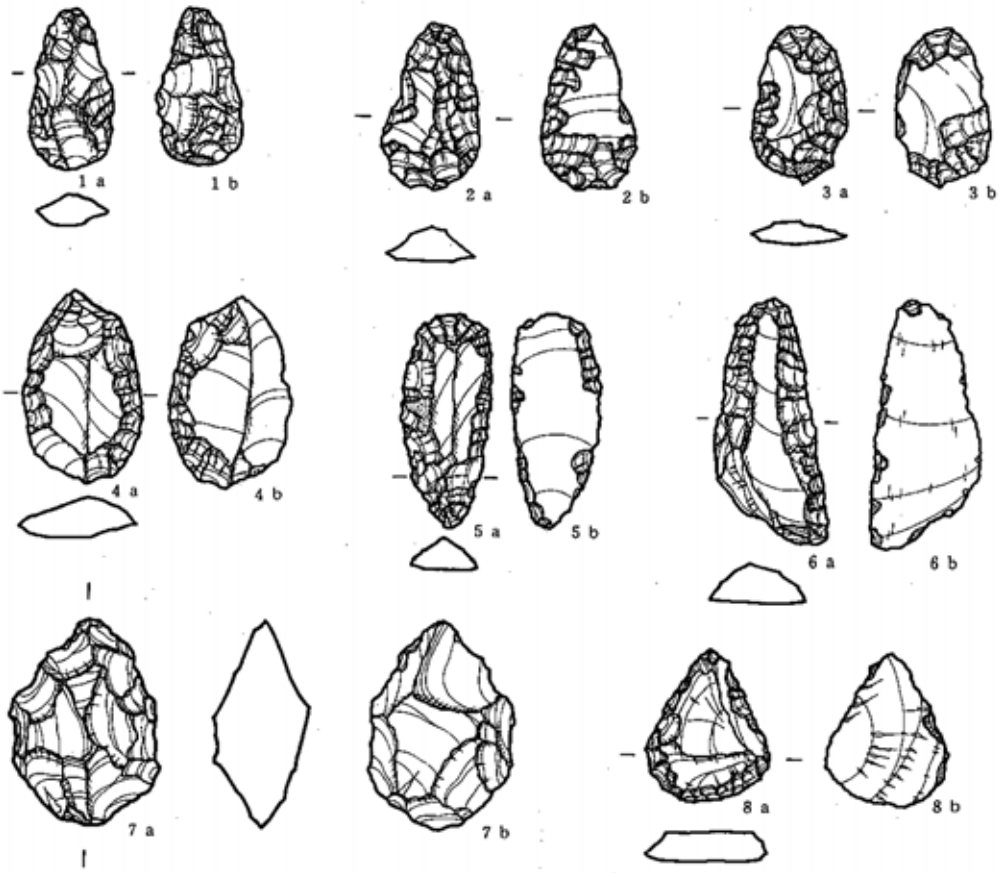
1 は、基部および刃部が平坦で、各辺が緩やかに外弯した隅丸長方形の平面形を呈する。2 は、基部が丸味を帯び、刃部が平坦で、全体として砲弾状の平面形を呈する。3 は、基部および刃部が丸味を帯び、全体として楕円状の平面形を呈する。1～3 とも、a、b両面に調整剥離が施されている。

包含層以外のもの（第 350 図）

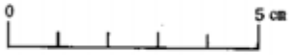
1 は、基部および刃部が平坦で、各辺が緩やかに外弯した隅丸長方形の平面形を呈する。2 は、部が丸味を帯び、刃部が平坦で、全体として砲弾状の平面形を呈する。3 は、基部および刃部の先端が尖り、全体として杏仁状の平面形を呈する。4 は、基部が平坦で、刃部が丸味を帯び、側辺に肩を持っており、全体としてラケット状の平面形を呈する。1～4 とも、a、b両面に調整剥離が施されている。

不定形剥片石器（第 351 図～第 365 図）

本遺跡出土の剥片石器のうち、石鏃、石錐、石匙、石篦以外のもの（いわゆる不定形石器）



番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No.	図版
1	GO54・2層	32.9	16.1	9.3	3.0	頁化凝灰岩	2453	187-7
2	GJ57・3d層	34.4	19.7	9.7	5.3	玉ずい	1462	187-8
3	IH54・2層	33.0	18.6	9.7	5.2	玉ずい	3208	187-9
4	GK57・3d層	40.4	25.0	9.5	9.3	黒色頁岩	1020	187-10
5	GO56・3d層	44.2	17.2	5.8	5.8	珪質頁岩	190	187-11
6	GM53・2層	51.7	21.4	9.3	10.8	珪質頁岩	2221	187-12
7	IH54・2層	43.1	29.7	18.2	20.1	珪質頁岩	60	187-14
8	IH54・2層	31.8	24.7	9.8	8.0	頁化凝灰岩	3204	187-13



第354図　不定形剥片石器（4）

を一括する。

包含層のもの（第 351 図～第 358 図）

各々を、素材、形態、刃部等にみられる特徴によって以下のようにまとめ、説明を行なう。

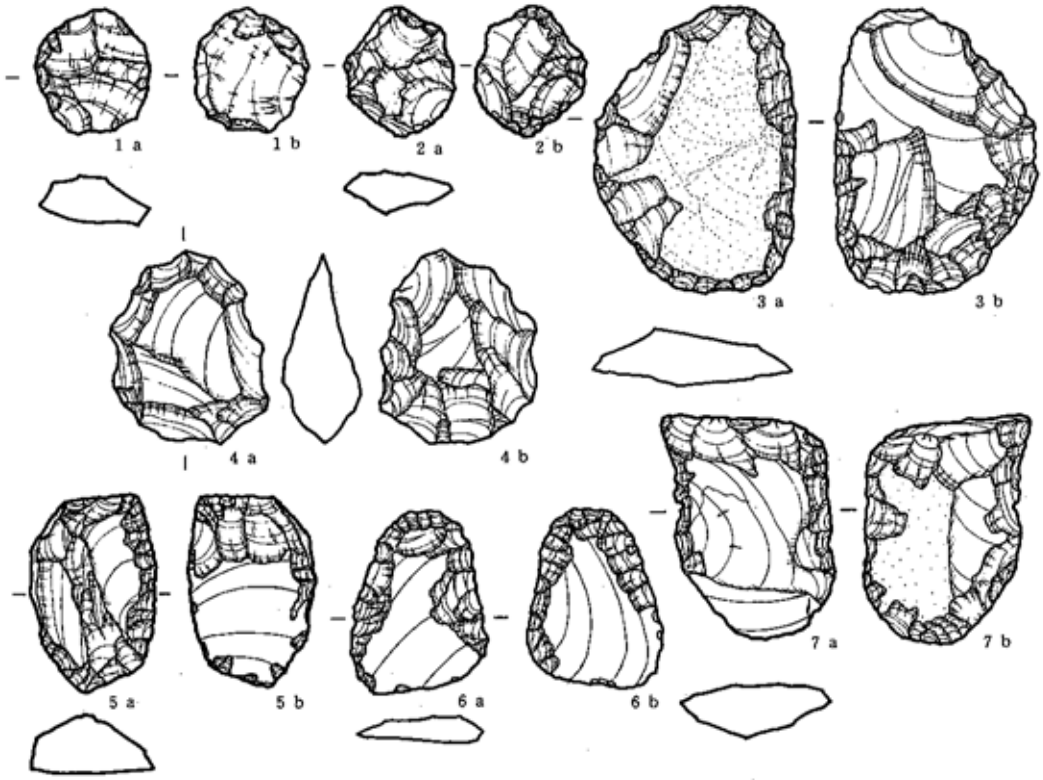
1：比較的大形で縦長の剥片を素材とするもの

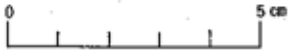
2：鋭い先端部を持つもの

3：周囲に刃部を持つもの

4：1～3 以外のもの

1：比較的大形で縦長の剥片を素材とするもの（第 351 図、第 352 図）



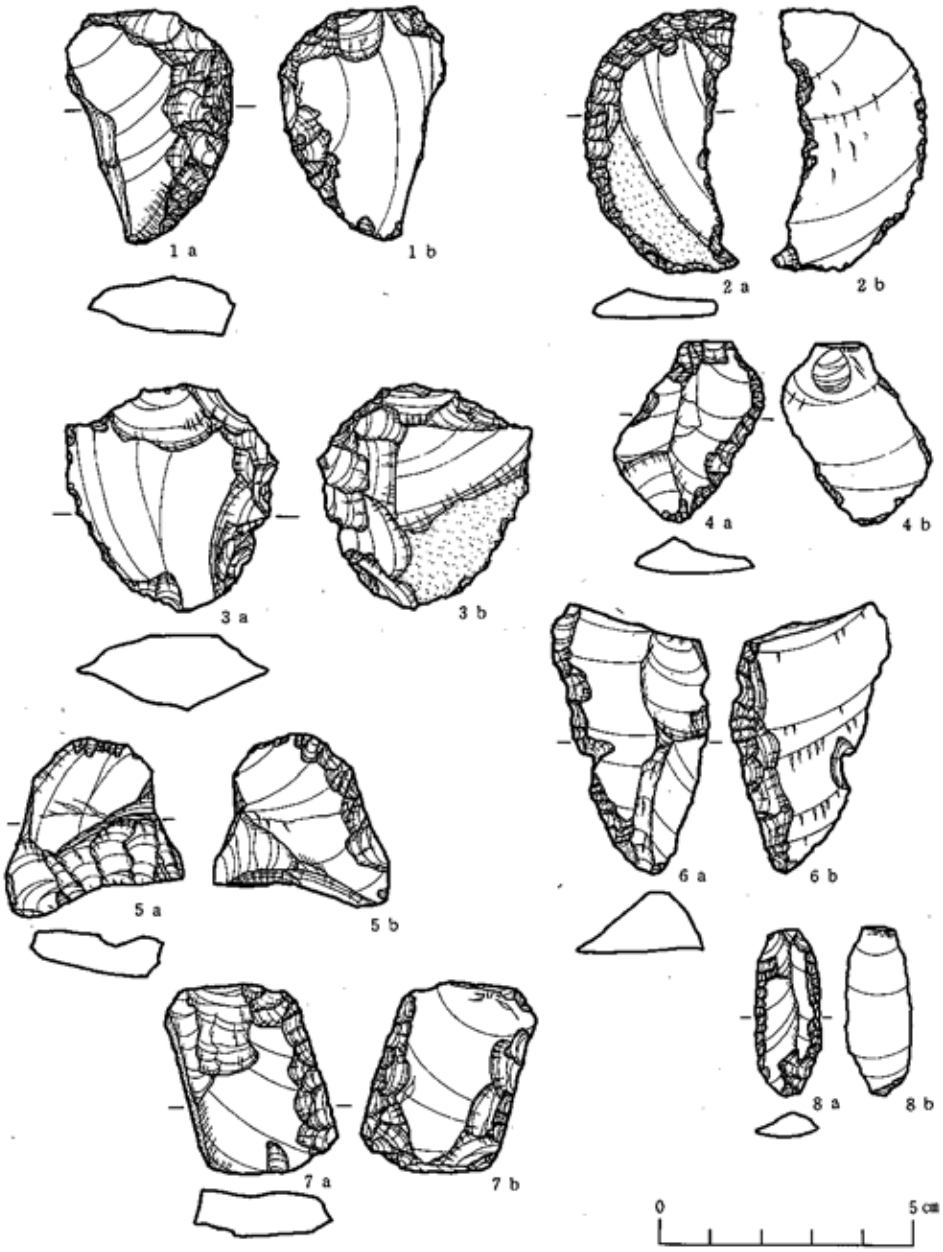


番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No.	図版
1	GM57・3層	25.0	22.8	9.6	4.9	玉ずい	3203	187-15
2	IH51・3層	26.7	21.6	7.7	3.9	純化凝灰岩	2339	187-16
3	GK57・2層	58.2	39.5	8.2	29.0	珪質頁岩	2741	187-17
4	GH56・2層	37.0	30.5	13.2	14.1	珪質頁岩	1928	187-18
5	GO54・3c層	39.3	24.5	13.4	14.0	珪質頁岩	2523	187-19
6	GI57・3d層	35.1	26.0	5.4	4.9	珪質頁岩	277	187-20
7	GJ57・3d層	45.4	32.1	9.9	6.0	珪質頁岩	3210	187-21

第355図　不定形剥片石器（5）

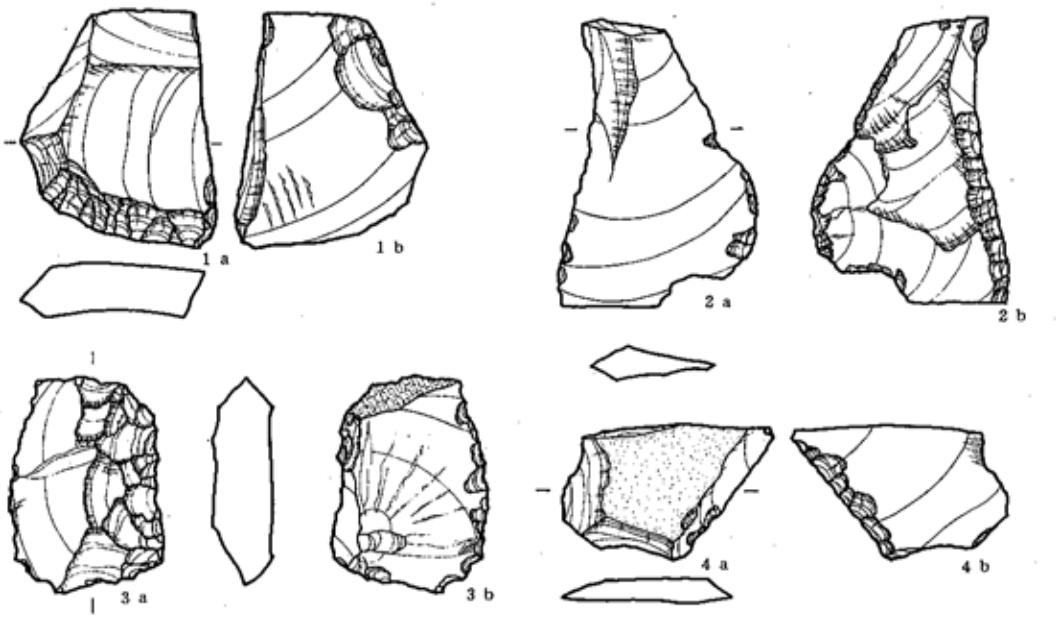
第 351 図 1・2 は、調整剥離の施された「U」状の刃部を持つ。調整剥離は、ａ面のみに認められる。3 は、調整剥離の施された「U」状の刃部を持つ。調整剥離は、ａ、ｂ両面に認められる。5・6 は、調整剥離の施された「V」状の刃部を持つ。調整剥離は、ａ面のみに認められる。7 は、「U」状の刃部を持つが、調整剥離は粗雑で、ａ面のみに施されている。8 は、長軸方向の両端に「V」状に調整剥離の施された刃部を持つ。調整剥離は、ａ面のみに施されている。

第 352 図 1・2 は、左右両長辺に刃部を持つ。1 は、ａ面の右側辺のみに、2 は、ａ面左側辺およびｂ面左側辺に、それぞれ調整剥離が施されている。3 は、左右両長辺に刃部を持ち、ａ面右側辺には調整剥離が加えられている。調整はａ面のみに施されている。4 は、左右両長辺に刃部を持ち、ａ面右側辺および左側辺下部に調整剥離が加えられている。調整は、ａ面のみに



番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No	図版
1	GL54・2層	45.6	31.5	10.1	13.9	珪質頁岩	3220	187-22
2	GP55・3b層	52.1	46.5	6.4	9.3	珪質頁岩	1064	187-23
3	GO56・2層	43.4	39.6	14.5	27.1	珪質頁岩	1602	187-24
4	GP55・2層	35.6	20.7	7.7	5.9	黒色頁岩	2275	187-25
5	GM51・3層	29.7	34.2	10.7	9.7	珪質頁岩	1860	187-26
6	IH51・2層	50.7	31.8	12.0	16.8	珪質頁岩	1023	187-27
7	GN54・3c層	48.4	26.4	9.2	13.6	珪質頁岩	2204	187-28
8	GP52・2層	33.2	12.9	6.5	2.3	珪質頁岩	2643	187-29

第356図　不定形剥片石器（6）



番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No.	図版
1	GK57・2層	50.5	37.3	11.2	26.0	珪化凝灰岩	3221	188-1
2	GM51・3層	62.0	35.5	7.3	12.7	珪化凝灰岩	3211	188-2
3	HH54・2層	45.8	29.8	11.4	17.2	珪質頁岩	3167	188-3
4	GK56・3c層	28.8	41.2	5.7	7.8	珪質頁岩	1357	188-4

第357図　不定形剝片石器（7）

施されている。5 は欠損品である。

2：鋭い先端部を持つもの（第 353 図）

1・2 は、平面形が三角形に近く、先端部を形成する側辺に入念な調整剥離が施されている。3〜6 は、不整な平面形を呈し、先端部を形成する側辺に簡単な調整剥離が施されている。

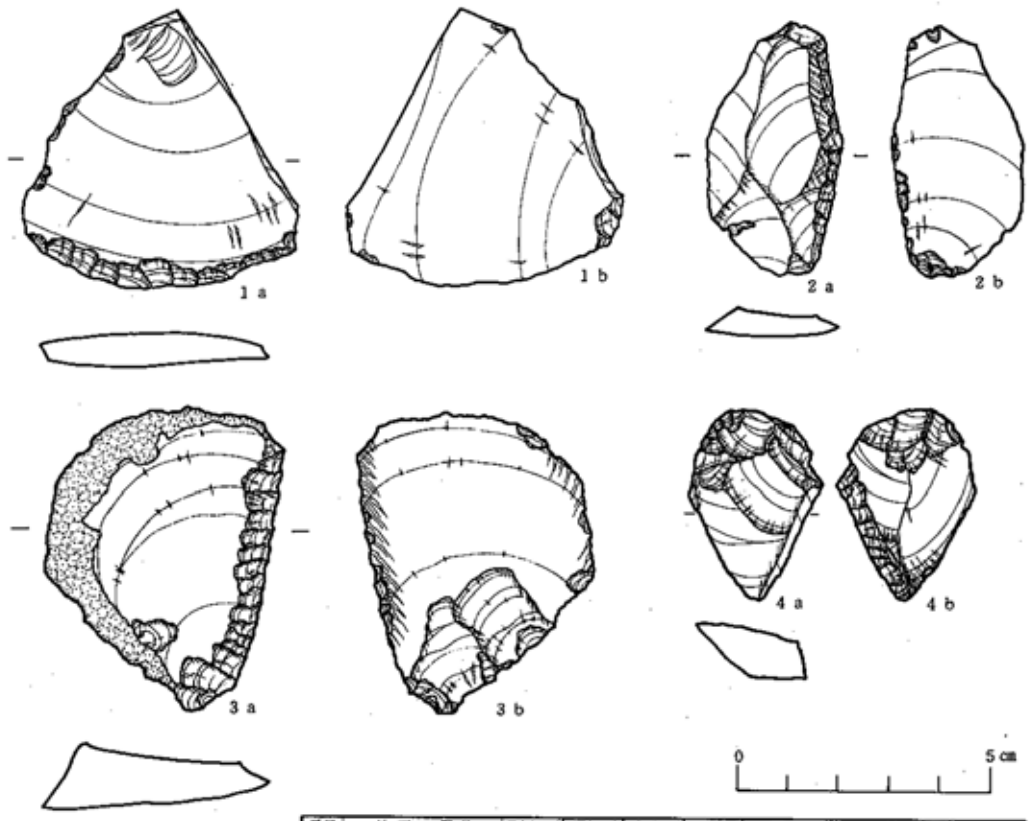
3：周囲に刃部を持つもの（第 354 図、第 355 図）

第 354 図 1〜4 は、平面形が楕円形を呈する。調整剥離は、a、b両面に施されている。5・6 は、平面形が長楕円形を呈する。調整剥離は、5 が、a、b両面に施され、6 は、a面のみに施されている。7 は、平面形が杏仁状を呈し、a、b両面に調整剥離が施されている。8 は、平面形が涙滴状を呈し、a面のみに調整剥離が施されている。

第 355 図 1〜4 は、平面形が円形に近く、a、b両面に調整剥離が施されている。5〜7 は、平面形が不整な方形を呈し、a、b両面に調整剥離か施されている。

4：1〜3 以外のもの（第 356 図〜第 358 図）

第 356 図 1〜4 は、不整な平面形を呈し、側辺に「U」状の調整剥離が施されている。調整剥離は、1・3 がa、b両面に施され、2・4 は、a面のみに施されている。5〜8 は、不整な



番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No	図版
1	GO55・3b層	58.4	55.3	8.2	25.2	珪化凝灰岩	2357	188-5
2	GM52・3b層	51.6	26.1	5.7	7.2	珪質頁岩	3222	188-6
3	GO53・3b層	61.5	44.2	15.6	41.6	珪質頁岩	1254	188-7
4	GN51・3層	37.8	27.4	9.2	8.5	珪化凝灰岩	2110	188-8

第358図　不定形剥片石器（8）

平面形を呈し、二つの側辺に、調整剥離の施された刃部を持つ。調整剥離は、5〜7が、a、b両面に施され、8は、a面のみに施されている。

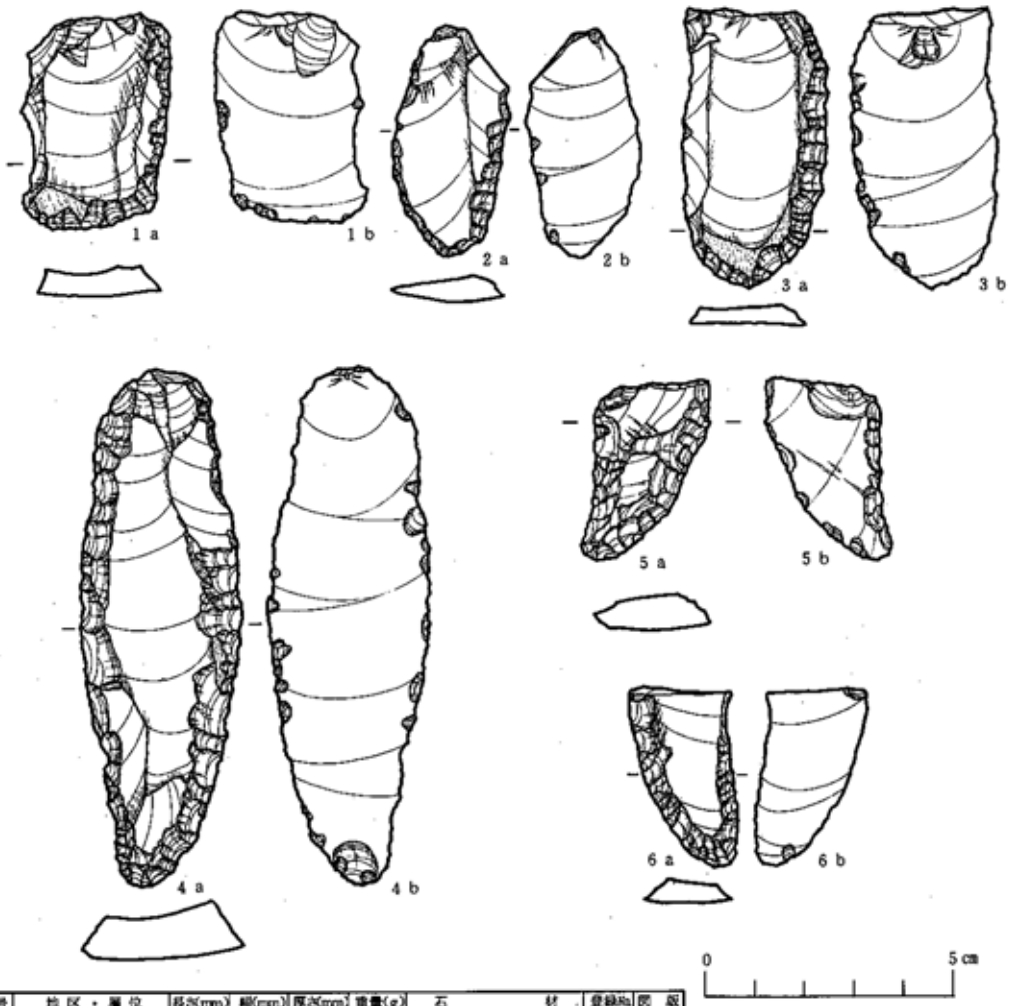
第357図1は、不整な平面形を呈し、二つの側辺に、調整剥離の施された刃部を持つ。調整剥離は、a、b両面に施されている。2〜4は、不整な平面形を呈し、一つの側辺に、調整剥離の施された刃部を持つ。調整剥離は、2・4が、b面のみに施され、3は、a・b両面に施されている。

第358図1〜4は、不整な平面形を呈し、一つの側辺に、調整剥離の施された刃部を持つ。調整剥離は、1・2が、a面のみに施され、3・4は、a・b両面に施されている。

包含層以外のもの（第359図〜第365図）

包含層のものと同じく4つにまとめて説明を行う。

1：比較的大形で縦長の剥片を素材とするもの（第359図〜第361図）



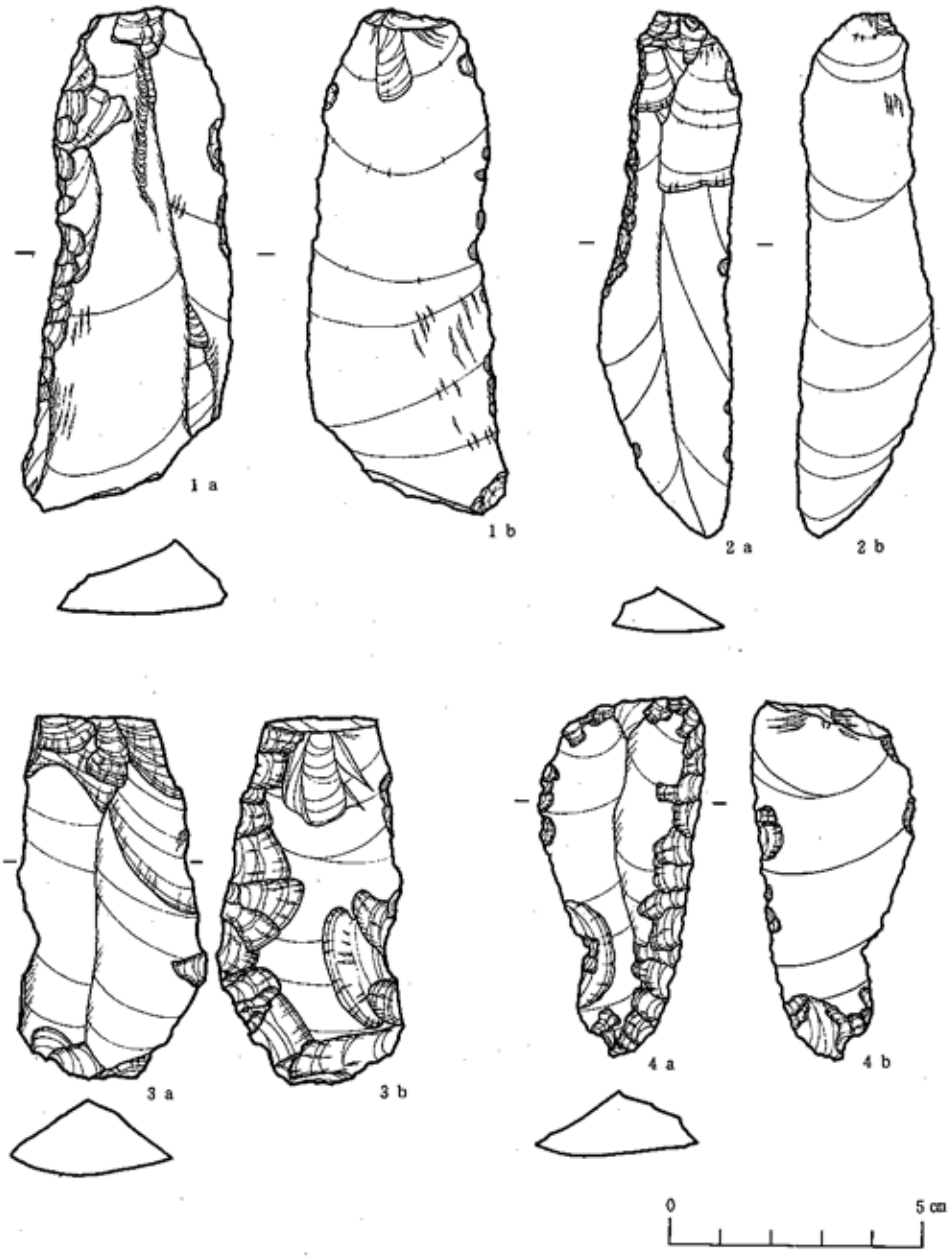
番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No.	図版
1	GR50・Ⅱ層	42.2	27.7	5.7	11.4	珪質頁岩	-1983	188-9
2	7号住居跡	46.1	22.8	5.2	5.5	珪質頁岩	2688	188-10
3	GS47・Ⅱ層	55.0	28.7	5.7	12.4	珪質頁岩	271	188-11
4	7号住居跡	104.6	31.6	9.9	38.4	珪質頁岩	2765	188-14
5	GL45・Ⅱ層	43.0	23.8	6.4	6.5	珪質頁岩	3190	188-12
6	GQ53・Ⅲ層	36.4	20.0	4.3	4.3	珪質頁岩	2198	188-13

第359図　不定形剥片石器（9）

れている。2・3は、調整剥離の施された「U」状の刃部を持つ。調整剥離は、a面のみに施されている。4〜6は、調整剥離された「V」状の刃部を持つ。調整剥離は、4・6が、a面のみに施され、5は、a、b両面に施されている。

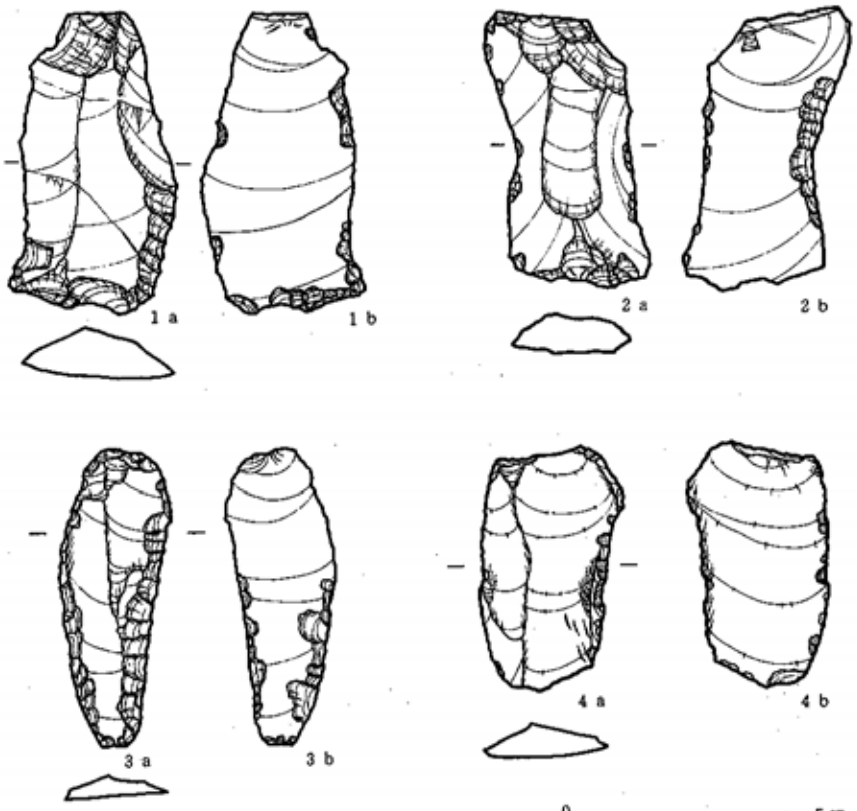
第360図1・3は、左右両長辺に刃部を持つ。1は、a面左側辺のみに、a、b両面に、それぞれ調整剥離が施されている。

第360図2は、概報等で旧石器として紹介されたものであるが、出土地区・層位の関係から不定形剥片石器として扱い、ここで説明を行う。2は、左右両長辺に刃部を持ち、a面左側辺に

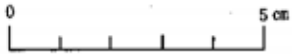


番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No	図版
1	6号住居跡	98.8	38.5	12.2	49.0	珪化凝灰岩	2692	188-15
2	HB53・Ⅱ層	104.2	26.6	8.7	20.1	珪質頁岩	24	188-16
3	GS45・Ⅱ層	72.5	35.8	17.5	46.3	珪質頁岩	2669	188-17
4	HC54・Ⅱ層	69.7	31.8	15.2	27.6	珪質頁岩	2684	188-18

第360図　不定形剥片石器（10）



番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No	図版
1	GP45・Ⅲ層	60.6	30.9	8.6	18.5	珪質頁岩	1576	189-1
2	GR53・Ⅲ層	54.5	28.8	9.7	16.8	珪質頁岩	2274	189-2
3	GR51・Ⅲ層	59.7	20.5	5.2	6.1	珪質頁岩	3191	189-3
4	GQ52・Ⅲ層	48.5	27.7	8.5	9.5	珪質頁岩	3192	189-4



第361図　不定形剥片石器（11）

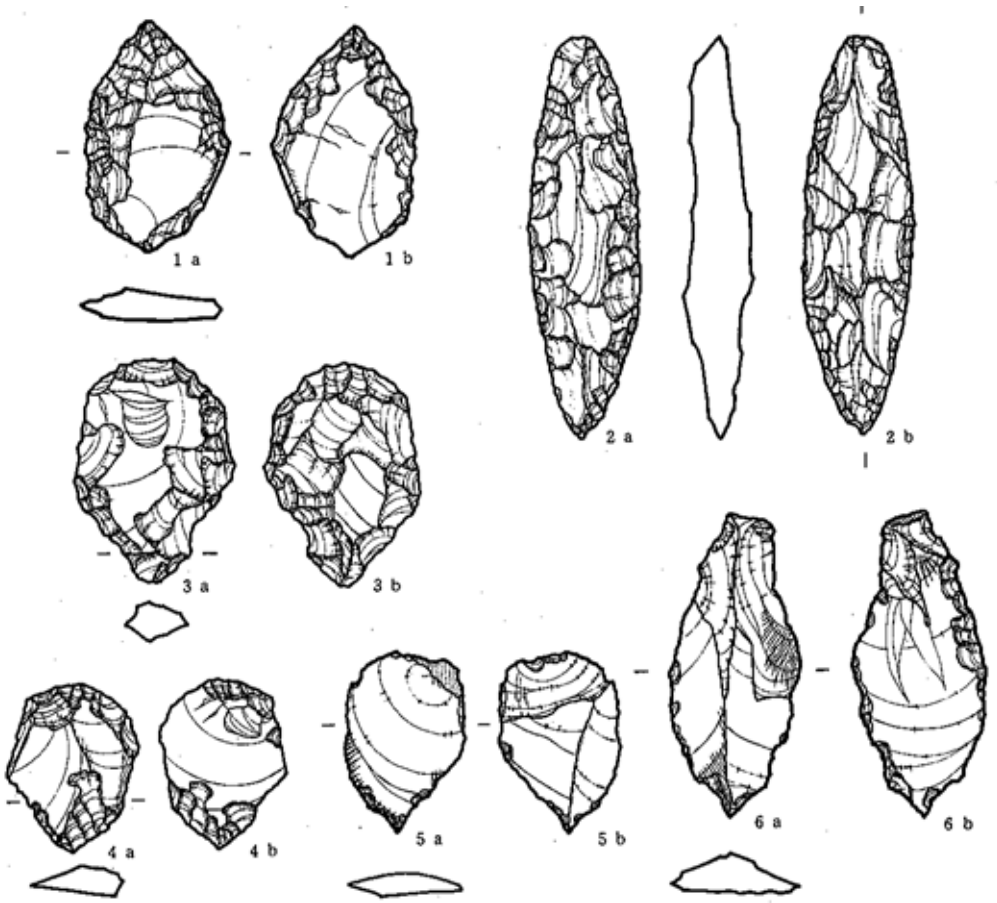
は調整剥離が加えられている。調整は、ａ面のみに施されている。

第 360 図 4 は、左右両長辺に刃部を持ち、ａ面左側辺およびｂ面下部に調整剥離が加えられている。調整は、ａ、ｂ両面に施されている。

第 361 図 1・2 は、両長辺および下辺に刃部を持つ。調整剥離は、ａ、ｂ両面に施されている。3 は、両長辺および下辺に刃部を持ち、ａ面の左右両側辺に調整剥離が加えられている。調整は、ａ面のみに施されている。4 は、両長辺および下辺に刃部を持つ。調整剥離は、ａ面のみに施されている。

2：鋭い先端部を持つもの（第 362 図）

第 362 図 1 は、平面形が杏仁状を呈し、先端部を形成する側辺に入念な調整剥離が施されている。2 は、平面形が槍状を呈し、ａ、ｂ両面に入念な調整剥離が施されている。3〜6 は、不整な平面形を持ち、先端部を形成する側辺に簡単な調整剥離が施されている。



番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No.	図版
1	GR50・Ⅱ層	46.1	28.2	7.5	9.0	玉ずい	3209	189-5
2	HF52・Ⅱ層	80.2	21.3	10.4	19.1	珪質頁岩	18	189-6
3	IF55・Ⅱ層	43.7	30.7	10.4	15.2	珪質頁岩	106	189-7
4	IF55・Ⅱ層	33.6	24.1	8.8	5.5	珪質頁岩	107	189-8
5	IE52・Ⅱ層	40.4	25.5	5.1	4.6	珪質頁岩	2600	189-9
6	GM45・Ⅱ層	60.8	25.7	7.3	11.7	珪化凝灰岩	2311	189-10

第362図　不定形剝片石器（12）

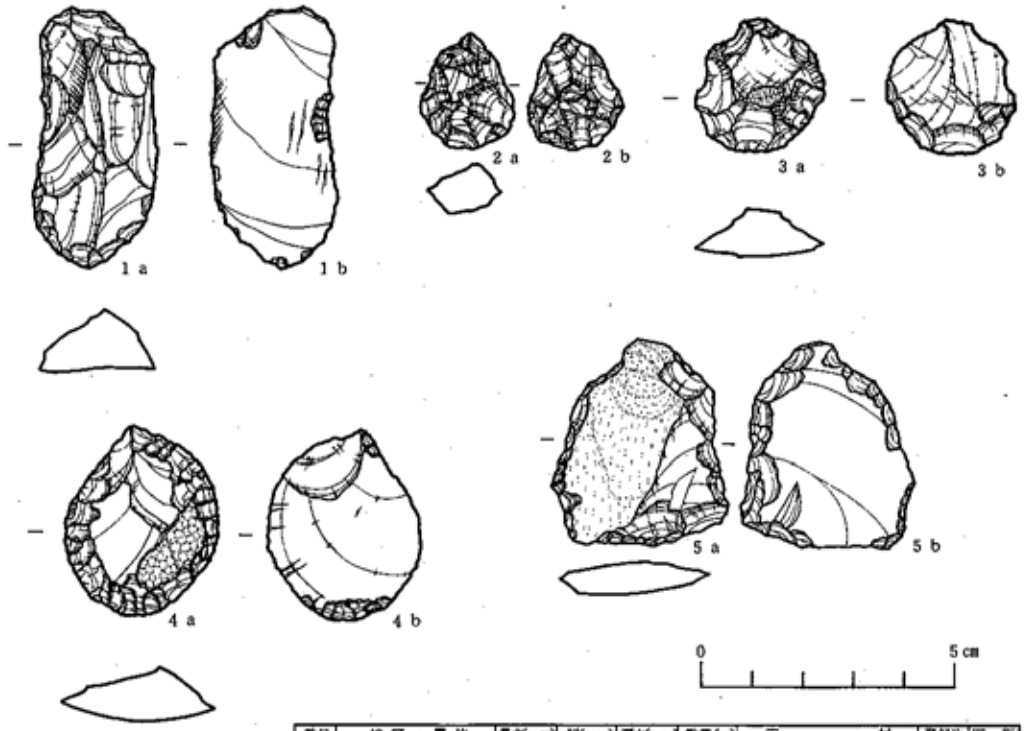
3：周囲に刃部を持つもの（第363図）

第363図1は、平面形が楕円形を呈する。調整剝離は、a面のみに施されている。2～4は、平面形が円形に近く、a、b両面に調整剝離が施されている。5は、平面形が不整な方形を呈する。調整剝離は、a、b両面に施されている。

4：1～3以外のもの（第364図、第365図）

第364図1～3は、不整な平面形を呈し、側辺に「U」状の調整剝離が施されている。調整剝離は、1・2が、a、b両面に施され、3は、a面のみに施されている。

第365図1～4は、不整な平面形を呈し、二つの側辺に、調整剝離の施された刃部を持つ。調



番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No	図版
1	GM46・Ⅱ層	53.0	24.0	12.3	18.5	珪質頁岩	3189	189-11
2	GS55・Ⅱ層	22.7	18.5	9.9	3.9	黒曜岩	1021	189-12
3	HM46・Ⅳ層	27.0	25.5	10.2	6.5	へき玉	3202	189-13
4	HC54・Ⅱ層	38.2	30.0	12.3	12.9	珪化凝灰岩	2684	189-14
5	GP47・Ⅱ層	42.0	33.5	7.7	11.7	珪質頁岩	1335	189-15

第363図　不定形剝片石器（13）

整剝離は、1・3・4が、a面のみに施され、2は、a、b両面に施されている。5・6は、不整な平面形を呈し、一つの側辺に調整剝離の施された刃部を持つ。調整剝離は、a、b両面に施されている。

打製石斧（第366図～第369図）

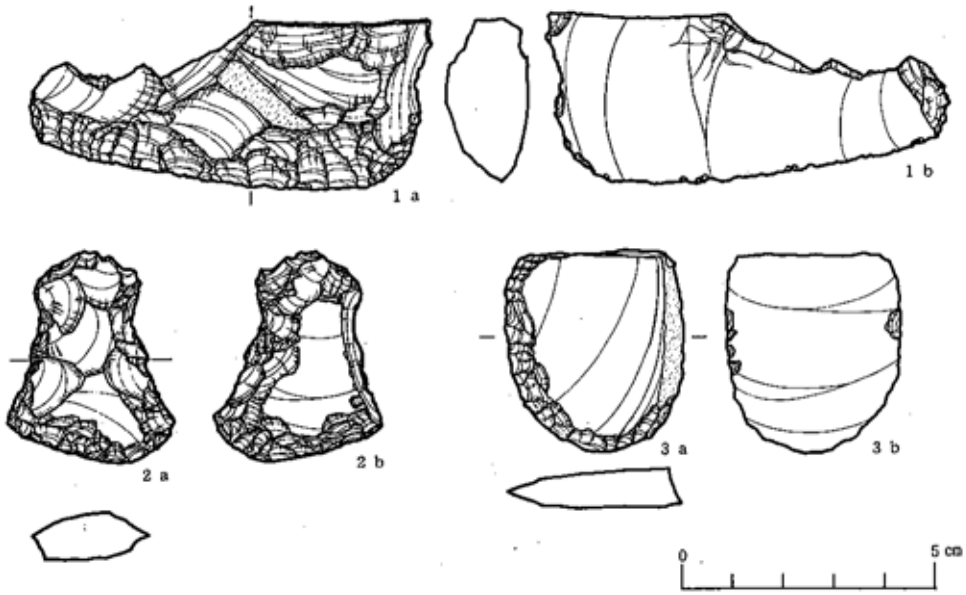
包含層のもの（第366図1）

第366図1は、いわゆる分銅形の打製石斧で、左右両側縁中央部に抉りを持ち、上下両端に刃部を有する。刃部は円刃である。調整剝離は、側縁、刃縁ともa、b両面に施されている。

包含層以外のもの（第366図2、第367図～第369図1～3）

第366図2は、いわゆる分銅形の打製石斧で、左右両側縁中央部に抉りを持ち、上下両端に刃部を有する。刃部は円刃である。調整剝離は、側縁、刃縁ともa、b両面に施されている。

第367図1・2は、いわゆる撥形の打製石斧であるが、左右両側縁に抉りがあり、全体として



番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No.	図版
1	GR51・Ⅱ層	76.9	34.9	14.7	38.1	珪質頁岩	2762	189-16
2	GR50・Ⅱ層	45.1	33.7	10.1	13.9	珪質頁岩	2107	189-17
3	GR53・Ⅱ層	42.1	35.3	9.3	21.4	珪質頁岩	2273	189-18

第364図　不定形剝片石器（14）

ラケット状の平面形を呈する。上端が基部、下端が刃部となっており、基部は平坦、刃部は円刃である。調整剝離は、ａ、ｂ両面に施されている。

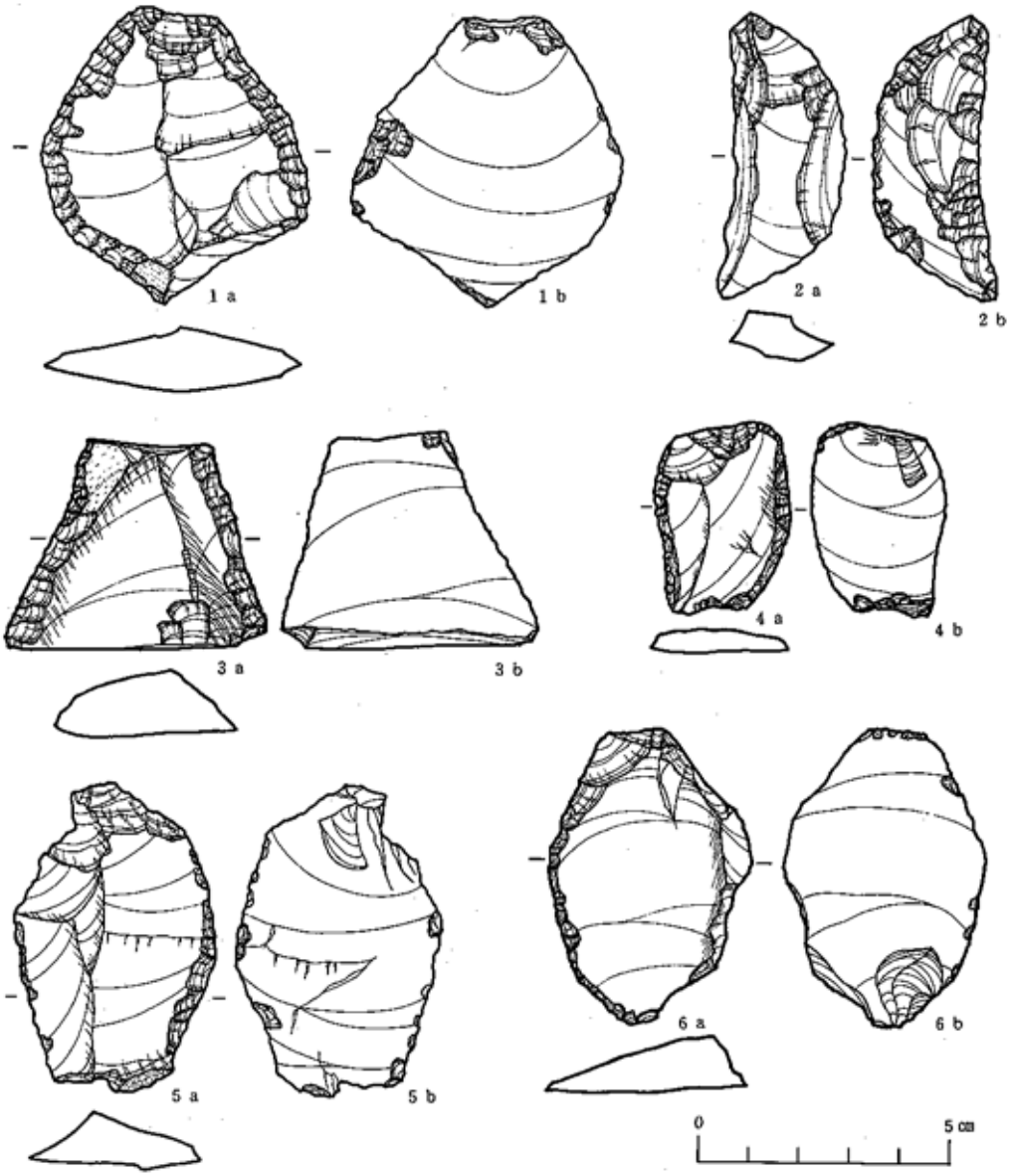
第368図1は、撥形の打製石斧で、両側縁に抉りを持ち、上端に丸味を帯びた基部を有する。刃部は、欠損している。調整剝離は、ａ、ｂ両面に施されている。

第368図2は、いわゆる短冊形の打製石斧の一種であるが、上端幅より下端幅が広く、撥形に近い平面形を呈する。上端に基部、下端に刃部を持ち、基部は平坦、刃部は偏刃である。調整剝離は、ａ、ｂ両面に施されている。

第369図1〜3は欠損品である。調整剝離が、ａ、ｂ両面に施されている。2・3のａ面には、凹石にみられるような凹痕が認められる。

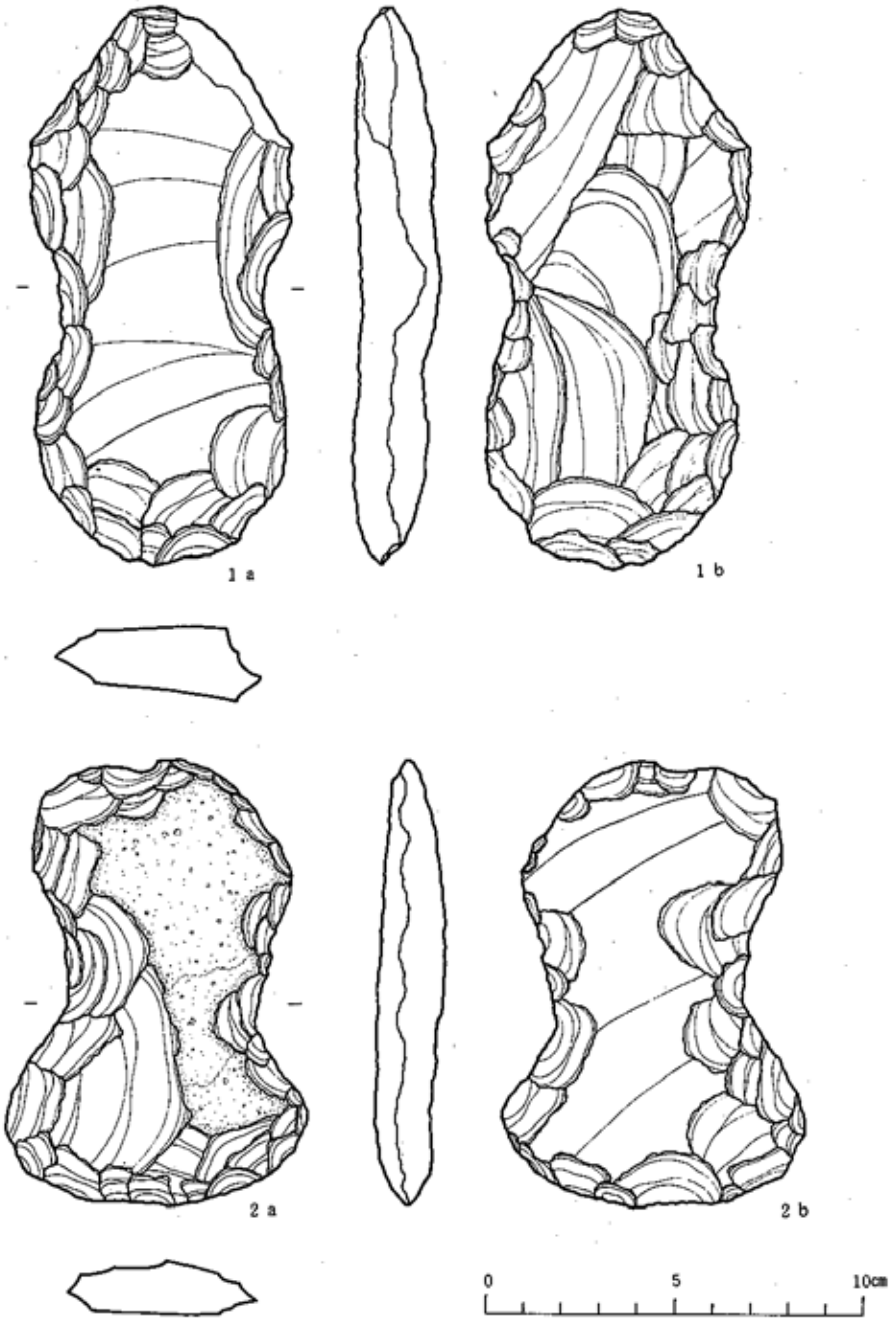
環状石斧（第369図4）

第369図4は、ＧＲ―47区出土の環状石斧である。外径の最大値は75.4㎝で、最小値は71.0㎝である。中央孔径の最大値は10.7㎝で、最小値は9.8㎝である。最大厚は11.2㎝、重さは63.5ｇである。中央孔は、研磨によって調整されており、その断面形は「）（」状を呈する。また、中央孔の周囲には、穿孔前に敲打によって調整された凹痕が残っている。中央孔から刃部にか

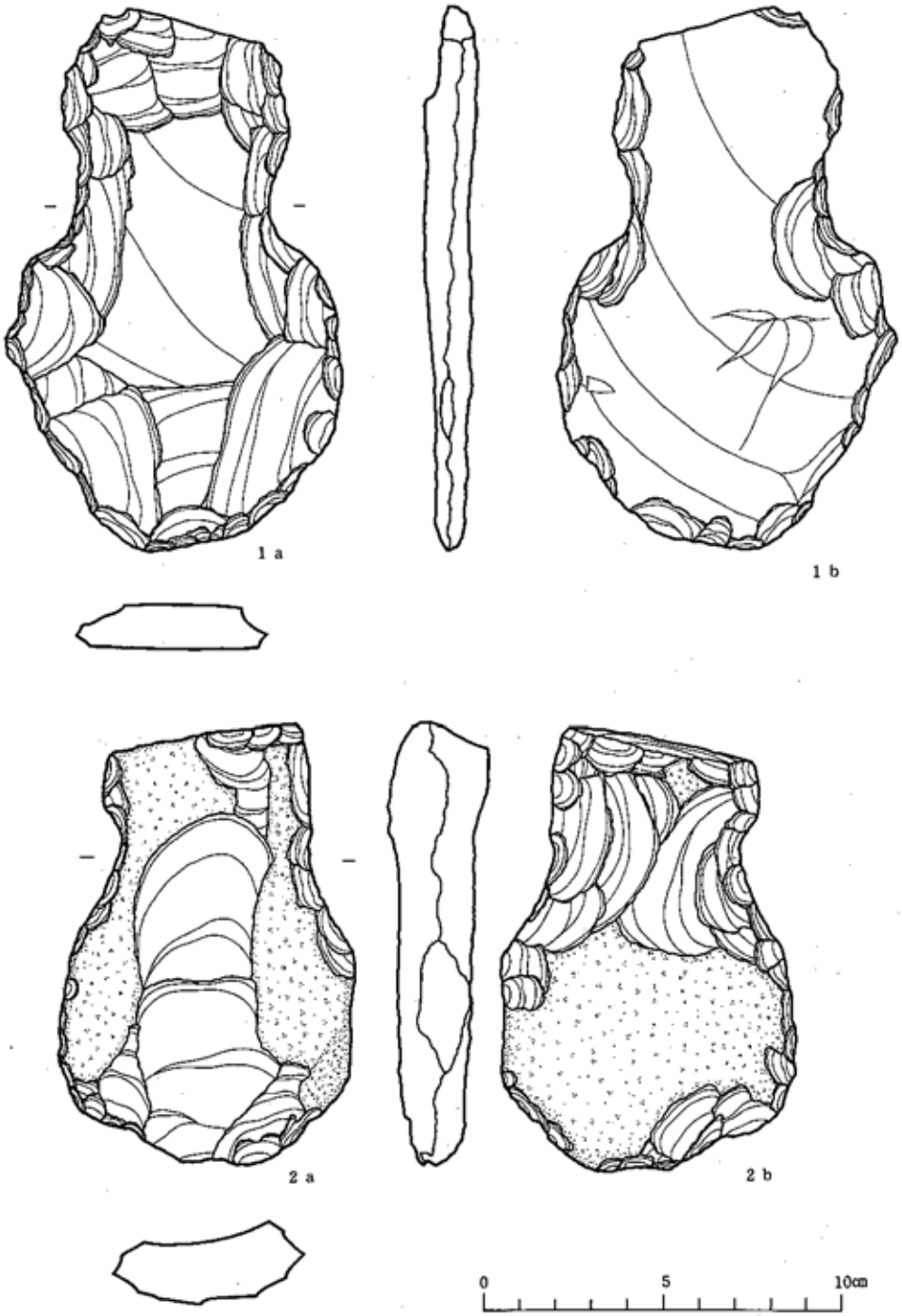


番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No	図版
1	GO48・Ⅲ層	57.9	53.0	12.2	33.3	緑質頁岩	3213	189-19
2	HB55・Ⅱ層	56.3	22.0	10.4	13.0	緑質頁岩	2712	189-20
3	GQ53・Ⅱ層	42.3	52.9	13.3	32.4	黒色頁岩	2511	189-21
4	GP56・Ⅱ層	35.6	25.8	5.5	7.5	緑質頁岩	1002	189-22
5	GQ50・Ⅱ層	61.1	39.2	14.5	8.7	緑質頁岩	2569	189-23
6	GR53・Ⅲ層	58.7	39.0	10.0	22.6	緑質頁岩	2141	189-24

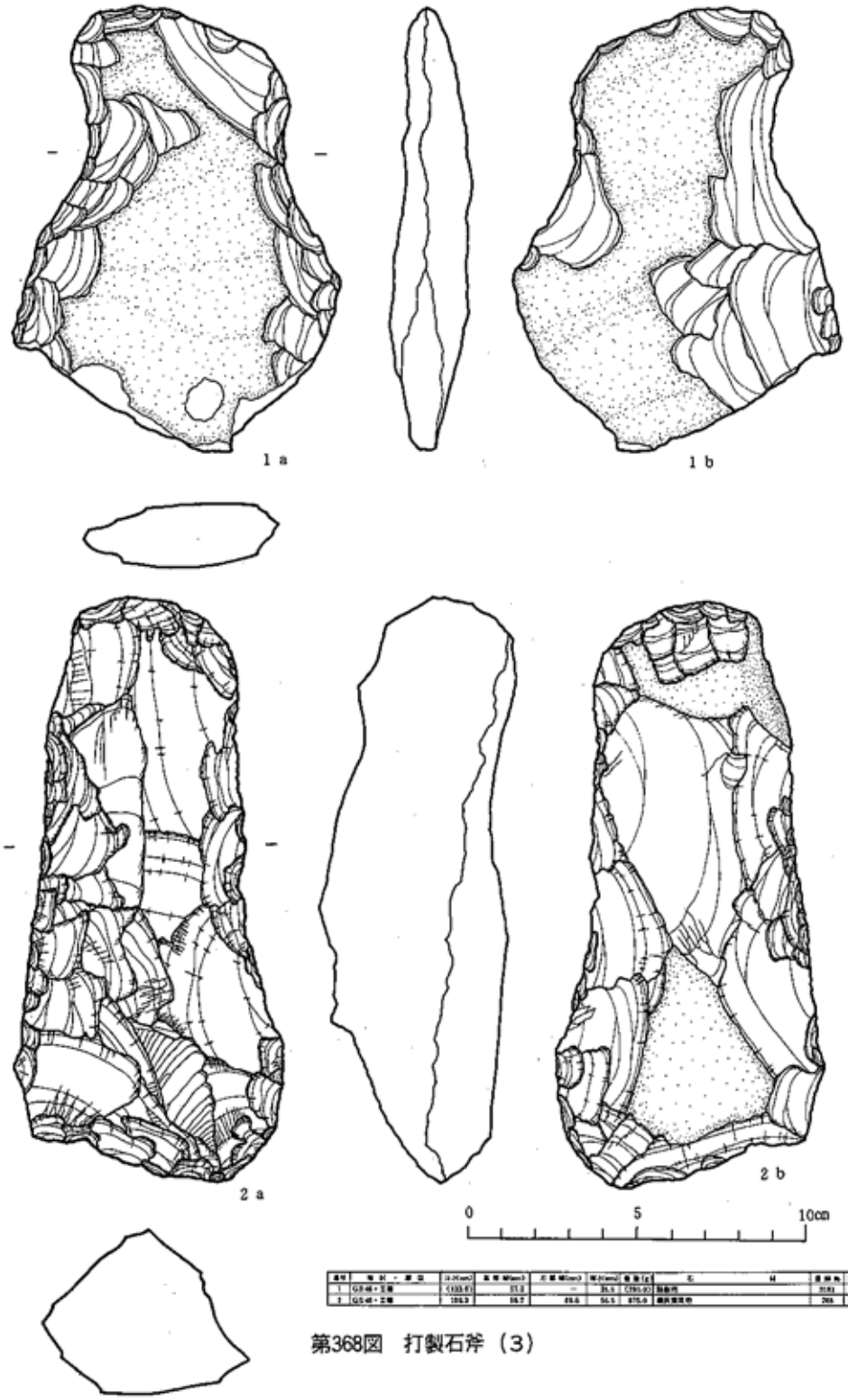
第365図　不定形剥片石器（15）



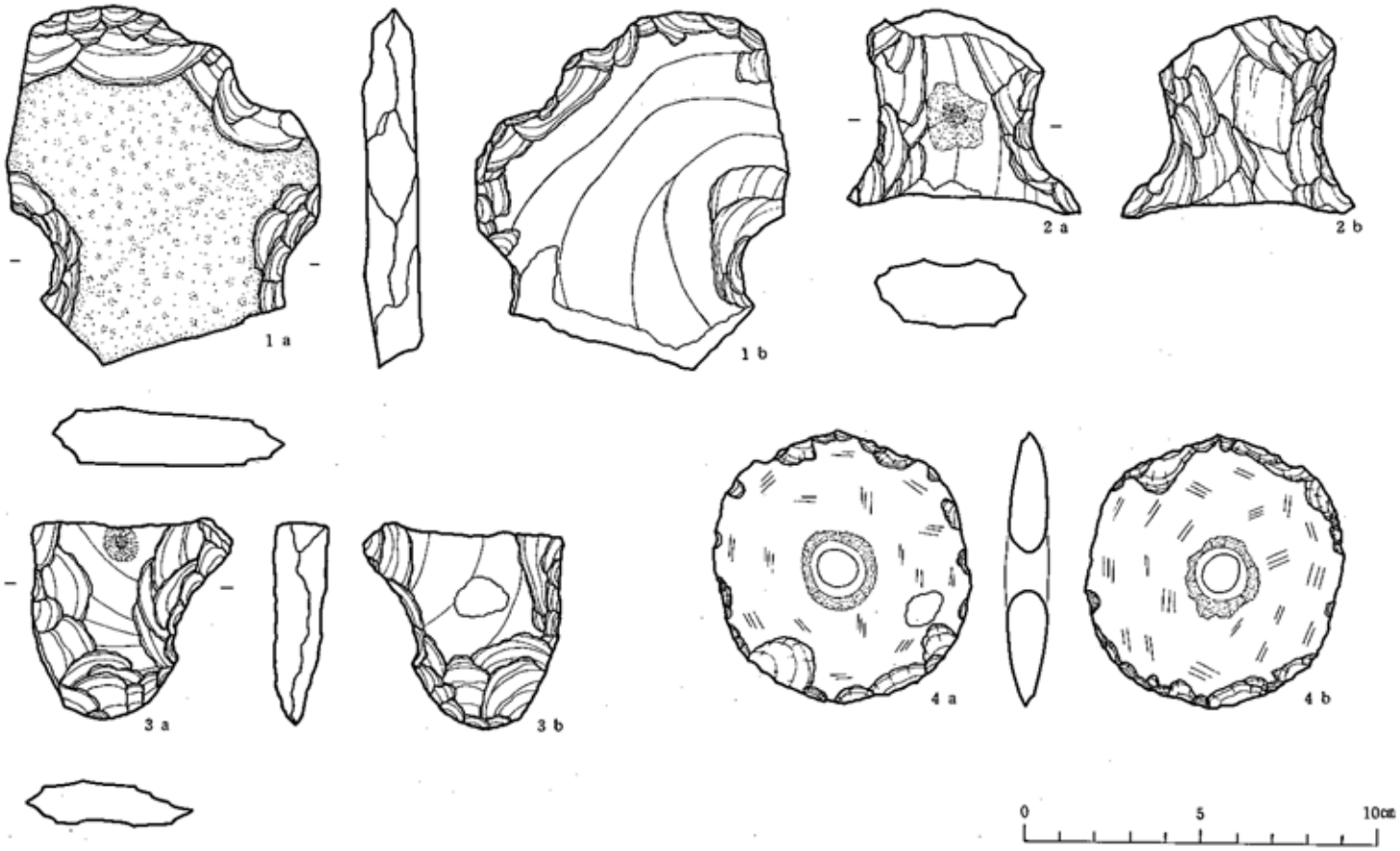
第366図　打製石斧（1）



第367図　打製石斧（2）

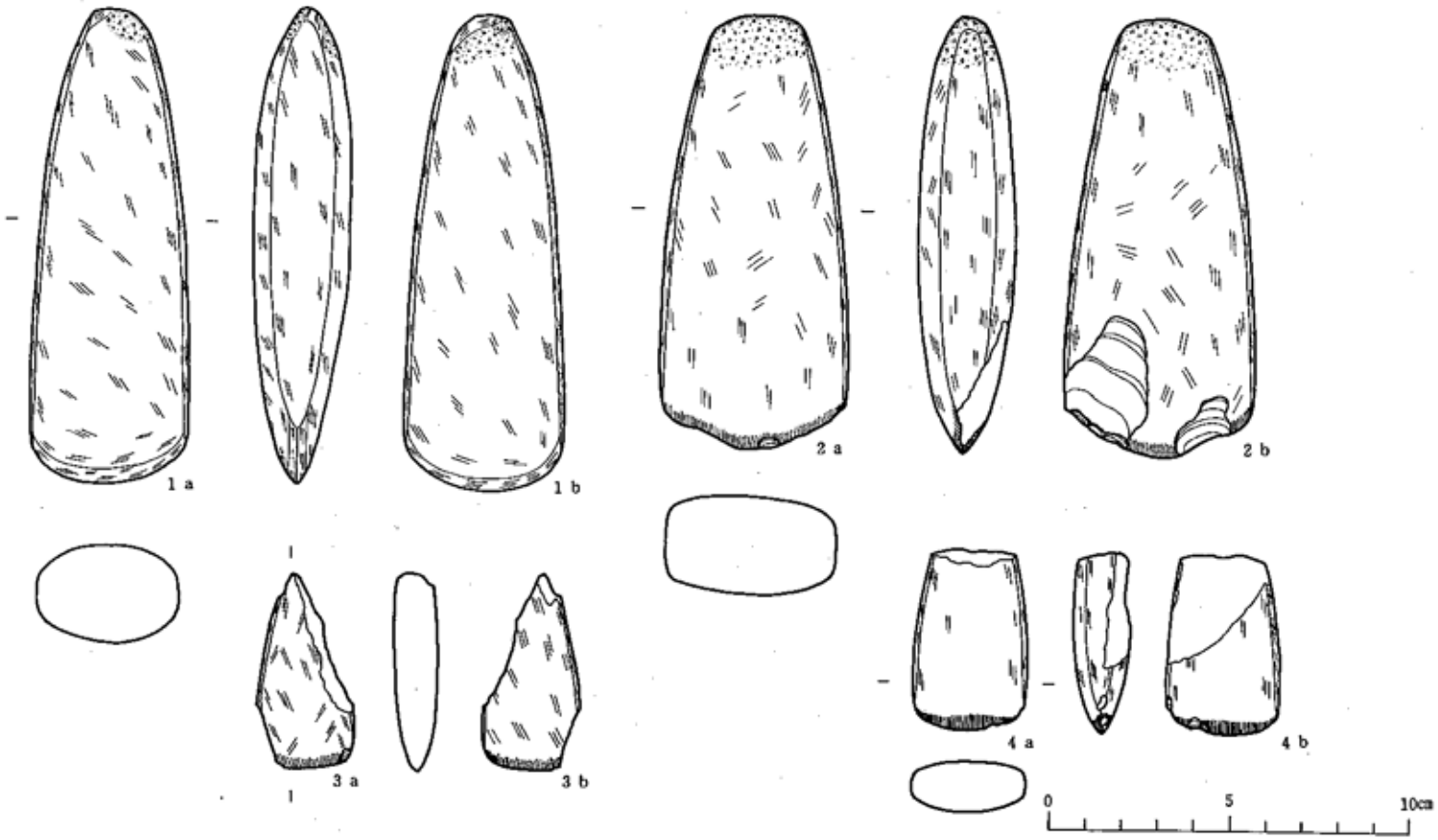


第368図　打製石斧（3）



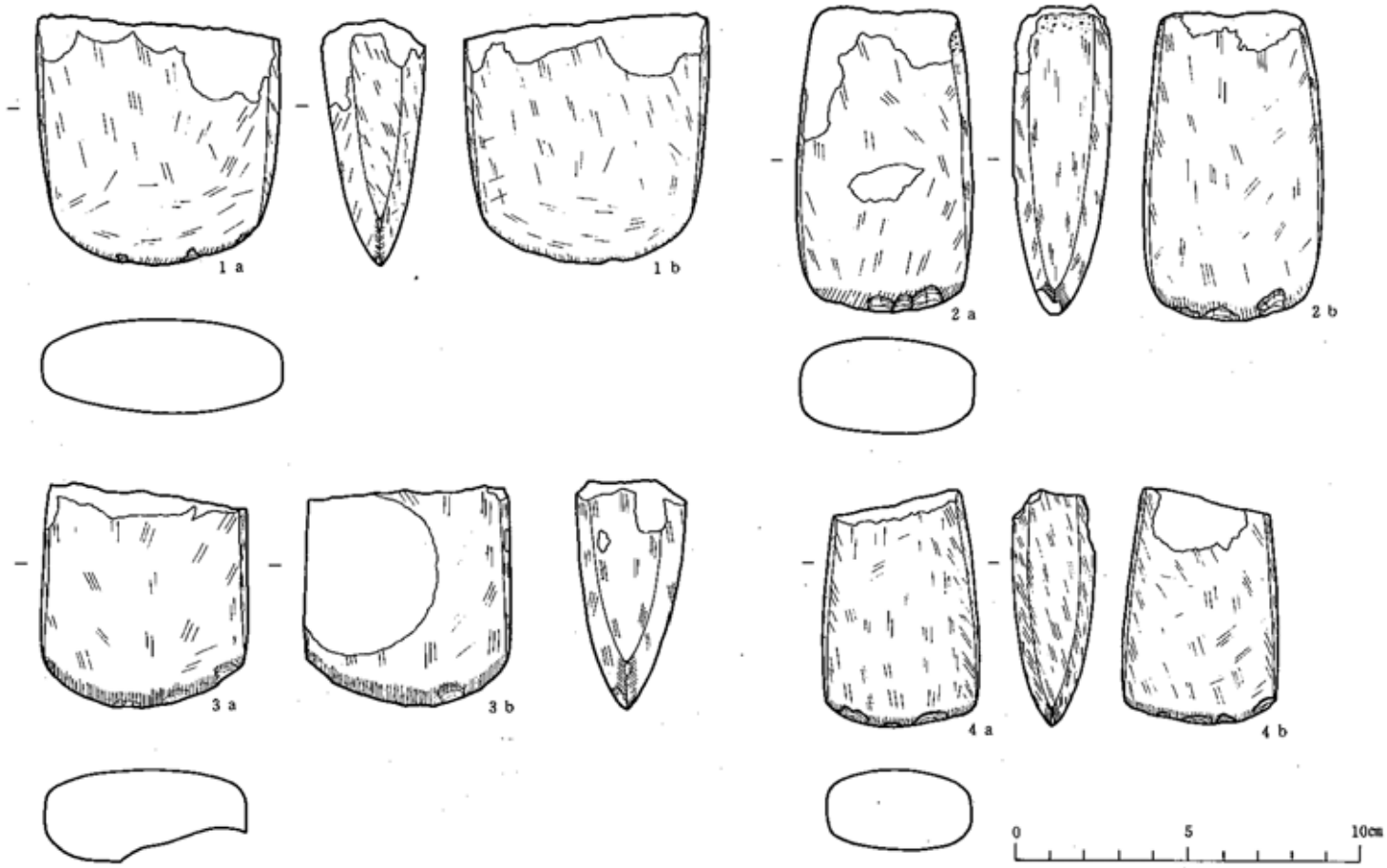
番号	地区・層位	長さ(mm)	基準値(mm)	石質	厚さ(mm)	重量(g)	石	所有	図
1	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
2	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
3	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
4	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

第369図　打製石斧（4）・環状石斧



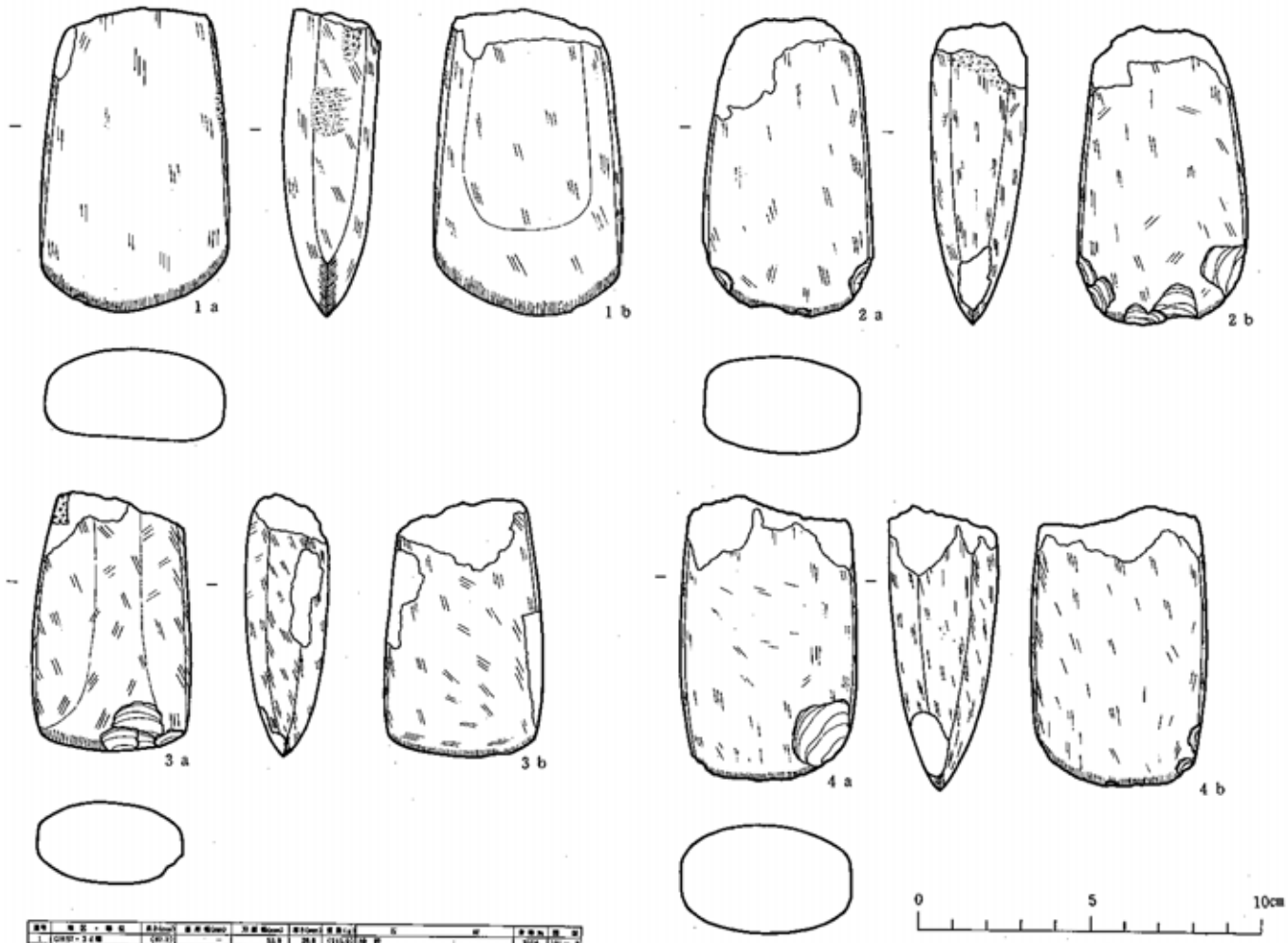
番号	種類・部位	長さ(mm)	最大幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	色調	図	図	備考	図
1	[illegible]	(31.2)	14.7	42.7	21.2	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
2	[illegible]	(32.0)	26.2	51.5	26.3	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
3	[illegible]	(34.0)	—	(22.2)	31.6	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
4	[illegible]	(49.1)	—	36.7	13.9	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

第370図　磨製石斧（1）

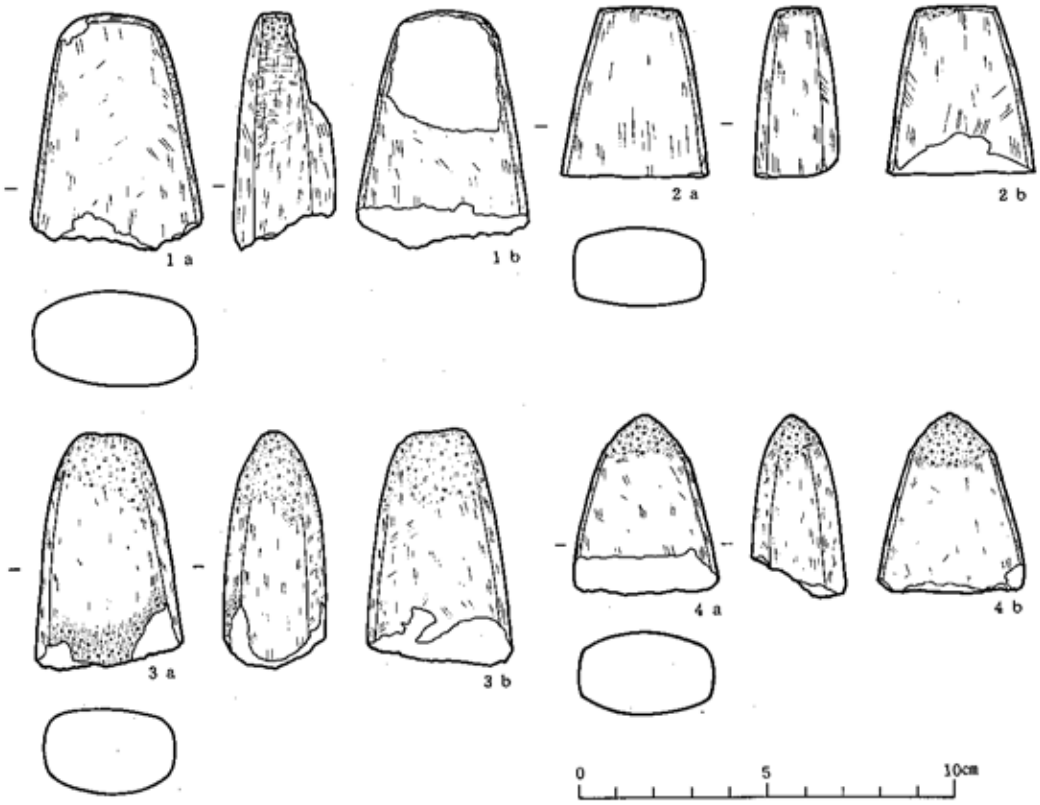


番号	地区・層位	長(mm)	最高幅(mm)	厚(mm)	厚(mm)	重量(g)	石材	原礫面	図面
1	[illegible]	[illegible]	–	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
2	[illegible]	[illegible]	–	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
3	[illegible]	[illegible]	–	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
4	[illegible]	[illegible]	–	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

第371図　磨製石斧（2）



第372図　磨製石斧（3）



第373図　磨製石斧（4）

けての表面は丁寧に研磨されており、刃部は両刃である。刃部には、a、b両面ともに著しい使用痕が認められる。

磨製石斧（第370図～377図）

包含層のもの（第370図～第373図）

Ⅰ：完形のもの、Ⅱ：基部切損(刃部のみ)のもの、Ⅲ：刃部切損(基部のみ)のものの順に説明を行う。

Ⅰ：完形のもの（第370図1・2）

1は、全体的に細身で、基部から刃部にかけて緩やかに幅が広がるものである。横断面は、楕円形に近い。刃部は、側面が左右対称のいわゆる両刃で、刃面が脹らみを持ち、刃縁は外弯している。基部端には、表面の剥落が認められる。2は、基部から刃部にかけて幅が広がるも

ので、いわゆる撥形の平面形を呈する。横断面は、隅丸長方形に近い。刃部は、両刃で、刃面に脹らみを持ち、刃縁は外弯している。刃部には欠損および摩耗が見られ、基部端周辺には表面の剥落が認められる。

Ⅱ：基部切損(刃部のみ)のもの（第370図3・4、第371図、第372図）

第370図3・4は、小形のものである。3は、刃部が両刃で、刃面に脹らみを持ち、刃縁は直線的である。刃部には、欠損および摩耗が見られる。4 は、横断面が隅丸長方形に近く、刃部は両刃である。刃面には脹らみを持ち、刃縁は外弯している。刃部には、欠損および摩耗が見られる。

第 371 図 1～4 は、横断面が隅丸長方形に近く、刃部は両刃である。刃面は脹らみを持ち、刃縁は外弯している。刃部には、欠損および摩耗が見られる。2 の側面上部には表面の剥落が認められる。

第 372 図 1 は、横断面が不整な隅丸長方形を呈する。刃部は両刃で、刃面に脹らみを持つ。刃縁は円刃であるが、偏りがある。刃部には、欠損および摩耗が見られ、側面には、表面の剥落した箇所が認められる。

第 372 図 2～4 は、横断面が隅丸長方形に近く、刃部は両刃である。刃面は脹らみを持ち、刃縁は外弯している。刃部には、欠損および摩耗が見られる。2・3 の側面上部には、表面の剥落が認められる。

Ⅲ：刃部切損(基部のみ)のもの（第373図）

第 373 図 1・2 は、横断面が隅丸長方形に近い。側面および基部端が直線的に研磨されており、いわゆる定角式磨製石斧の特徴をよく示している。基部周辺には、表面の剥落や欠損が認められる。

第 373 図 3・4 は、横断面が隅丸長方形に近い。基部周辺は、欠損や表面剥落が著しく、原形が保たれていない。

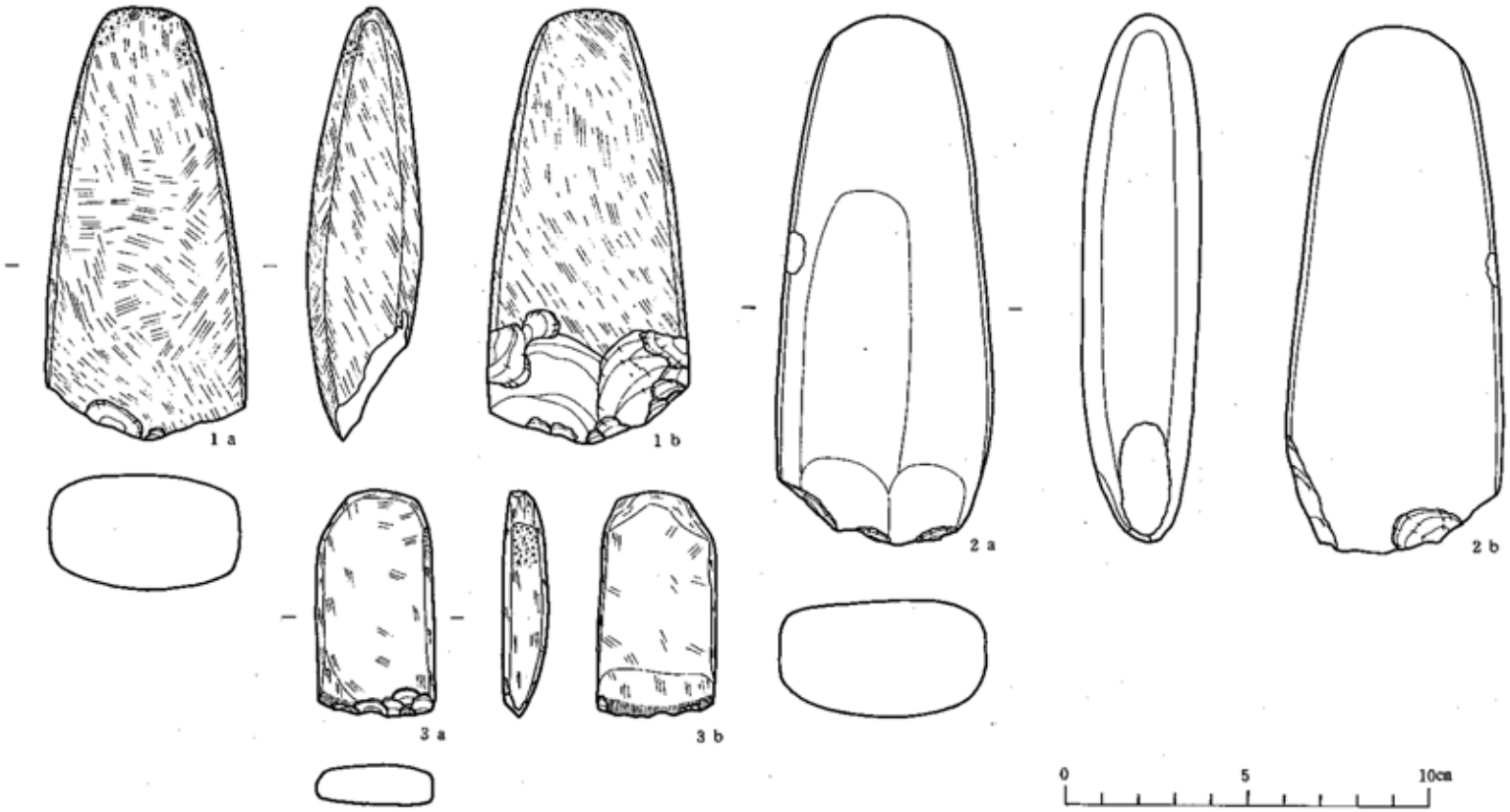
包含層以外のもの（第374図～第377図）

Ⅰ：完形のもの、Ⅱ：基部切損(刃部のみ)のもの、Ⅲ：刃部切損(基部のみ)のものの順に説明を行う。

Ⅰ：完形のもの（第374図、第375図）

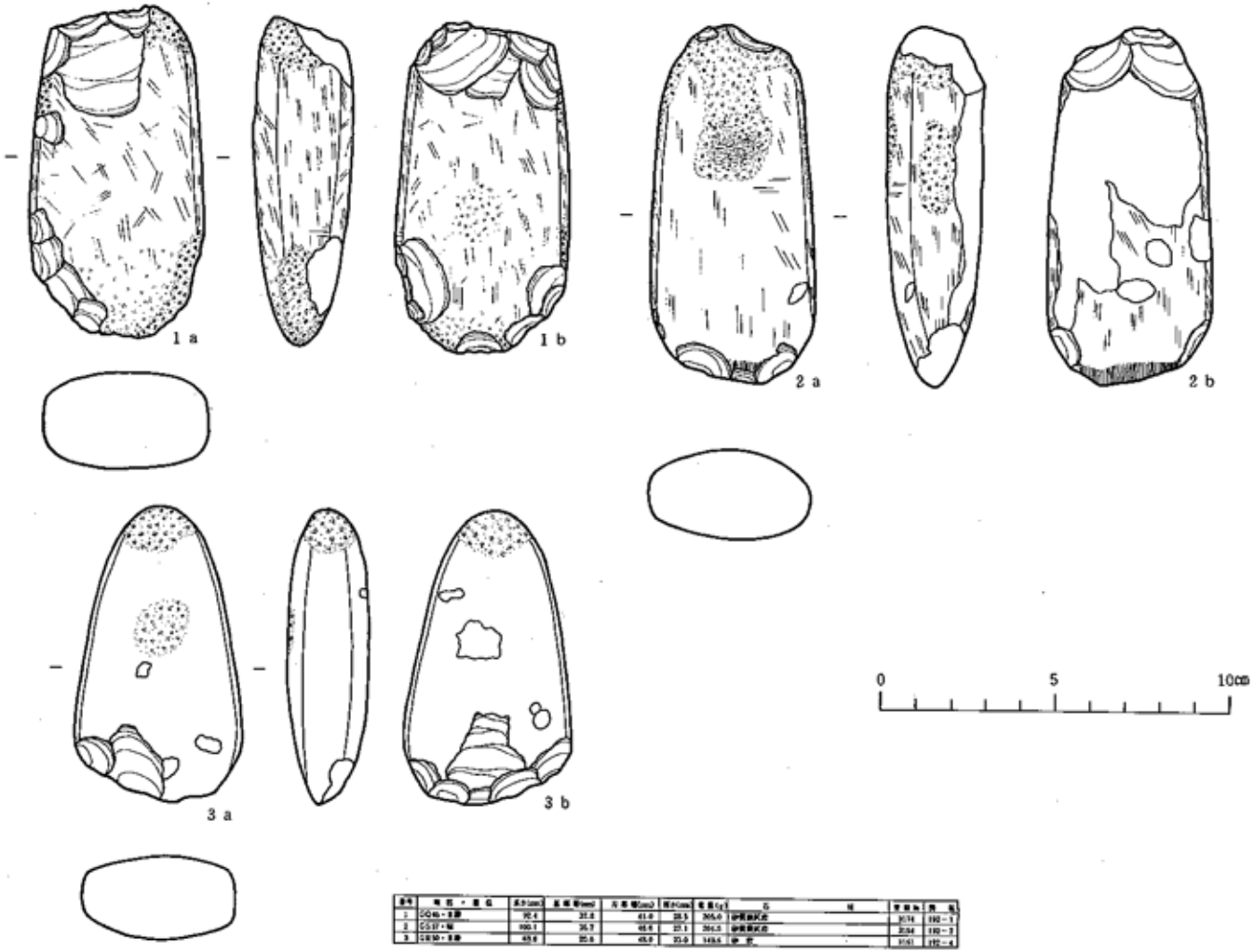
第374図1・2は、平面形が撥形を呈する。横断面は、隅丸長方形に近い。刃部は、欠損が著しく原形を止めていない。1の基部周辺には表面の剥落が認められる。

第374図3は、小形のもので、いわゆる短冊形の平面形を呈する。横断面は、隅丸長方形である。刃部は欠損が著しく、原形を止めていない。基部周辺は不整であるが、端部は直線的に研磨されている。刃部には、欠損の他に摩耗が見られ、側面上部には、表面の剥落が認められる。

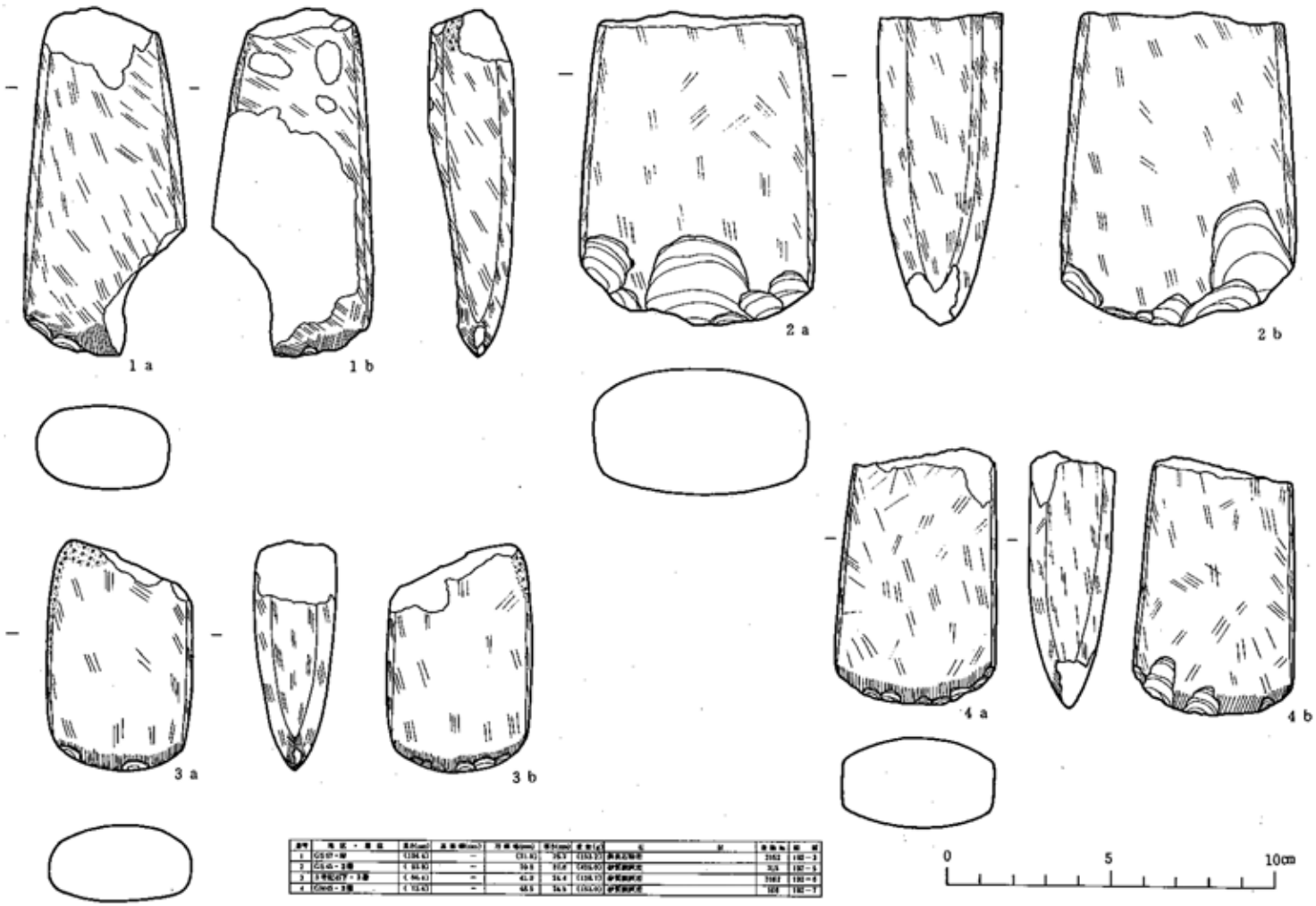


番号	地区・ベルト名	長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	厚(mm)	重量(g)	石材	出土地	図版
1	Cl6F・ピット中	138.0	73.0	55.0	31.2	290.0	硬質頁岩剥片	3158	101－18
2	3号配石下・2層	145.0	53.6	56.0	32.4	455.0	硬質頁岩剥片	3149	101－16
3	C14G・8層	44.5	36.0	32.0	31.6	47.5	頁岩剥片	3157	101－17

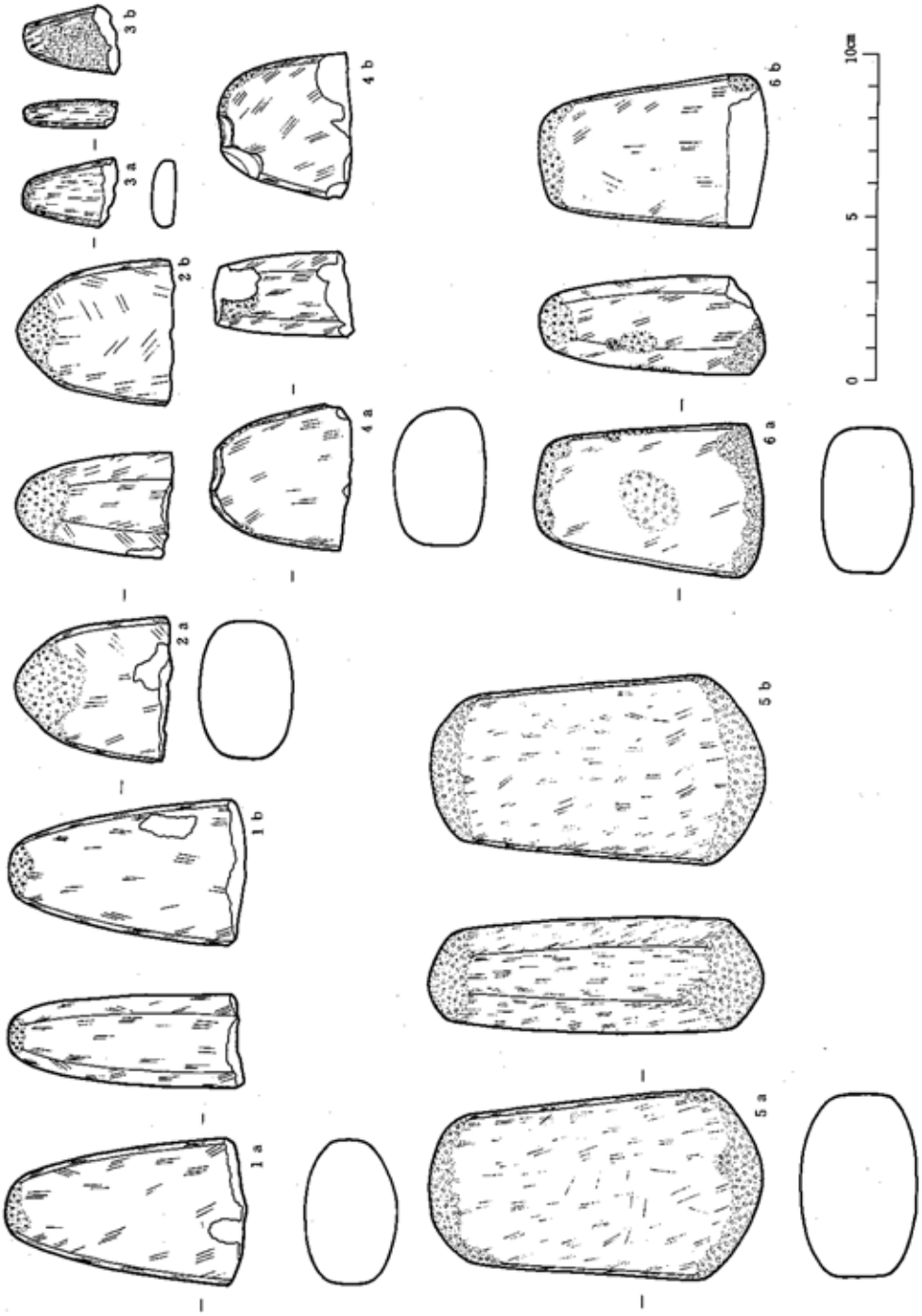
第374図　磨製石斧（5）



第375図　磨製石斧（6）



第376図　磨製石斧（7）



第377図　磨製石斧（8）

第375図1〜3は、刃部や基部の欠損が著しい。横断面は、隅丸長方形に近い。1は、上部および下部の側面周辺に表面の剥落が認められる。2 は、刃部に摩耗が見られ、側面に表面の剥落が認められる。また、ａ面には、表面剥落の他に凹痕も観察される。3 は、ａ面中央付近および基部周辺に表面剥落が認められる。

Ⅱ：基部切損(刃部のみ)のもの（第376図）

第376図1は、横断面が楕円形に近く、刃部は両刃である。刃面は脹らみを持ち、刃縁は外弯している。刃部には、欠損および摩耗が見られ、側面上部には、表面剥落が認められる。

第376図2は、横断面が隅丸長方形に近い。刃部は著しく欠損しており、原形を止めていない。ｂ面上部に表面の剥落が認められる。

第376図3・4は、横断面が隅丸長方形に近く、刃部は両刃である。刃面は脹らみを持ち、刃縁は外弯している。刃部には、欠損や摩耗が見られる。3 の上部には、側面を中心に表面剥落が認められる。

Ⅲ：刃部切損(基部のみ)のもの（第377図）

第377図1・2は、横断面が隅丸長方形に近い。基部周辺には、表面剥落が認められる。

第377図3は、小形のもので、ｂ面に著しい表面剥落があるため、横断面は原形とは違ってカマボコ形を呈している。基部周辺には、表面の剥落が認められる。

第377図4は、横断面が隅丸長方形に近い。基部周辺には、欠損と表面剥落が見られる。

第377図5・6は、横断面が隅丸長方形に近い。5は、基部および切損部に著しい敲打痕が認められる。6 は、側面およびａ面中央に表面剥落が認められるほか、基部周辺および切損部に著しい敲打痕が認められる。

石皿（第378図〜第397図）

石皿およびその類似品を一括する。

包含層のもの（第378図〜第383図）

大きさにより、次の四つに分けて説明を行う。

1：最大長10㎝未満のもの

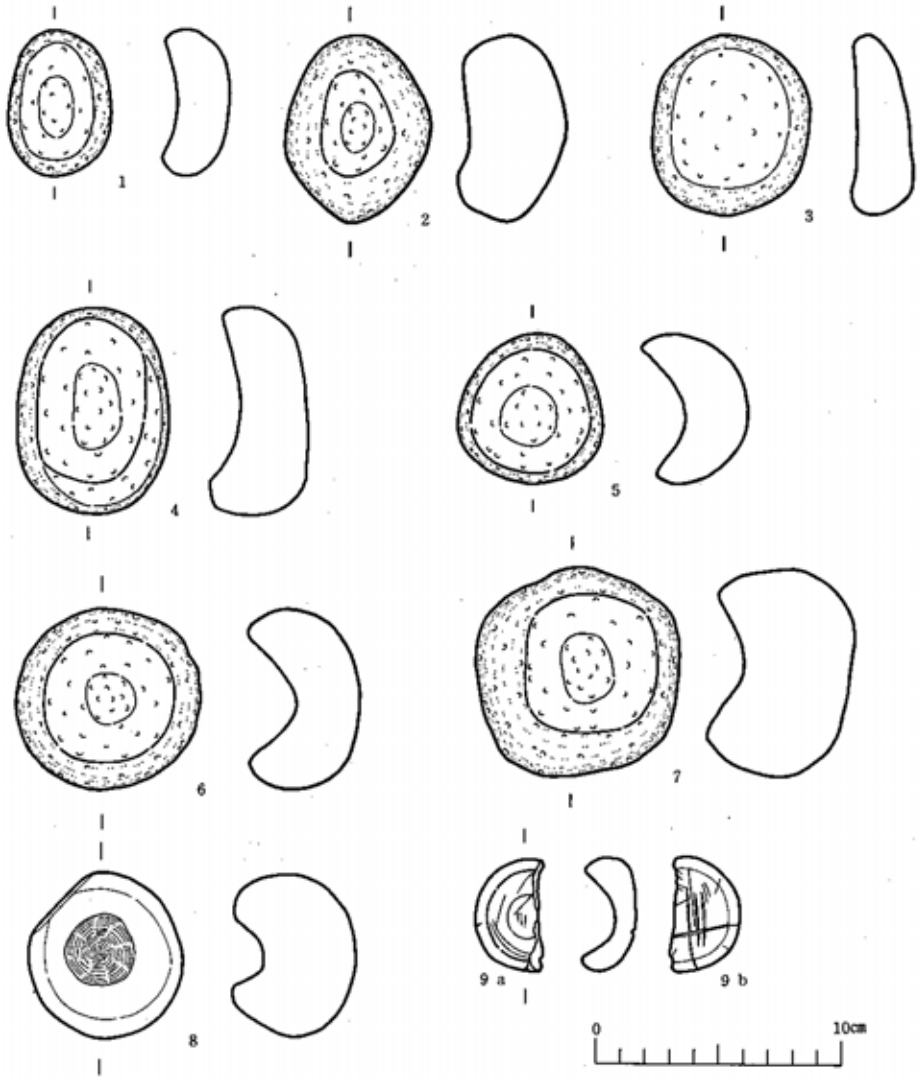
2：最大長10㎝以上20㎝未満のもの

3：最大長20㎝以上30㎝未満のもの

4：最大長30㎝以上のもの

1：最大長10㎝未満のもの（第378図）

第378図1〜4は、平面形が楕円形を呈する。凹部は浅く、皿状である。5〜6は、平面形が円形を呈する。凹部は深く、椀状である。7は、平面形が隅丸方形を呈する。凹部は深く、椀

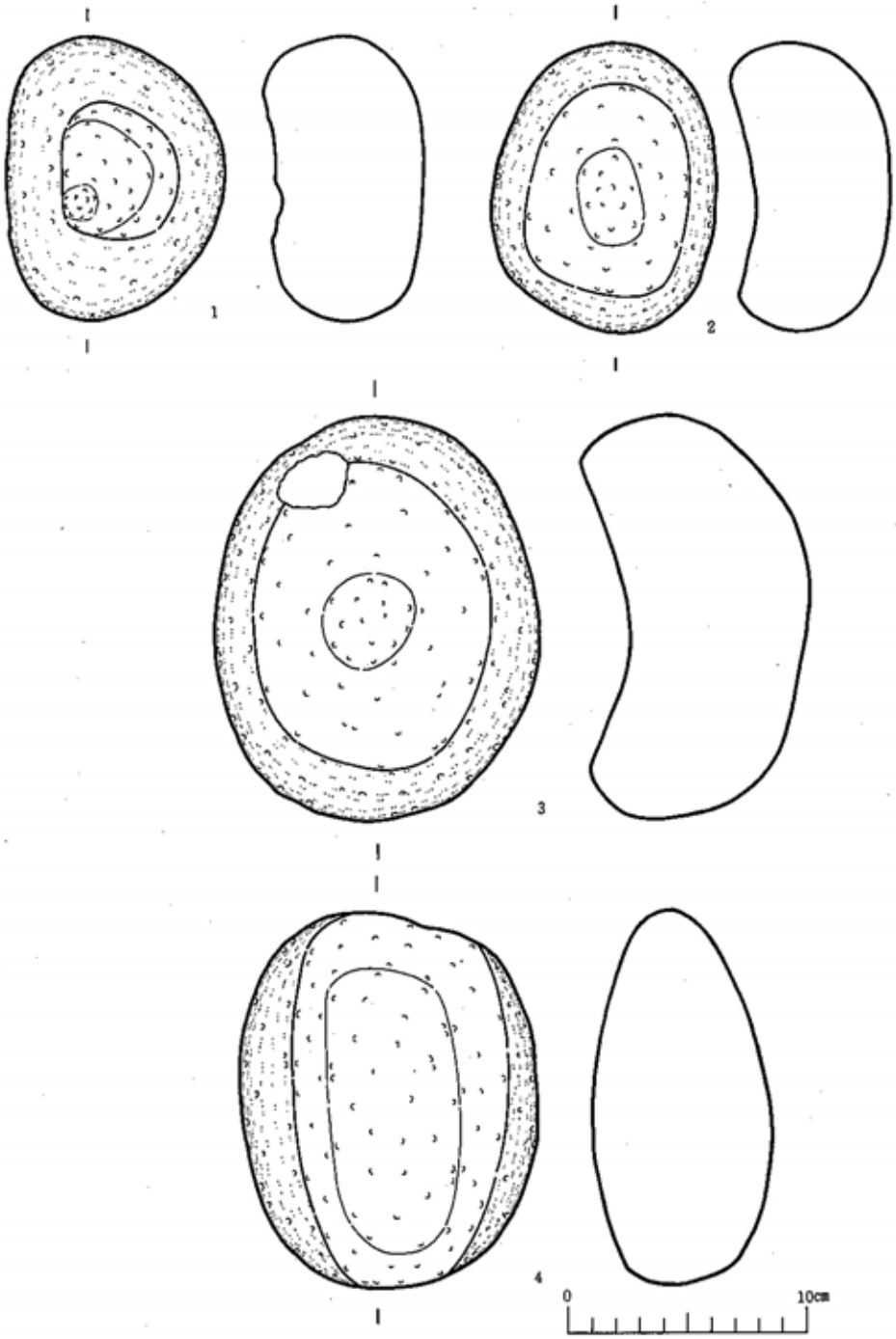


番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No.	図版
1	G I 55・2層	61.6	41.6	27.4	70	溶岩（安山岩）	2061	193-1
2	G I 57・3層	88.6	57.8	44.0	160	溶岩	2425	193-2
3	GN56・3d層	75.8	62.2	27.1	110	溶岩	3049	193-3
4	GL57・2層	97.0	60.4	39.4	170	溶岩	3059	193-4
5	GM51・3層	63.0	58.1	33.6	90	溶岩	153	193-5
6	GP52・2層	75.6	74.2	45.3	180	溶岩	2639	193-6
7	GO54・3層	97.2	81.7	56.3	290	溶岩	2431	193-7
8	IH54・2層	69.4	61.5	52.2	140	凝灰岩	3000	193-8
9	GM53・3c層	47.6	(37.5)	18.4	(12.7)	凝灰岩	205	193-9

第378図　石　　皿（1）

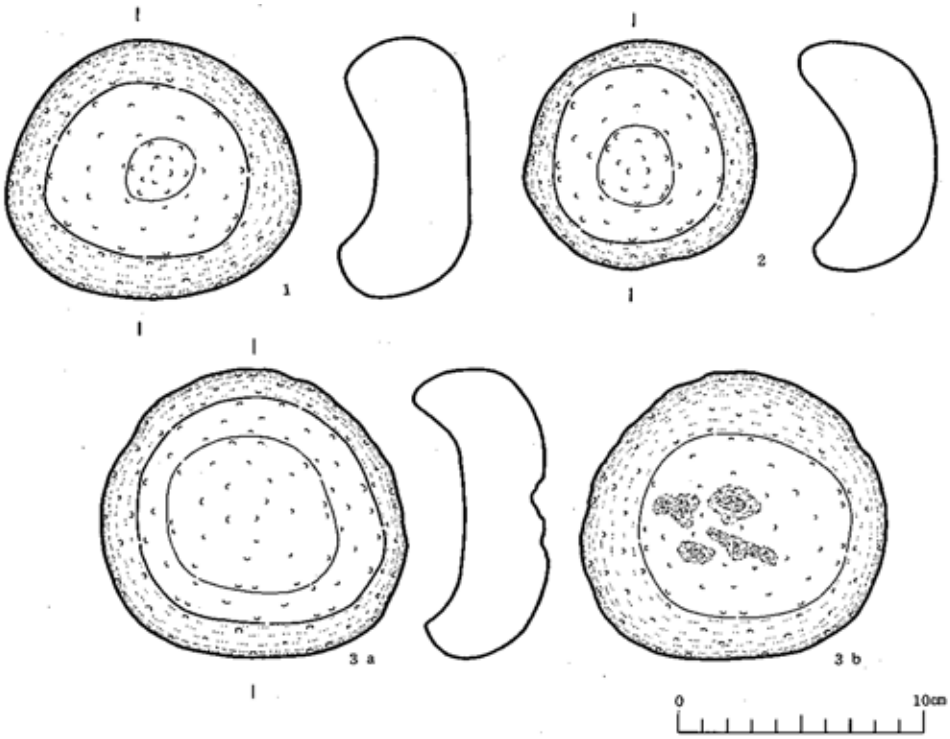
状である。8 は、平面形が不整な円形を呈する。凹部は小径で、深く刳貫いたようになっている。9 は、欠損品である。凹部は深く、椀状である。ａ面には、線条痕が見られ、ｂ面には、切付けたような細い線溝が認められる。8・9 は、軟質の石材を使用している点で特異である。

2：最大長 10 ㎝以上 20 ㎝未満のもの（第 379 図、第 380 図）



番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No.	図版
1	GI55・2層	118.4	91.2	71.3	700	溶岩	2835	193-10
2	GO56・3層	120.2	92.8	66.6	740	溶岩	3030	193-11
3	GI57・3d層	167.1	134.4	88.2	1890	溶岩	3063	193-12
4	GM53・3層	158.0	123.0	74.6	1610	溶岩	2456	193-13

第379図　石　　皿（2）



番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No.	図版
1	GH56・3d層	119.2	117.7	48.9	670	凝灰岩	3043	193-14
2	GO56・2層	104.8	93.2	57.9	320	凝灰岩	3034	193-16
3	GN56・2層	132.4	122.0	51.2	680	凝灰岩	3045	193-15

第380図　石　　皿（3）

第379図1は、平面形が不整な円形を呈する。凹部は浅く、皿状で、小さな凹痕が付いている。2・3は、平面形が楕円形を呈する。凹部は浅く、皿状である。4は、平面形が楕円形を呈する。凹部は浅く、長軸方向において、中央付近が周縁より盛り上がっている。

第380図1～3は、平面形が不整な円形を呈する。凹部は深く、椀状である。3のｂ面は摩滅しており、数箇所に凹痕が認められる。

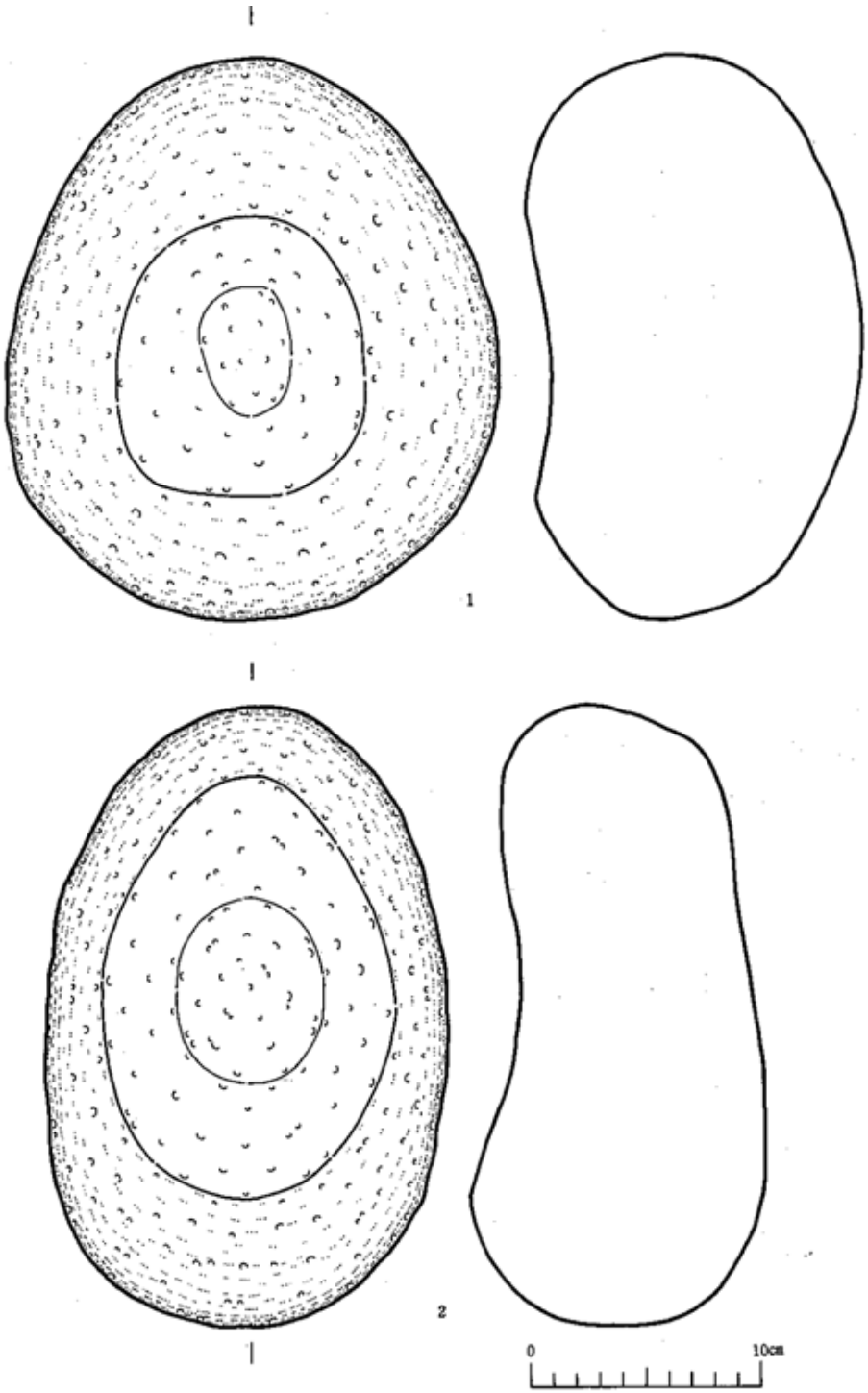
3：最大長20㎝以上30㎝未満のもの（第381図、第382図）

第381図1・2、第382図1は、平面形が楕円形を呈する。凹部は浅く、皿状である。

第382図2は、平面形が楕円形を呈する。凹部は深く、椀状である。

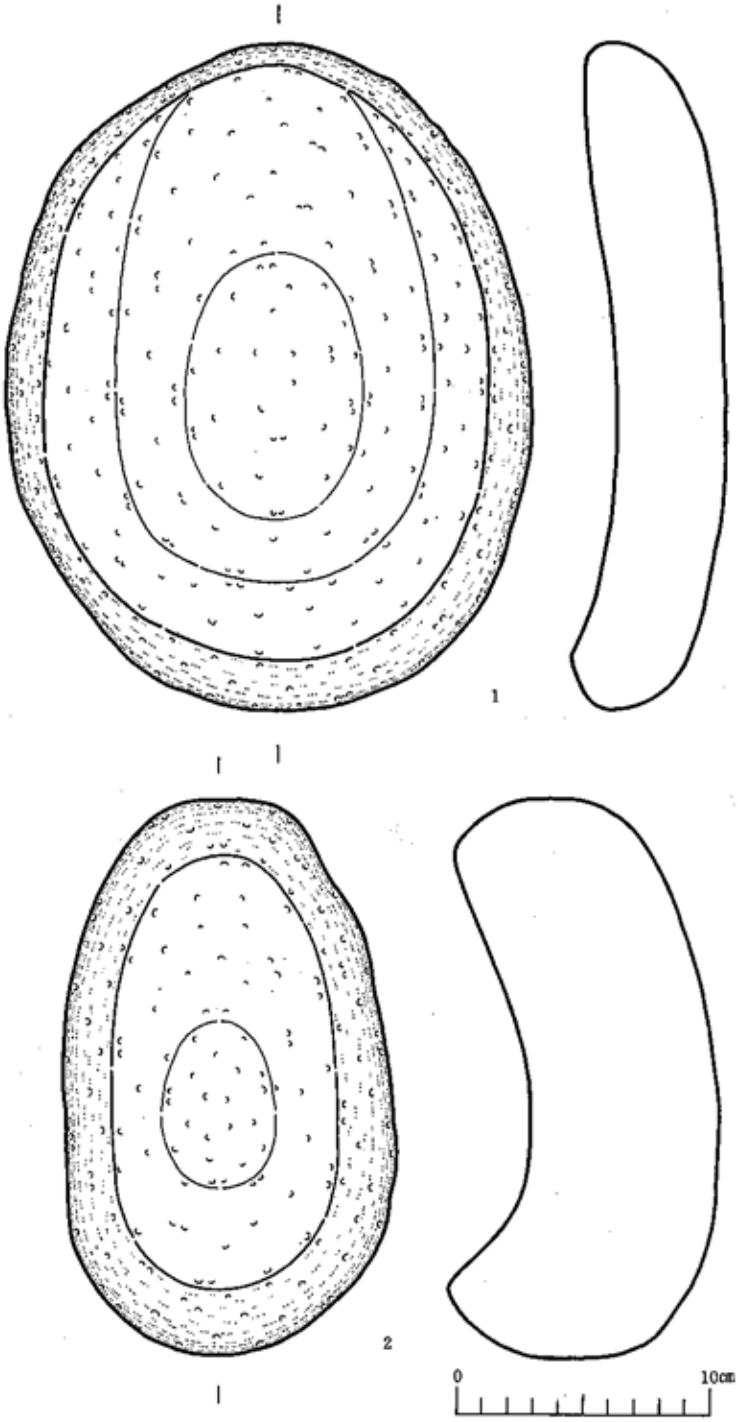
4：最大長30㎝以上のもの（第383図）

第383図は、欠損品であるが、平面形は長方形に近いものと考えられる。ａ面には、立ち上がりのある縁が見られ、縁部上端が曲線的に調整されている。ｂ面には、帯状の高まりの上に脚が設けられ、脚部下面が凹状に整形されている。ａ面の凹部は、周辺部が平盤状を呈し、さらに中央部が楕円状に凹んでいる。全体的に作りが精巧で、入念に研磨調整されている。



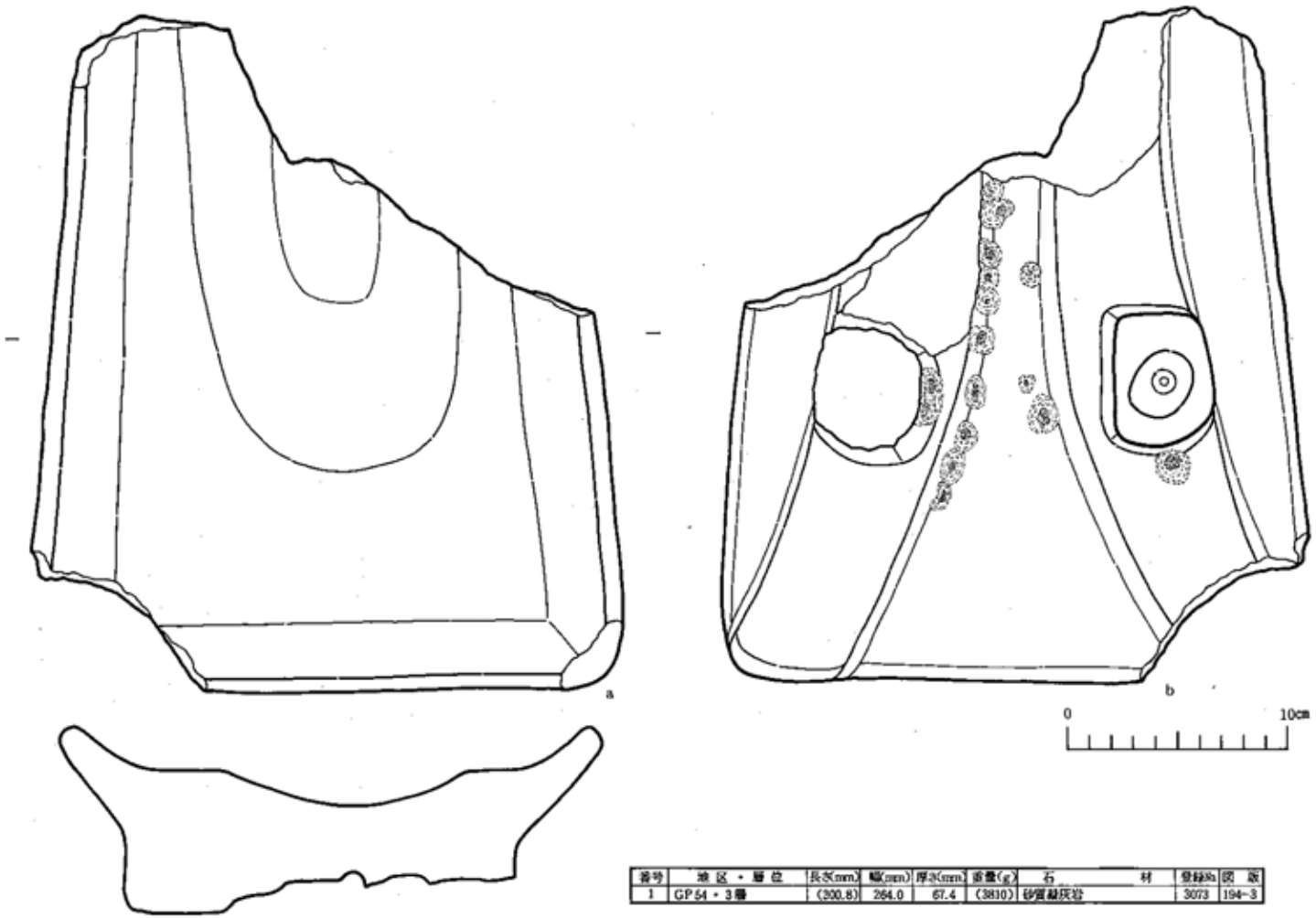
番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No	図版
1	GN55・3a層	241.0	211.7	133.7	7080	溶岩	3070	193-17
2	GM57・3層	266.0	171.0	124.2	5370	溶岩	3066	193-18

第381図　石　皿（4）



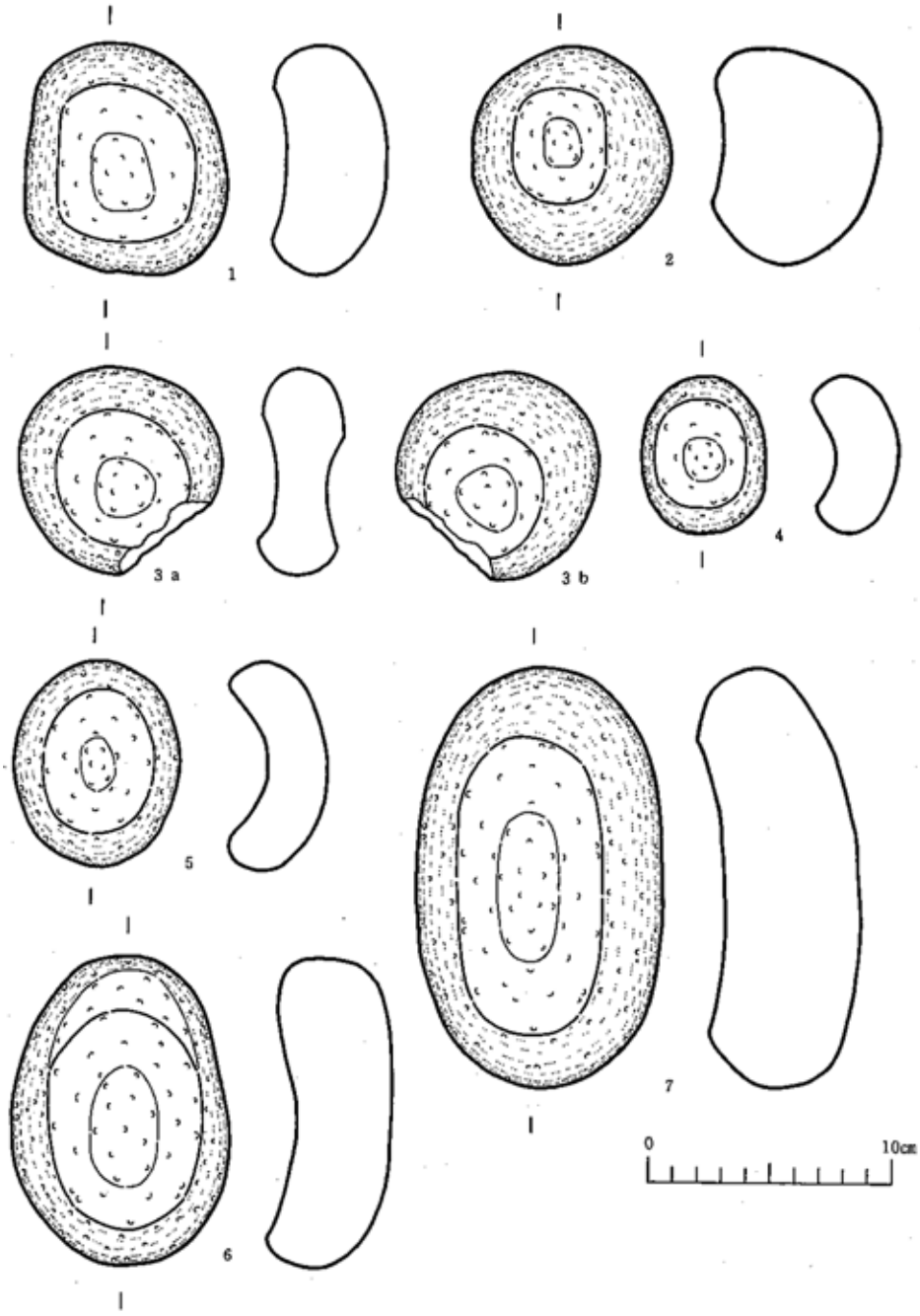
番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No.	図版
1	IH62・2層	262.3	204.8	40.4	3790	溶岩	112	194-1
2	GM57・3層	217.5	129.8	84.4	2870	溶岩	3060	194-2

第382図　石　皿（5）



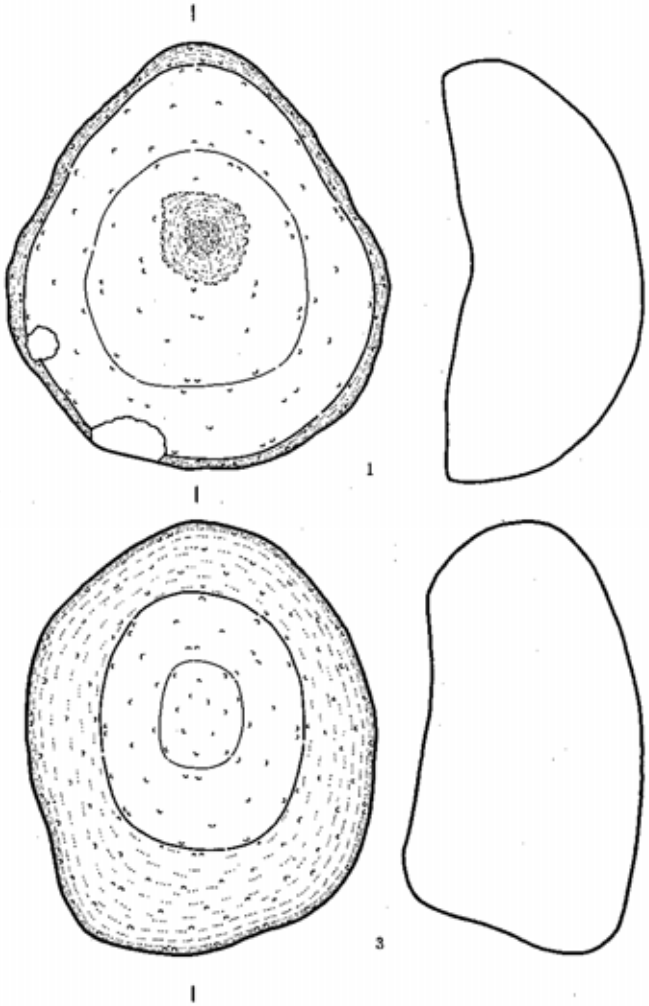
番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No.	図版
1	GP54・3層	(200.8)	264.0	67.4	(3810)	砂質凝灰岩	3073	194-3

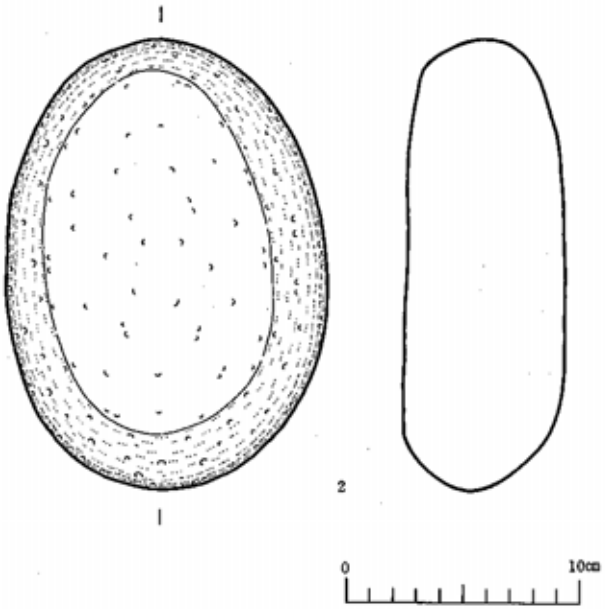
第383図　石　皿（6）



番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No.	図版
1	GS57・縄	91.7	80.4	52.4	450	溶岩	3032	195−1
2	3号配石下・2層	97.6	80.4	70.0	350	溶岩	3017	195−2
3	GS57・縄	83.1	80.8	35.0	(290)	溶岩	2414	195−3
4	GQ45・Ⅱ層	64.8	50.8	37.3	110	溶岩	2441	195−4
5	3号配石下・4層	82.2	67.4	39.6	180	溶岩	2492	195−5
6	3号配石下・2層	125.8	78.4	48.7	420	溶岩	2825	195−6
7	GQ50・Ⅱ層	170.8	101.0	60.5	1050	溶岩	3042	195−7

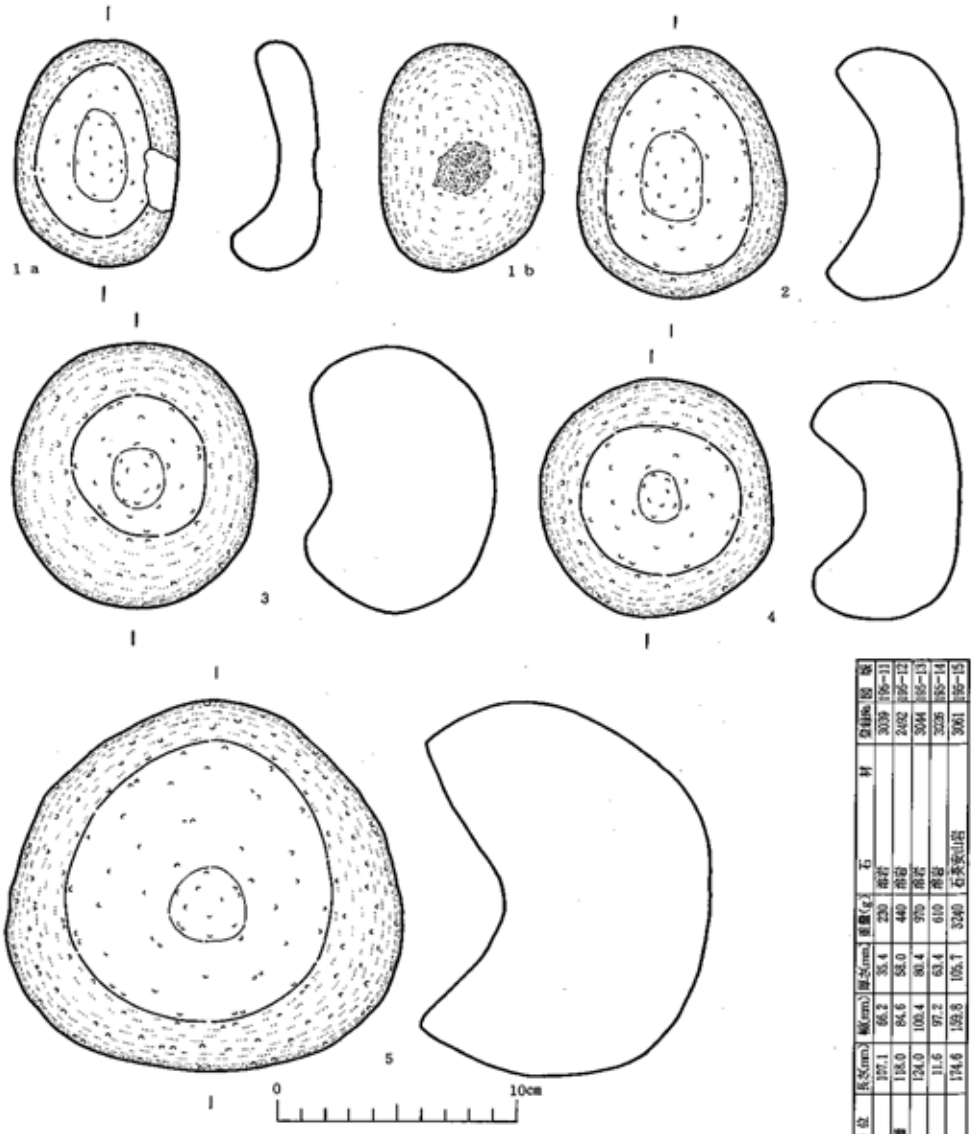
第384図　石　皿（7）





番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No	図版
1	3号配石	179.6	161.6	79.5	2210	溶岩	3015	195－8
2	GS 57・覆	190.2	135.2	68.0	2600	安山岩	2813	195－10
3	3号配石	180.4	148.2	100.0	3310	溶岩	3105	195－9

第385図　石　皿（8）



第386図　石　皿（9）

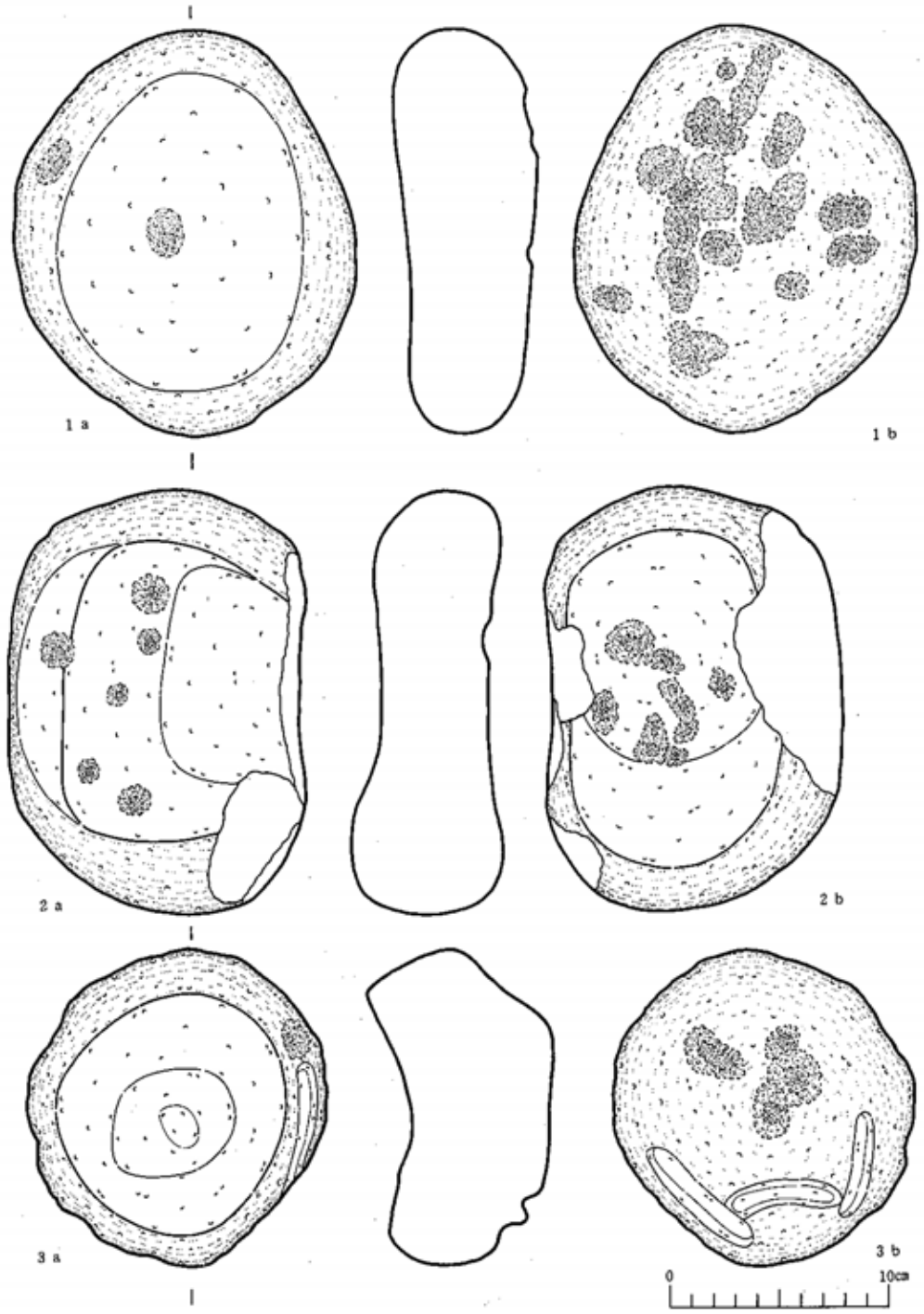
番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石	材	登録No.	図版
1	HC46・II層	197.1	66.2	35.4	230	溶岩		3039	195-11
2	3号配石下・4層	118.0	84.6	58.0	440	溶岩		2492	195-12
3	GQ47・III層	124.0	100.4	80.4	970	溶岩		3044	195-13
4	HJ55・III層	11.6	97.2	63.4	610	溶岩		3026	195-14
5	1号住居跡	174.6	159.8	105.7	3240	石英安山岩		3061	195-15

包含層以外のもの（第 384 図～第 397 図）

包含層のものと同様、4 つに分けて説明を行う。

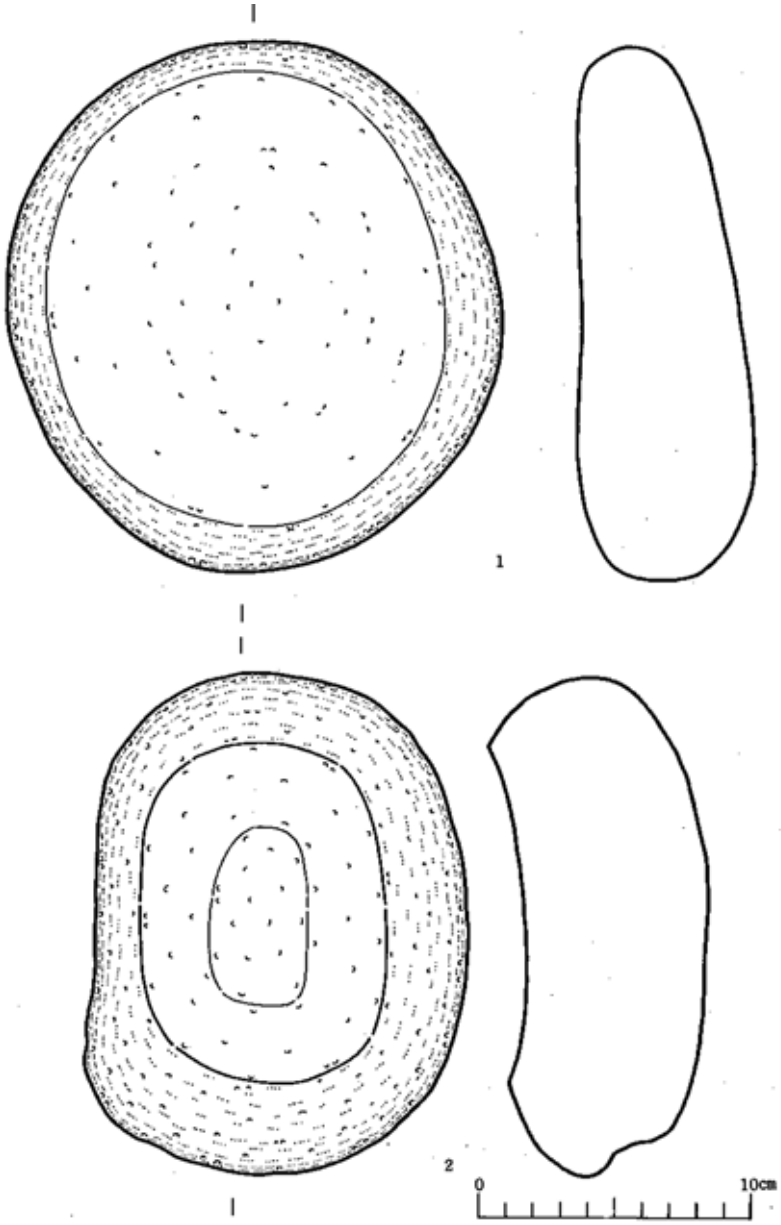
1：最大長 10 ㎝未満のもの（第 384 図 1～5）

第 384 図 1・2 は、平面形が不整な円形を呈する。凹部は浅く、皿状である。3 は、欠損品で



番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No.	図版
1	GS57・層	185.4	155.2	67.5	2300	溶岩	3079	195-16
2	3号配石	192.8	(130.4)	75.5	(1650)	溶岩	2819	195-17
3	GS45・Ⅱ層	142.9	136.3	83.0	810	溶岩	3262	195-18

第387図　石　　皿 (10)



番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No.	図版
1	GL46・Ⅱ層	215.7	181.0	65.4	3550	石英安山岩	3120	195−1
2	GQ52・Ⅱ層	202.6	136.5	76.5	2370	頁岩	3084	196−2

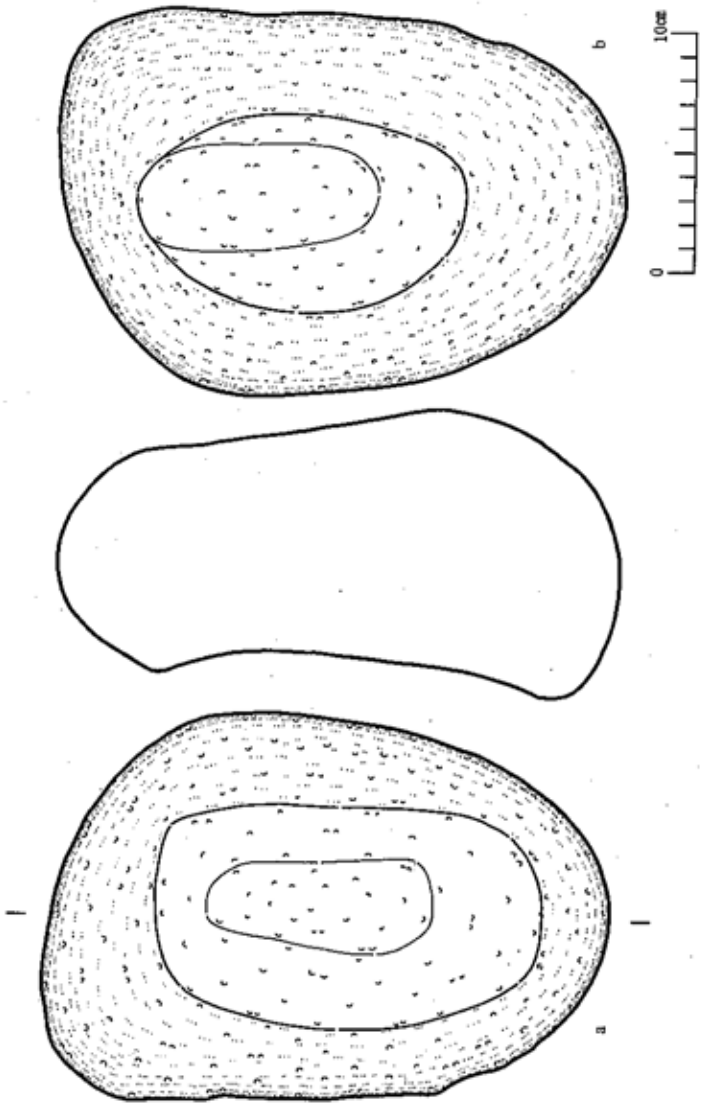
第388図　石　皿（11）

あるが、平面形は円形に近いものと考えられる。a、b両面に、浅い皿状の凹部を持つ。4・5は、平面形が楕円形を呈する。凹部は深く、椀状である。

2：最大長10㎝以上20㎝未満のもの（第384図6・7、第385図〜第387図）

第384図6・7は、平面形が楕円形を呈する。凹部は浅く、皿状である。

第385図1は、平面形が不整な楕円形を呈する。凹部は浅く、皿状で、底面には凹痕が見ら



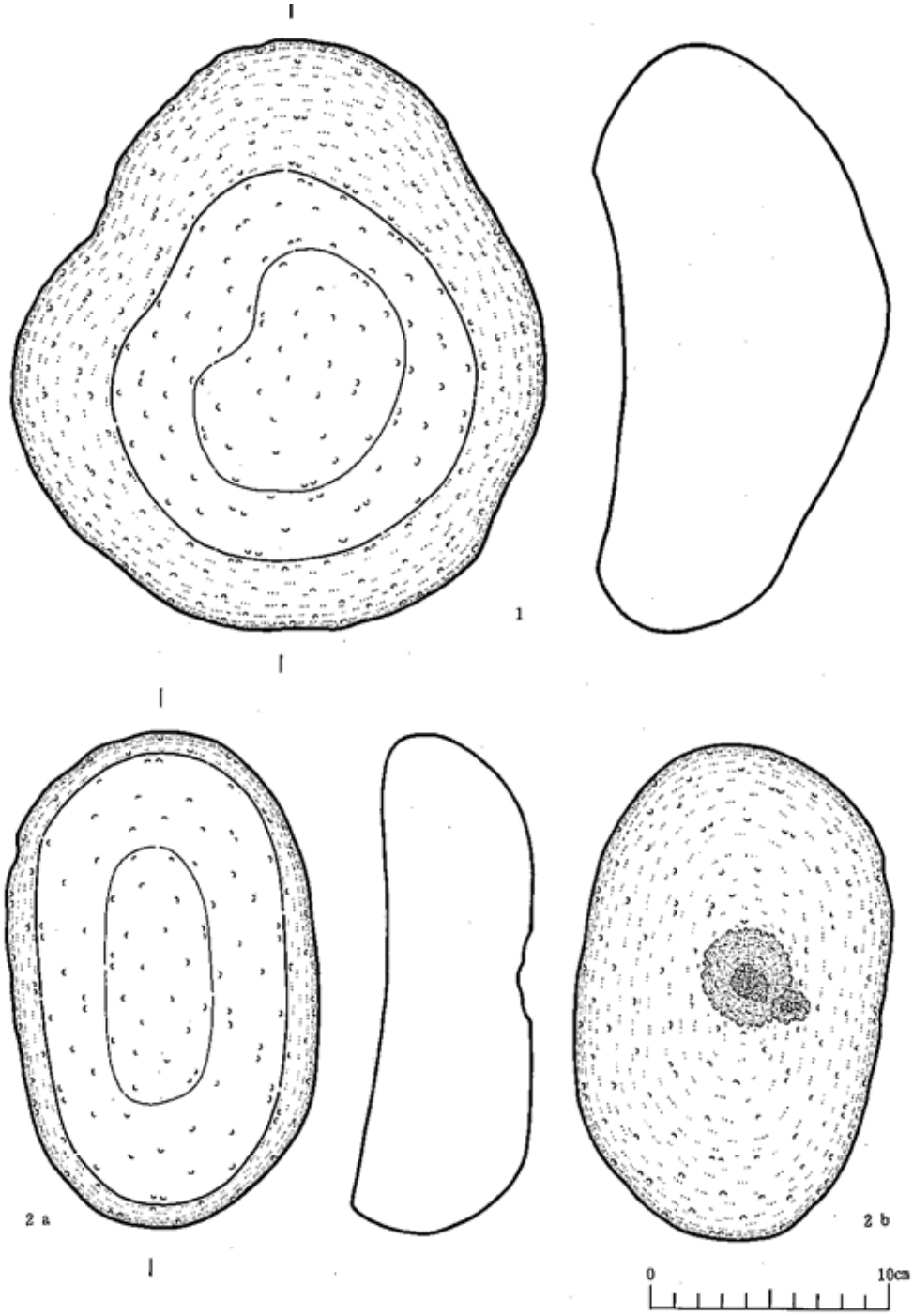
番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石	材	登録No.	図版
7	1号配石	216.8	162.7	119.5	3530	砂岩		3007	196-3

第389図 石 皿 (12)

れる。2は、平面形が楕円形を呈する。凹部は平盤状である。3は、平面形が不整な楕円形を呈する。凹部は浅く、皿状を呈する。

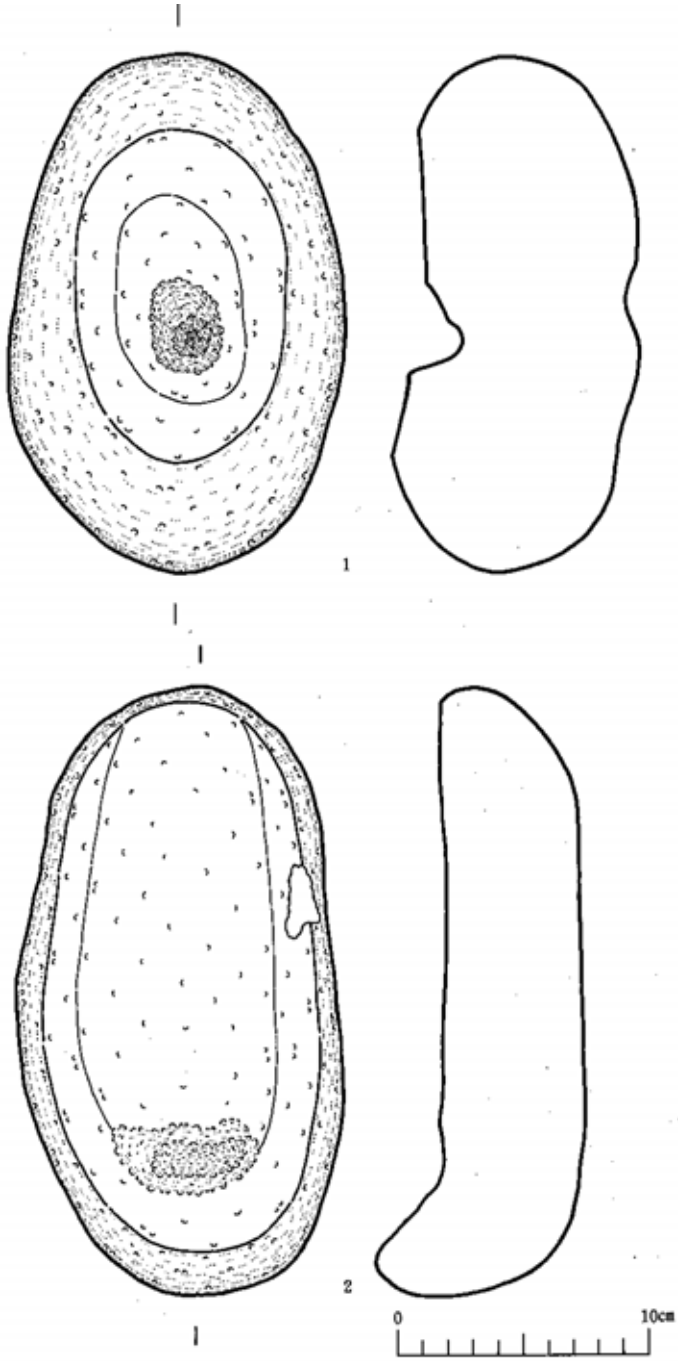
第386図1〜5は、平面形が楕円形を呈する。凹部は深く、椀状である。1のb面には、凹痕が認められる。

第387図1は、平面形が不整な楕円形を呈する。凹部は浅く、皿状である。a面には、2個の凹痕が見られ、b面には、多数の凹痕が認められる。2は、欠損品である。凹部は、a、b両面にあり、浅く、皿状を呈する。a、b両面には、数個の凹痕が認められる。3は、平面形が不



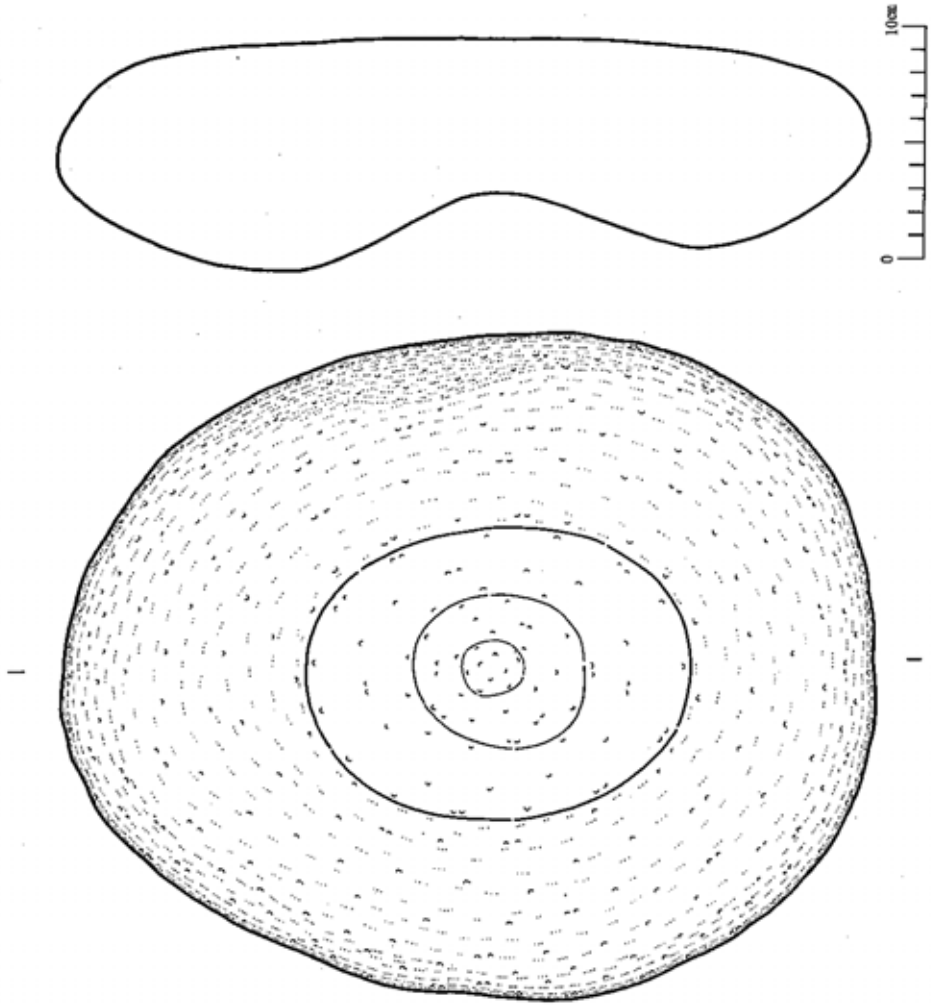
番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No	図版
1	GN46・Ⅱ層	247.3	221.8	110.0	5270	溶岩	2504	196−4
2	GR46・Ⅱ層	206.7	128.4	73.8	1590	溶岩	3046	196−5

第390図　石　皿 (13)



番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No.	図版
1	1号配石	206.2	130.8	99.5	2190	溶岩	3027	196−6
2	3号配石下・2層	241.2	127.0	64.0	1740	溶岩	2827	196−7

第391図　石　皿 (14)



番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No.	図版
1	HT48・Ⅱ層	336.8	284.5	97.2	12200	石英安山岩	3072	197-1

第392図 石 皿 (15)

不整な円形を呈する。凹部は浅く、皿状である。a、b両面に、凹痕および摩溝が観察される。

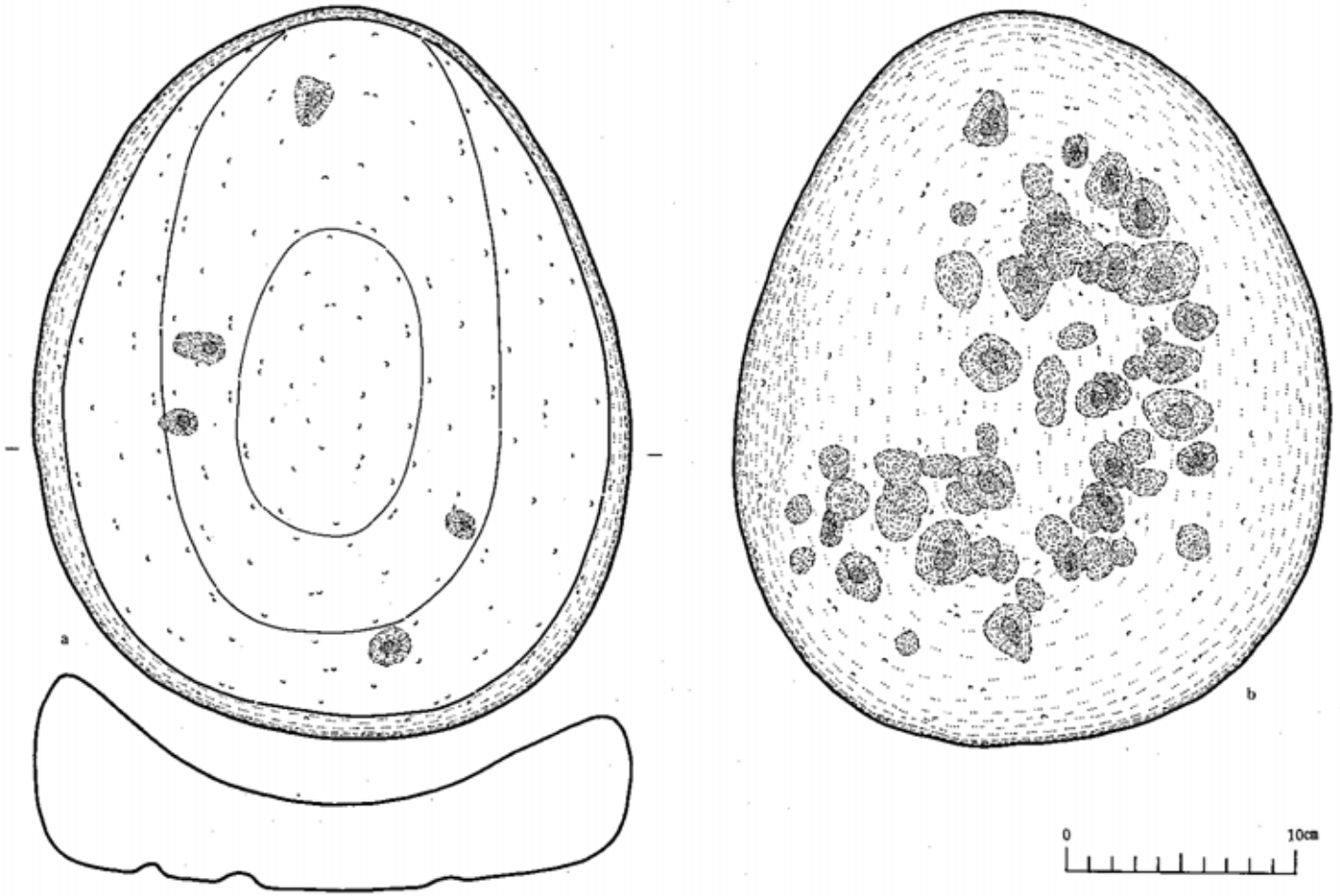
3：最大長20㎝以上30㎝未満のもの（第388図～第391図）

第388図1は、平面形が楕円形を呈する。凹部は、平盤状である。2は、平面形が不整な楕円形を呈する。凹部は浅く、皿状である。

第389図は、平面形が不整な楕円形を呈する。凹部はa、b両面にあり、浅く、皿状である。

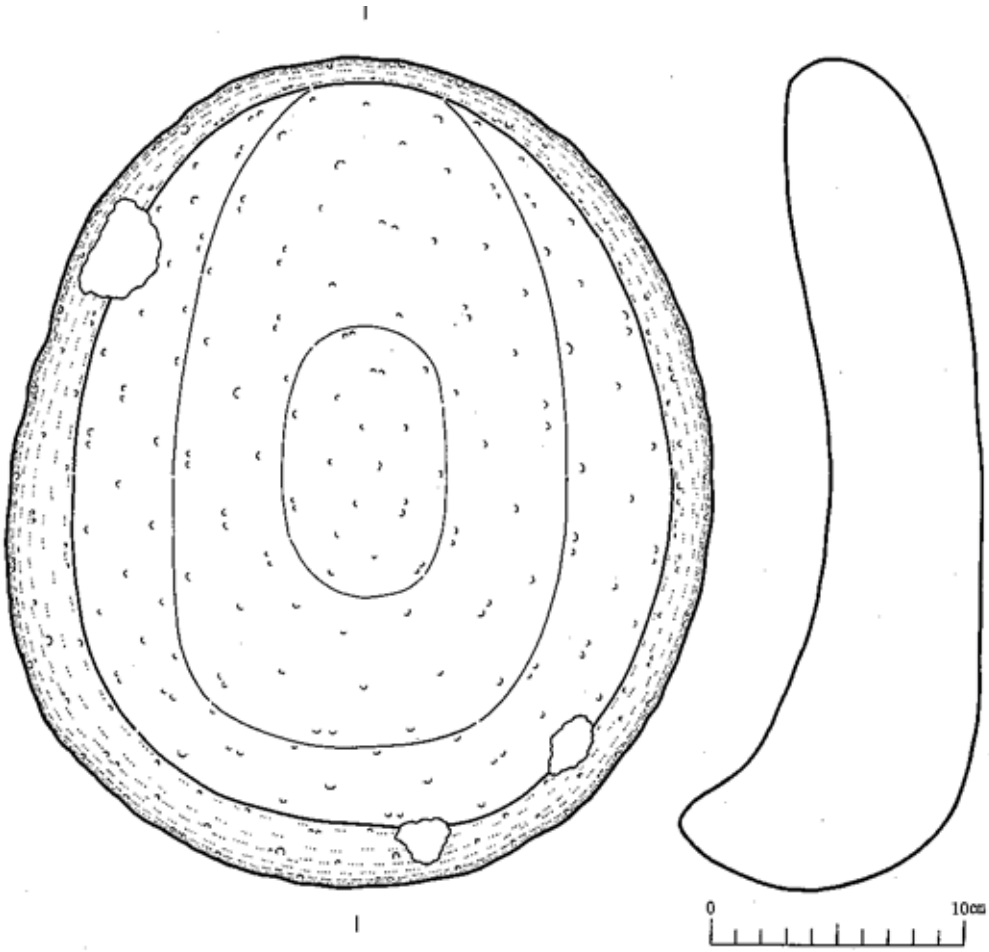
第390図1は、平面形が不整な円形を呈する。凹部は浅く、皿状である。2は、平面形が楕円形を呈する。凹部は浅く皿状である。b面には凹痕が認められる。

第391図1は、平面形が楕円形を呈する。凹部は浅く、皿状である。a、b両面に凹痕が認められる。2は、平面形が隅丸長方形を呈する。凹部は平盤状であるが、長軸方向の下縁および左右両側縁に立ち上がりがあり、全体として箕状の形態を示す。a面には、凹痕が認められる。



番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No	図版
1	ID54・II層	326.3	258.8	85.5	5880	石英安山岩	3078	197-2

第393図　石　皿 (16)



番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No.	図版
1	HE 52・Ⅱ層	325.2	275.0	110.0	10120	溶岩	2784	198−1

第394図　石　皿（17）

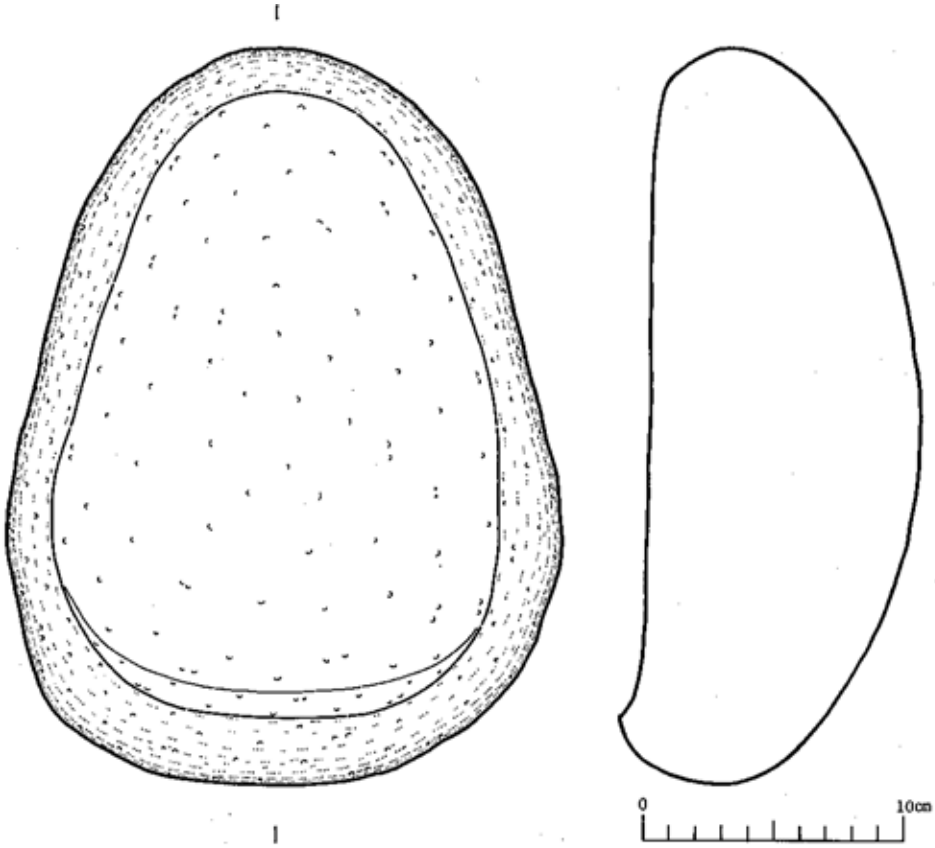
4：最大長30㎝以上のもの（第392図～第397図）

第392図は、平面形が楕円形を呈する。凹部は深く、椀状である。

第393図、第394図は、平面形が楕円形を呈する。凹部は浅く、皿状であるが、長軸方向の下縁および左右両側縁に立ち上がりがあり、全体として箕状の形態を示す。

第395図は、平面形が不整な楕円形を呈する。凹部は平盤状で、長軸方向の下縁に僅かな立ち上がりが見られる。

第396図、第397図は、平面形が楕円形を呈する。凹部は浅く、皿状を呈する。



番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No	図版
1	1号配石	305.8	208.7	112.8	8960	安山岩	3069	198−2

第395図　石　皿（18）

敲石・磨石・凹石（第 398 図～第 421 図）

いわゆる敲石・磨石・凹石の類を一括する。自然の円礫をそのまま用いたものが多い。

包含層のもの（第 398 図～第 409 図）

次の四種類に分けて説明を行う。

1：敲打痕のあるもの

2：磨痕のあるもの（敲打痕は持たない）

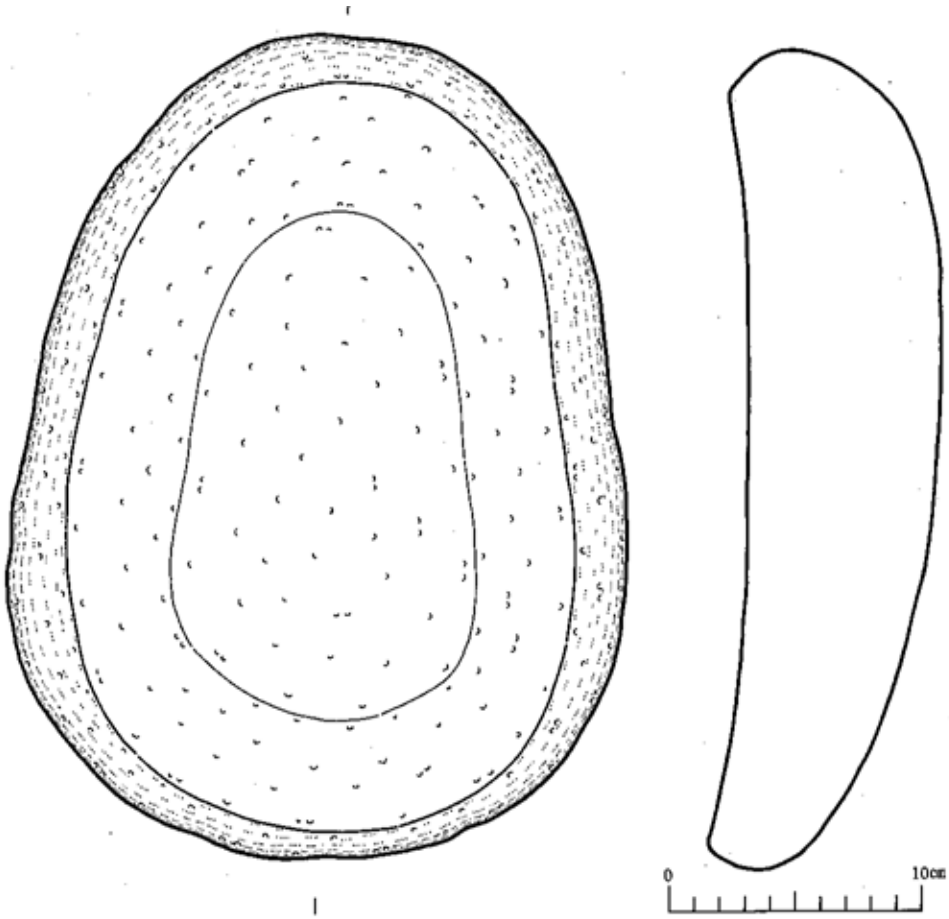
3：凹痕のみのもの

4：摩溝、線条痕のあるもの

1：敲打痕のあるもの（第 398 図）

第 398 図 1～6 は、円形もしくは楕円形に近い平面形を呈する。1・3・6 は、敲打痕のほかに、凹痕を持つ。2・4・5 は、敲打痕、磨痕、凹痕を有する。

2：磨痕のあるもの(敲打痕は持たない)（第 399 図～第 401 図）



番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No.	図版
1	GN46・小配石	332.5	242.2	76.4	9470	石英安山岩	3071	198-3

第396図　石　皿 (19)

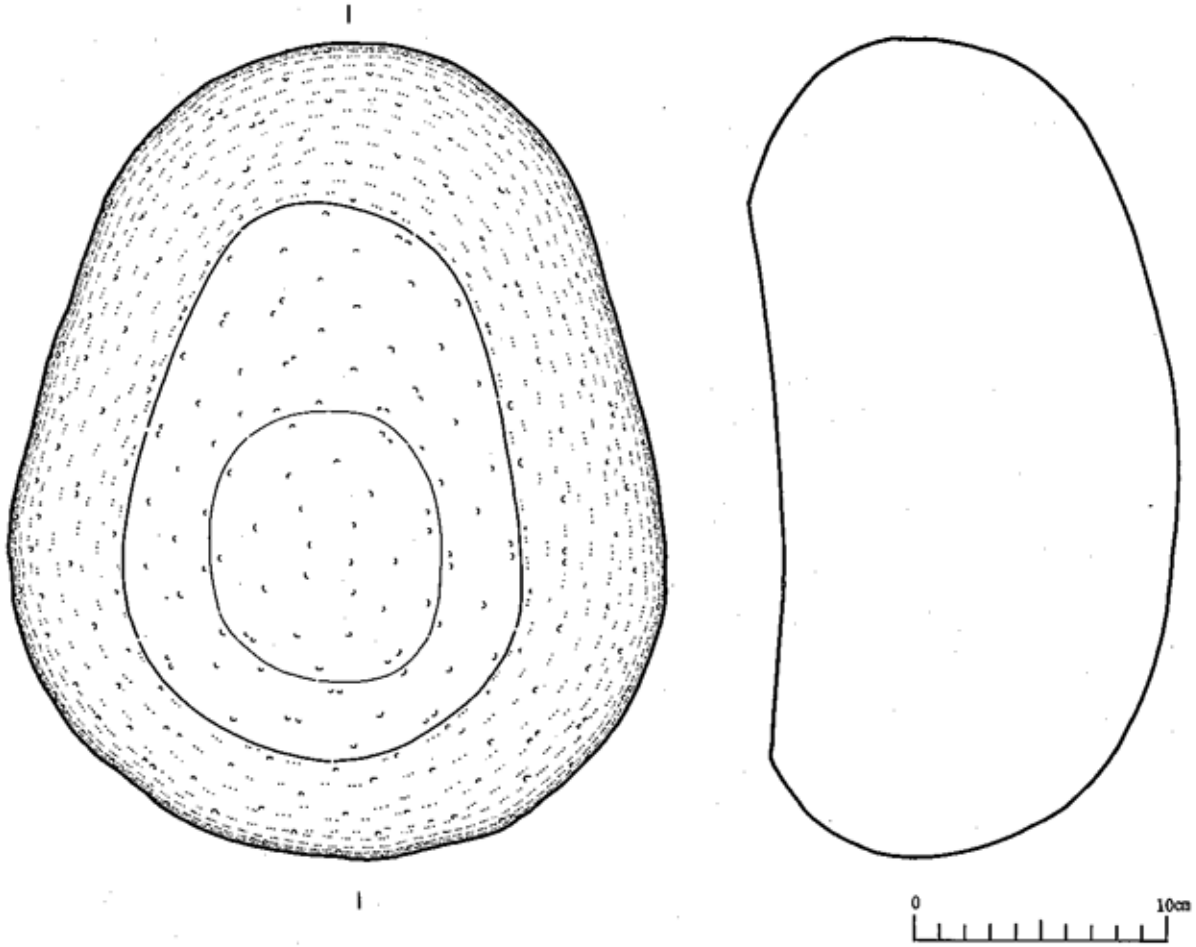
第 399 図 1・4 は、平面形が隅丸長方形を呈する。平面および側面に磨痕が認められる。2・5 は、平面形が楕円形を呈し、平面に磨痕が認められる。3・6～8 は、平面形が円形もしくは楕円形を呈する。平面に、磨痕および凹痕が見られる。

第 400 図 1～6 は、平面形が円形もしくは楕円形を呈する。平面に磨痕および凹痕を有する。2 は、側面にも磨痕が認められる。

第 401 図 1～3 は、平面形が楕円形を呈する。平面に磨痕および凹痕を持つ。4 は、平面形が隅丸長方形を呈する。平面に磨痕および凹痕が見られ、側面の一部に磨痕が認められる。

3：凹痕のみのもの（第 402 図～第 408 図、第 409 図 1）

第 402 図 1～6 は、平面形が円形もしくは楕円形を呈する。ａ、ｂ両面に各々一個の深い凹を持つ。

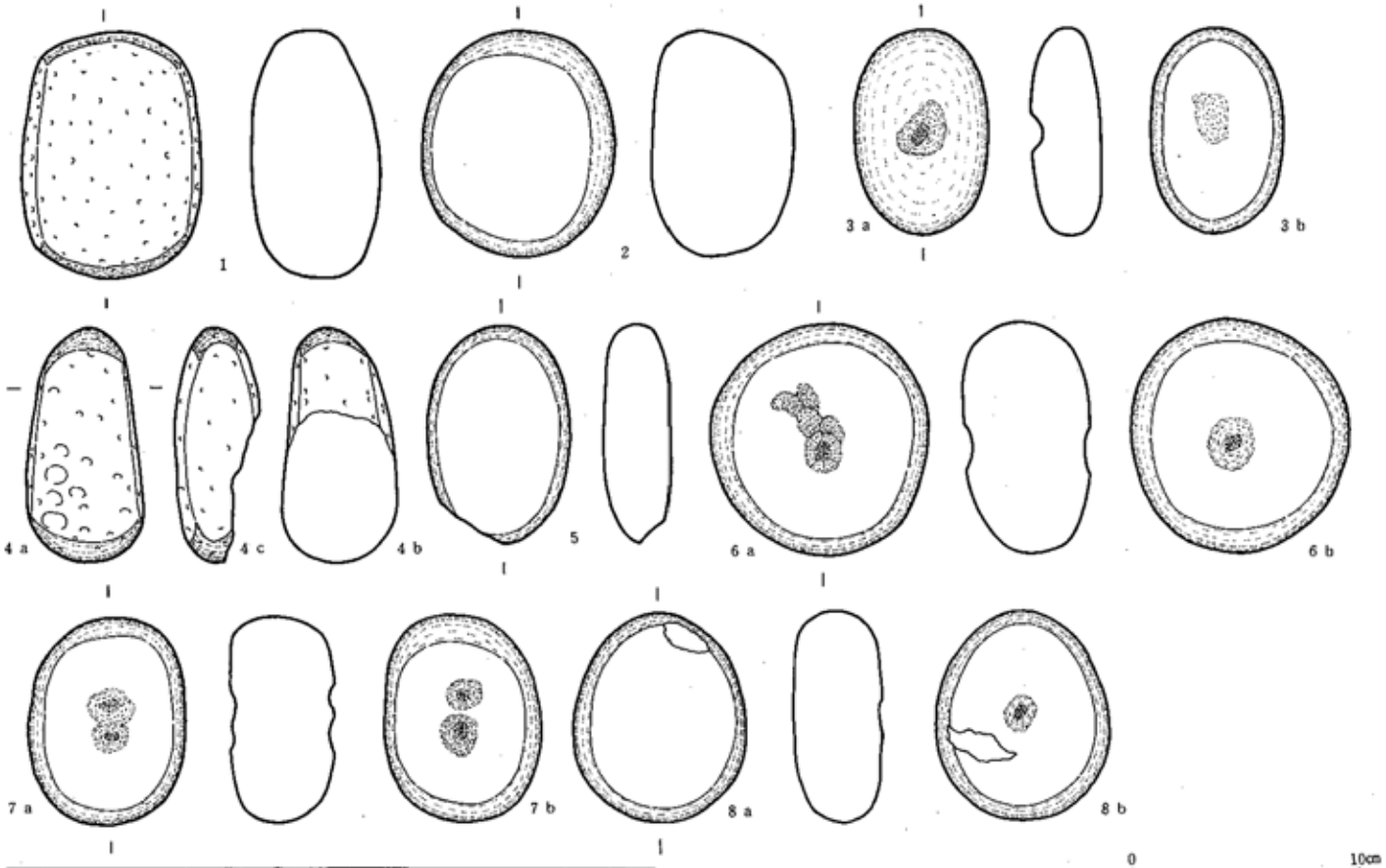


番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No.	図版
1	GN46・小配石	320.8	257.3	155.8	16450	溶岩	3068	198-4

第397図　石　皿 (20)

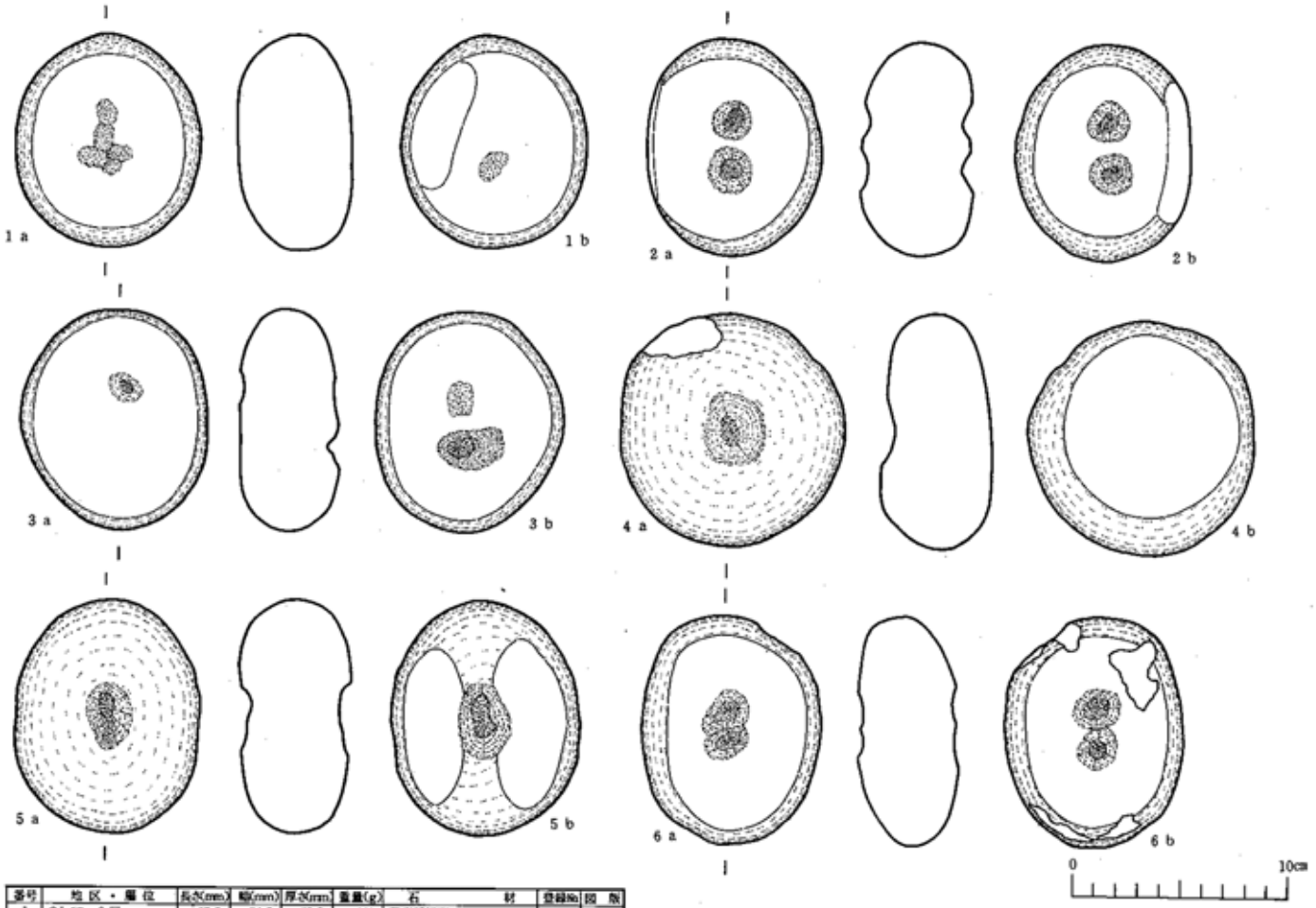
第398図　敲石・磨石・凹石（1）

番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No.	図版
1	GN55・3c層	121.1	80.0	51.4	510	石英安山岩	3103	199−1
2	GM54・2層	96.8	84.4	57.6	720	石英安山岩	2433	199−2
3	GO54・3層	96.6	74.8	58.6	500	凝灰岩	2430	199−3
4	GP53・3d層	108.6	76.7	44.8	510	石英安山岩	1425	199−4
5	IH52・2層	140.7	64.9	43.2	570	凝灰岩	3148	199−5
6	GL57・3層	98.6	86.5	75.3	690	砂岩	3054	199−6



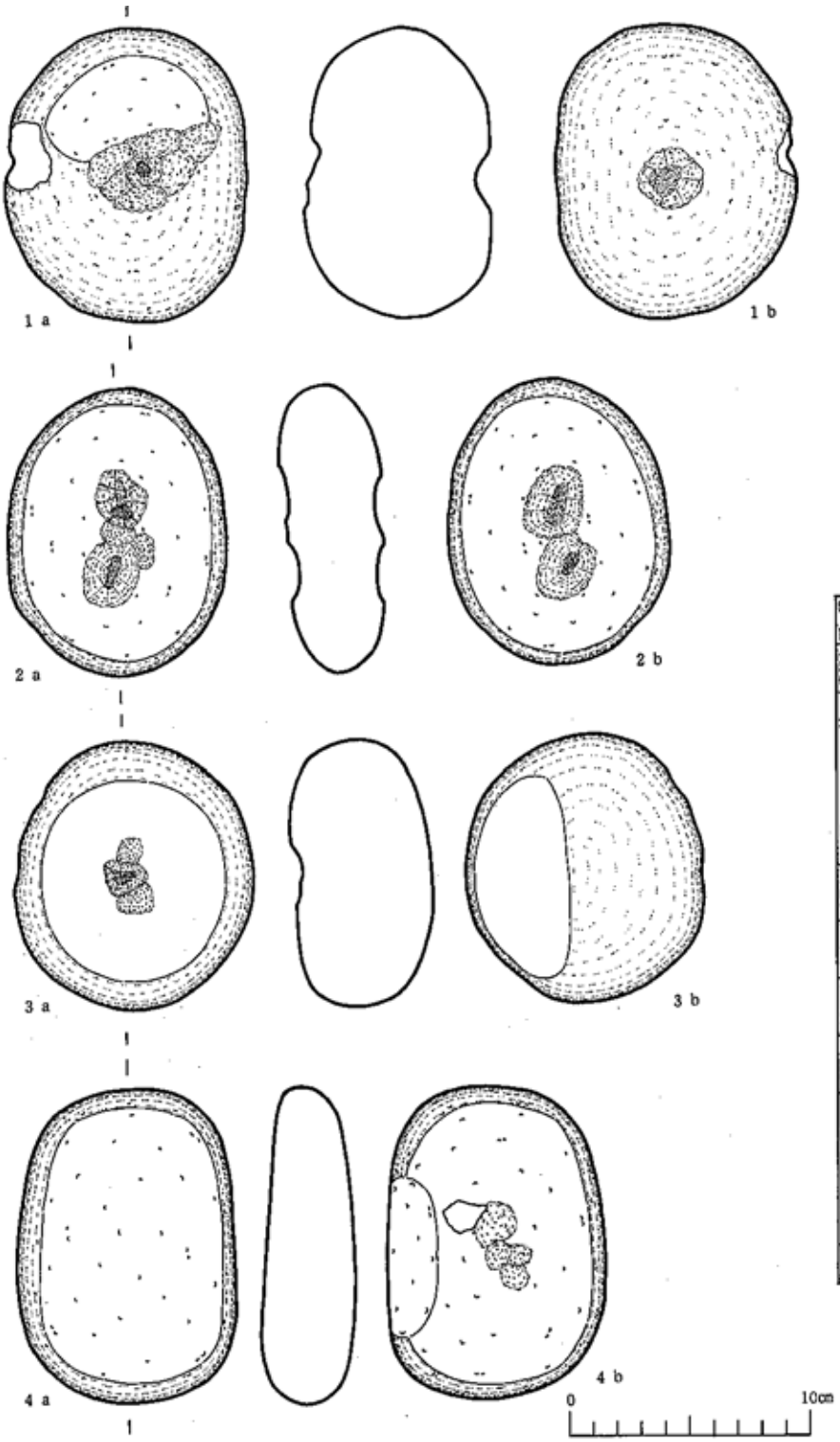
番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No.	図版
1	GO56・2層	106.2	78.2	57.7	630	溶岩	3033	199−7
2	GM54・3c層	98.0	84.4	59.8	700	石英安山岩	3014	199−8
3	GN55・3層	89.1	59.0	32.8	230	砂岩	3056	199−9
4	IH51・2層	102.0	50.3	36.2	(205)	凝灰岩	110	199−10
5	GI57・3層	(94.3)	63.6	31.4	(290)	斜長石砂岩	2427	199−11
6	IH54・2層	101.0	95.2	59.0	780	花崗岩	3001	199−12
7	GH56・3層	90.5	69.3	47.8	420	石英安山岩	2383	199−13
8	IH55・2層	91.4	76.3	39.5	410	石英安山岩	3086	199−14

第399図　敲石・磨石・凹石（2）



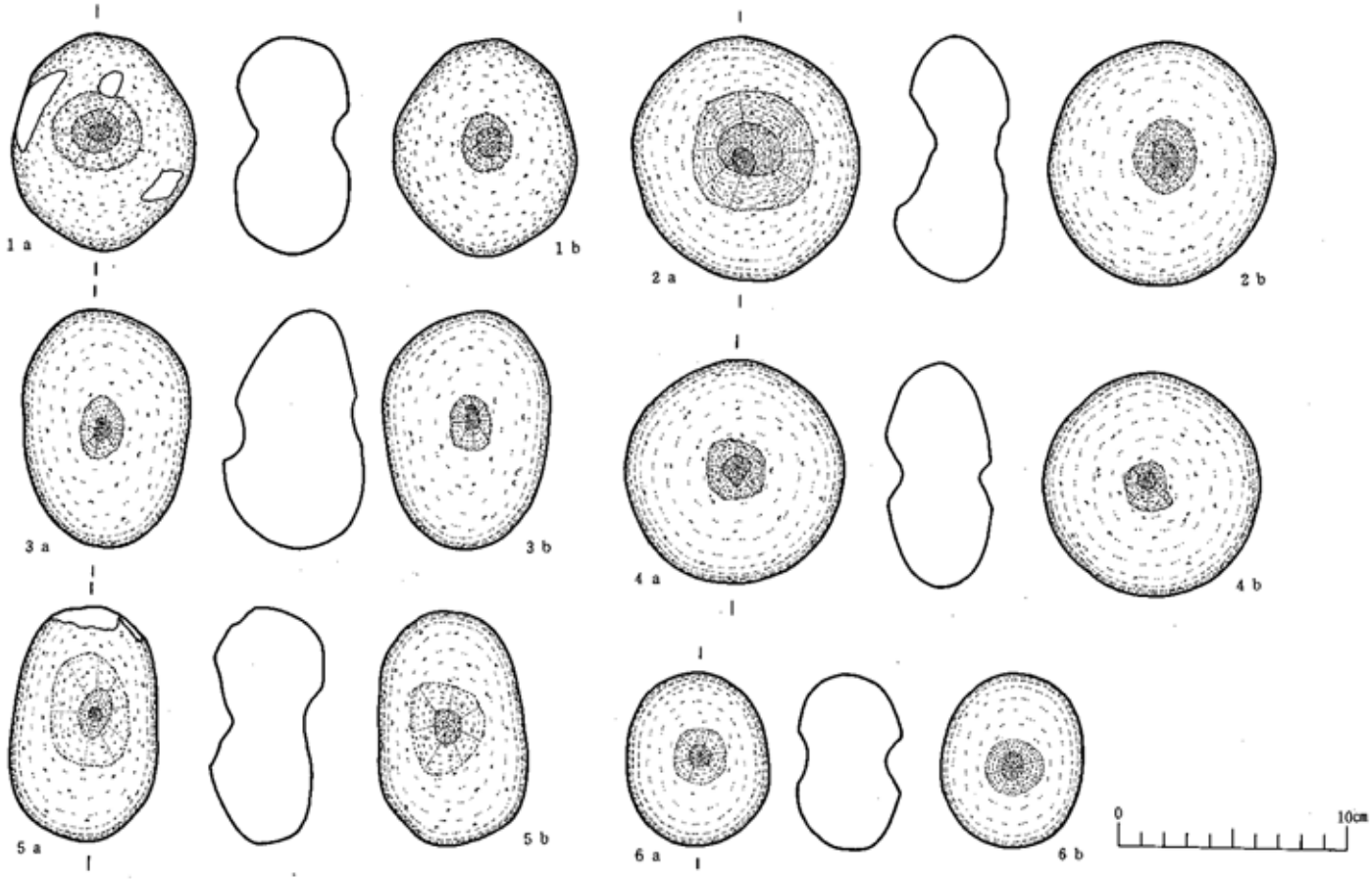
番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No	図版
1	GL57・3層	97.8	84.8	53.8	640	花崗閃緑岩	3003	199-15
2	IG54・2層	99.0	79.8	51.0	590	花崗閃緑岩	177	199-16
3	GN55・3層	100.7	86.4	44.6	540	石英安山岩	3057	199-17
4	GH55・2層	107.0	102.8	54.4	800	花崗岩	3058	199-18
5	GM56・2層	99.0	86.2	51.2	680	砂岩	283	199-19
6	GL56・3c層	104.5	82.5	48.8	610	石英安山岩	2373	199-20

第400図　敲石・磨石・凹石（3）



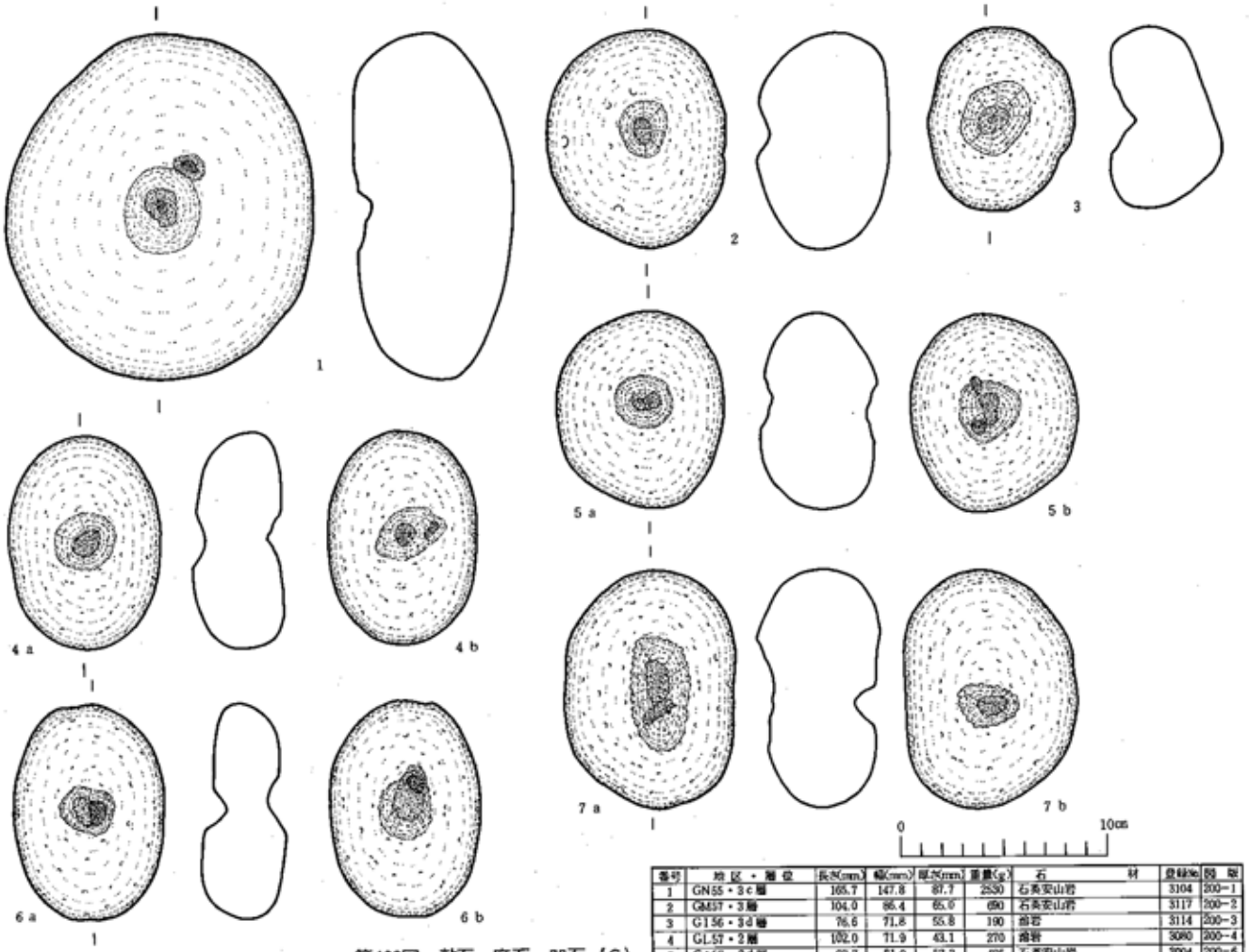
番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No.	図版
1	GH56・3層	121.7	100.8	88.2	820	砂岩	2382	199-21
2	GL55・34層	117.6	91.0	42.2	540	砂岩	3083	199-22
3	GI55・34層	109.9	97.8	60.0	900	花崗岩	3051	199-23
4	GK54・3層	128.8	90.5	43.6	600	流紋岩	3048	199-24

第401図　敲石・磨石・凹石（4）



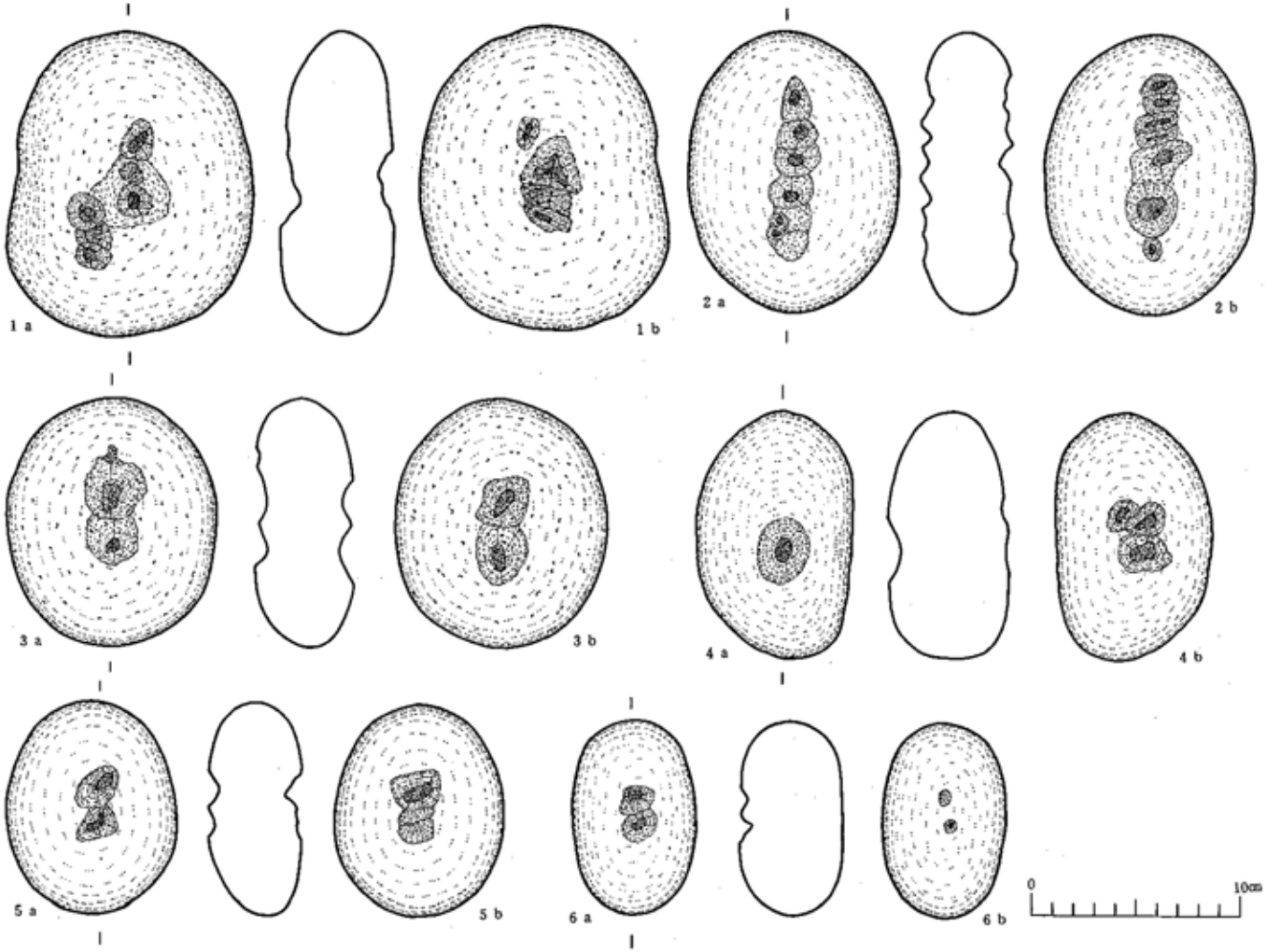
番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No.	図版
1	GM51・2層	93.6	80.0	51.0	240	溶岩	2803	199−25
2	GO56・2層	104.8	96.6	54.3	530	溶岩	1812	199−26
3	GL56・3c層	102.6	74.1	64.5	400	溶岩	2374	199−27
4	GJ57・3d層	98.1	94.4	47.7	530	凝灰質砂岩	2421	199−28
5	GO53・2層	100.8	65.2	47.0	340	石英安山岩	3040	199−29
6	GJ56・2層	74.4	61.4	43.6	220	砂岩	3003	200−5

第402図　敲石・磨石・凹石（5）



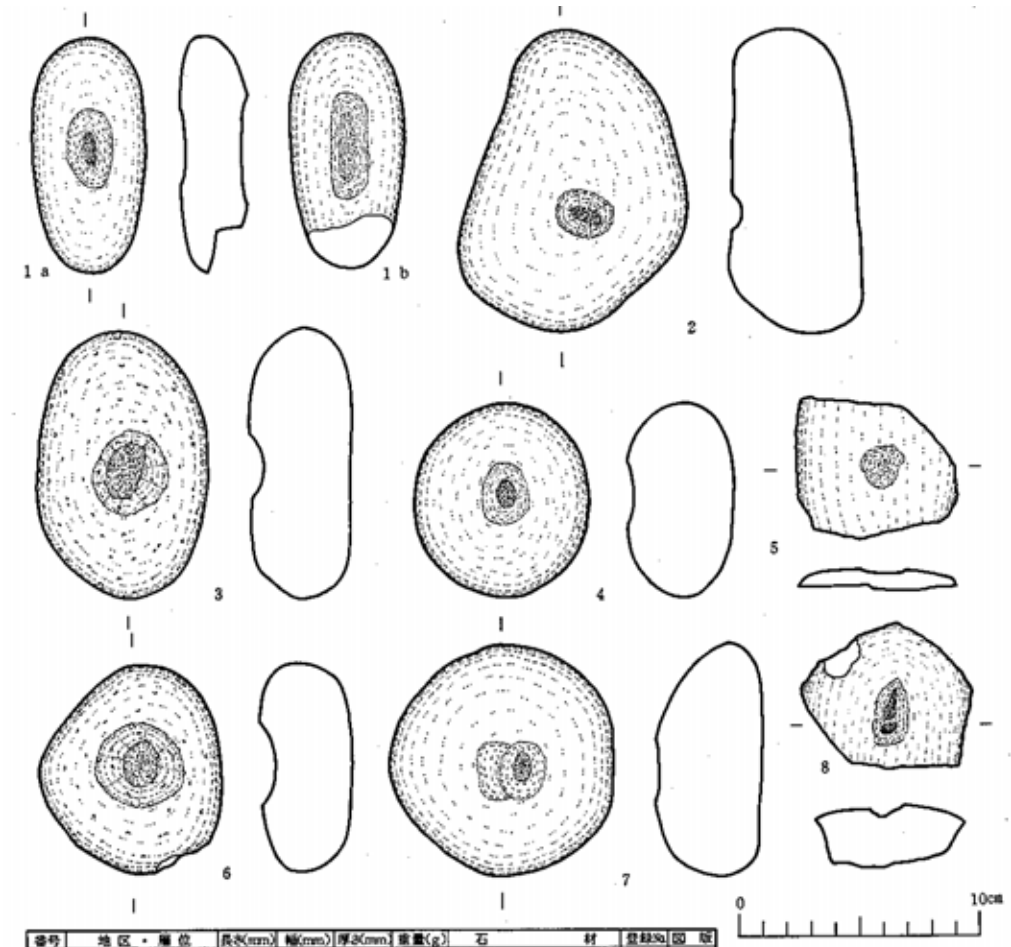
番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No.	図版
1	GN55・3c層	165.7	147.8	87.7	2530	石英安山岩	3104	200−1
2	GM57・3層	104.0	86.4	65.0	690	石英安山岩	3117	200−2
3	G156・3d層	76.6	71.8	55.8	190	砂岩	3114	200−3
4	GL57・2層	102.0	71.9	43.1	270	溶岩	3080	200−4
5	GJ57・3d層	93.7	81.0	52.2	495	石英安山岩	3004	200−6
6	GM55・3c層	102.4	72.9	42.4	320	溶岩	3002	200−7
7	IG53・2層	114.4	82.0	59.5	450	溶岩	2694	200−8

第403図　敲石・磨石・凹石（6）



番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録地図	図版
1	GL55・3d層	142.7	117.1	53.3	1090	石英安山岩	2370	200-9
2	GI55・3d層	131.1	100.6	47.8	820	石英安山岩	3052	200-10
3	GN56・3層	117.0	100.6	48.6	720	石英安山岩	174	200-11
4	GO53・2層	116.1	76.0	54.6	550	石英安山岩	3369	200-12
5	GM57・3層	100.0	81.0	44.6	520	砂岩	3306	200-13
6	GK53・2層	91.5	58.6	49.4	380	凝灰岩	3036	200-14

第404図　敲石・磨石・凹石（7）

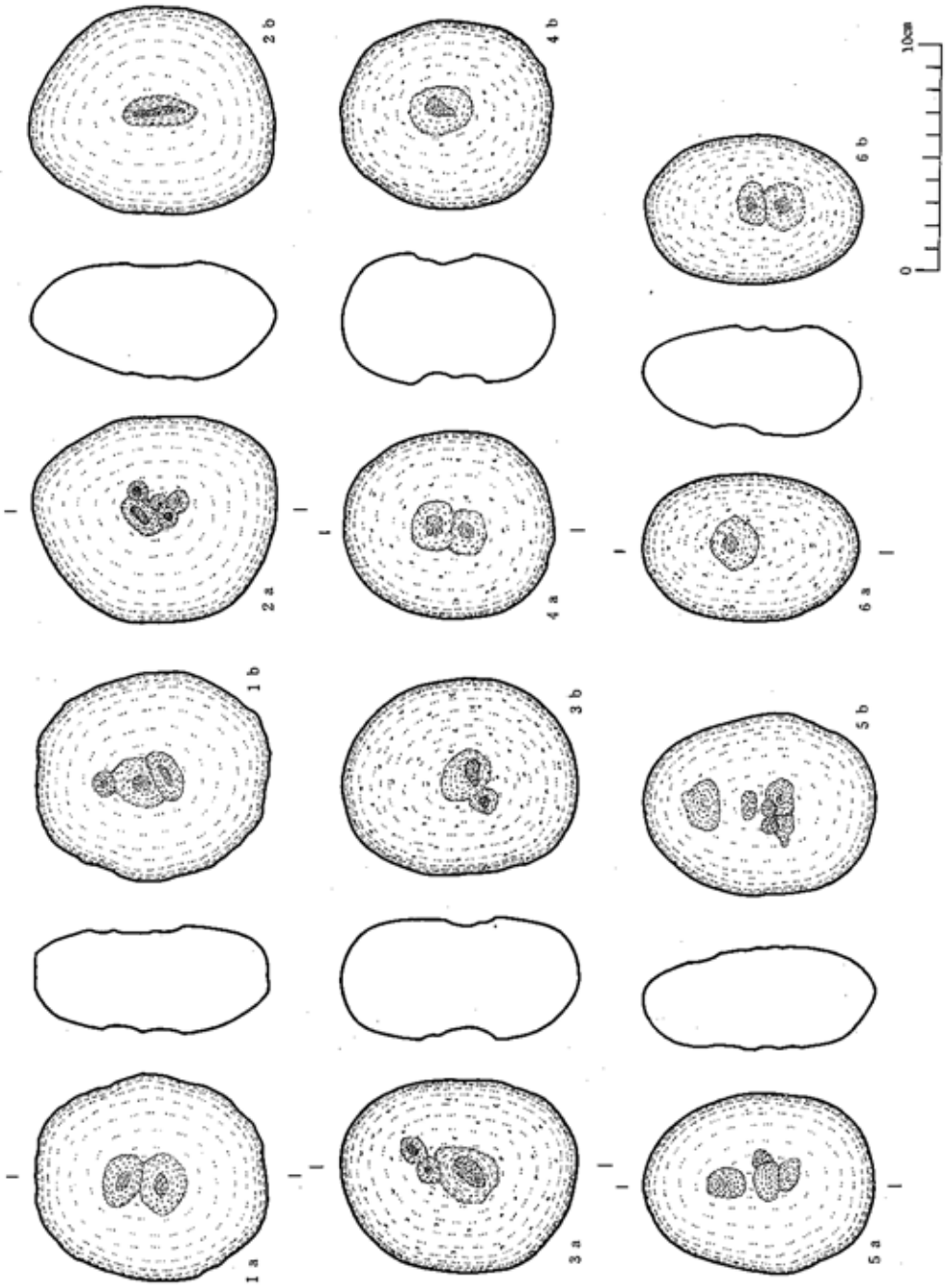


番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No.	図版
1	1H52・2層	98.5	47.3	25.5	(170)	凝灰岩	3106	200−15
2	GP56・2層	129.4	91.4	55.8	880	安山岩	3081	200−16
3	GM51・2層	114.3	70.5	44.2	260	頁岩	2802	200−19
4	GH56・3層	82.0	72.2	45.3	410	流文岩	2384	200−20
5	GP53・3a層	58.7	66.0	10.8	32.3	砂岩	1427	200−17
6	GN55・3層	89.0	86.0	39.8	240	頁岩	3055	200−21
7	GM51・3層	97.3	92.8	46.9	570	石英安山岩	1922	200−22
8	GN54・2層	60.9	68.8	25.8	118.7	凝灰岩	138	200−18

第405図　敲石・磨石・凹石（8）

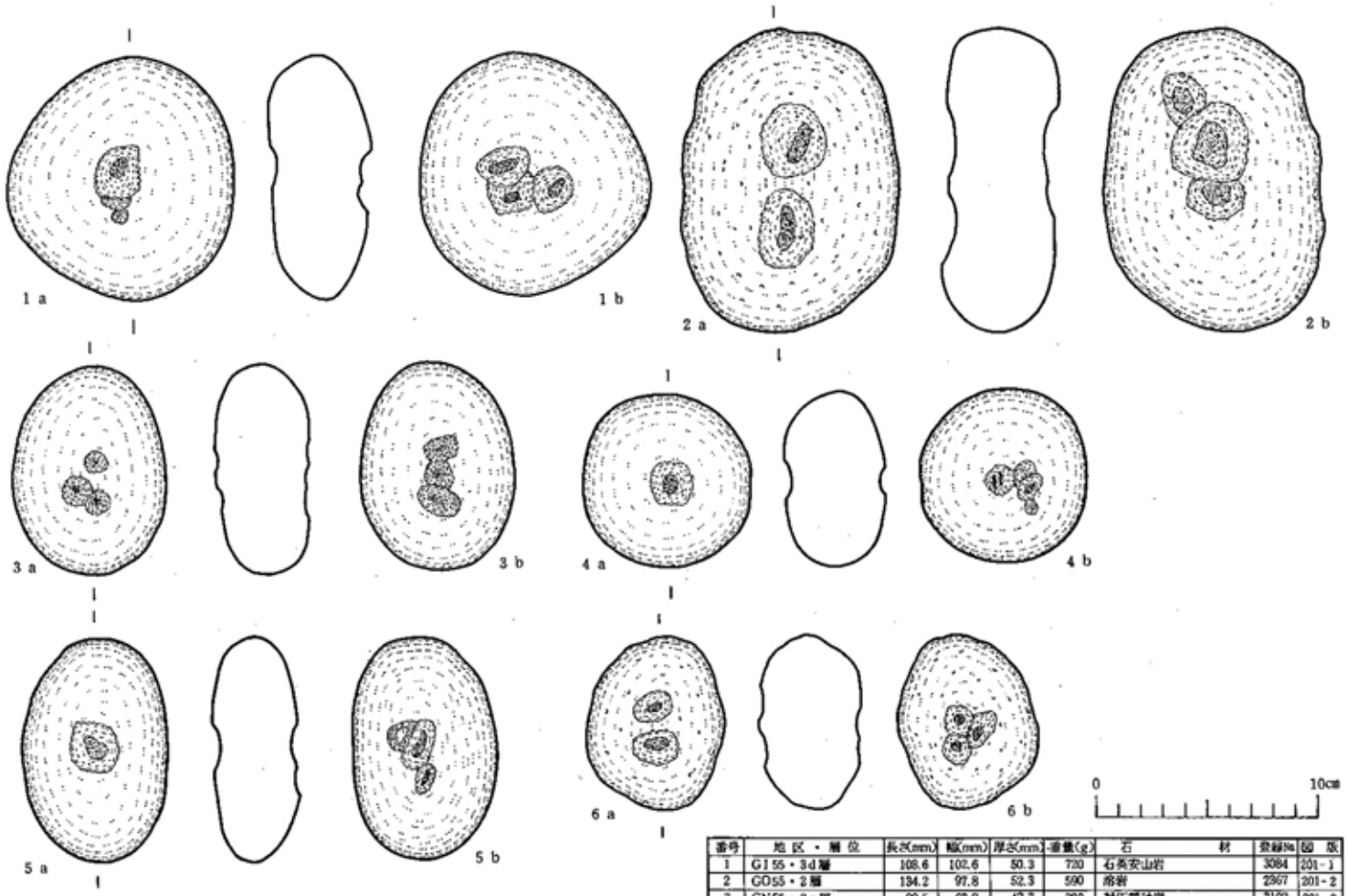
第403図1は、平面形が楕円形を呈し、片面に2個の深い凹を持つ。2・3は、平面形が楕円形を呈し、片面に1個の深い凹を持つ。4〜6は、平面形が楕円形を呈する。a、b両面に各々1箇所の深い凹を持つが、数個の凹が複合して一つの凹になっている箇所が認められる。7は、平面形が楕円形を呈する。a面には、複合した浅い凹が見られ、b面には、1 個の深い凹が認められる。

第404図1〜3・5は、平面形が楕円形を呈する。a、b両面に、数個の深い凹を有する。4・6は、平面形が楕円形を呈する。4は、a面に1個の深い凹を持ち、b面に3個の浅い凹を有する。6は、a面に2個の深い凹が見られ、b面には2個の浅い凹が認められる。



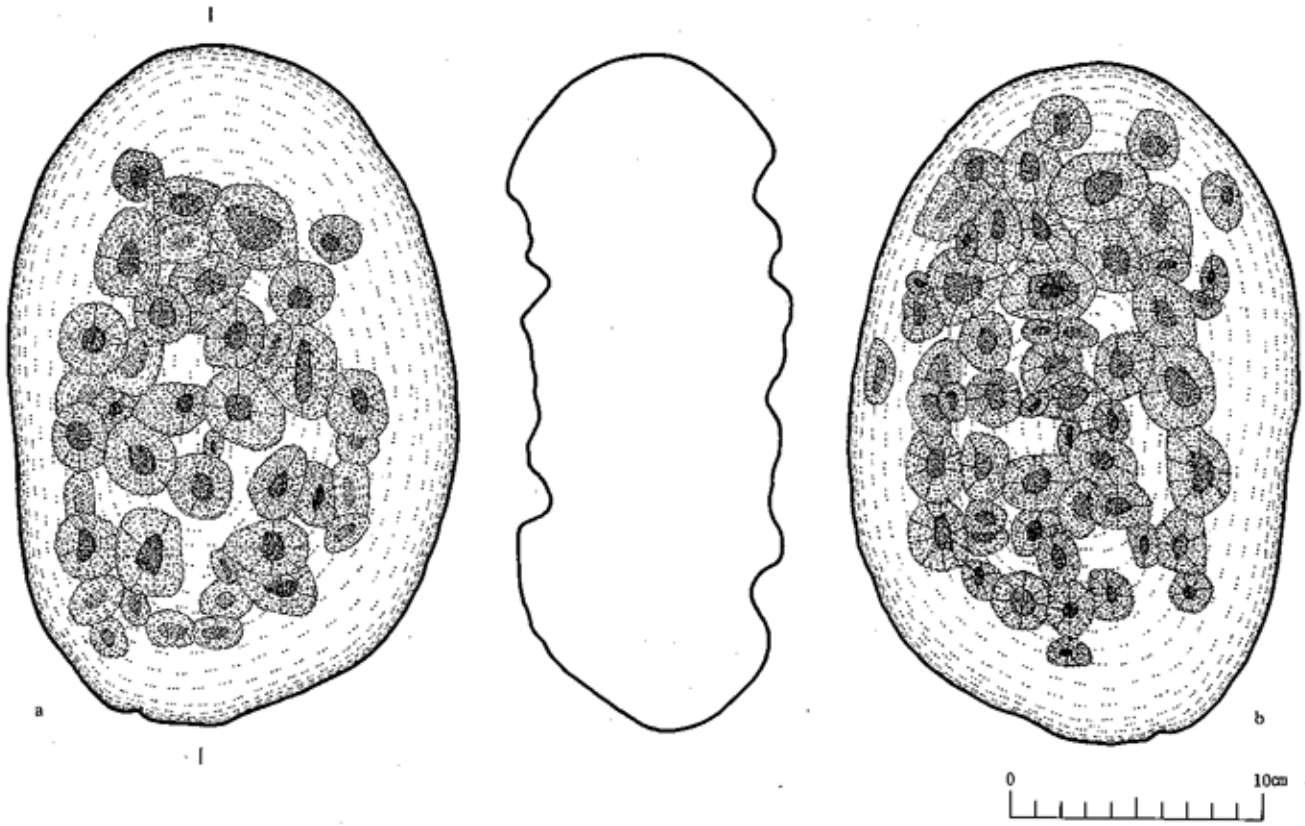
番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No.	図版
1	GI 57・3d層	98.6	90.4	58.0	630	花崗閃緑岩	3097	200-23
2	IG 53・2層	150.5	91.2	53.0	700	閃緑斑岩	2702	200-24
3	GO 55・2層	102.1	85.2	55.8	630	石英安山岩	3038	200-25
4	GO 55・2層	92.0	82.9	57.2	570	石英安山岩	2366	200-26
5	GJ 57・3d層	100.5	79.8	44.2	510	花崗閃緑岩	1431	200-27
6	GI 57・2層	93.8	84.8	58.8	360	砂岩	3109	200-28

第406図　敲石・磨石・凹石（9）



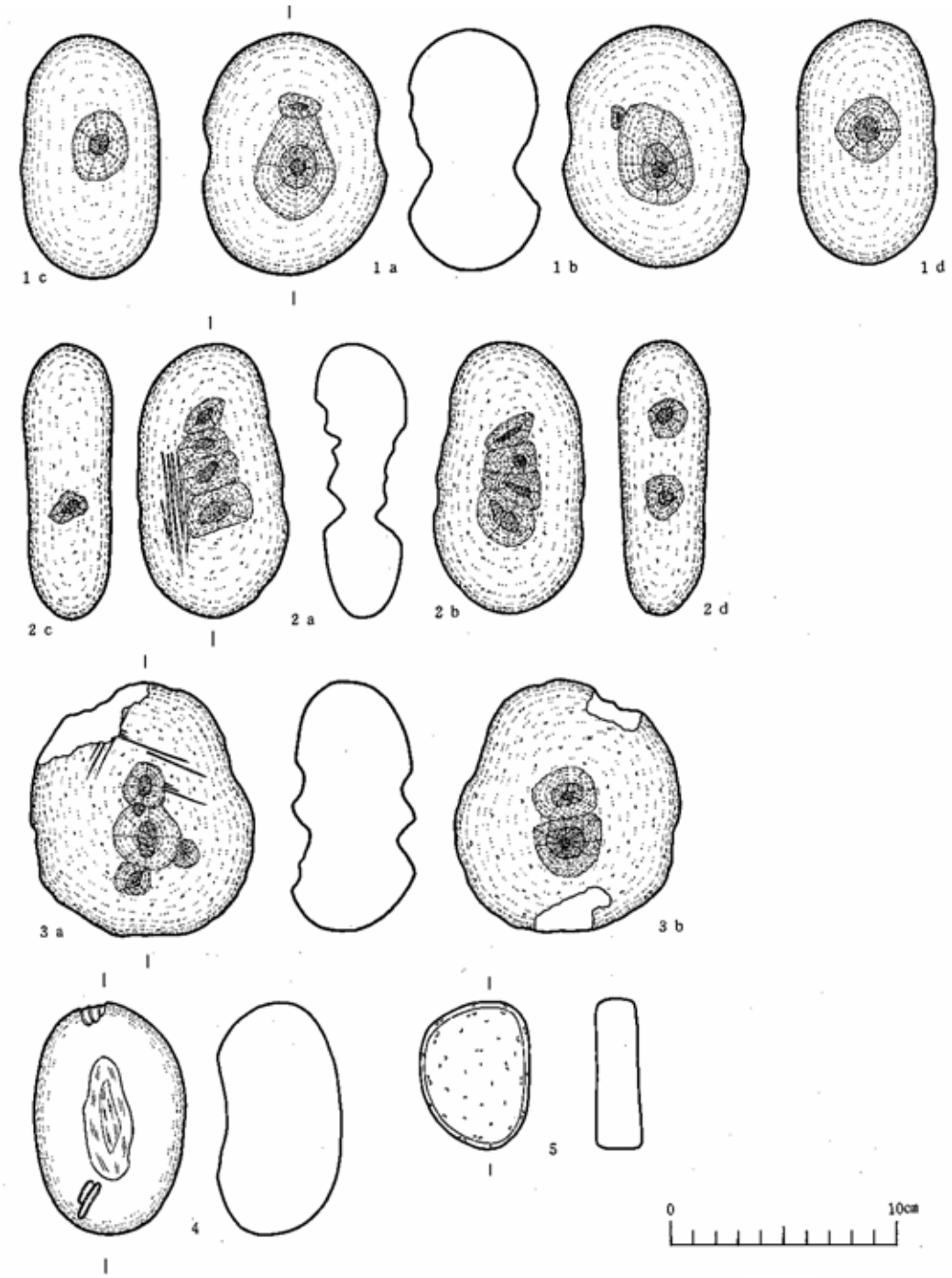
番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No.	図版
1	G155・3d層	108.6	102.6	50.3	720	石英安山岩	3084	201-1
2	GO55・2層	134.2	97.8	52.3	590	流紋岩	2367	201-2
3	GN55・3c層	92.5	68.8	42.3	390	凝灰質砂岩	3102	201-3
4	GN53・3b層	77.0	75.7	43.6	350	石英安山岩	2674	201-4
5	GL57・3d層	98.8	65.2	48.6	340	砂質凝灰岩	3096	201-5
6	GP52・2層	77.2	62.2	44.8	280	凝灰質砂岩	3115	201-6

第407図　敲石・磨石・凹石（10）



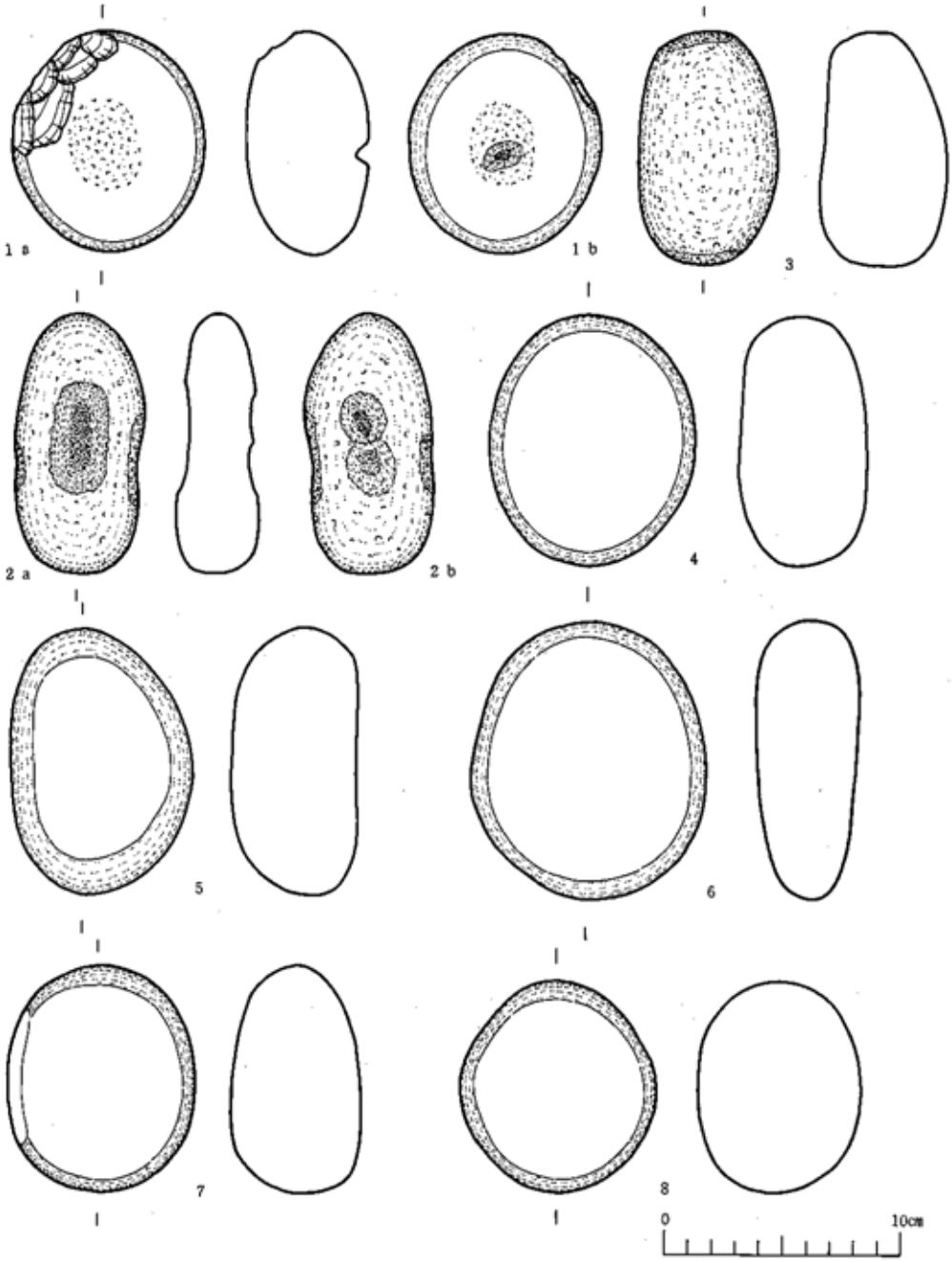
番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No.	図版
1	GK53・2層	267.2	176.0	108.4	4540	溶岩	3075	201−8

第408図　敲石・磨石・凹石 (11)



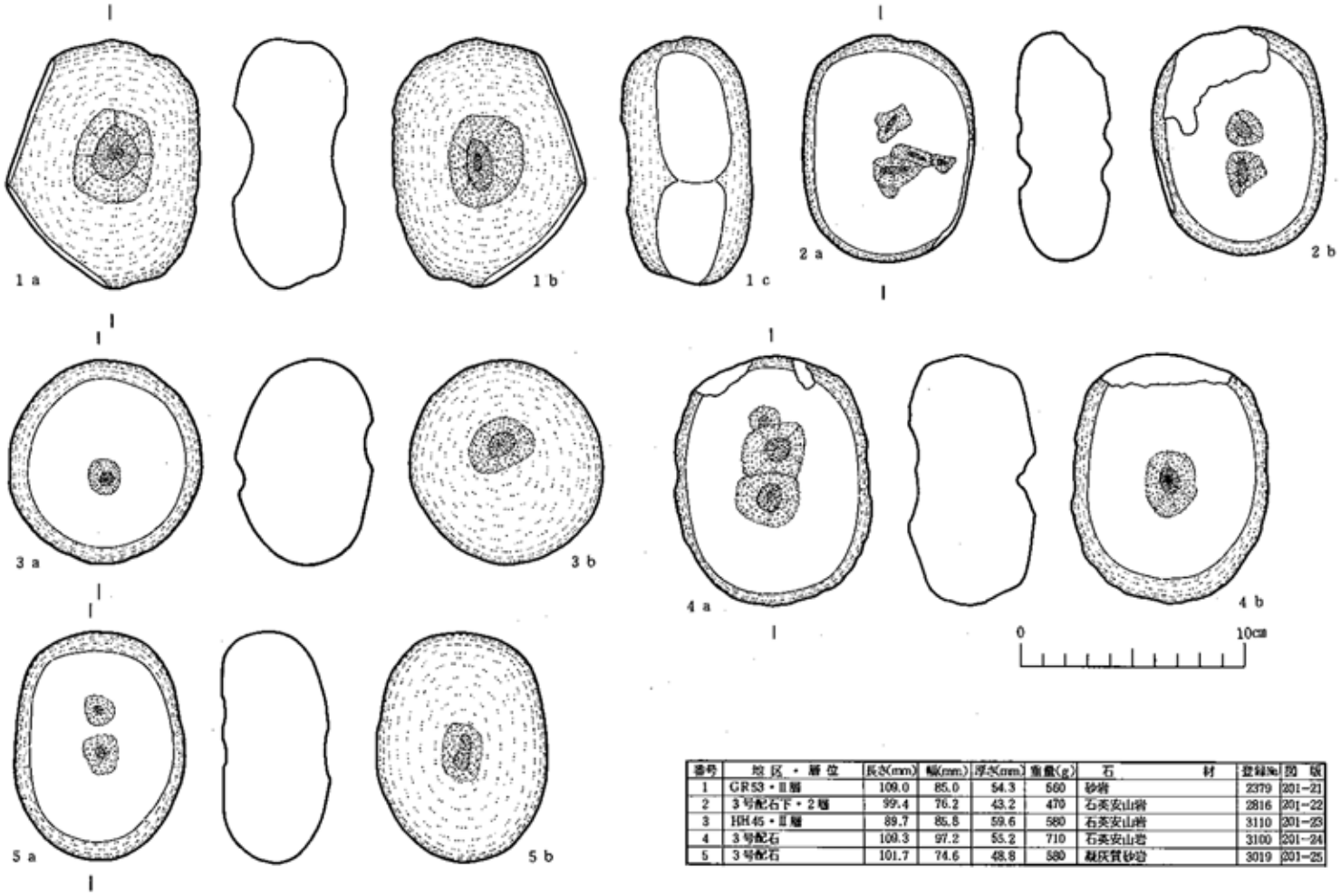
番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No	図版
1	GL55・2層	105.7	80.7	56.7	640	石英安山岩	3047	201−9
2	GJ55・2層	119.0	65.0	48.6	390	砂質凝灰岩	2320	201−10
3	GL56・3c層	110.6	96.6	55.6	650	凝灰質砂岩	2375	201−11
4	GM54・3d層	100.0	66.6	52.8	300	凝灰岩	3011	201−12
5	GN55・3c層	64.7	59.3	20.8	50	溶岩	3142	201−7

第409図　敲石・磨石・凹石（12）



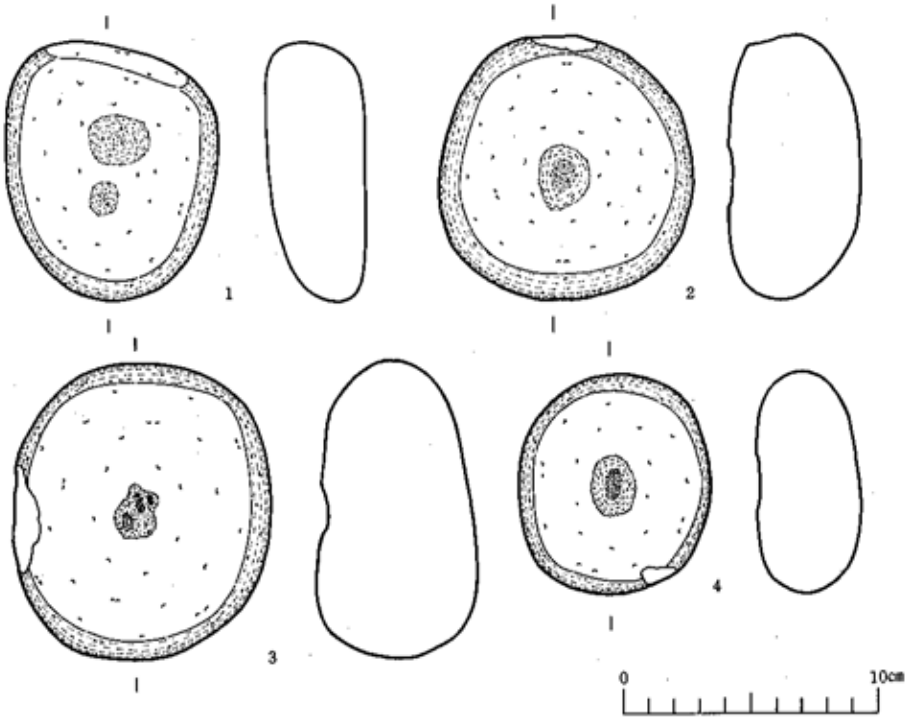
番号	地区・層位	長さ(cm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No.	図版
1	I号炉跡	97.5	80.8	51.7	520	緑泥岩	3035	201-13
2	GF55・II層	109.8	51.1	35.6	240	磨岩	3005	201-14
3	GQ52・II層	96.5	58.5	55.4	270	磨岩	3065	201-15
4	IB46・II層	104.5	86.6	52.4	680	安山岩	3008	201-16
5	GR53・II層	111.0	76.4	53.8	650	石英安山岩	3037	201-17
6	GH57・ピット中	116.5	78.0	43.6	760	石英安山岩	3031	201-18
7	HG49・II層	94.8	79.8	56.2	670	石英安山岩	3029	201-19
8	HF46・II層	88.8	82.2	69.1	680	安山岩	3013	201-20

第410図　敲石・磨石・凹石 (13)



番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No	図版
1	GR53・Ⅱ層	109.0	85.0	54.3	560	砂岩	2379	201-21
2	3号配石下・2層	99.4	76.2	43.2	470	石英安山岩	2816	201-22
3	HH45・Ⅱ層	89.7	85.8	59.6	580	石英安山岩	3110	201-23
4	3号配石	109.3	97.2	55.2	710	石英安山岩	3100	201-24
5	3号配石	101.7	74.6	48.8	580	凝灰質砂岩	3019	201-25

第411図　敲石・磨石・凹石（14）



番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No	図版
1	3号配石	104.6	83.8	45.0	600	石英安山岩	3018	201-26
2	1号配石	106.9	99.0	54.1	820	安山岩	3090	201-27
3	7号住居跡	119.4	100.3	65.8	820	砂岩	2390	202-1
4	HM48・II層	90.5	75.0	42.7	400	安山岩	3009	202-2

第412図　敲石・磨石・凹石（15）

第405図1は、平面形が楕円形を呈し、a、b両面に各々1個の浅い凹が見られる。2は、平面形が不整な隅丸方形を呈する。片面に1個の浅い凹が認められる。3・4・6は、平面形が円形もしくは楕円形を呈し、片面に1個の浅い凹が見られる。7は、平面形が円形を呈し、片面に2個の浅い凹が認められる。5・8は、礫片を素材としたもので、平面形は不整である。各々自然面に1箇所の浅い凹が認められる。

第406図1〜6は、平面形が楕円形を呈する。a、b両面に1個から数個の浅い凹を有する。

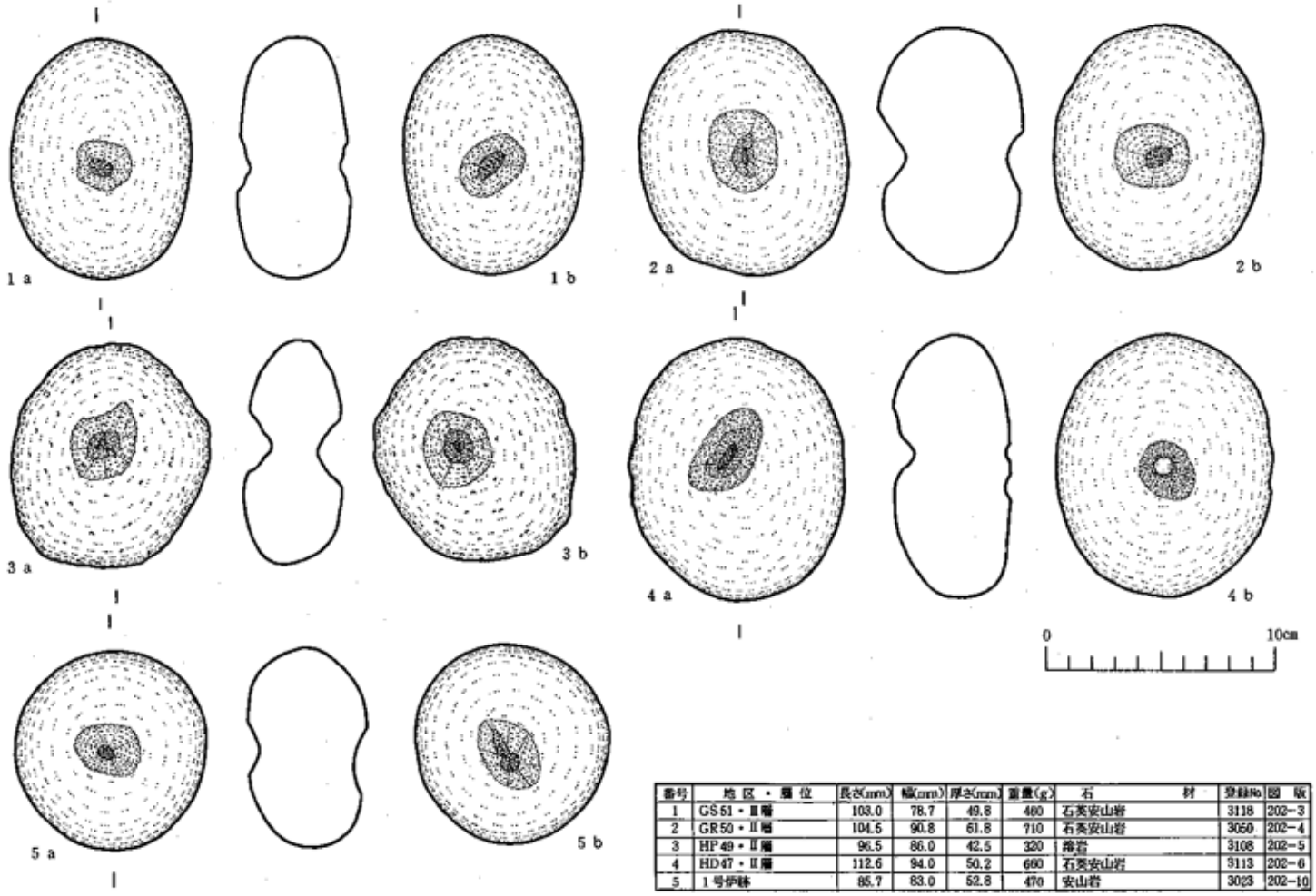
第407図1〜6は、平面形が円形もしくは楕円形を呈する。a、b両面に1個から数個の浅い凹を持つ。

第408図は、大形のもので、平面形が楕円形を呈する。一般に雨垂石とか蜂の巣石と呼ばれるもので、a、b両面に多数の凹を持つ。凹の大部分は、深いものであるが、浅いものも僅かに認められる。

第409図1は、楕円形に近い平面形を持つ。a、b両面に、深く大きな凹と浅く小さな凹がそれぞれ1個ずつ見られる。また、c、d両側面にも、各々1個の深い凹が認められる。

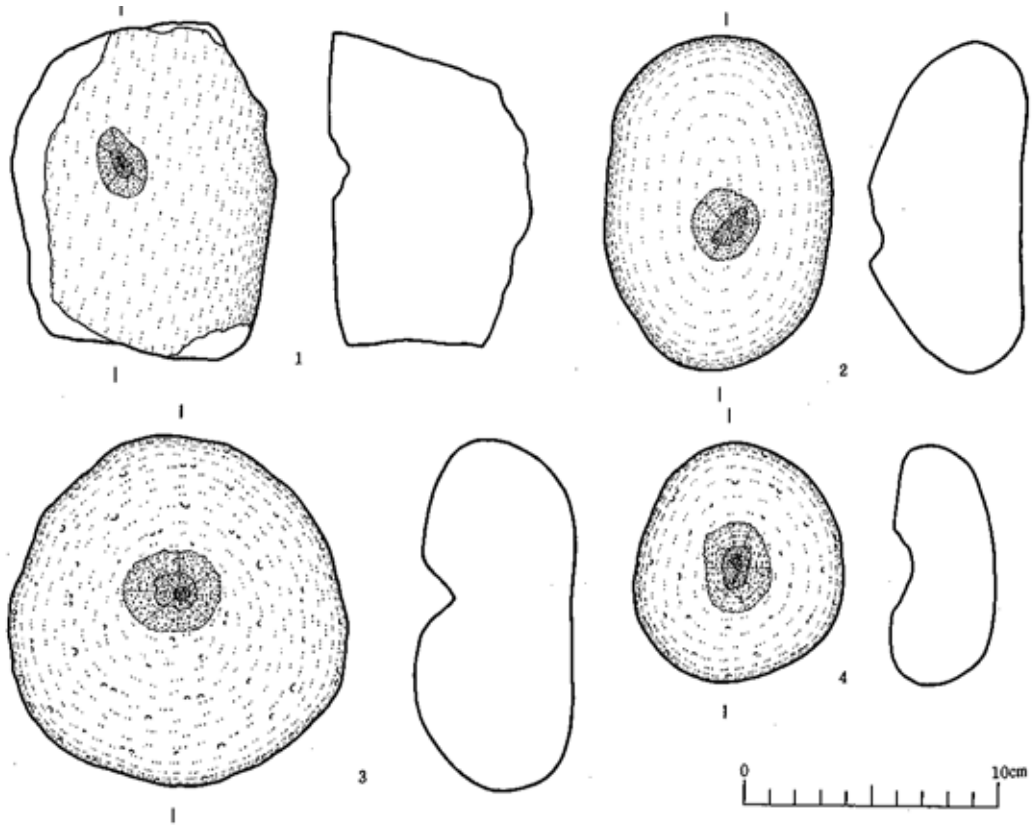
4：摩溝、線条痕のあるもの（第409図2〜4）

第409図2は、平面形が楕円形を呈する。a、b両面に数個の深い凹が見られるほか、c面に



番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No	図版
1	GS51・Ⅱ層	103.0	78.7	49.8	460	石英安山岩	3118	202-3
2	GR50・Ⅱ層	104.5	90.8	61.8	710	石英安山岩	3050	202-4
3	HP49・Ⅱ層	96.5	86.0	42.5	320	輝岩	3108	202-5
4	HD47・Ⅱ層	112.6	94.0	50.2	660	石英安山岩	3113	202-6
5	1号炉跡	85.7	83.0	52.8	470	安山岩	3023	202-10

第413図　敲石・磨石・凹石 (16)



番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No	図版
1	3号配石下・2層	136.5	103.2	81.0	1700	安山岩	2831	202−7
2	3号配石下・2層	137.0	87.5	60.8	590	溶岩	2821	202−8
3	GS57・埋	142.6	133.4	63.4	780	溶岩	3091	202−9
4	HG49・II層	98.1	81.2	42.6	320	溶岩	3028	202−11

第414図　敲石・磨石・凹石（17）

1個、d面に2個の深い凹が認められる。a面には、数条の線条痕が観察される。3は、平面形が不整な楕円形を呈する。a面には、数個の凹のほか、線条痕が認められる。b面には、2個の凹が見られる。4は、平面形が楕円形を呈する。片面中央に大きな摩溝があり、その上下に細い摩溝が見られる。また、両平面には磨痕も観察される。

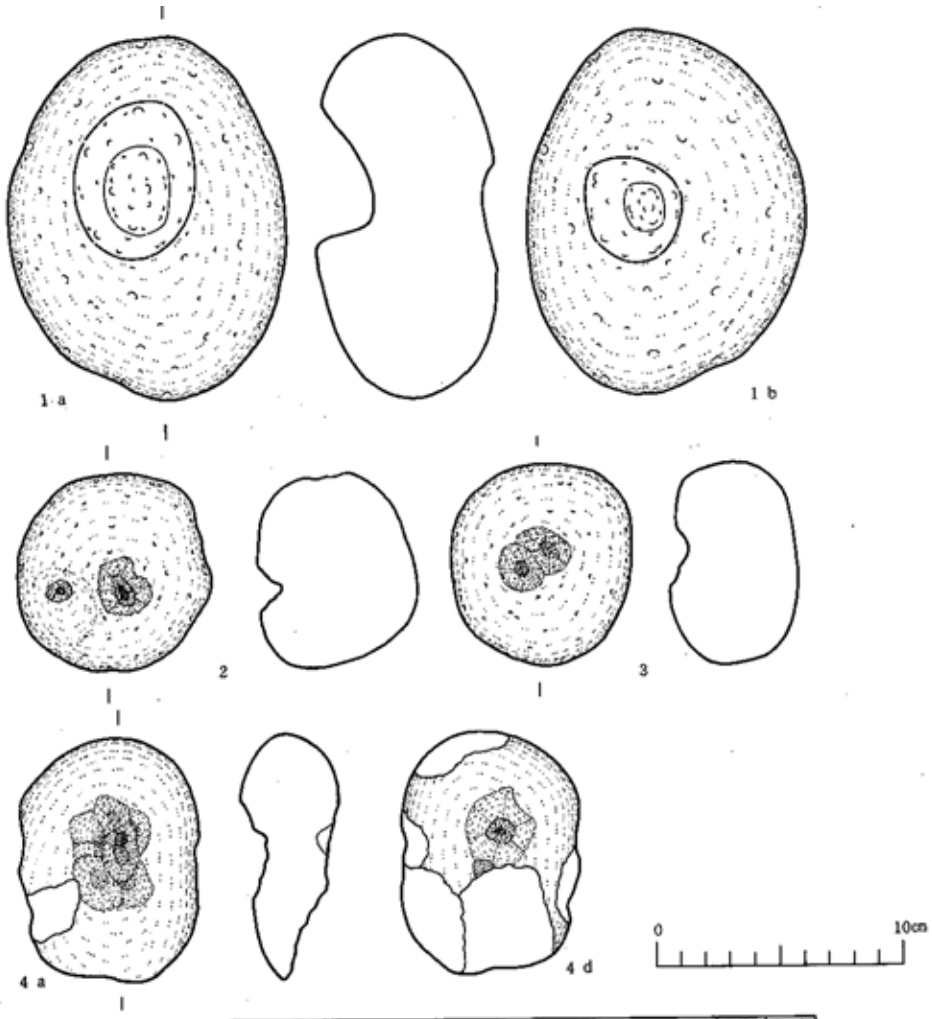
第409図5は、平面形が楕円形を呈する。平面および側面が研磨され、形が整えられている。

包含層以外のもの（第410図〜第421図）

包含層のものと同じく4種類に分けて説明を行う。

1：敲打痕のあるもの（第410図1〜3）

第410図1は、平面形が楕円形を呈する。側面に敲打痕、a面に敲打痕と磨痕、b面に敲打痕、磨痕、凹痕を持つ。2は、平面形が長楕円形を呈する。短軸方向の両側面に敲打痕、a、b両面に凹痕を有する。3は、平面形が楕円形を呈する。長軸方向の両側面に敲打痕が認められる。



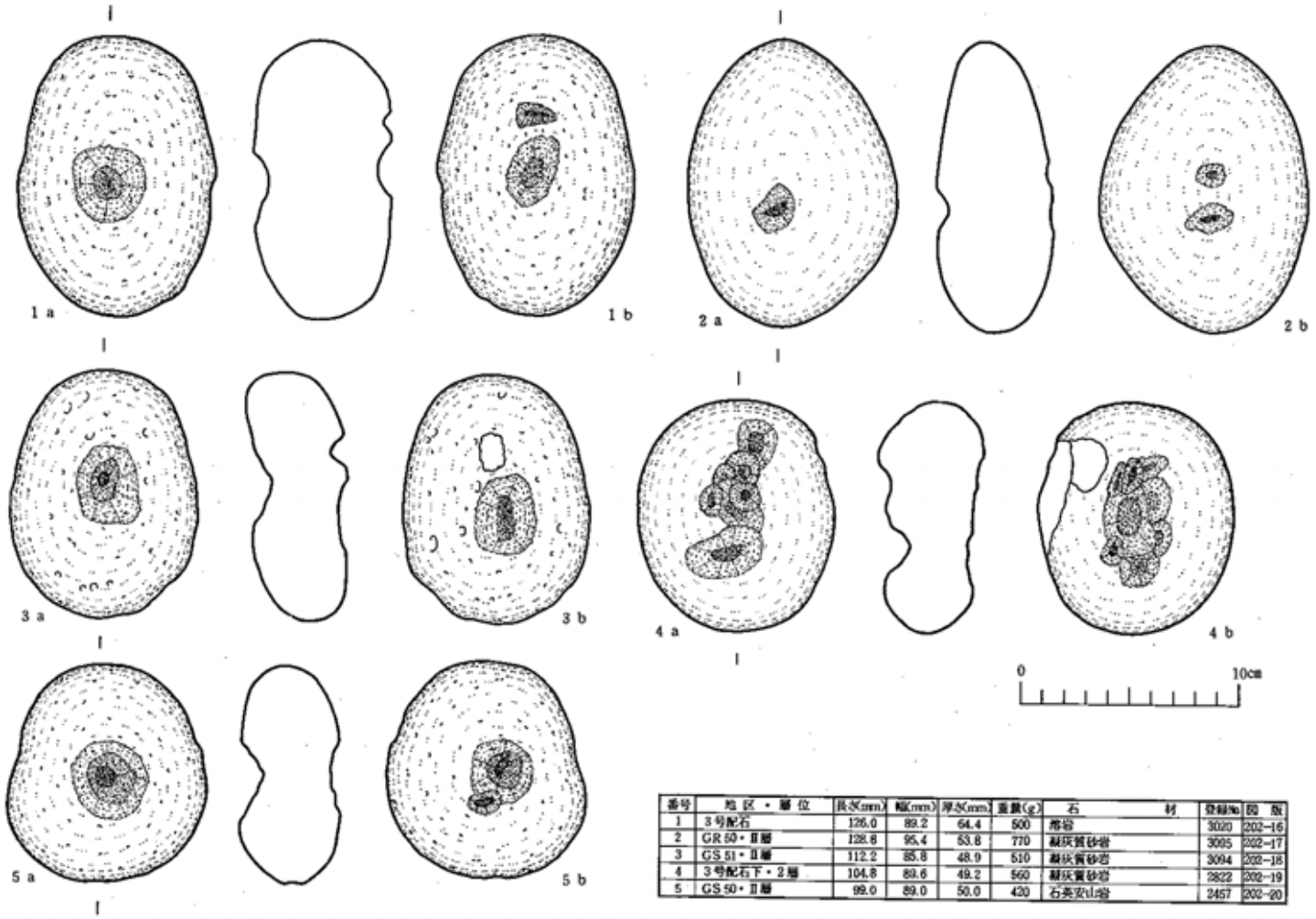
番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No.	図版
1*	HA47・Ⅱ層	151.4	100.7	76.6	650	溶岩	3041	202-12
2	GS57・塚	84.0	79.3	65.3	400	溶岩	3116	202-13
3	HA46・Ⅱ層	83.8	73.6	56.7	250	溶岩	2301	202-14
4	GR53・Ⅱ層	102.2	74.2	41.4	310	凝灰質砂岩	2507	202-15

第415図　敲石・磨石・凹石（18）

2：磨痕のあるもの(敲打痕は持たない)（第410図4～8、第411図、第412図）

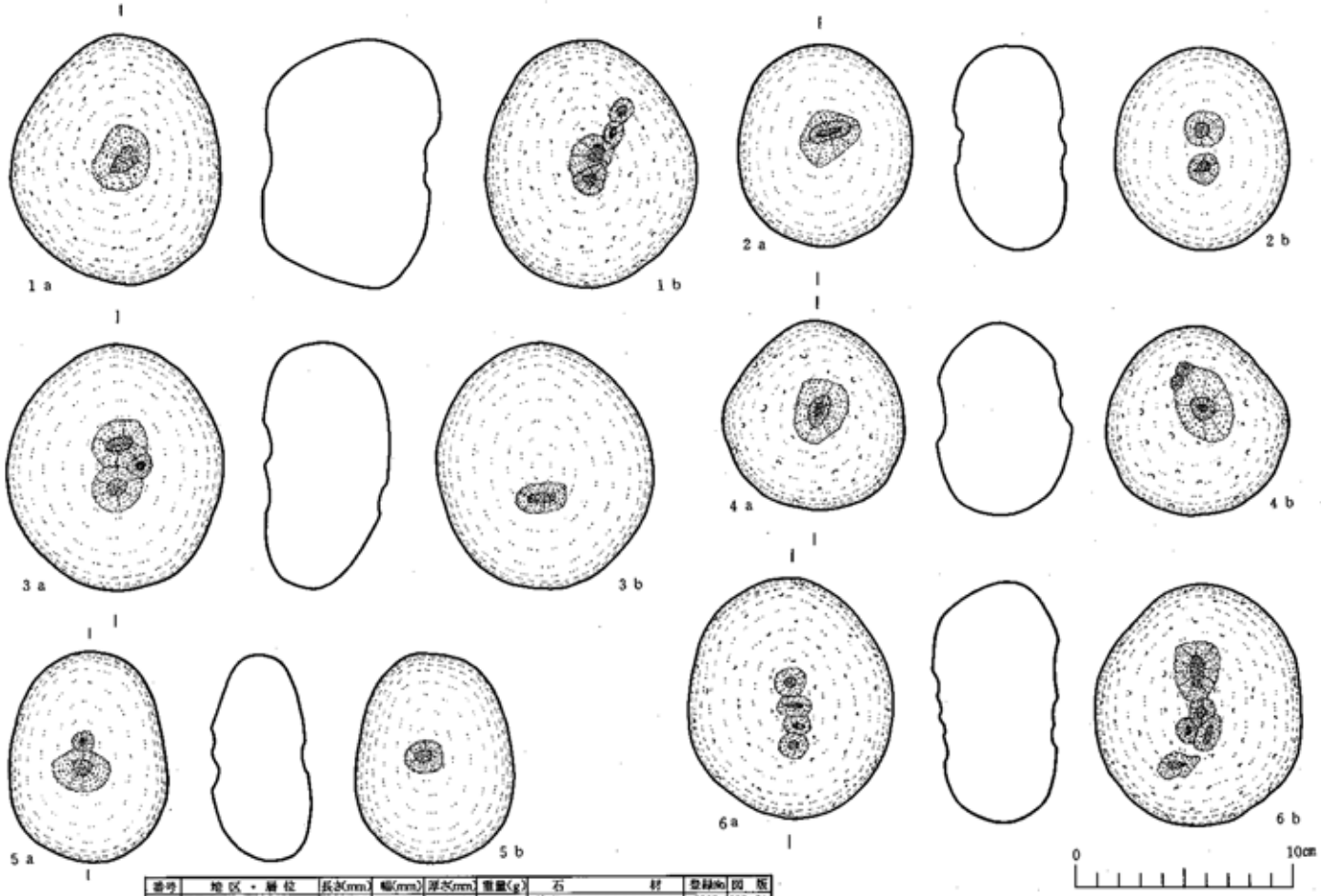
第410図4～8は、平面形が円形もしくは楕円形を呈し、平面に磨痕が認められる。7は、左側面にも磨痕が見られる。

第411図1は、不整な平面形を呈するが、原形は楕円形に近いものと考えられる。一方の側面に2箇所の磨面が認められる。a、b両面には、凹痕が見られる。2は、平面形が隅丸長方形を呈し、a、b両面に磨痕および凹痕が認められる。3は、平面形が円形を呈する。a面に磨痕および凹痕が見られ、b面に凹痕が認められる。4は、平面形が楕円形を呈し、a、b両面



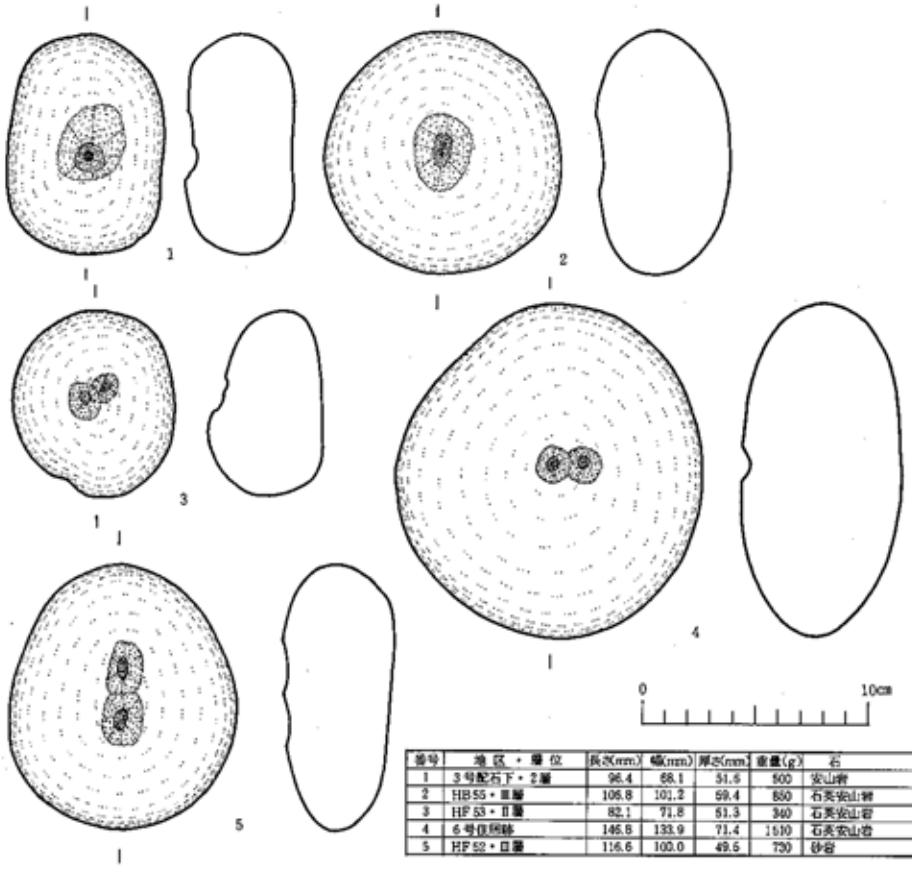
番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No	図版
1	3号配石	126.0	89.2	64.4	500	溶岩	3020	202-16
2	GR 50・Ⅱ層	128.8	95.4	53.8	770	凝灰質砂岩	3005	202-17
3	GS 51・Ⅱ層	112.2	85.8	48.9	510	凝灰質砂岩	3094	202-18
4	3号配石下・2層	104.8	89.6	49.2	560	凝灰質砂岩	2822	202-19
5	GS 50・Ⅱ層	99.0	89.0	50.0	420	石英安山岩	2457	202-20

第416図　敲石・磨石・凹石 (19)



番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No	図版
1	3号配石下・2層	111.0	94.8	79.2	600	溶岩	3098	202-21
2	H146・Ⅲ層	91.2	79.9	51.5	530	花崗閃緑岩	2300	202-22
3	GT51・Ⅲ層	110.4	98.6	56.6	740	石英安山岩	3086	202-23
4	GR47・Ⅲ層	84.5	82.1	63.4	550	石英安山岩	3112	202-24
5	GR47・Ⅱ層	94.5	72.0	43.0	440	花崗閃緑岩	3087	202-25
6	3号配石下・2層	108.7	95.3	57.8	730	石英安山岩	3009	202-26

第417図　敲石・磨石・凹石 (20)



番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No	図版
1	3号配石下・2層	96.4	68.1	51.5	500	安山岩	2821	203-1
2	HB55・Ⅲ層	106.8	101.2	59.4	850	石英安山岩	2768	203-2
3	HF53・Ⅱ層	82.1	71.8	51.3	340	石英安山岩	3092	203-3
4	6号住居跡	146.8	133.9	71.4	1510	石英安山岩	3101	203-4
5	HF52・Ⅱ層	116.6	100.0	49.5	730	砂岩	2793	203-5

第418図　敲石・磨石・凹石（21）

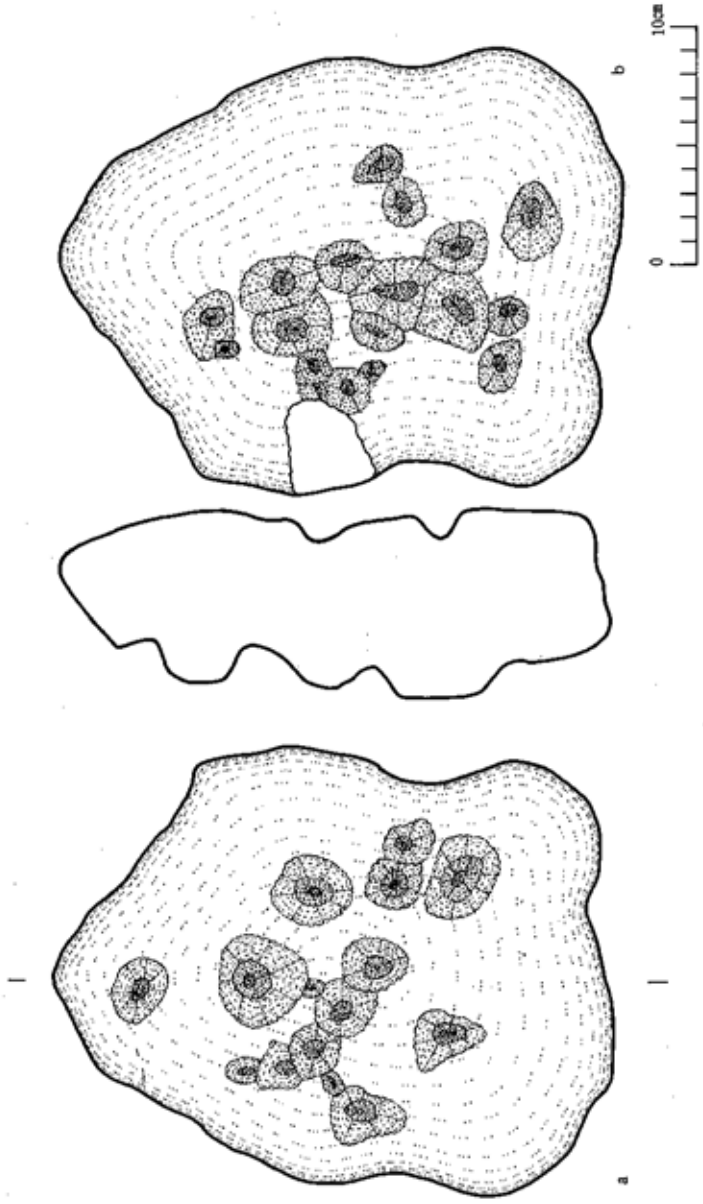
に磨痕と凹痕を持つ。5 は、平面形が隅丸長方形を呈する。ａ面に磨痕および凹痕が見られ、ｂ面に凹痕が認められる。

第 412 図 1 は、平面形が不整な楕円形を呈する。長軸方向の上側面および両平面に磨が見られるほか、片面に凹痕が認められる。2・3 は、平面形が楕円形を呈する。両平面に磨痕を持つほか、片面に凹痕を有する。4 は、平面形が楕円形を呈し、両平面に磨痕および凹痕を持つ。

3：凹痕のみのもの（第 413 図～第 420 図）

第 413 図 1～3 は、平面形が楕円形を呈する。ａ、ｂ両面に、各々1 個の深い凹を持つ。4 は、平面形が楕円形を呈する。ａ面に 1 個の深い凹を持ち、ｂ面に浅い環状の凹を有する。5 は、平面形が円形を呈し、ａ、ｂ両面に各々1 個の深い凹を持つ。ｂ面の凹は、2 個の凹が複合したものである。

第 414 図 1 は、大形の礫の破片を用いたものである。自然面が残っている側に 1 個の深い凹が

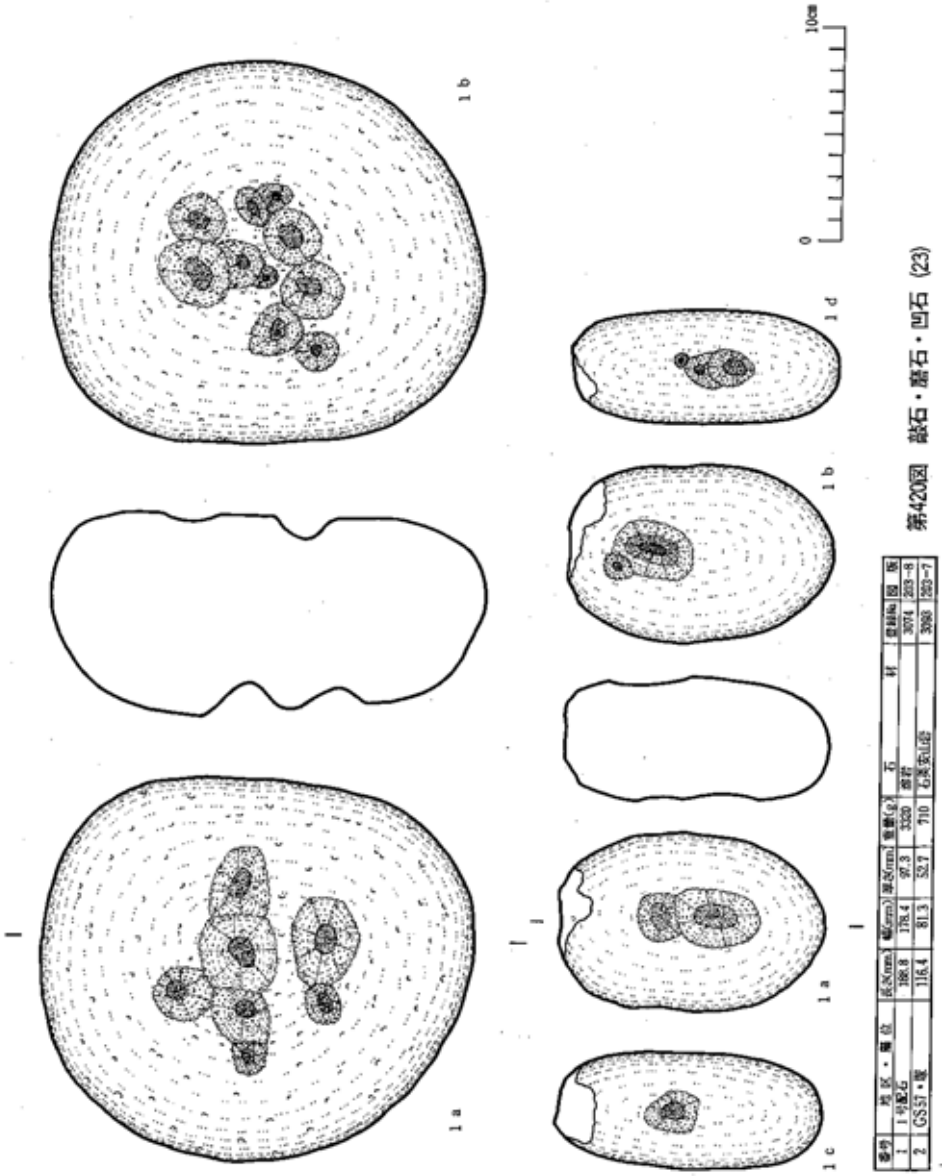


番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石	材	登録No.	図版
1.	GQ45・II層	218.2	182.4	91.1	2630	砂岩		2396	203-6

第419図　敲石・磨石・凹石 (22)

認められる。2〜4は、平面形が楕円形を呈し、片面に1個の深い凹を有する。

第415図1は、平面形が楕円形を呈する。a面に1個の大形で深い凹を持ち、b面に1個の浅い凹を有する。2・3は、平面形が楕円形を呈し、片面に2個の深い凹を持つ。4は、周囲の欠損が著しい。a、b両面に数個の深い凹を有する。



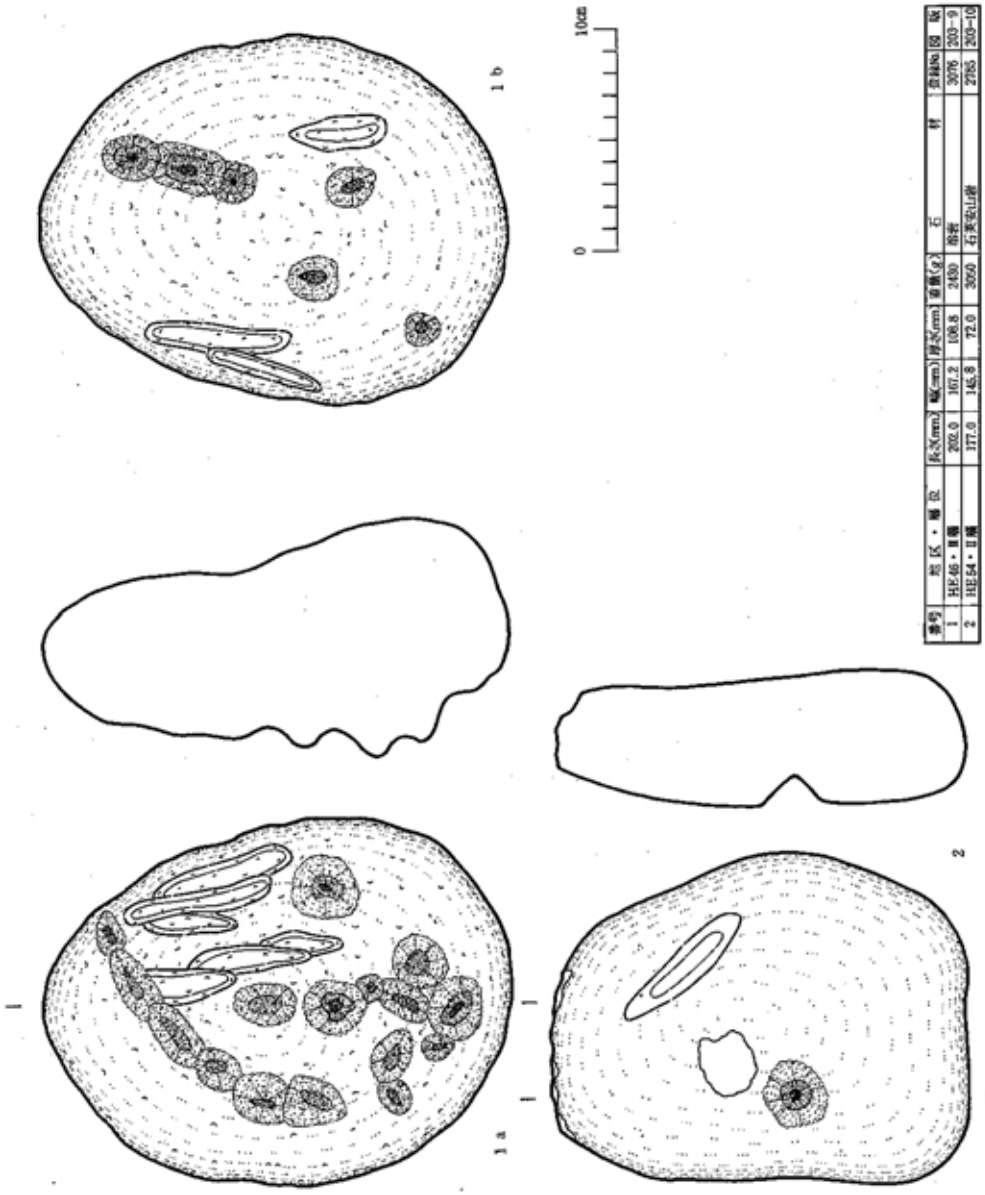
番号	地区・層位	長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重量(g)	石材	登録No.	図版
1	1号竪穴	186.8	178.4	97.3	3320	砂岩	3074	283-8
2	GS37・覆	116.4	81.3	52.7	710	石英安山岩	3093	283-7

第420図　敲石・磨石・凹石 (23)

第416図1・3・5は、平面形が楕円形を呈する。a面に1個の深い凹を持ち、b面に2個の深い凹を持つ。2は、平面形が楕円形を呈する。a面に1個の深い凹を持ち、b面に2個の浅い凹を有する。4は、平面形が楕円形を呈し、a、b両面に数個の深い凹を持つ。

第417図1〜6は、平面形が円形もしくは楕円形を呈する。a、b両面に1個から数個の浅い凹を有する。

第418図1は、平面形が隅丸長方形を呈し、片面に1個の浅い凹を持つ。2は、平面形が円形



番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石	材	登録No.	図版
1	HE46・Ⅱ層	202.0	167.2	108.8	2430	溶岩		3076	203-9
2	HE54・Ⅱ層	177.0	145.8	72.0	3050	石英安山岩		2785	203-10

第421図　敲石・磨石・凹石 (24)

を呈し、片面に1個の浅い凹を有する。3・4は、平面形が不整な楕円形を呈し、片面に2個の浅い凹を持つ。

第419図は、大形の自然石を用いたもので、不整な平面形を呈する。a、b両面に十数個の凹を持つ。大部分の凹は深いものであるが、浅い凹も僅かに認められる。

第420図1は、大形のもので、平面形が不整な円形を呈する。a、b両面に数個の深い凹が認められる。2は、平面形が楕円形を呈する。a、b両面に各々2個の浅い凹が見られる。c、

ｄ両側面にも凹が認められる。

4：摩溝、線条痕のあるもの（第 421 図）

第 421 図 1 は、平面形が楕円形を呈する。ａ面に、六条の摩溝および十数個の凹痕を持ち、ｂ面に、三条の摩溝および数個の凹痕を有する。2 は、平面形が不整な隅丸長方形を呈する。片面に一条の摩溝および 1 個の凹痕を持つ。

円盤状石製品（第 422 図）

包含層のもの（第 422 図 1～4）

第 422 図 1・2 は、板状の礫の周囲を打ち欠いて円盤状にしている。3・4 は、板状の礫の周囲を研磨して円盤状にしている。4 のａ、ｂ両面には、線条痕が認められる。

包含層以外のもの（第 422 図 5～8）

第 422 図 5 は、板状の礫の周囲を打ち欠いて円盤状にしている。6 は、板状の礫の周囲を研磨して円盤状にしている。7・8 は、比較的厚手で偏平な礫の周囲を打ち欠いて円盤状にしている。

その他の石製品（第 423 図～第 425 図）

前述した石製品以外のものを一括する。

包含層のもの（第 423 図）

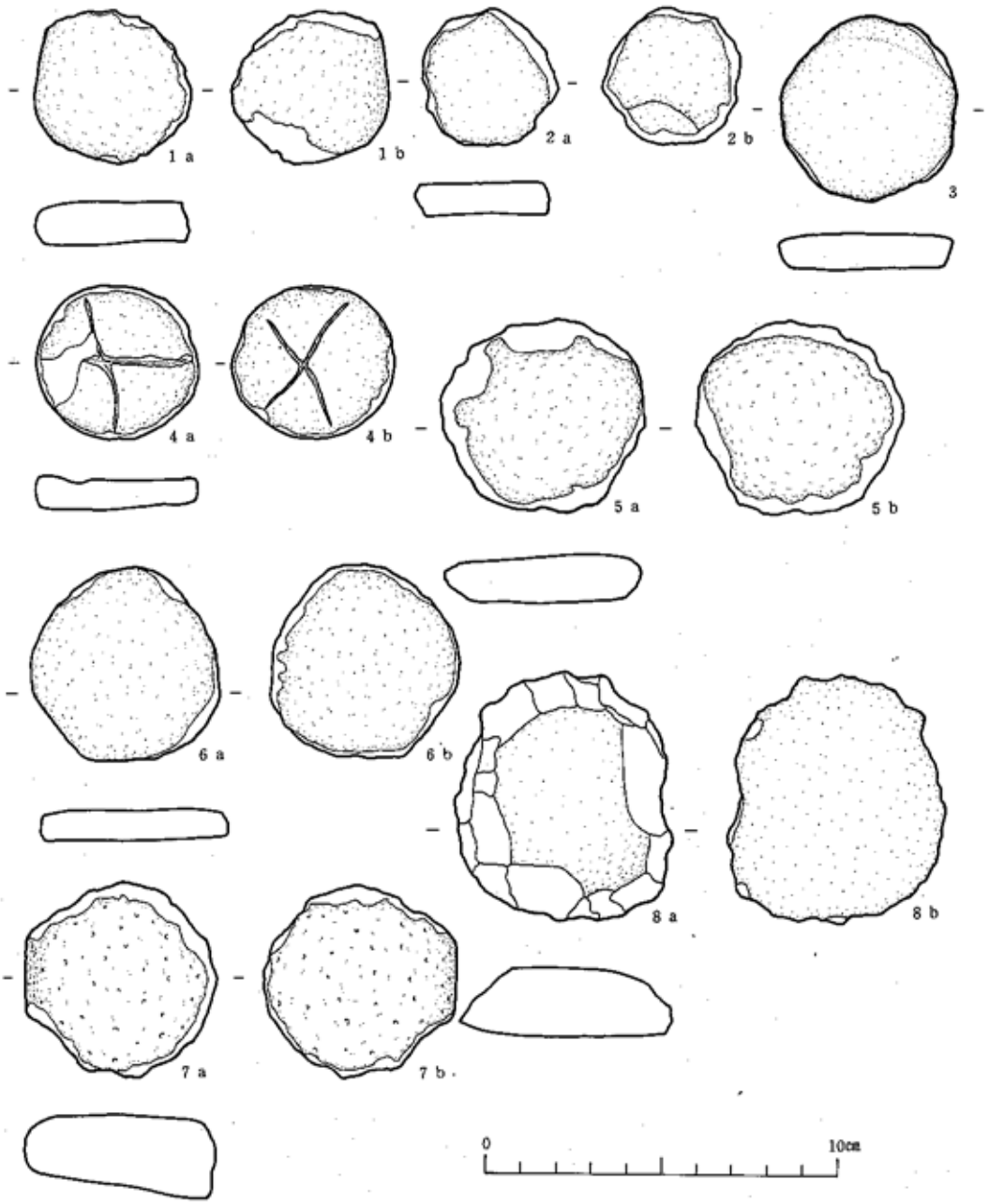
第 423 図 1～3 は、砥石である。1 は、欠損品で、ａ、ｂ両面の縦方向に砥磨痕が認められる。2 は、平面形が長楕円形で、ａ、ｂ両面の短軸方向に砥磨痕が認められる。ａ面には、擦痕も見られる。3 は、欠損品であるが、平面形は長方形に近いものと考えられる。ａ、ｂ両面に、方向不定の砥磨痕が認められる。

第 423 図 4 は、石剣で、切損品である。横断面は、楕円形を呈する。全体が丁寧に研磨されており、切損部両端に欠損が見られる。

第 423 図 5 は、浮子である。平面形は長楕円形を呈し、長軸方向および短軸方向に十字形に溝を巡らしている。水に浮くように、凝灰岩質の軽い石材を用いている。

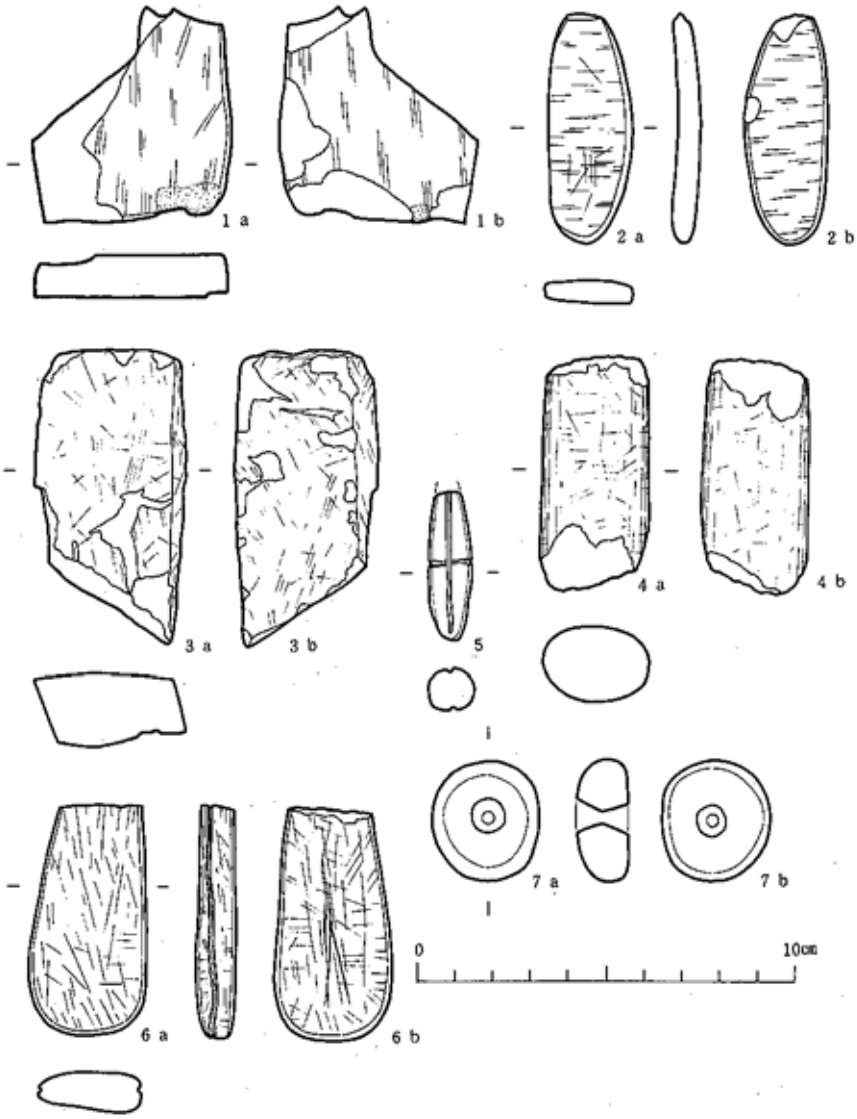
第 423 図 6 は、岩版である。上端部が欠損しているが、平面形は隅丸長方形に近いものと考えられる。板状の礫の平面および側面を研磨して、形を整えている。側面には細い線溝が巡っており、ａ、ｂ両面には縦横に線条痕が走っている。

第 423 図 7 は、硬玉製の胸飾りで、平面形は円形に近い。全体が丁寧に研磨されており、ａ、ｂ両面から漏斗状の孔が開けられている。



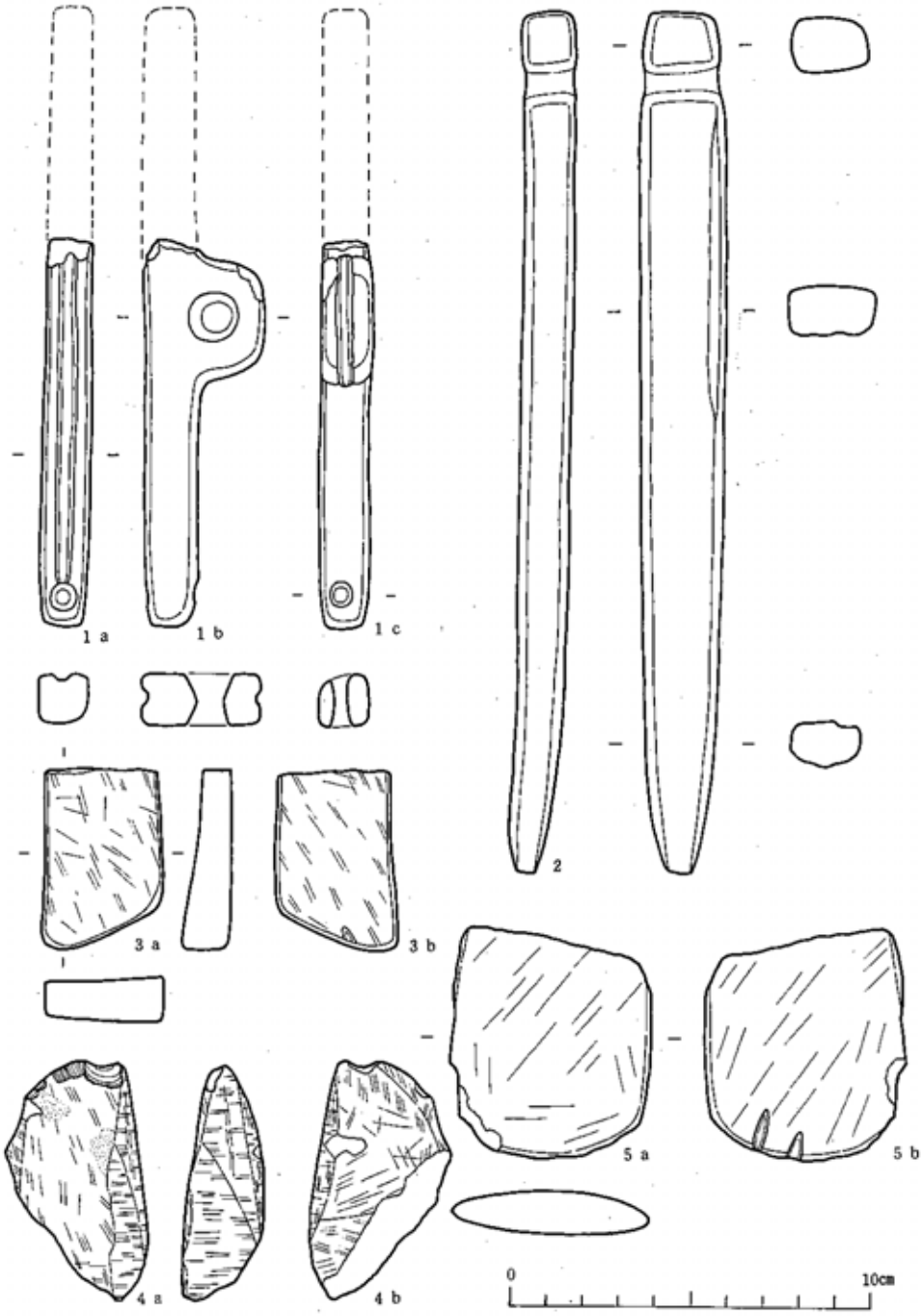
遺構	地区・層位	最大径(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No.	図版
1	GC50-3ｂ層	49.9	12.8	26.7	鍵状黒曜石	1526	204-1
2	GL50-3ｃ層	39.3	9.5	14.7	鍵状石	2310	204-2
3	G137-3層	52.3	16.9	41.8	砂質鍵状石	3215	204-3
4	GO50-3ｂ層	44.9	15.4	14.7	鍵状石	1281	204-4
5	GK40-8層	56.8	14.4	55.0	砂 岩	2082	204-5
6	GO40-8層	54.5	8.2	30.0	砂質鍵状石	2773	204-6
7	HA40-8層	55.9	23.3	101.5	鍵状黒曜石	2303	204-7
8	HE47-8層	53.9	12.9	70.6	鍵状黒曜石	43	204-8

第422図　円盤状石製品



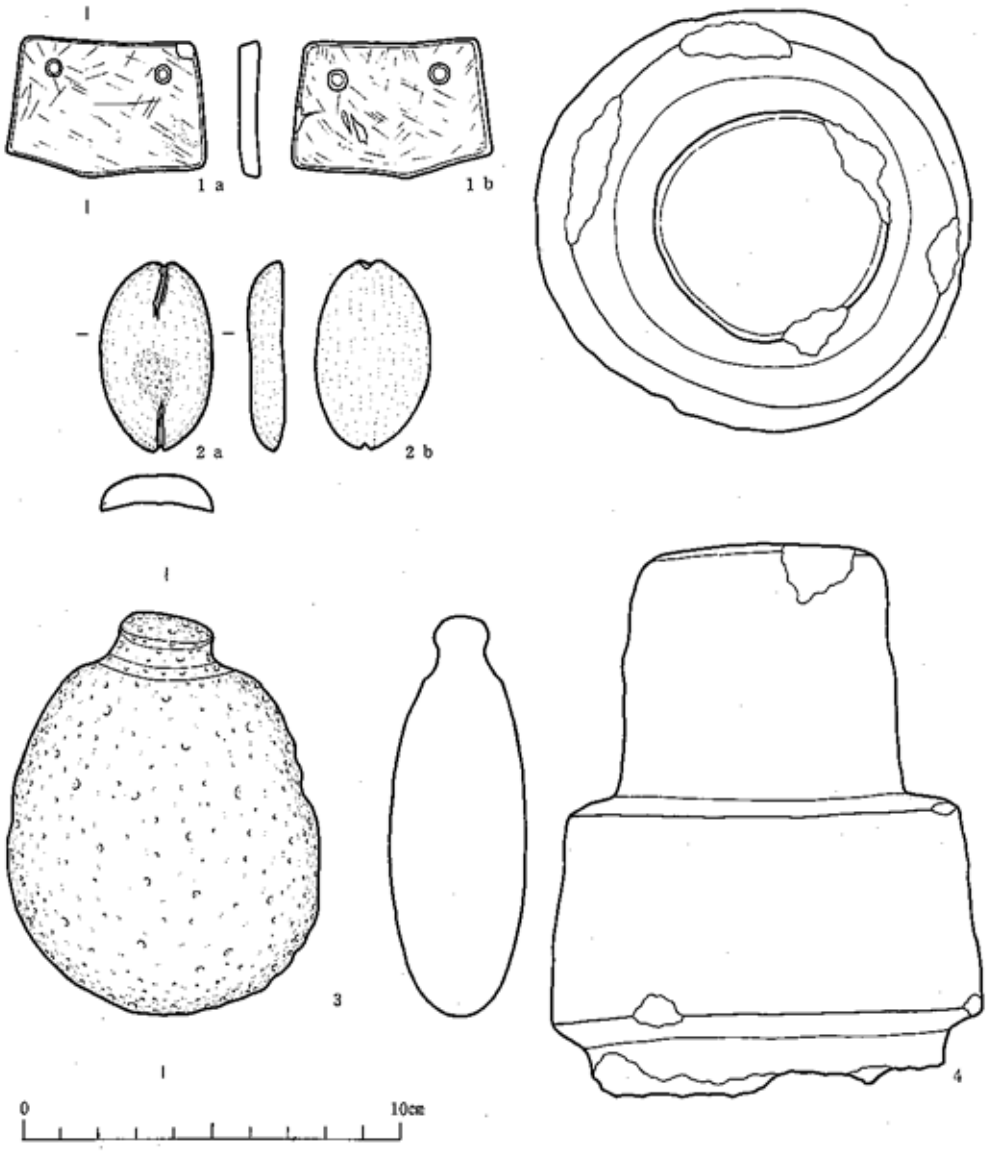
番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石	材質	図
1	GF[illegible]・[illegible]層	(55.3)	(44.4)	8.5	(42.0)	[illegible]	[illegible]	204－[illegible]
2	GF[illegible]・[illegible]層	(50.8)	22.6	6.5	(14.0)	[illegible]	[illegible]	204－10
3	GF[illegible]・[illegible]層	(75.7)	24.4	18.8	(72.5)	[illegible]	[illegible]	204－11
4	GF[illegible]・[illegible]層	(66.5)	25.2	17.5	(45.0)	[illegible]	[illegible]	204－12
5	GF[illegible]・[illegible]層	(36.2)	幅 11.7	－	(3.2)	[illegible]	[illegible]	204－14
6	GF[illegible]・[illegible]層	(81.5)	38.9	8.4	(26.8)	[illegible]	[illegible]	204－13
7	GL[illegible]・[illegible]層	33.0	19.3	13.6	25.6	[illegible]	[illegible]	204－15

第423図　その他の石製品（1）



番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石	図	重量比	図 番
1	[illegible]	(105.5)	35.5	13.5	(150.0)	[illegible]		169	204－16
2	[illegible]	226.4	23.8	14.3	134.0	[illegible]		15	204－20
3	[illegible]	(55.5)	33.4	15.0	(55.5)	[illegible]		3171	204－16
4	[illegible]	(96.4)	36.6	22.0	(52.0)	[illegible]		12	204－17
5	[illegible]	(49.4)	54.7	42.6	(36.7)	[illegible]		3469	204－15

第424図　その他の石製品（2）



番号	地区・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	登録No.	図版
1	[illegible]	35.7	51.2	5.0	17.5	[illegible]	[illegible]	[illegible]
2	[illegible]	49.4	25.7	7.0	14.5	[illegible]	[illegible]	[illegible]
3	[illegible]	105.9	55.2	25.8	230.2	[illegible]	[illegible]	[illegible]
4	[illegible]	(141.8)	114.2	95.0	(1,366.0)	[illegible]	[illegible]	[illegible]

第425図　その他の石製品（3）

包含層以外のもの（第 424 図、第 425 図）

第 424 図 1 は、概報等で異形石器と称されているものである。欠損品であるが、本来の平面形はT字形を呈すると考えられる。全体が丁寧に研磨されており、平面中央部には、両面から漏斗状の孔が開けられている。ａ面、およびｃ面の中央部には、長軸方向に沿って溝が設けられ、また下端には小孔が穿たれている。

第 424 図 2 は、石剣である。全体が研磨されており、各断面形は隅丸長方形に近い。頭部と刃部が凹帯によって区別されている。

第 424 図 3 は、砥石である。偏平な礫を用いたもので、一方が欠損している。ａ面には方向不定の砥磨痕が見られ、ｂ面には斜方向の砥磨痕および僅かな摩溝が認められる。

第 424 図 4・5 は、名称不明の磨製石製品で、いずれも欠損品である。4 は、ａ、ｂ両面および両側面が多面的に研磨されている。側面中央部に擦痕が認められ、ｂ面下端に部分的な欠損が見られる。5 は、偏平な形態を呈し、全体が研磨されている。ｂ面下部には、二条の摩溝が認められる。

第 425 図 1 は、岩版である。薄い板状の礫の平面および側面を研磨して、変則な五角形に仕上げている。平面上部には、二つの小孔が開けられている。

第 425 図 2・3 は、石錘である。2 は、小形のもので、平面形が楕円形を呈する。ａ面は研磨されているが、ｂ面は自然剥離面である。ａ面の長軸方向両端部には、縄掛け用の切込みが認められる。3 は、大形のもので、偏平な円礫を研磨して形を整えている。上端部には、縄掛け用の括れが設けられている。

第 425 図 4 は、石棒である。欠損品で、頭部のみが残っている。全体が粗く研磨されており、幅広の凸帯を持つ。